

周南市子どもの生活状況調査 報告書

周南市
令和7年3月

目次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査対象者	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	回収状況	1
6	調査結果の見方	1
7	低所得世帯の算定方法	2
8	回答者の基本属性	3
II	調査結果の総括	11
1	保護者の状況	11
2	子どもの状況	13
3	求められる支援と今後の課題	15
III	保護者の調査結果	17
1	保護者の状況について	17
2	子どもとの関わりについて	26
3	頼れる相手について	56
4	暮らしの状況について	77
5	生活状況への感じ方について	93
6	支援制度の利用状況について	108
IV	子どもの調査結果	125
1	学校や勉強のことについて	125
2	放課後・休日の過ごし方について	151
3	食事や生活のことについて	165
4	相談できる相手について	181
5	ふだん考えていることについて	185
6	支援場所の利用状況について	196
7	ふだん使っているもの	210
8	ヤングケアラーについて	216
V	資料	223
1	保護者調査票	223
2	中学生調査票	235
3	小学生調査票	247

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、子育て世帯の経済状況、生活環境、それらが子どもに与える影響や支援ニーズを把握し、「こども計画」を策定する際の基礎資料とするため実施する。

2 調査対象者

周南市内に所在する小学校、中学校に在籍している小学5年生、中学2年生の児童・生徒並びにその保護者。

3 調査方法

配布 小学校、中学校へ郵送により調査票を送付し、各学校が児童・生徒へ配布。児童・生徒が保護者向けの調査票を保護者へ配布。

回収 記入済み調査票を学校で回収し返送、個人で返送、インターネットによる回答のいずれかの方法で回収。

4 調査期間

令和6年7月3日（水）～令和6年7月26日（金）

5 回収状況

		配布数	有効回答数	回収率
小学5年生	保護者	1,074	588	54.7%
	子ども	1,074	619	57.6%
中学2年生	保護者	1,134	638	56.3%
	子ども	1,134	592	52.2%
全体	保護者	2,208	1,226	55.5%
	子ども	2,208	1,211	54.8%

6 調査結果の見方

- ・報告書中の「n=」はパーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示している。
- ・設問に応じ、SA（Single Answer：単数回答）、MA（Multi Answer：複数回答）の別を示している。
- ・算出されたパーセントは小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、全項目の回答比率の合計が100%にならないことがある。また、MAは合計が100.0%を上回ることがある。
- ・図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ・回答者が10人未満の回答傾向は記述しないこととする。
- ・内閣府の「令和2年度 子供の生活状況調査」、山口県の「令和5年度 山口県子どもの生活実態調査」と共通する調査項目については学年別集計の比較を行っている。

7 低所得世帯の算定方法

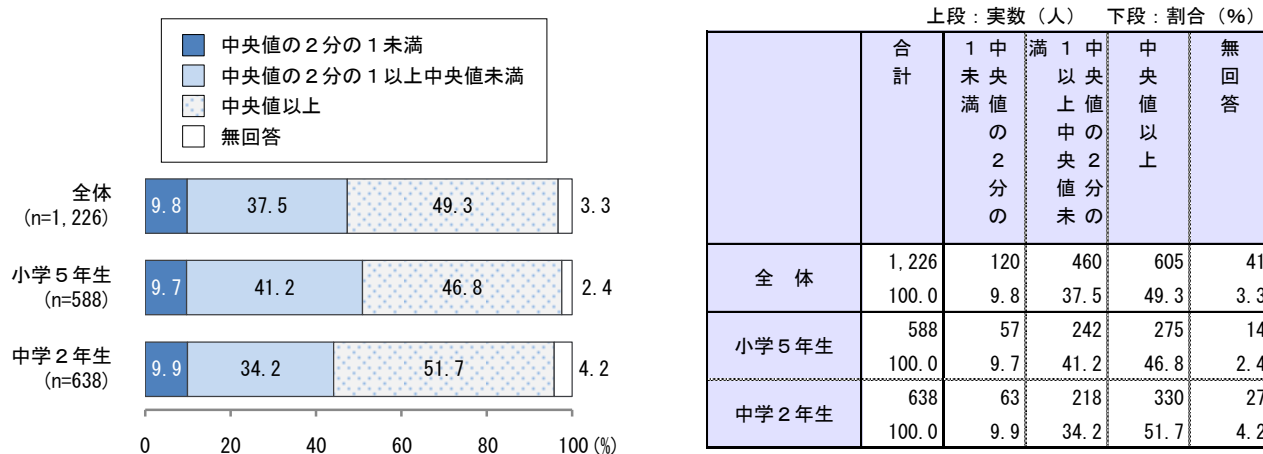
◆等価世帯収入の水準の算出

- 世帯全体の年間収入の間で回答した選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする。（「50万円未満」は25万円、「50～100万円未満」は75万円、「1000万円以上」は1050万円とする。）
- 上記の値を、同居家族の構成と人数の間で把握される同居人数の平方根をとったもので除す。
- 算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに中央値の2分の1未満か否かで3項目に分類する。
- 本調査の等価世帯収入の中央値は325万円であった。

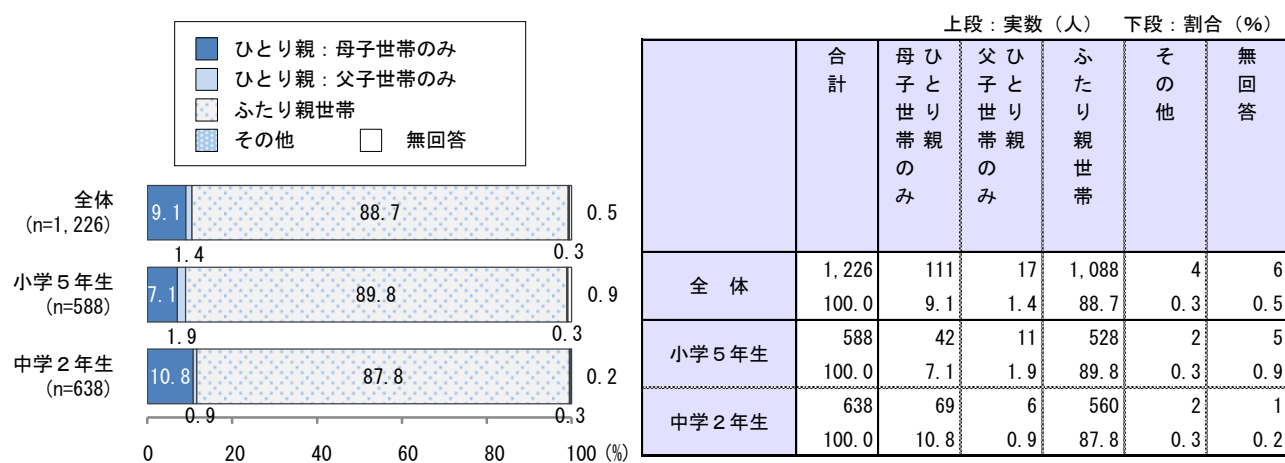
◆世帯の状況の算出

- 保護者の婚姻状況の間の回答から、ひとり親世帯、ふたり親世帯に分類する。
- 調査票回答者、または同居家族の構成と人数の間の回答から、ひとり親世帯を母子世帯と父子世帯に分類する。

【等価世帯収入の水準】



【世帯の状況】



8 回答者の基本属性

【調査票の種類/学年】

上段：実数（人） 下段：割合（％）

	合 計	小 学 5 年 生	中 学 2 年 生
保護者票	1,226 100.0	588 48.0	638 52.0
子ども票	1,211 100.0	619 51.1	592 48.9

保護者票問 1

お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。

お子さんからみた続柄でお答えください。（SA）

上段：実数（人） 下段：割合（％）

	合 計	を 母 親 （ 継 母 ） 含 む	を 父 親 （ 継 父 ） 含 む	祖 父 母	そ の 他	無 回 答
全 体	1,226 100.0	1,107 90.3	107 8.7	4 0.3	0 0.0	8 0.7
小学5年生	588 100.0	523 88.9	59 10.0	2 0.3	0 0.0	4 0.7
中学2年生	638 100.0	584 91.5	48 7.5	2 0.3	0 0.0	4 0.6

保護者票問 2

あなたの住んでいる小学校区をお答えください。(SA)

【居住地区】

上段：実数（人） 下段：割合（％）

	合 計	校 徳 区 山 小 学	校 遠 区 石 小 学	校 今 区 宿 小 学	校 久 区 米 小 学	校 菊 区 川 小 学	校 櫛 区 浜 小 学	校 夜 区 市 小 学	校 戸 区 田 小 学	校 湯 区 野 小 学	校 岐 区 山 小 学
全 体	1,226 100.0	95 7.7	75 6.1	63 5.1	85 6.9	92 7.5	65 5.3	12 1.0	37 3.0	5 0.4	73 6.0
小学5年生	588 100.0	41 7.0	36 6.1	30 5.1	37 6.3	52 8.8	33 5.6	3 0.5	20 3.4	3 0.5	39 6.6
中学2年生	638 100.0	54 8.5	39 6.1	33 5.2	48 7.5	40 6.3	32 5.0	9 1.4	17 2.7	2 0.3	34 5.3
	合 計	校 須 区 磨 小 学	校 沼 区 城 小 学	校 周 区 陽 小 学	校 桜 区 木 小 学	校 秋 区 月 小 学	校 鼓 区 南 小 学	学 富 校 田 区 東 小	学 富 校 田 区 西 小	校 福 区 川 小 学	校 和 区 田 小 学
全 体	1,226 100.0	0 0.0	57 4.6	44 3.6	48 3.9	55 4.5	0 0.0	88 7.2	140 11.4	37 3.0	8 0.7
小学5年生	588 100.0	0 0.0	36 6.1	13 2.2	21 3.6	23 3.9	0 0.0	42 7.1	61 10.4	17 2.9	3 0.5
中学2年生	638 100.0	0 0.0	21 3.3	31 4.9	27 4.2	32 5.0	0 0.0	46 7.2	79 12.4	20 3.1	5 0.8
	合 計	学 福 校 川 区 南 小	校 三 区 丘 小 学	校 高 区 水 小 学	校 勝 区 間 小 学	学 大 校 河 区 内 小	校 八 区 代 小 学	校 鹿 区 野 小 学	無 回 答		
全 体	1,226 100.0	26 2.1	10 0.8	14 1.1	58 4.7	20 1.6	1 0.1	18 1.5	0 0.0		
小学5年生	588 100.0	5 0.9	6 1.0	9 1.5	37 6.3	10 1.7	1 0.2	10 1.7	0 0.0		
中学2年生	638 100.0	21 3.3	4 0.6	5 0.8	21 3.3	10 1.6	0 0.0	8 1.3	0 0.0		

保護者票問3

お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と合計人数をお答えください。単身赴任中の方や、学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて数えてください。（SA）

【合計人数】

	合 計	上段：実数（人） 下段：割合（％）									
		2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人	9 人	10 人 以 上	無 回 答
全 体	1,226 100.0	22 1.8	153 12.5	537 43.8	368 30.0	88 7.2	31 2.5	16 1.3	4 0.3	1 0.1	6 0.5
小学5年生	588 100.0	7 1.2	71 12.1	254 43.2	183 31.1	43 7.3	18 3.1	7 1.2	3 0.5	0 0.0	2 0.3
中学2年生	638 100.0	15 2.4	82 12.9	283 44.4	185 29.0	45 7.1	13 2.0	9 1.4	1 0.2	1 0.2	4 0.6

【祖母】

	合 計	上段：実数（人） 下段：割合（％）			
		い な い	1 人	2 人	無 回 答
全 体	1,226 100.0	928 75.7	97 7.9	13 1.1	188 15.3
小学5年生	588 100.0	441 75.0	45 7.7	6 1.0	96 16.3
中学2年生	638 100.0	487 76.3	52 8.2	7 1.1	92 14.4

【祖父】

	合 計	上段：実数（人） 下段：割合（％）			
		い な い	1 人	2 人	無 回 答
全 体	1,226 100.0	959 78.2	73 6.0	5 0.4	189 15.4
小学5年生	588 100.0	451 76.7	38 6.5	2 0.3	97 16.5
中学2年生	638 100.0	508 79.6	35 5.5	3 0.5	92 14.4

【母親】

	合 計	上段：実数（人） 下段：割合（％）		
		い な い	（1 人 ） い る	無 回 答
全 体	1,226 100.0	19 1.5	1,207 98.5	0 0.0
小学5年生	588 100.0	12 2.0	576 98.0	0 0.0
中学2年生	638 100.0	7 1.1	631 98.9	0 0.0

【父親】

	合 計	上段：実数（人） 下段：割合（％）		
		い な い	（1 人 ） い る	無 回 答
全 体	1,226 100.0	119 9.7	1,107 90.3	0 0.0
小学5年生	588 100.0	47 8.0	541 92.0	0 0.0
中学2年生	638 100.0	72 11.3	566 88.7	0 0.0

【姉・兄】

	合 計	い な い	上段：実数（人）				下段：割合（％）	
			1 人	2 人	3 人	4 人 以 上	無 回 答	
全 体	1,226 100.0	475 38.7	463 37.8	142 11.6	21 1.7	2 0.2	123 10.0	
小学5年生	588 100.0	205 34.9	229 38.9	76 12.9	14 2.4	1 0.2	63 10.7	
中学2年生	638 100.0	270 42.3	234 36.7	66 10.3	7 1.1	1 0.2	60 9.4	

【妹・弟】

	合 計	い な い	上段：実数（人）				下段：割合（％）	
			1 人	2 人	3 人	4 人 以 上	無 回 答	
全 体	1,226 100.0	504 41.1	420 34.3	149 12.2	22 1.8	12 1.0	119 9.7	
小学5年生	588 100.0	239 40.6	202 34.4	69 11.7	9 1.5	3 0.5	66 11.2	
中学2年生	638 100.0	265 41.5	218 34.2	80 12.5	13 2.0	9 1.4	53 8.3	

【その他】

	合 計	い な い	上段：実数（人）				下段：割合（％）	
			1 人	2 人	3 人	4 人 以 上	無 回 答	
全 体	1,226 100.0	919 75.0	15 1.2	1 0.1	1 0.1	1 0.1	289 23.6	
小学5年生	588 100.0	432 73.5	7 1.2	1 0.2	1 0.2	0 0.0	147 25.0	
中学2年生	638 100.0	487 76.3	8 1.3	0 0.0	0 0.0	1 0.2	142 22.3	

保護者票問 4

お子さんの親の現在の年齢をお答えください。（数字で回答）

【母親の年齢】

		上段：実数（人）				下段：割合（％）
	合計	3 9 歳 以下	4 0 ～ 4 9	5 0 ～ 5 9	6 0 歳 以上	無 回 答
全 体	1,226 100.0	296 24.1	768 62.6	123 10.0	0 0.0	39 3.2
小学5年生	588 100.0	181 30.8	360 61.2	27 4.6	0 0.0	20 3.4
中学2年生	638 100.0	115 18.0	408 63.9	96 15.0	0 0.0	19 3.0

【父親の年齢】

		上段：実数（人）				下段：割合（％）
	合計	3 9 歳 以下	4 0 ～ 4 9	5 0 ～ 5 9	6 0 歳 以上	無 回 答
全 体	1,226 100.0	199 16.2	694 56.6	219 17.9	3 0.2	111 9.1
小学5年生	588 100.0	129 21.9	347 59.0	66 11.2	1 0.2	45 7.7
中学2年生	638 100.0	70 11.0	347 54.4	153 24.0	2 0.3	66 10.3

保護者票問 5

お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。（MA）

		上段：実数（人）				下段：割合（％）
	合計	が お 単 身 赴 任 中 の 母 親	が お 単 身 赴 任 中 の 父 親	そ の 他	は 単 身 赴 任 中 の 者	無 回 答
全 体	1,226 100.0	1 0.1	55 4.5	24 2.0	1,124 91.7	23 1.9
小学5年生	588 100.0	0 0.0	23 3.9	5 0.9	550 93.5	10 1.7
中学2年生	638 100.0	1 0.2	32 5.0	19 3.0	574 90.0	13 2.0

保護者票問 6

お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。(SA)

	上段：実数（人）		下段：割合（％）					
	合 計	を（結 含再婚 む）して いる 事 実 婚	離 婚	死 別	未 婚	わ か ら な い	い な い	無 回 答
全 体	1,226 100.0	1,088 88.7	111 9.1	17 1.4	3 0.2	0 0.0	0 0.0	7 0.6
小学5年生	588 100.0	528 89.8	44 7.5	9 1.5	1 0.2	0 0.0	0 0.0	6 1.0
中学2年生	638 100.0	560 87.8	67 10.5	8 1.3	2 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.2

問 6 で「2 離婚」と答えた人にお聞きます。

保護者票問 7

離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。

また養育費を現在受け取っていますか。(SA)

	上段：実数（人）		下段：割合（％）				
	合 計	取 り 取 つ て 養 育 費 を し て お け る	取 り 取 つ て 養 育 費 を し て お け る	受 け 取 り な い が 、 決 め て お け る 養 育 費 を し て お け る	特 に 取 り な い が 、 決 め て お け る 養 育 費 を し て お け る	取 り 取 つ て お け る 養 育 費 を し て お け る	無 回 答
全 体	111 100.0	39 35.1	2 1.8	21 18.9	47 42.3	2 1.8	
小学5年生	44 100.0	17 38.6	0 0.0	6 13.6	19 43.2	2 4.5	
中学2年生	67 100.0	22 32.8	2 3.0	15 22.4	28 41.8	0 0.0	

保護者票問 8

ご家庭では、どれくらい日本語以外の言語を使用していますか。(SA)

上段：実数（人） 下段：割合（％）					
	合計	てい 日本 語の み を 使 用 し て い る	本 語 の 方 が 多 い が 、 日 本 語 も 使 用 し て い る	使 う 日 本 語 と 以 外 の 言 語 を	無 回 答
全 体	1,226 100.0	1,062 86.6	34 2.8	2 0.2	128 10.4
小学5年生	588 100.0	500 85.0	22 3.7	0 0.0	66 11.2
中学2年生	638 100.0	562 88.1	12 1.9	2 0.3	62 9.7

保護者票問 9

お子さんの親の最終学歴（卒業・修了した学校）をお答えください。(SA)

【母親の最終学歴】

上段：実数（人） 下段：割合（％）								
	合計	部 中 学 校 （ 中 学 ま で	部 高 等 学 校 （ 高 等 ま で	科 門 短 大 学 ・ 高 専 攻 ・ 専 門 学 校 ま で	以 上 大 学 ま た は そ れ	わ か ら な い	い な い	無 回 答
全 体	1,226 100.0	54 4.4	344 28.1	573 46.7	241 19.7	2 0.2	8 0.7	4 0.3
小学5年生	588 100.0	29 4.9	157 26.7	285 48.5	111 18.9	2 0.3	4 0.7	0 0.0
中学2年生	638 100.0	25 3.9	187 29.3	288 45.1	130 20.4	0 0.0	4 0.6	4 0.6

【父親の最終学歴】

上段：実数（人） 下段：割合（％）								
	合計	部 中 学 校 （ 中 学 ま で	部 高 等 学 校 （ 高 等 ま で	科 門 短 大 学 ・ 高 専 攻 ・ 専 門 学 校 ま で	以 上 大 学 ま た は そ れ	わ か ら な い	い な い	無 回 答
全 体	1,226 100.0	48 3.9	501 40.9	179 14.6	408 33.3	6 0.5	80 6.5	4 0.3
小学5年生	588 100.0	24 4.1	245 41.7	88 15.0	195 33.2	3 0.5	33 5.6	0 0.0
中学2年生	638 100.0	24 3.8	256 40.1	91 14.3	213 33.4	3 0.5	47 7.4	4 0.6

保護者票問 20

世帯全体のおよその年間収入（税込）はいくらですか。（SA）

		上段：実数（人） 下段：割合（％）											
	合 計	満 5 0 万 円 未	未 1 5 満 0 0 0 万 円	未 1 1 満 5 0 0 万 円	未 2 1 満 0 5 0 万 円	未 2 2 満 5 0 0 万 円	未 3 2 満 0 5 0 万 円	未 3 3 満 5 0 0 万 円	未 4 3 満 0 5 0 万 円	未 4 4 満 5 0 0 万 円	未 5 4 満 0 5 0 万 円	未 6 5 満 0 0 0 万 円	
全 体	1,226 100.0	4 0.3	8 0.7	11 0.9	16 1.3	27 2.2	25 2.0	50 4.1	44 3.6	59 4.8	85 6.9	168 13.7	
小学 5 年生	588 100.0	1 0.2	3 0.5	6 1.0	7 1.2	14 2.4	8 1.4	23 3.9	19 3.2	33 5.6	45 7.7	96 16.3	
中学 2 年生	638 100.0	3 0.5	5 0.8	5 0.8	9 1.4	13 2.0	17 2.7	27 4.2	25 3.9	26 4.1	40 6.3	72 11.3	
	合 計	未 7 6 満 0 0 0 0 万 円	未 8 7 満 0 0 0 0 万 円	未 9 8 満 0 0 0 0 万 円	円 1 9 未 0 0 満 0 0 0 万	円 1 以 0 上 0 万	無 回 答						
全 体	1,226 100.0	153 12.5	160 13.1	104 8.5	95 7.7	182 14.8	35 2.9						
小学 5 年生	588 100.0	76 12.9	81 13.8	54 9.2	49 8.3	61 10.4	12 2.0						
中学 2 年生	638 100.0	77 12.1	79 12.4	50 7.8	46 7.2	121 19.0	23 3.6						

子ども票問 1

あなたの性別を教えてください。（SA）

		上段：実数（人） 下段：割合（％）			
	合 計	男	女	え そ た の く 他 な ・ い 答	無 回 答
全 体	1,211 100.0	571 47.2	616 50.9	13 1.1	11 0.9
小学 5 年生	619 100.0	297 48.0	306 49.4	10 1.6	6 1.0
中学 2 年生	592 100.0	274 46.3	310 52.4	3 0.5	5 0.8

II 調査結果の総括

1 保護者の状況

生活の状況

- 回答者の経済的な状況を等価世帯収入により分類すると、「中央値の2分の1未満」に該当するのが9.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのが37.5%、「中央値以上」に該当するのが49.3%となった。
また、保護者の婚姻状況から世帯の状況を分類すると、「母子世帯」は9.1%、「父子世帯」は1.4%、「ふたり親世帯」は88.7%となった。
- 現在の暮らしの状況について、『苦しい』（「大変苦しい」＋「苦しい」）との回答は全体で25.2%であるが、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯では63.3%、ひとり親世帯母子世帯のみでは52.2%、ひとり親世帯全体では50.0%と他の世帯に比べ大幅に高くなっている。
- 経済的理由により必要な食料を買えなかった経験、必要な衣服を買えなかった経験について、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯のいずれも30.0%以上が『あった』（「よくあった」から「まれにあった」の合計）と回答しており、他の世帯に比べ高くなっている。
- 経済的理由により公共料金等が未払いになった経験について、全体では「該当するものはない」との回答が93.9%となっている。等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯では「通信費（電話・インターネット回線料など）」、「水道料金」、「電気料金」、「ガス料金」、「家賃」のすべての回答が他の世帯に比べ高く、ひとり親世帯では「通信費（電話・インターネット回線料など）」、「電気料金」、「ガス料金」との回答がふたり親世帯に比べやや高くなっている。

就労状況

- 母親の就労状況について、全体では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」との回答が最も高くなっている。等価世帯収入の水準が中央値以上の世帯では「正社員・正規職員・会社役員」、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」、中央値の2分の1未満の世帯では「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が高くなっている。また、ひとり親世帯母子世帯のみでは「正社員・正規職員・会社役員」が高くなっている。
- 父親の就労状況について、全体では「正社員・正規職員・会社役員」との回答が最も高くなっている。等価世帯収入の水準別が中央値の2分の1未満の世帯では「正社員・正規職員・会社役員」が低く、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」が高くなっている。

子どもとの関わり

- 「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」、「子どもに本や新聞を読むように勧めている」、「子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」の質問で、等価世帯収入の水準が高いほど「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」との回答の合計が高くなっている。また、ひとり親世帯に比べふたり親世帯で「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」との回答の合計が高くなっている。
- 学校行事への参加状況について、「授業参観や運動会などの学校行事」の項目で世帯による参加状況の差はみられなかったが、「PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど」の項目では、等価世帯収入の水準が高いほど「よく参加している」または「ときどき参加している」との回答の合計が高くなっている。また、ひとり親世帯に比べふたり親世帯で「よく参加している」または「ときどき参加している」との回答の合計が高くなっている。

教育について

- 想定している子どもの最終学歴について、等価世帯収入の水準が高いほど「大学またはそれ以上」との回答が高く、ひとり親世帯に比べふたり親世帯で「大学またはそれ以上」との回答が高くなっている。
想定している学校に進学すると考えている理由について、「家庭の経済的な状況から考えて」との回答は、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯で全体に比べ高くなっている。

保護者の心理的状況・生活の満足度

- K6※スコアを算出すると、「0～4点」に該当する人が58.0%、「5～9点」に該当する人が23.1%、「10～12点」に該当する人が9.3%、「13点以上」に該当する人が8.6%となっている。「要注意」とされる「10点以上」に該当する人は、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯で31.7%、ひとり親世帯母子世帯のみで35.1%、ひとり親世帯全体で34.4%と全体に比べ高くなっている。
- 生活の満足度について、等価世帯収入の水準が低いほど生活の満足度が低くなっている。また、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べ満足度が低くなっている。

支援制度

- 支援制度の利用状況について、「現在利用している」との回答は「児童扶養手当」の項目で18.8%、「就学援助」の項目で11.2%となっており、「生活保護」の項目では0.0%となっている。等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯では、「児童扶養手当」、「就学援助」の項目で「現在利用している」との回答が50.0%を超えている。

※K6：6項目の質問でこころの健康状態をチェックすることができる尺度。

いつも：4点、たいてい：3点、ときどき：2点、少しだけ：1点、まったくない：0点と点数化し、合計0点～24点で判定する。合計点が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

頼れる人

- 頼れる相手の有無について、「子育てに関する相談」では等価世帯収入の水準や世帯の状況による大きな差はみられない。

「重要な事柄の相談」で「頼れる人がいる」との回答は、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯で全体に比べ低くなっている。

「いざという時のお金の援助」で頼れるが「いない」との回答は、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯で全体に比べ高くなっている。

2 子どもの状況勉強や進学について

- 授業以外の勉強時間について、学校がある日・ない日のいずれにおいても、『30分より少ない』（「まったくしない」＋「30分より少ない」）との回答は、等価世帯収入の水準が低いほど高く、ひとり親世帯でふたり親世帯に比べ高くなっている。また、「まったくしない」との回答は等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯で全体に比べ高くなっており、等価世帯収入の水準が低い世帯やひとり親世帯で、授業以外の勉強時間が少ない傾向となっている。
- 等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯では、クラスの中で自分の成績を『下のほう』（「下のほう」＋「やや下のほう」）と回答した割合や、授業の理解状況を『わからない』（「ほとんどわからない」＋「わからないことが多い」）と回答した割合が他の世帯に比べ高くなっている。
- 希望する最終学歴について、「大学またはそれ以上」との回答は等価世帯収入の水準が高いほど高く、ひとり親世帯に比べふたり親世帯で高くなっている。また、最終学歴の希望理由について、「家にお金がないと思うから」との回答は、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯で他の世帯に比べやや高くなっている。

生活について

- 歯みがきを「毎日している」との回答は、等価世帯収入の水準が中央値未満の世帯、ひとり親世帯で他の世帯に比べ低くなっている。入浴を「毎日している」との回答は、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯で中央値の2分の1以上の世帯に比べ低くなっているが、ふたり親世帯とひとり親世帯では大きな差はみられない。
- 朝食をとる頻度について、「毎日している」との回答は等価世帯収入の水準による大きな差はみられないが、ひとり親世帯でふたり親世帯に比べ低くなっている。
- 平日に同じ時間に就寝しているかについては、世帯による大きな差はみられない。
- クラブチーム・部活動等へ「参加している」との回答は、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯、ひとり親世帯で他の世帯に比べ低くなっている。
クラブチーム・部活動等へ参加していない理由について、中央値の2分の1未満の世帯では「費用がかかるから」、「家の事情（家族の世話・家事など）があるから」、「送迎などの行く手段がないから」との回答、ひとり親世帯では「費用がかかるから」、「送迎などの行く手段がないから」との回答が他の世帯に比べ高くなっている。

困りごとなどの相談相手

- 困りごとや悩みの相談相手について、全体では「親」、「学校の友達」が上位となっている。等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯では「兄弟姉妹」との回答が他の世帯に比べ低く、「学校以外の友達」との回答が他の世帯より高くなっている。ひとり親世帯では、「学校の友達」、「学校の先生」、「兄弟姉妹」などの回答がふたり親世帯に比べ低くなっている。

支援場所の利用状況

- 支援場所を「利用したことがある」との回答は「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」で16.9%、「ごはんを無料か安く食べることができる場所」で12.1%、「勉強を無料でみてる場所」で7.8%、「何でも相談できる場所」で2.6%となっている。また、「あれば利用したいと思う」との回答は、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯では「勉強を無料でみてる場所」の項目、「何でも相談できる場所」の項目、ひとり親世帯では「何でも相談できる場所」の項目で全体に比べ高くなっている。

子どもの心理的状況・生活の満足度

- 心理的な状況のスコアについて、「向社会性」の平均値は等価世帯収入の水準や世帯の状況による大きな差はみられないが、一方、値が高いほど課題があるとされる「情緒の問題」の平均値は全体で3.30であるのに対し、等価世帯収入の水準が中央値の2分の1未満の世帯では3.82、ひとり親世帯母子世帯のみでは3.98、ひとり親世帯全体では3.95と全体よりも高くなっている。
- 生活の満足度について、「8～10点」との回答が58.1%と、全体の半数以上で満足度が高い結果となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられないが、ひとり親世帯母子世帯のみでは52.8%と低くなっている。

ヤングケアラーについて

- ヤングケアラーの認知状況について、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答が13.8%、「聞いたことはあるが、よく知らない」との回答が17.3%、「聞いたことはない」との回答が66.6%となっている。
- ヤングケアラーの自覚について、「あてはまる」との回答が1.2%、「あてはまらない」との回答が66.7%となっており、「あてはまる」との回答は世帯による大きな差はみられない。

3 求められる支援と今後の課題

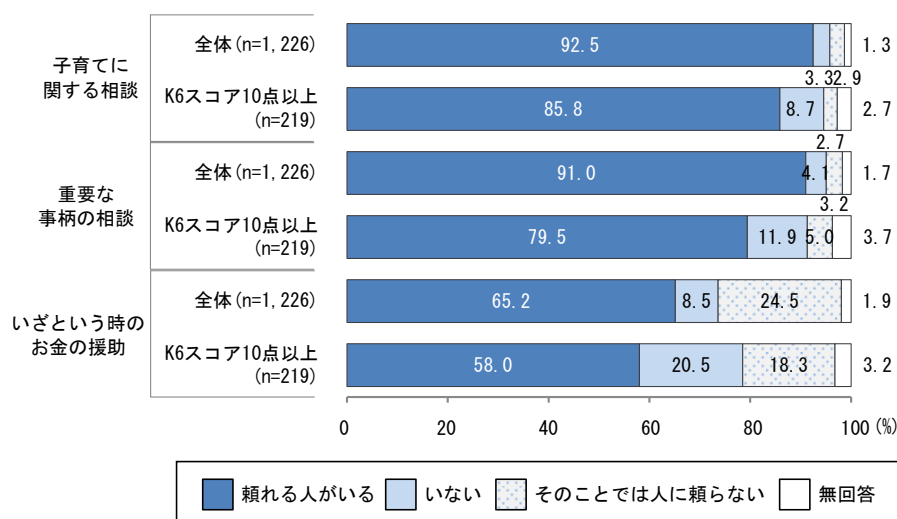
等価世帯収入の水準が低い世帯やひとり親世帯の子どもでは、学校の授業以外での学習習慣、成績、授業の理解度などが低い結果となっており、大学への進学希望や部活動・文化活動への参加状況も低くなっている。また、歯みがきや入浴の習慣、朝食をとる習慣が整っている割合についても低い傾向となっている。保護者と子どもの関わりや、学校行事への参加などの場面においても、等価世帯収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では子どもと関わる機会が少ない結果となっている。一方、スマートフォン、自宅で使えるパソコンやタブレットの所持状況については、保護者の経済状況による影響は少なくなっているが、保護者の婚姻状況でみるとふたり親世帯に比べひとり親世帯で所持している割合が高くなっている。このように、保護者の経済状況や婚姻状況の違いは、子どもの学習面、生活面、心理面、進学や習いごとなどの機会など、あらゆる場面に影響を与えている。

すべての子どもが、保護者の経済状況や婚姻状況の影響をうけることなく学習や体験、食事などの機会を得られるよう、子ども食堂や育児サークルなどの運営への支援など、子どもたちの居場所づくりを推進していく必要がある。

等価世帯収入の水準が低い世帯やひとり親世帯の保護者では、現在の暮らしの状況を『苦しい』と感じている人や、経済的な理由で必要なものが買えなかった経験がある人が多い結果となっているが、支援制度の利用状況では利用している人が1割未満の制度も多くなっている。経済面での支援が必要な人に届くよう、支援制度の周知や利用しやすい環境づくりなどによって利用促進を図る必要がある。

保護者の心理的な状態（K6 スコア）について、等価世帯収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ではスコアが10点以上の「要注意」に該当する人が多くなっており、心理面のケアも必要であると考えられる。K6 スコアが要注意に該当する人では、全体に比べ「頼れる人がある」と考えている人が少なく（下図参照）、相談窓口の充実、相談しやすい場の提供など、悩みを抱えた人が孤立しないための環境づくりが求められる。

【図表 頼れる人の有無（全体・K6 スコア 10 点以上の比較）】



Ⅲ 保護者の調査結果

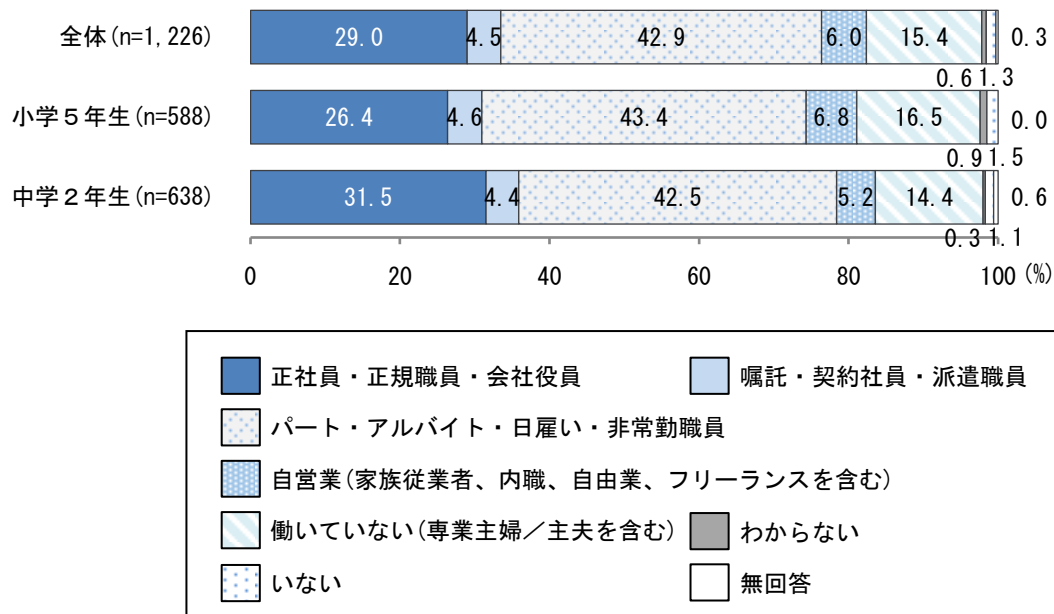
1 保護者の状況について

保護者票問 10

お子さんの親の就労状況についてお答えください。(SA)

■ 母親の就労状況

【全体/学年別】

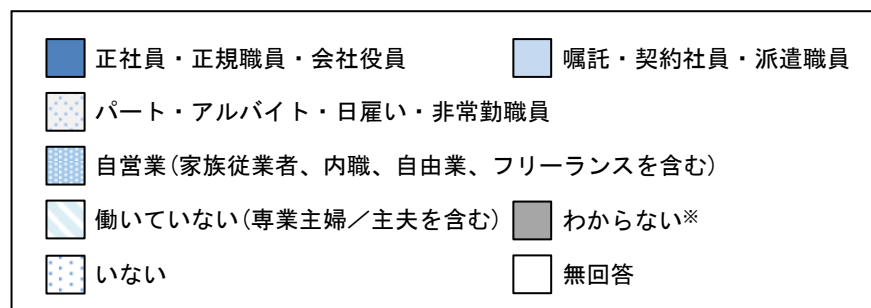
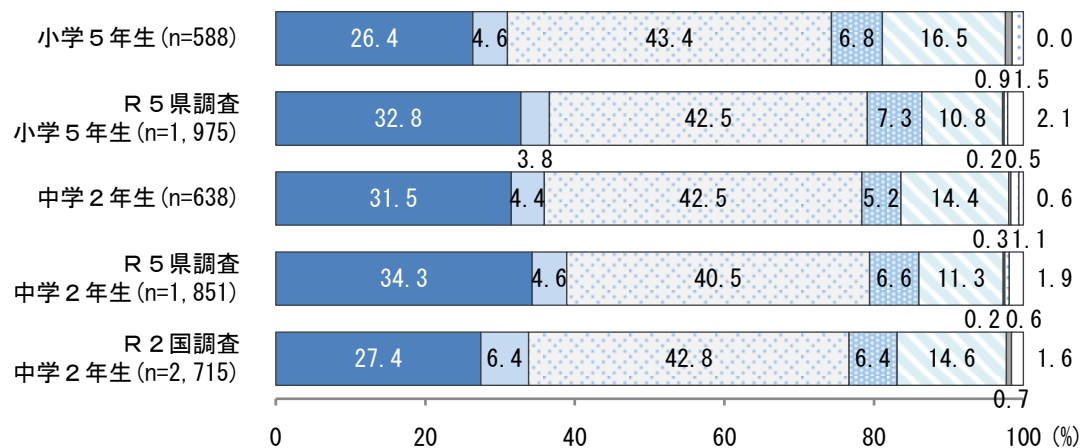


母親の就労状況について、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」との回答が42.9%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」(29.0%)、「働いていない(専業主婦／主夫を含む)」(15.4%)などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■母親の就労状況

【山口県調査・国調査と比較】



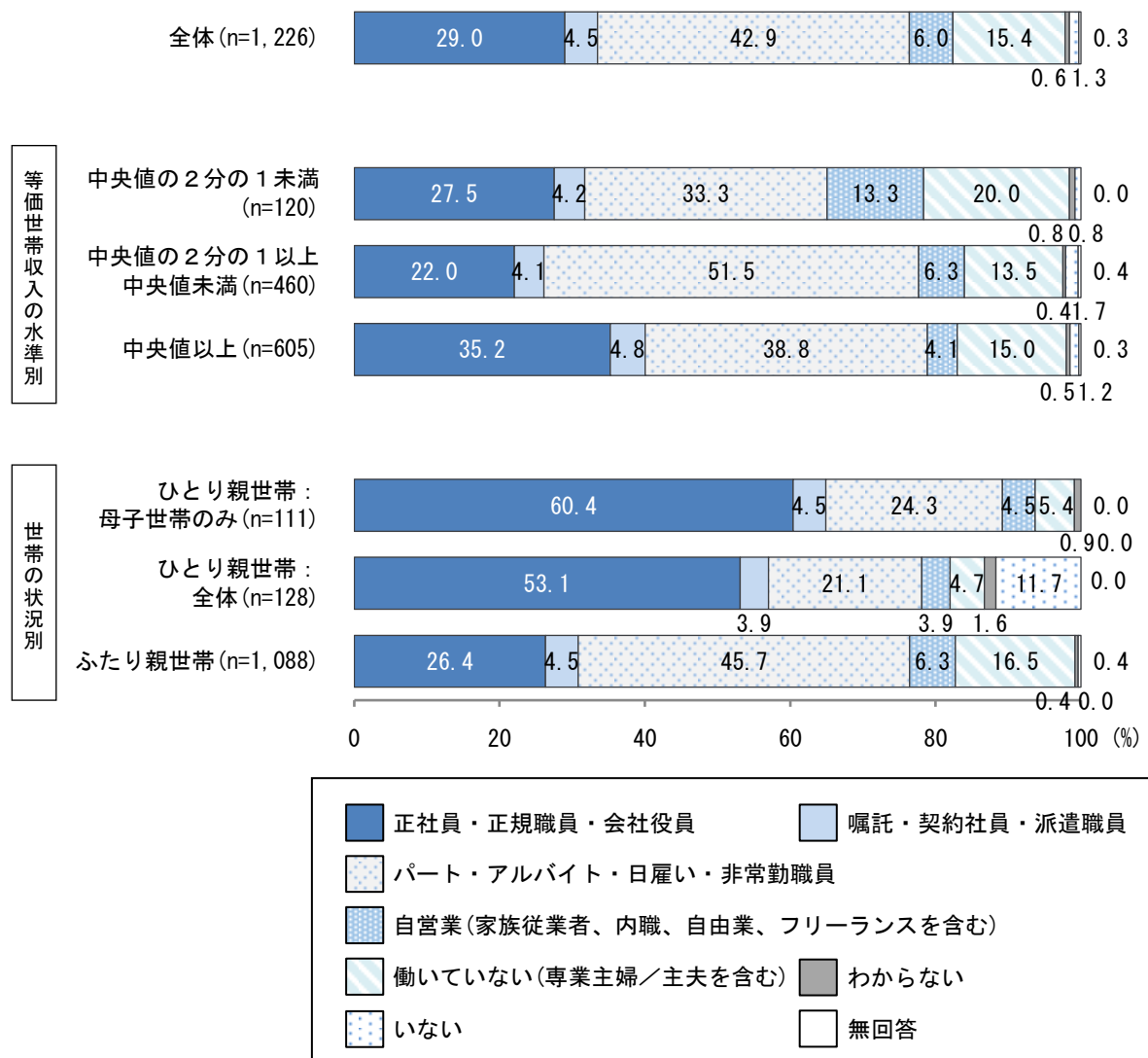
※国調査では「いない、わからない」

小学5年生を山口県調査と比較すると、「正社員・正規職員・会社役員」との回答は周南市が県を6.4ポイント下回っており、「働いていない(専業主婦／主夫を含む)」との回答は周南市が県を5.7ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、大きな差はみられない。

■ 母親の就労状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

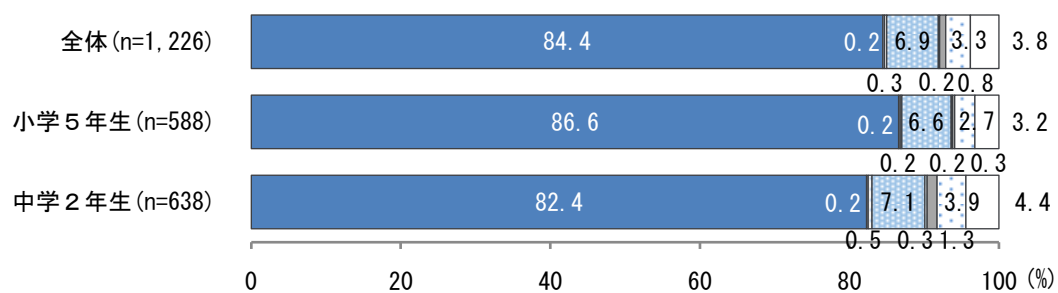


等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」との回答は中央値以上の世帯で35.2%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」との回答は中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で51.5%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で13.3%、「働いていない(専業主婦／主夫を含む)」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で20.0%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで60.4%、ひとり親世帯全体で53.1%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」との回答はふたり親世帯で45.7%、「働いていない(専業主婦／主夫を含む)」との回答はふたり親世帯で16.5%と高くなっている。

■父親の就労状況

【全体/学年別】

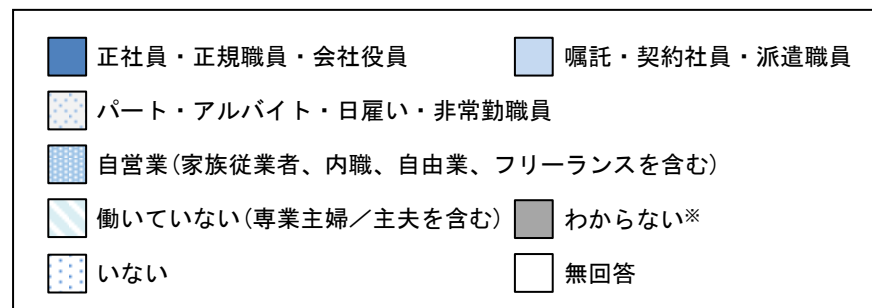
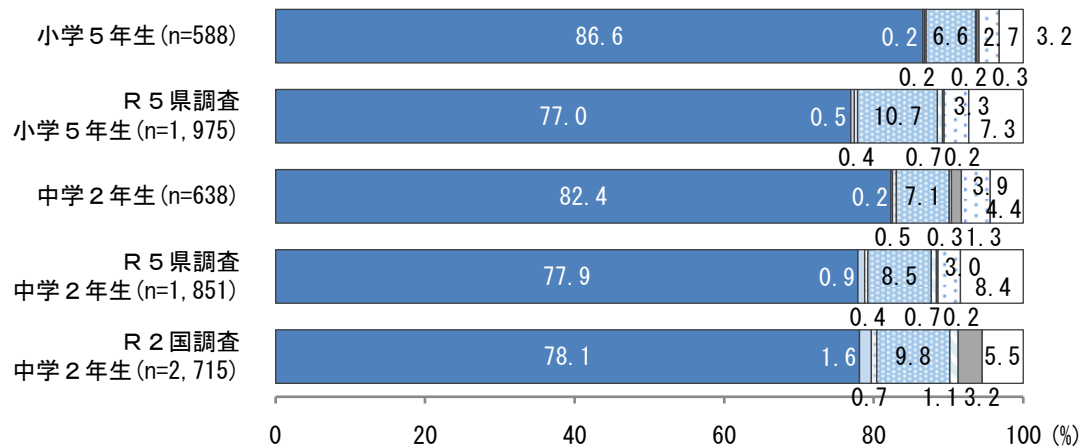


父親の就労状況について、「正社員・正規職員・会社役員」との回答が84.4%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」（6.9%）などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 父親の就労状況

【山口県調査・国調査と比較】



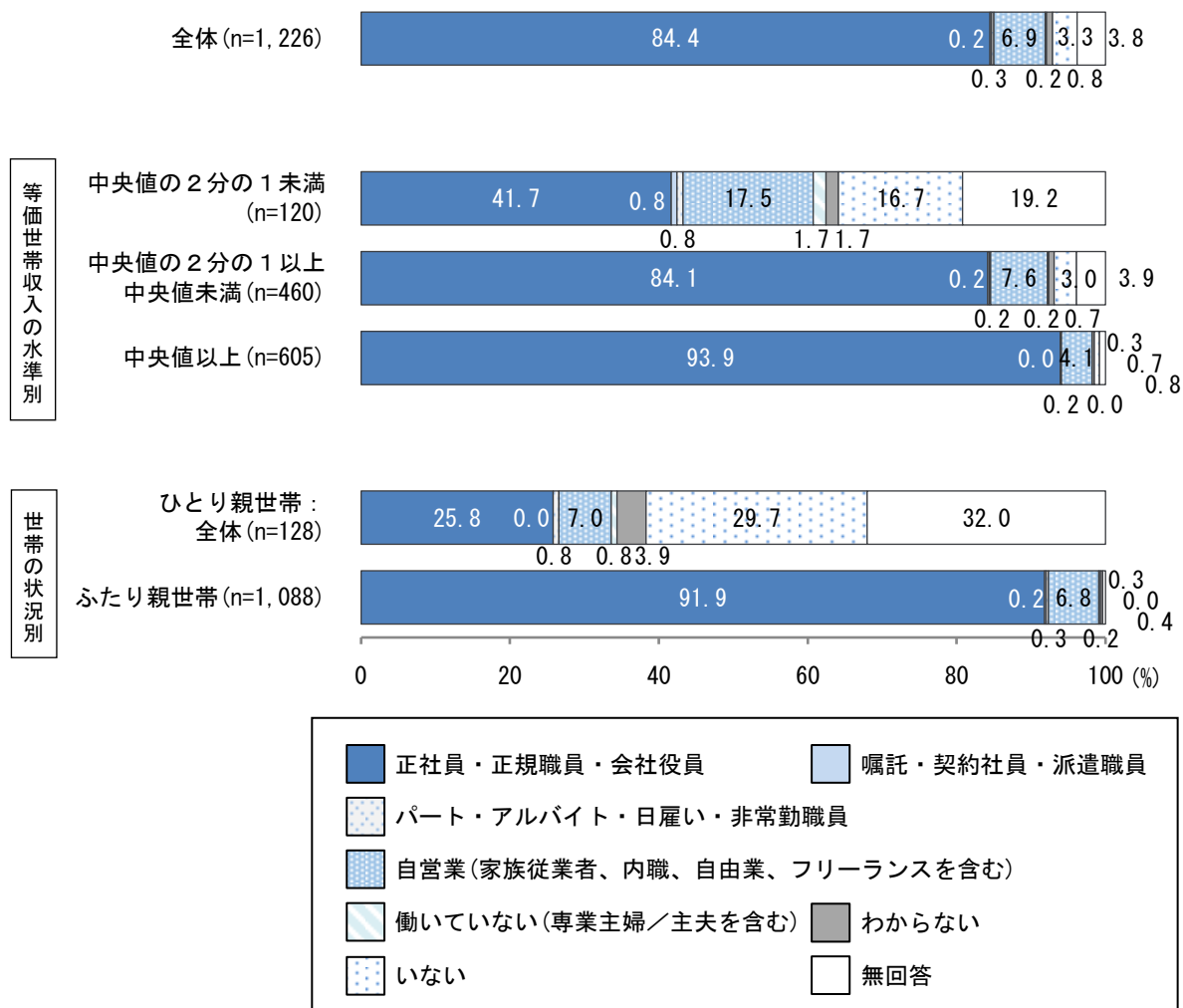
※国調査では「いない、わからない」

小学5年生を山口県調査と比較すると、「正社員・正規職員・会社役員」との回答は周南市が県を9.6ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、大きな差はみられない。

■父親の就労状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」との回答は中央値以上の世帯で93.9%、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で17.5%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」との回答はふたり親世帯で91.9%と高くなっている。

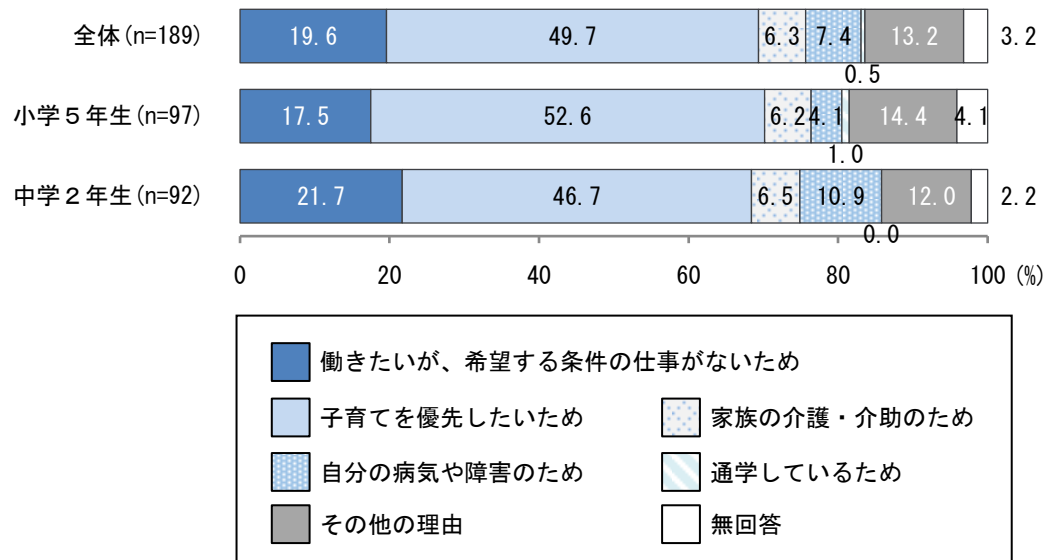
問 10 で「5 働いていない」と答えた人にお聞きします。

保護者票問 11

働いていない最も主な理由を教えてください。(SA)

■ 母親の働いていない主な理由

【全体/学年別】



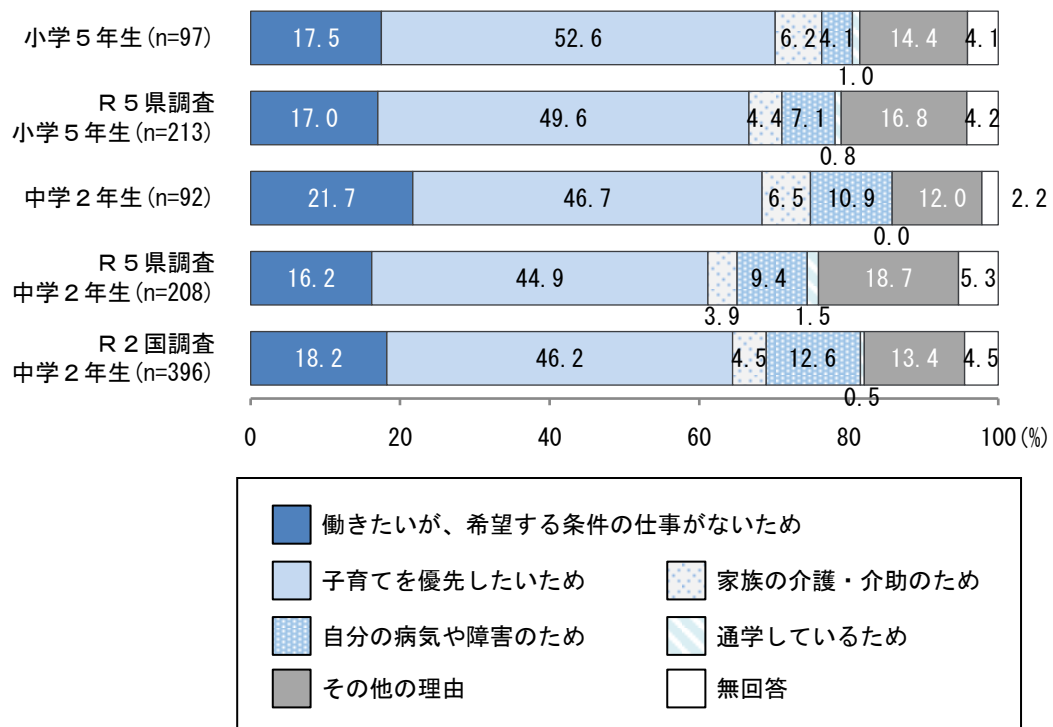
母親の働いていない主な理由について、「子育てを優先したいため」との回答が 49.7%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」(19.6%)などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

「働いていない」と回答した父親は3人であり、働いていない主な理由をたずねた問の回答者数が少ないため、回答傾向は記述しない。

■母親の働いていない主な理由

【山口県調査・国調査と比較】

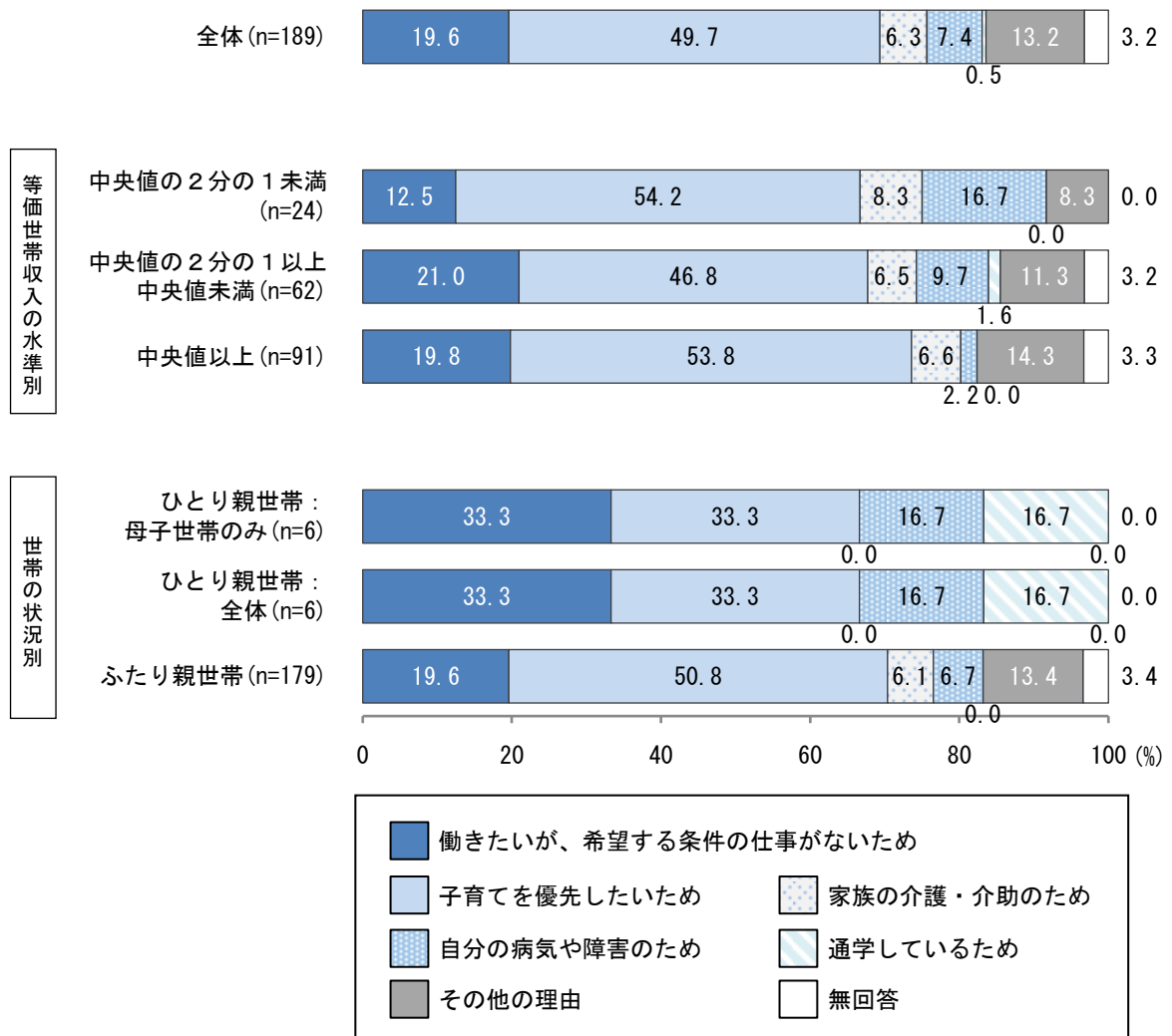


小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」との回答は周南市が県を5.5ポイント上回っている。

■ 母親の働いていない主な理由

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で12.5%と他の世帯に比べ低く、「子育てを優先したいため」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で54.2%と中央値の2分の1以上中央値未満の世帯に比べ高く、「自分の病気や障害のため」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で16.7%と他の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別については、ひとり親世帯の回答者数が少ないため、回答傾向は記述しない。

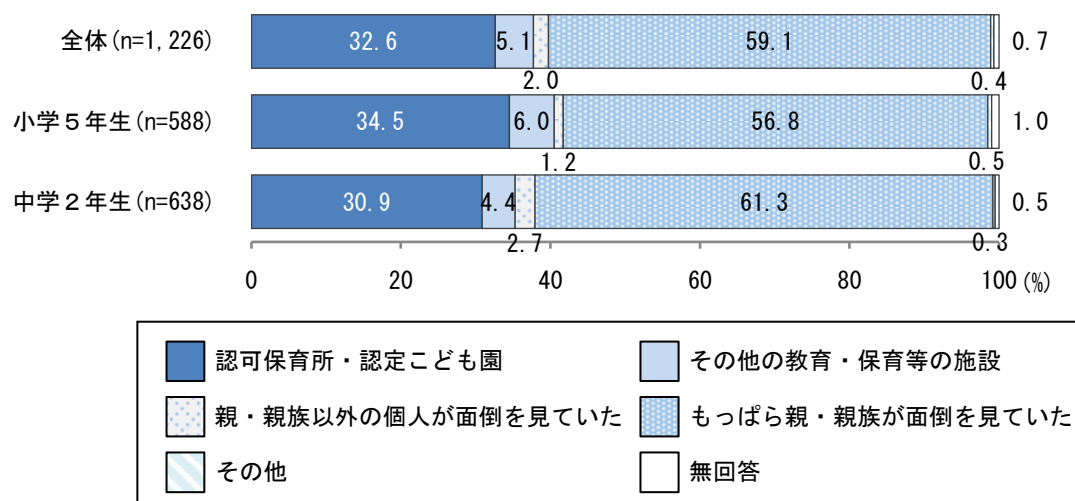
2 子どもとの関わりについて

保護者票問 12

お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

■ 0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等

【全体/学年別】

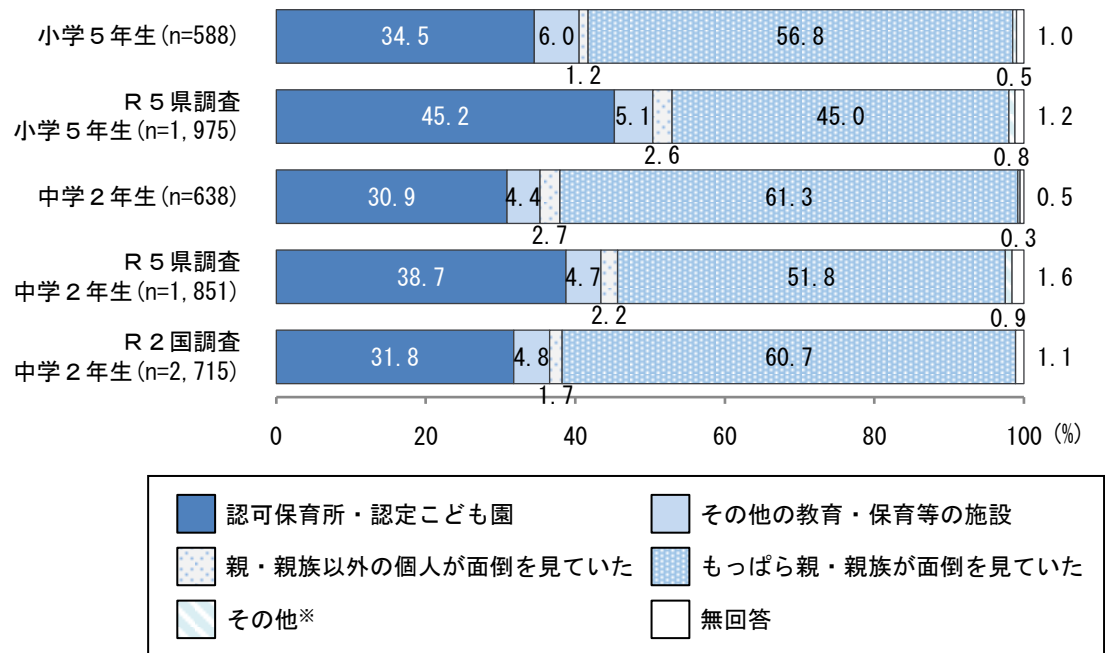


0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」との回答が59.1%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」(32.6%)、「その他の教育・保育等の施設」(5.1%)などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等

【山口県調査・国調査と比較】

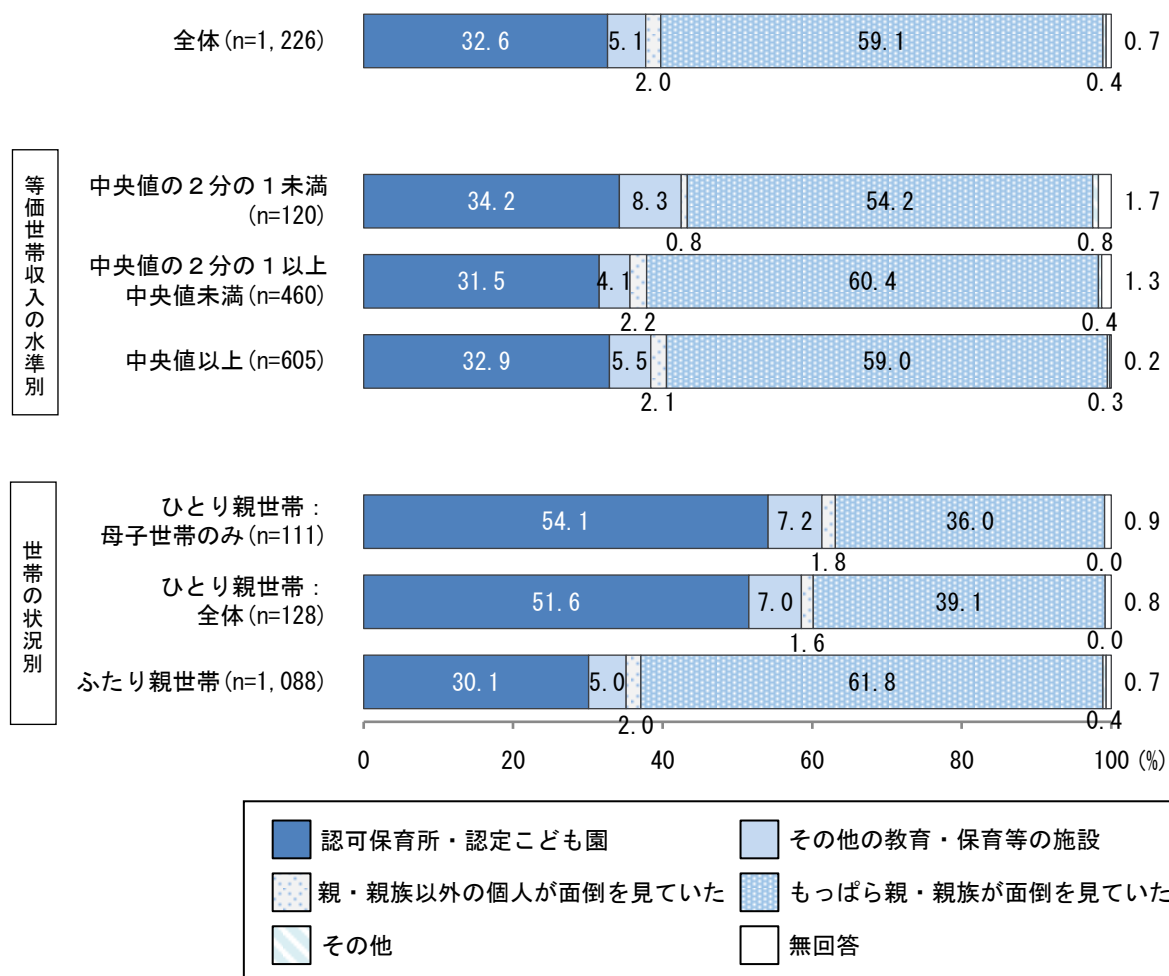


小学5年生を山口県調査と比較すると、「認可保育所・認定こども園」との回答は周南市が県を10.7ポイント下回っており、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」との回答は周南市が県を11.8ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「認可保育所・認定こども園」との回答は周南市が県を7.8ポイント下回っており、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」との回答は周南市が県を9.5ポイント上回っている。

■ 0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で54.2%と他の世帯に比べ低くなっている。

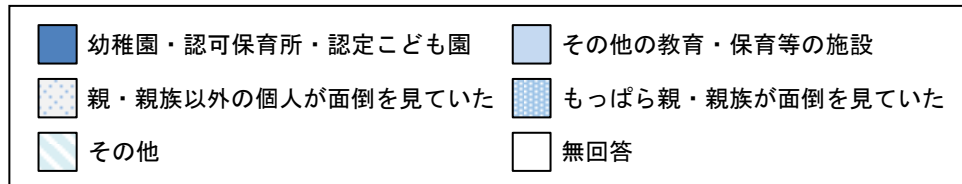
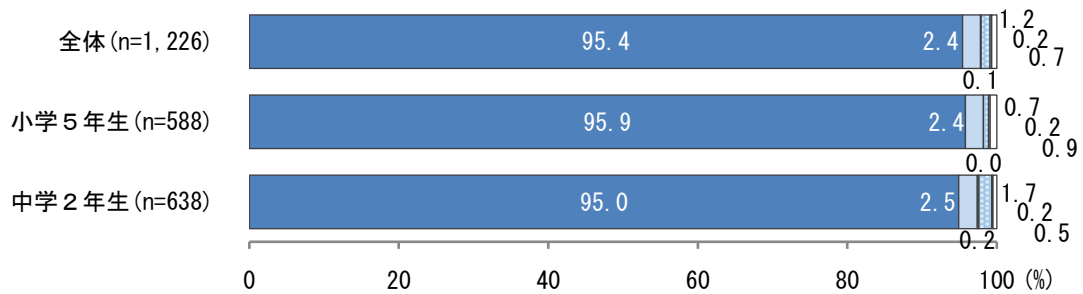
世帯の状況別にみると、「認可保育所・認定こども園」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで54.1%、ひとり親世帯全体で51.6%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

保護者票問 13

お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

■ 3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等

【全体/学年別】

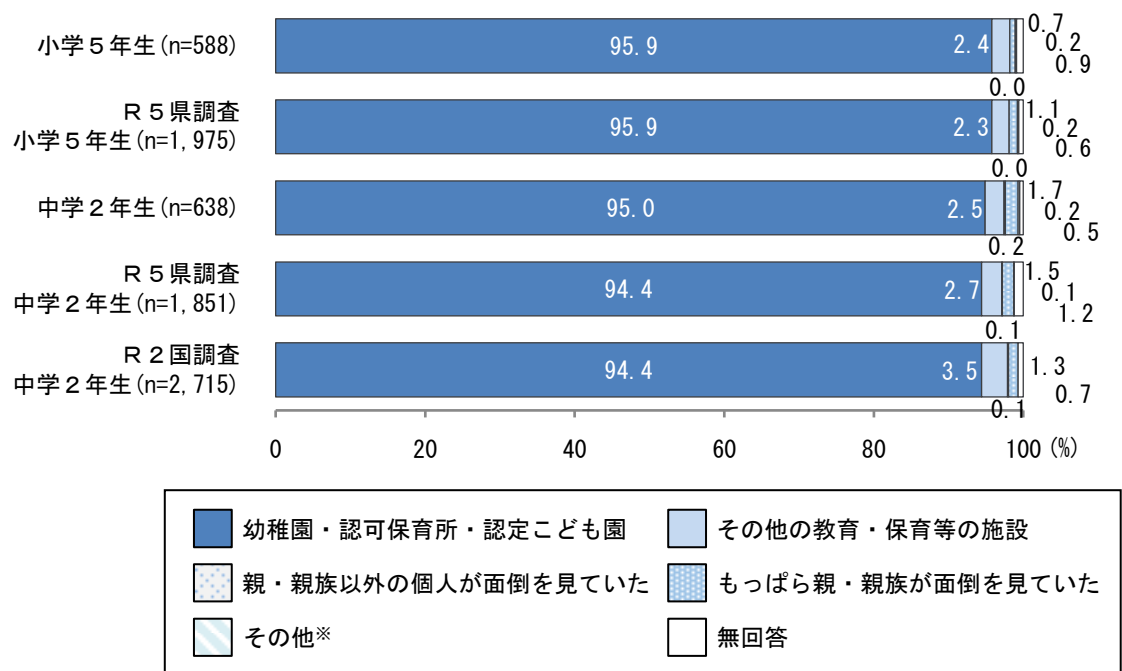


3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」との回答が95.4%と最も高くなっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等

【山口県調査・国調査と比較】

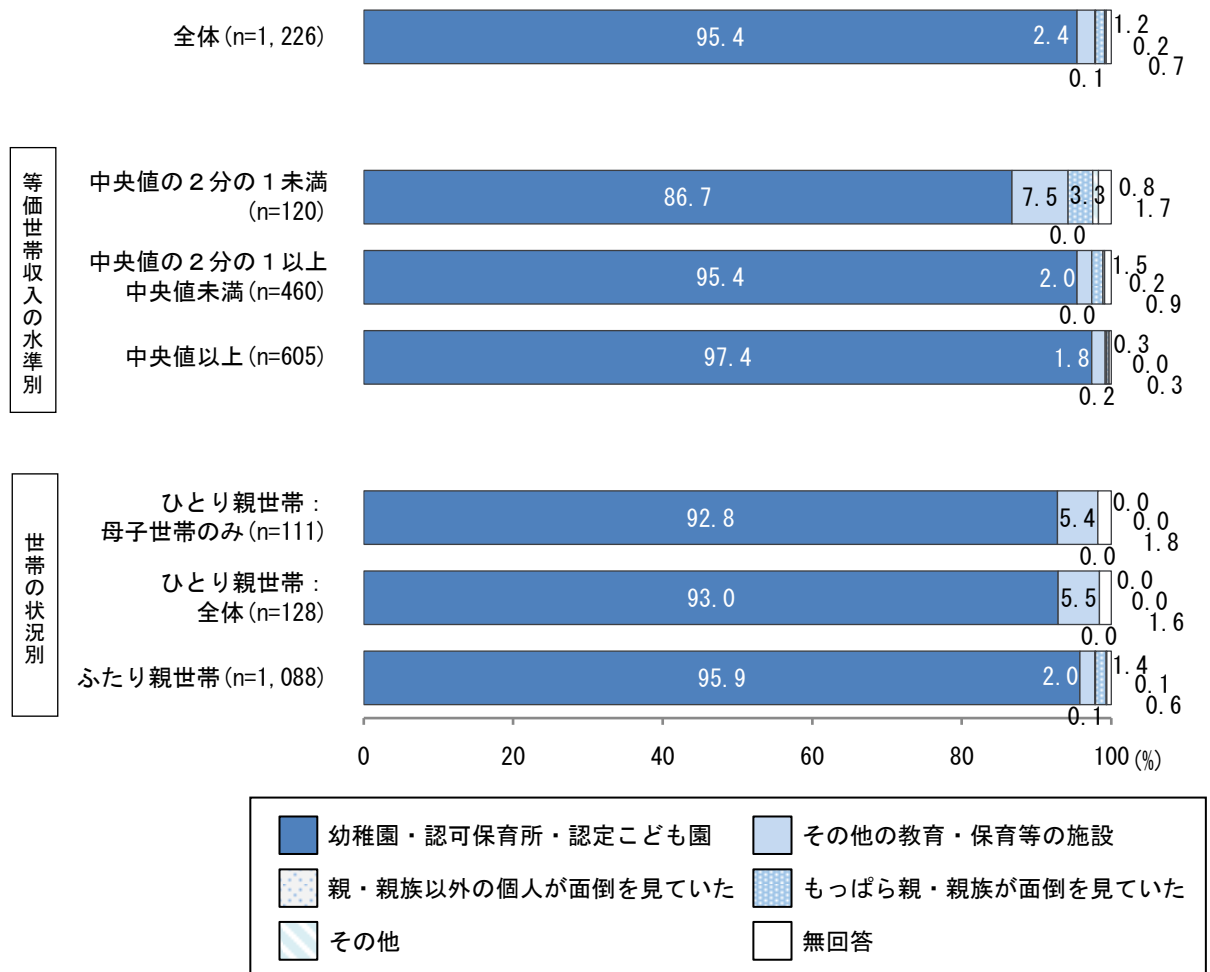


※国調査にはない選択肢

山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■ 3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で86.7%と他の世帯に比べ低く、「その他の教育・保育等の施設」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で7.5%と他の世帯に比べ高くなっている。

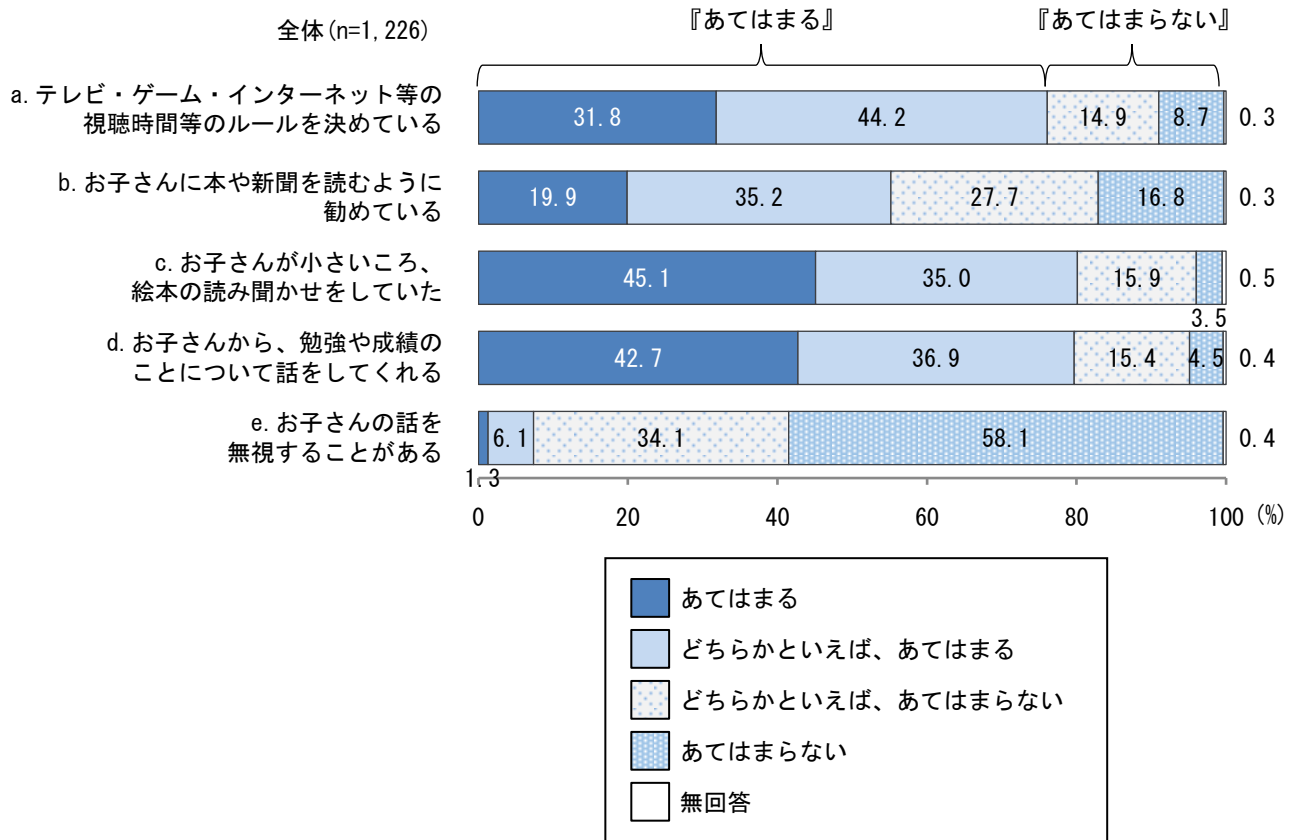
世帯の状況別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」との回答はすべての世帯で90.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

保護者票問 14

あなたとお子さんの関わり方について、以下のことにどれくらいあてはまりますか。(SA)

■子どもとの関わり方

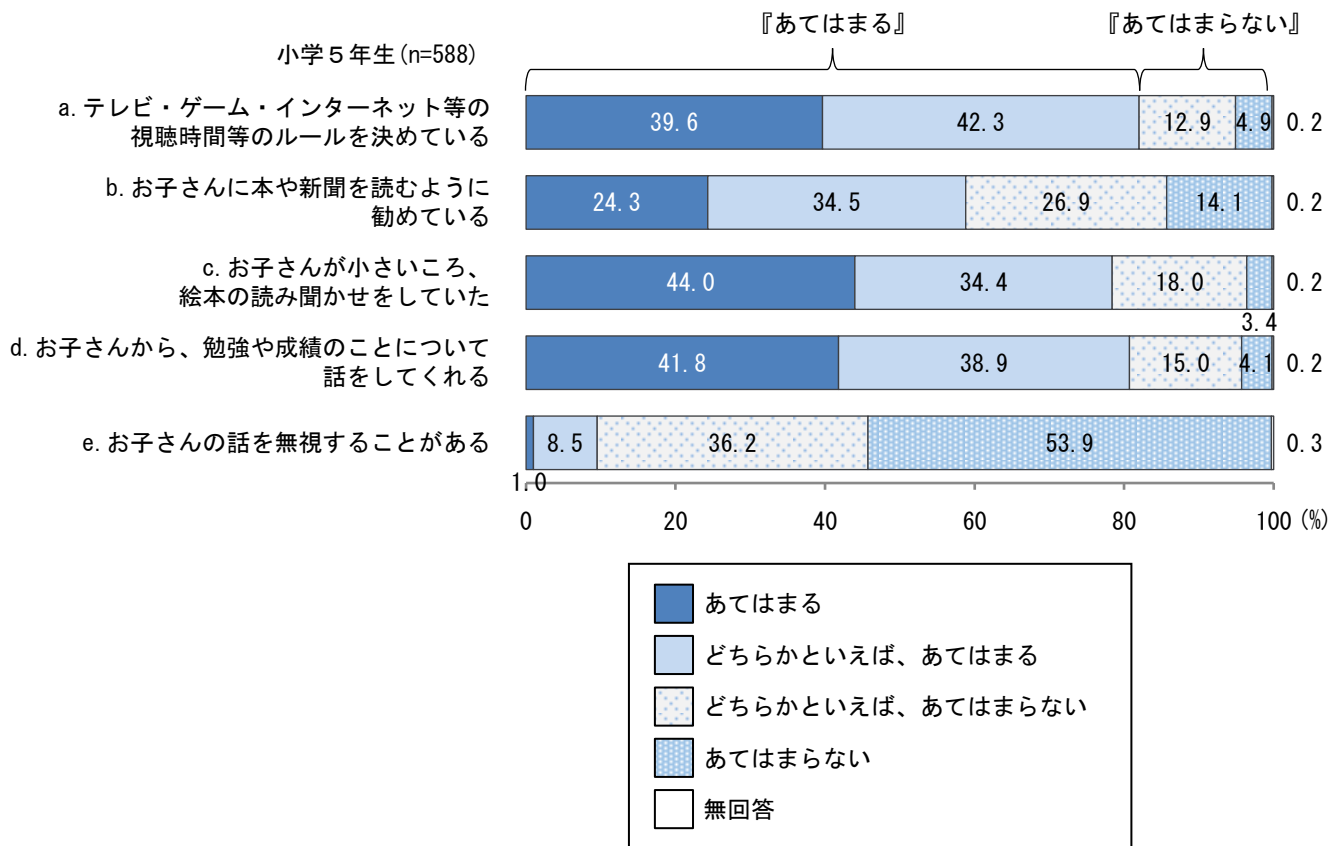
【全体】



子どもとの関わり方について、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）との回答は「c. お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」、「d. お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」の項目で 80.0%前後、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）との回答は「e. お子さんの話を無視することがある」の項目で 92.2%と高くなっている。

■子どもとの関わり方

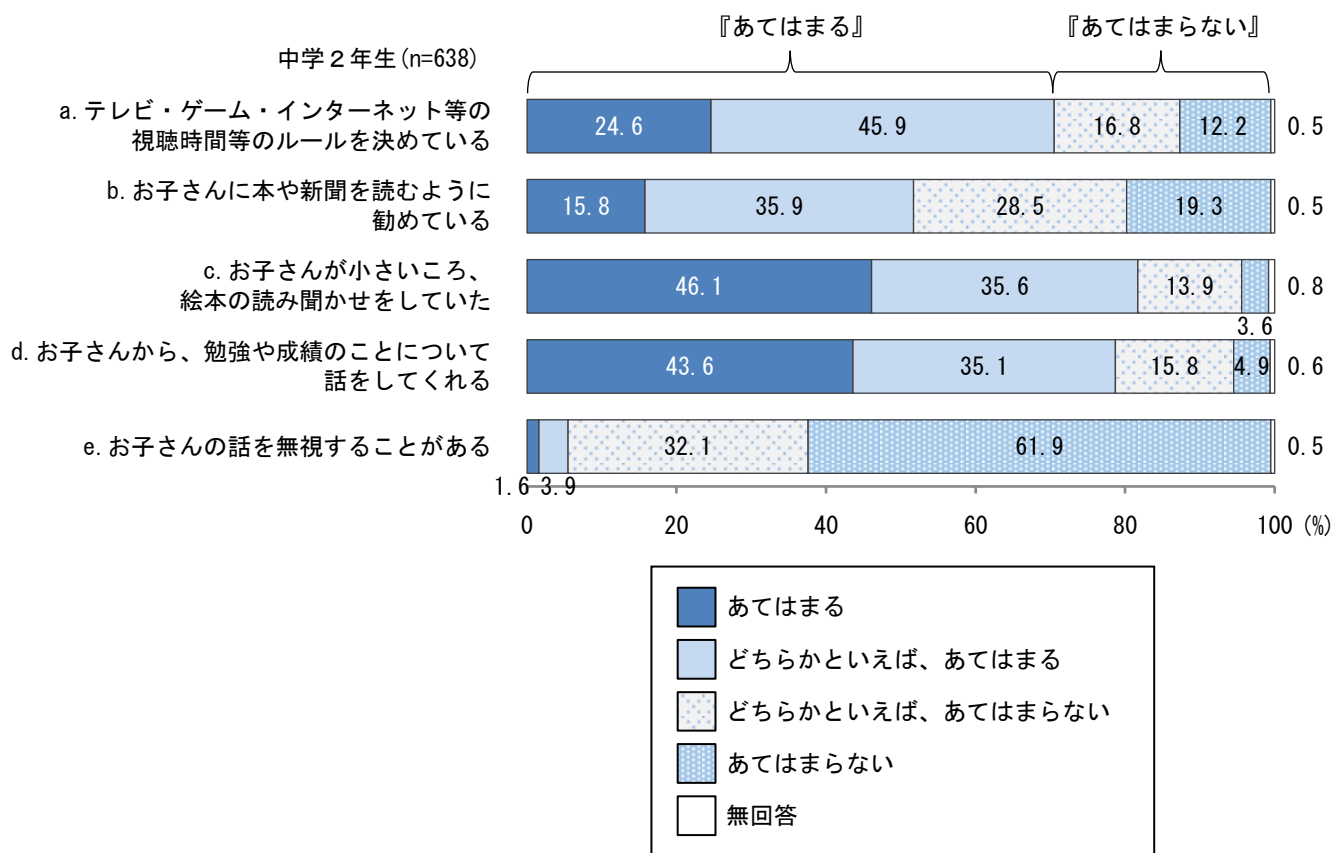
【小学5年生】



小学5年生では、『あてはまる』との回答は「a. テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」の項目で81.9%、『あてはまらない』との回答は「e. お子さんの話を無視することがある」の項目で90.1%と高くなっている。

■子どもとの関わり方

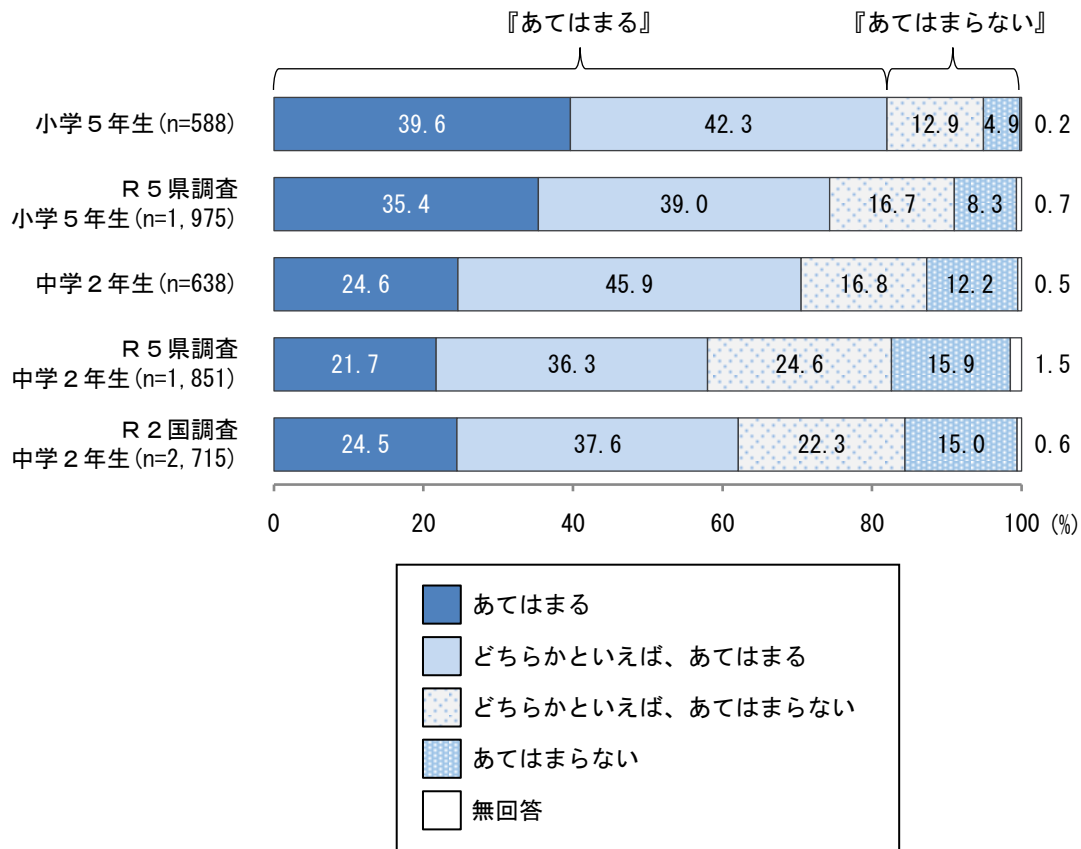
【中学2年生】



中学2年生では、『あてはまる』との回答は「c. お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」の項目で81.7%、『あてはまらない』との回答は「e. お子さんの話を無視することがある」の項目で94.0%と高くなっている。

■テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

【山口県調査・国調査と比較】

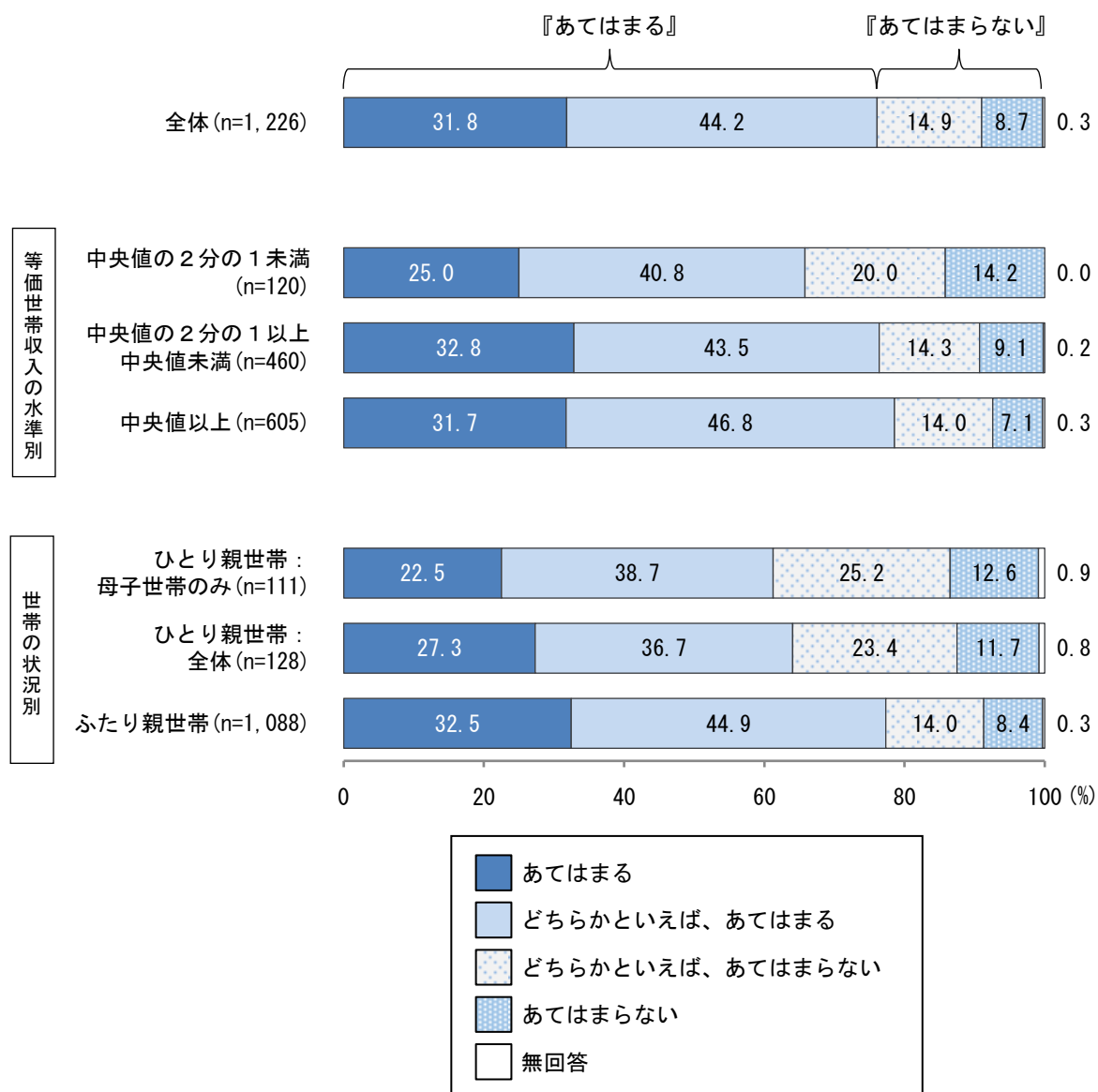


テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、小学5年生を山口県調査と比較すると、『あてはまる』との回答は周南市が県を7.5ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、『あてはまる』との回答は周南市が県を12.5ポイント、国を8.4ポイント上回っている。

■テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

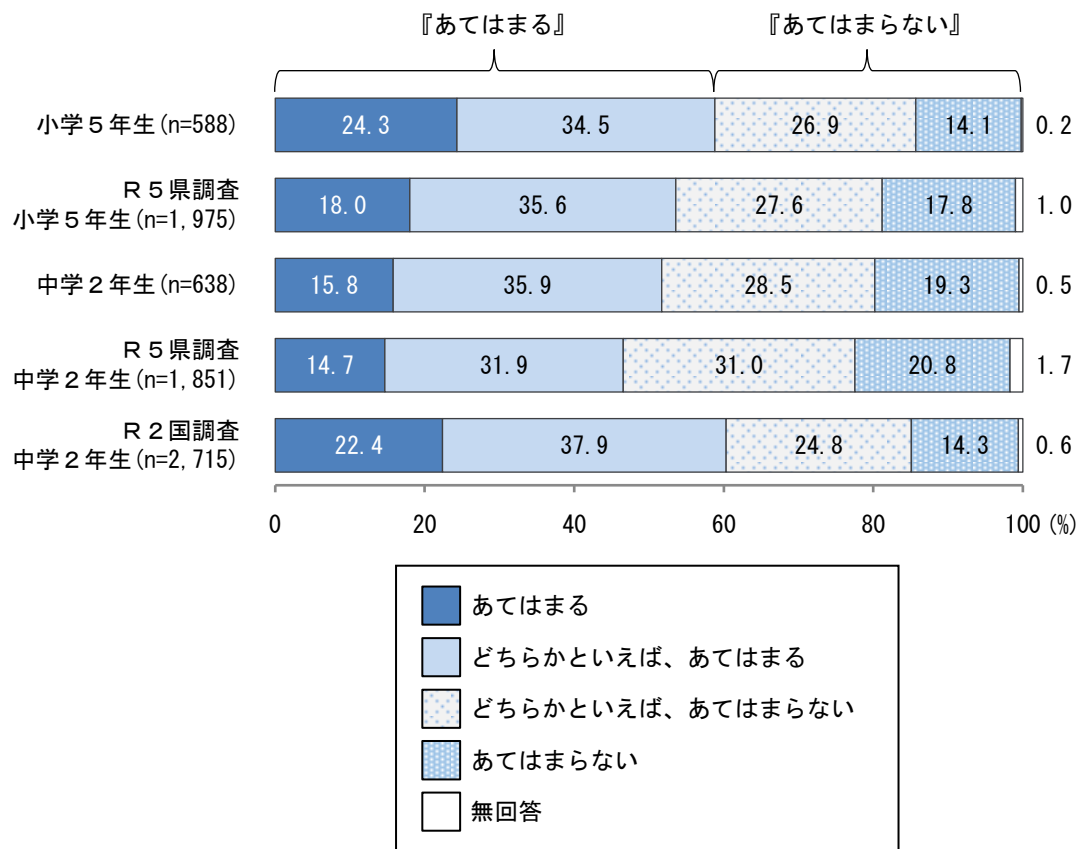


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまる』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で65.8%と他の世帯に比べ低く、等価世帯収入の水準が高いほど高くなっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまる』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで61.2%、ひとり親世帯全体で64.0%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

■ 子どもに本や新聞を読むように勧めている

【山口県調査・国調査と比較】

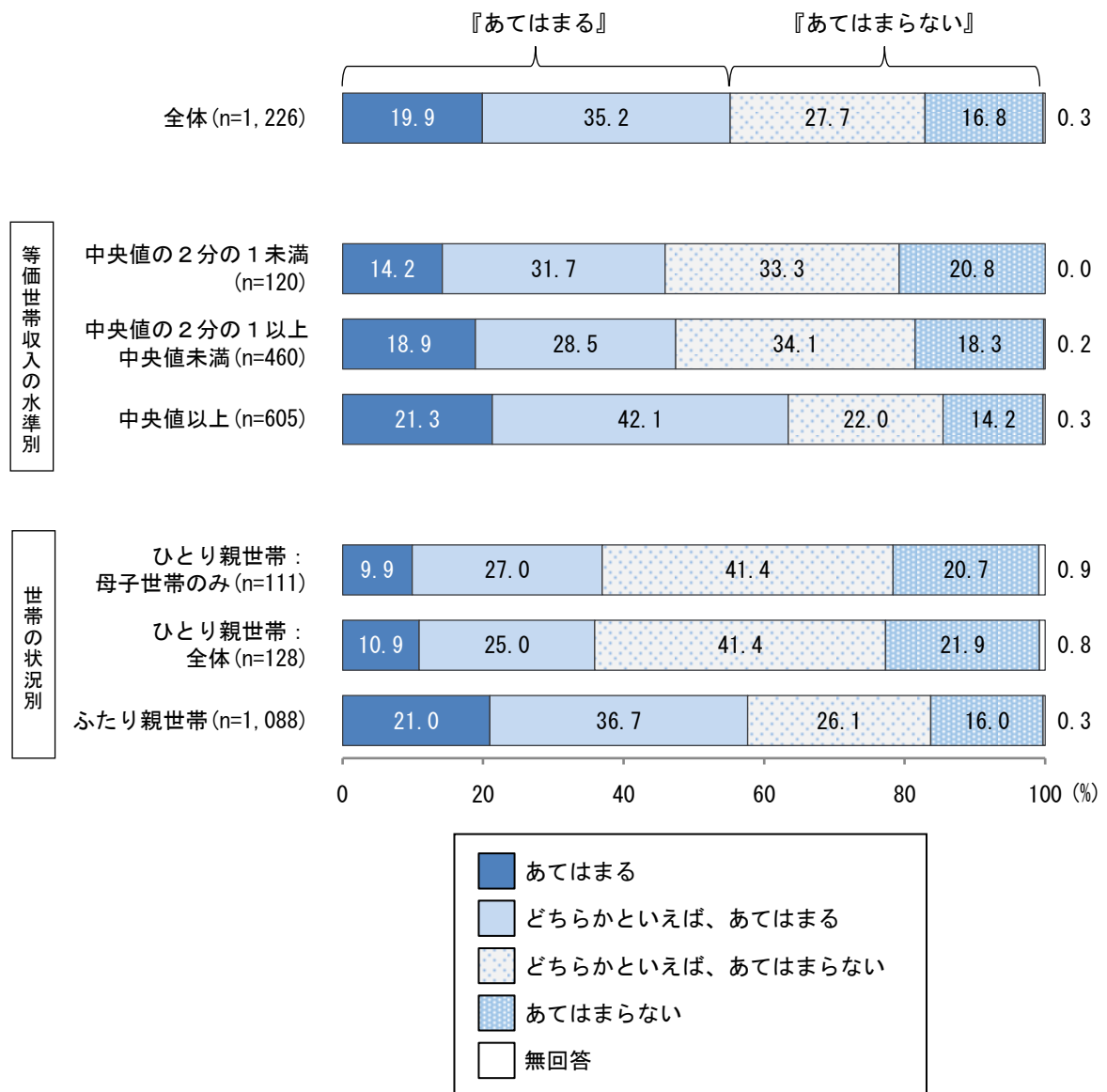


子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、小学5年生を山口県調査と比較すると、『あてはまる』との回答は周南市が県を5.2ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、『あてはまる』との回答は周南市が県を5.1ポイント上回っており、国を8.6ポイント下回っている。

■ 子どもに本や新聞を読むように勧めている

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

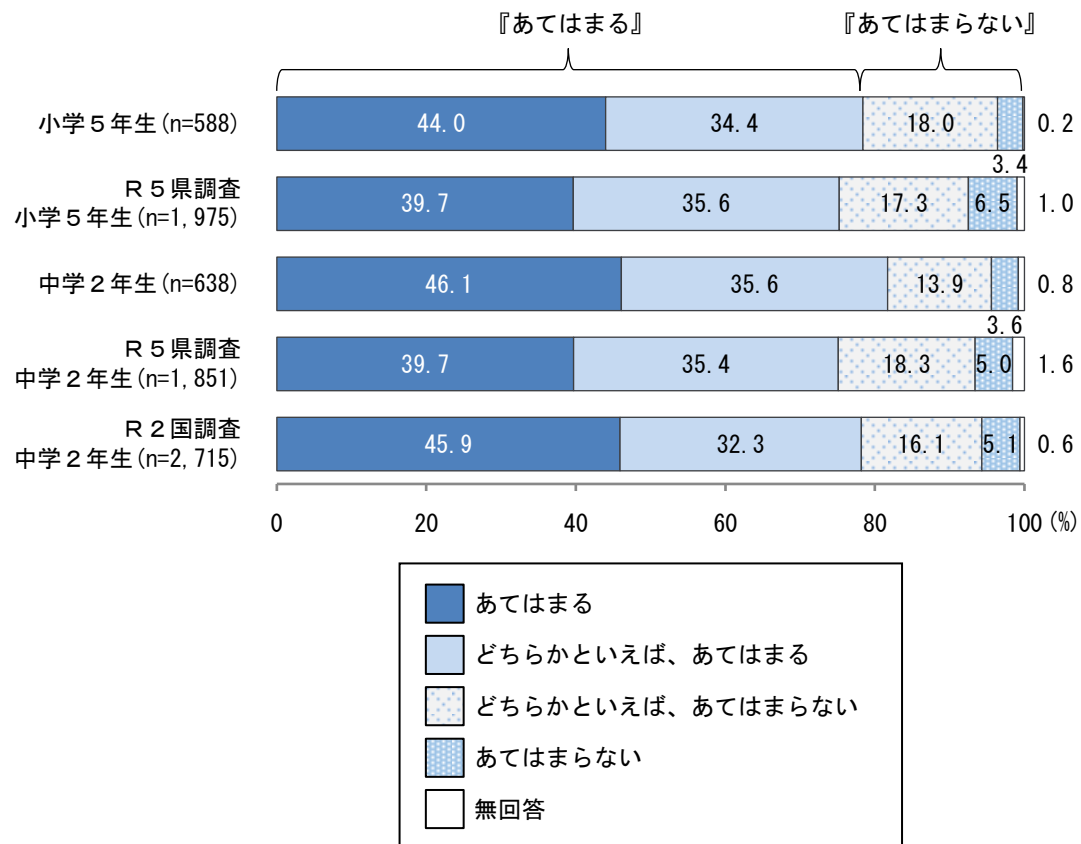


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまる』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で45.9%と中央値以上の世帯に比べ低く、等価世帯収入の水準が高いほど高くなっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまる』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで36.9%、ひとり親世帯全体で35.9%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

■子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

【山口県調査・国調査と比較】

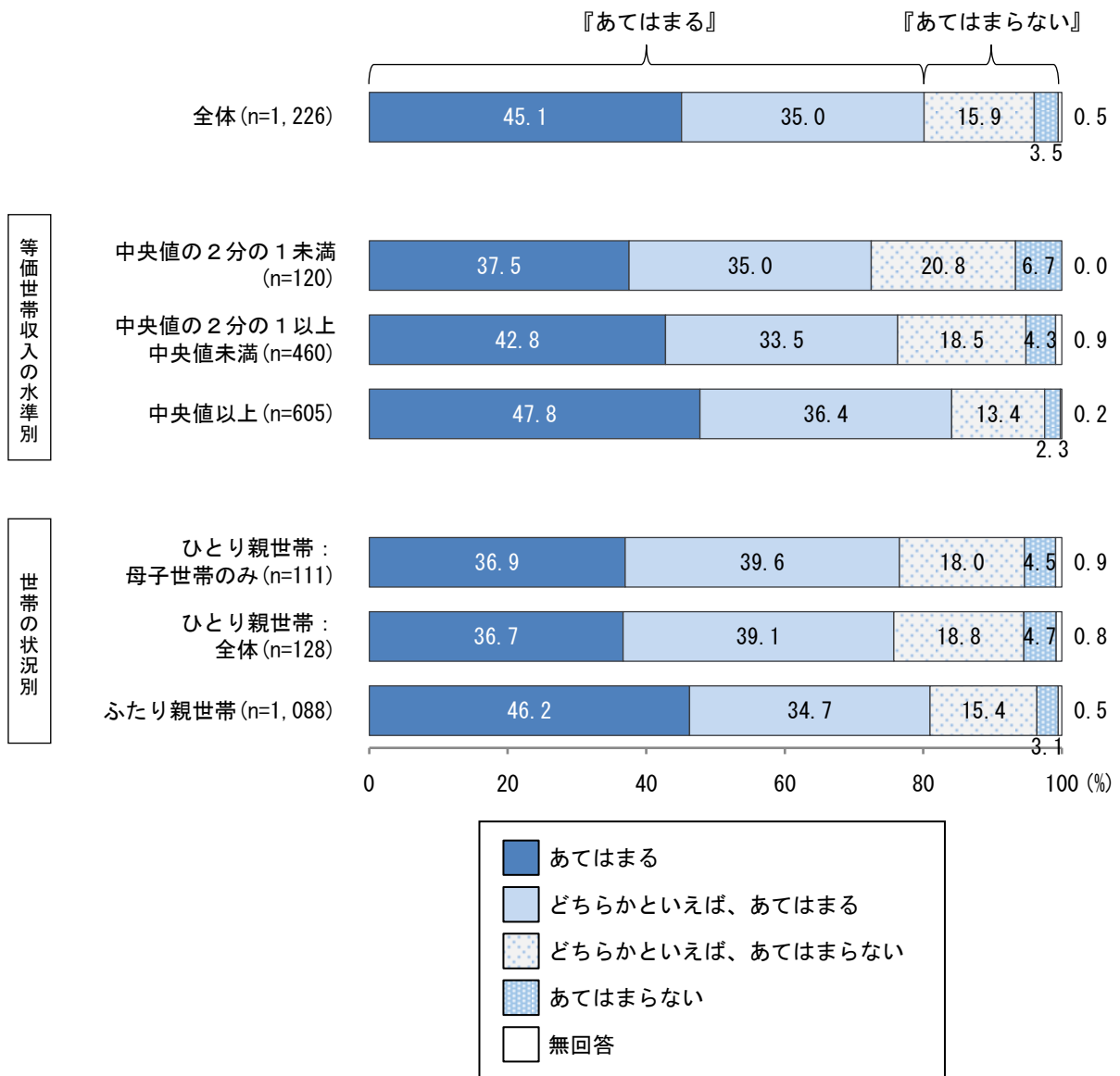


子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、『あてはまる』との回答は周南市が県を6.6ポイント上回っている。

■子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

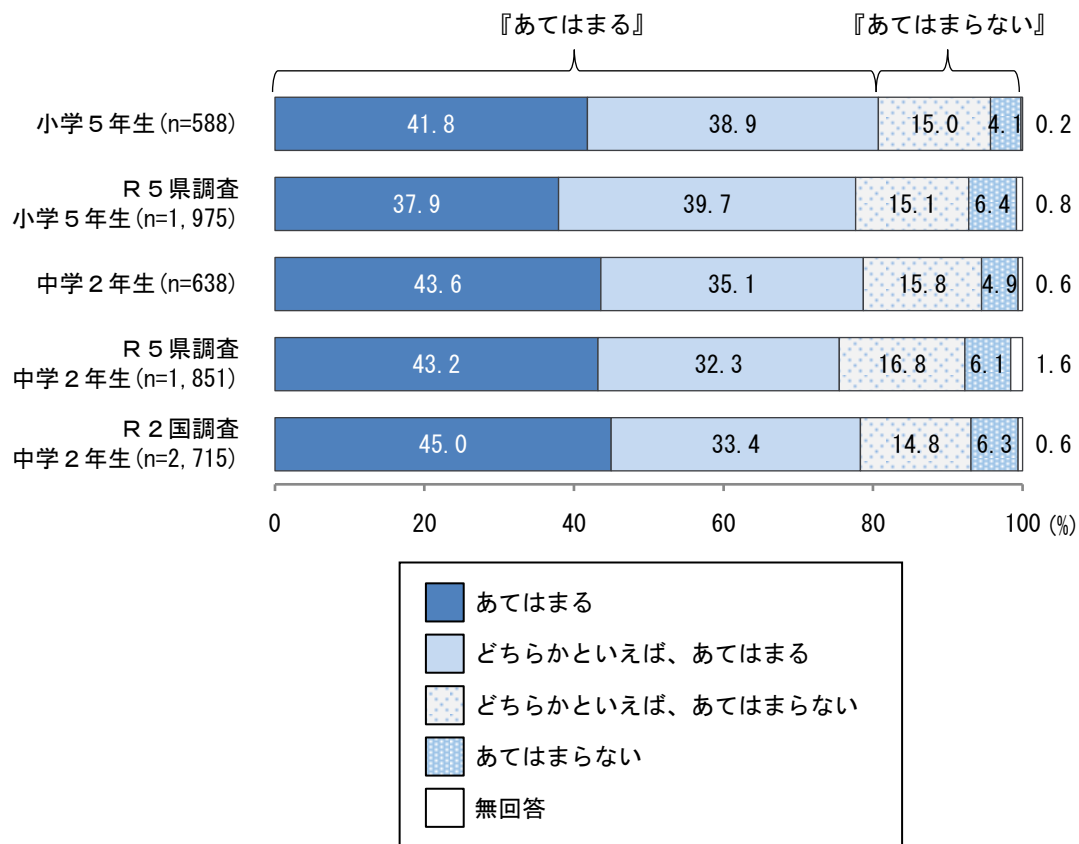


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまる』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で72.5%と中央値以上の世帯に比べ低く、等価世帯収入の水準が高いほど高くなっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまる』との回答はひとり親世帯全体で75.8%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

■ 子どもから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

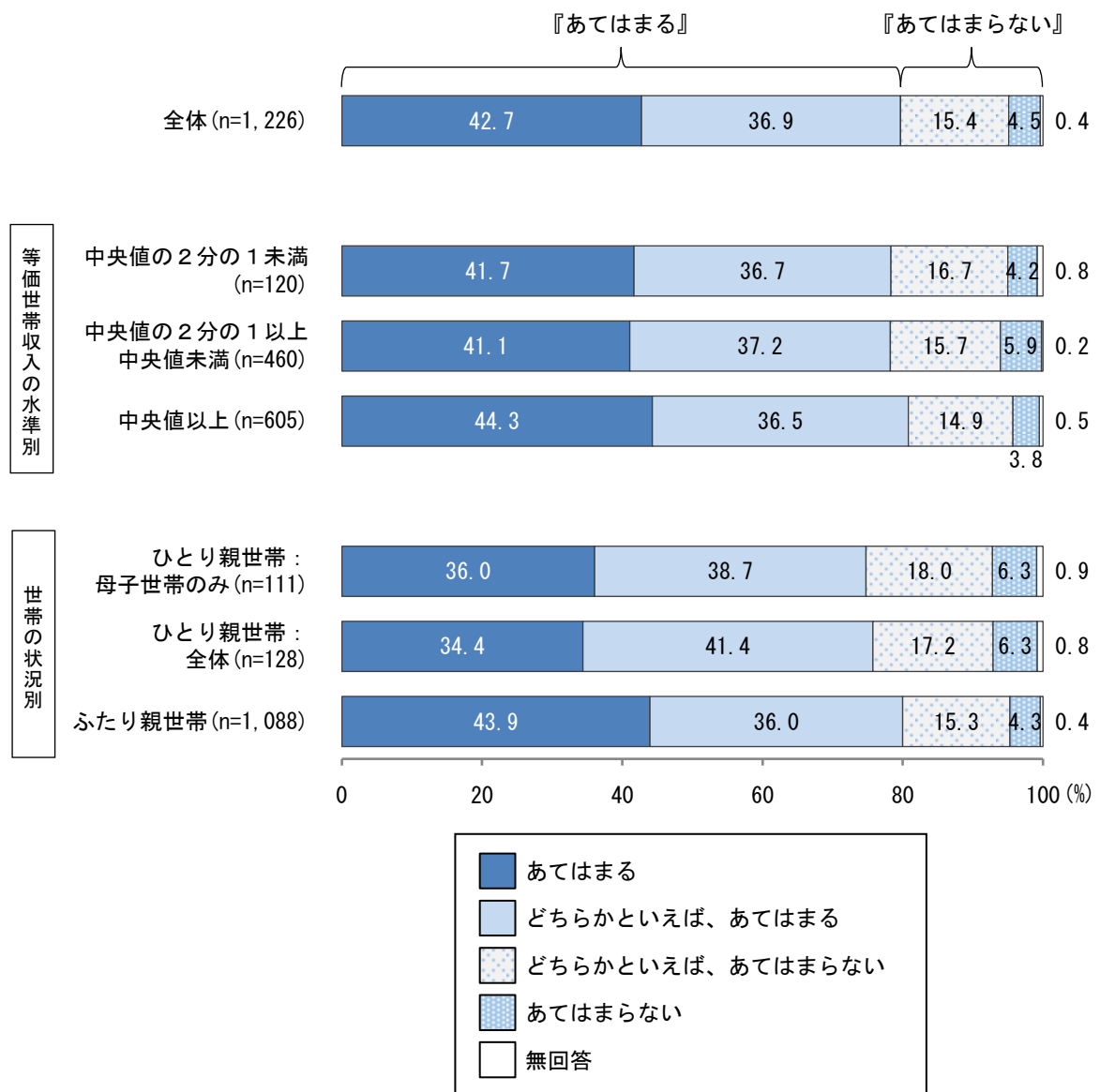
【山口県調査・国調査と比較】



子どもから、勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■ 子どもから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

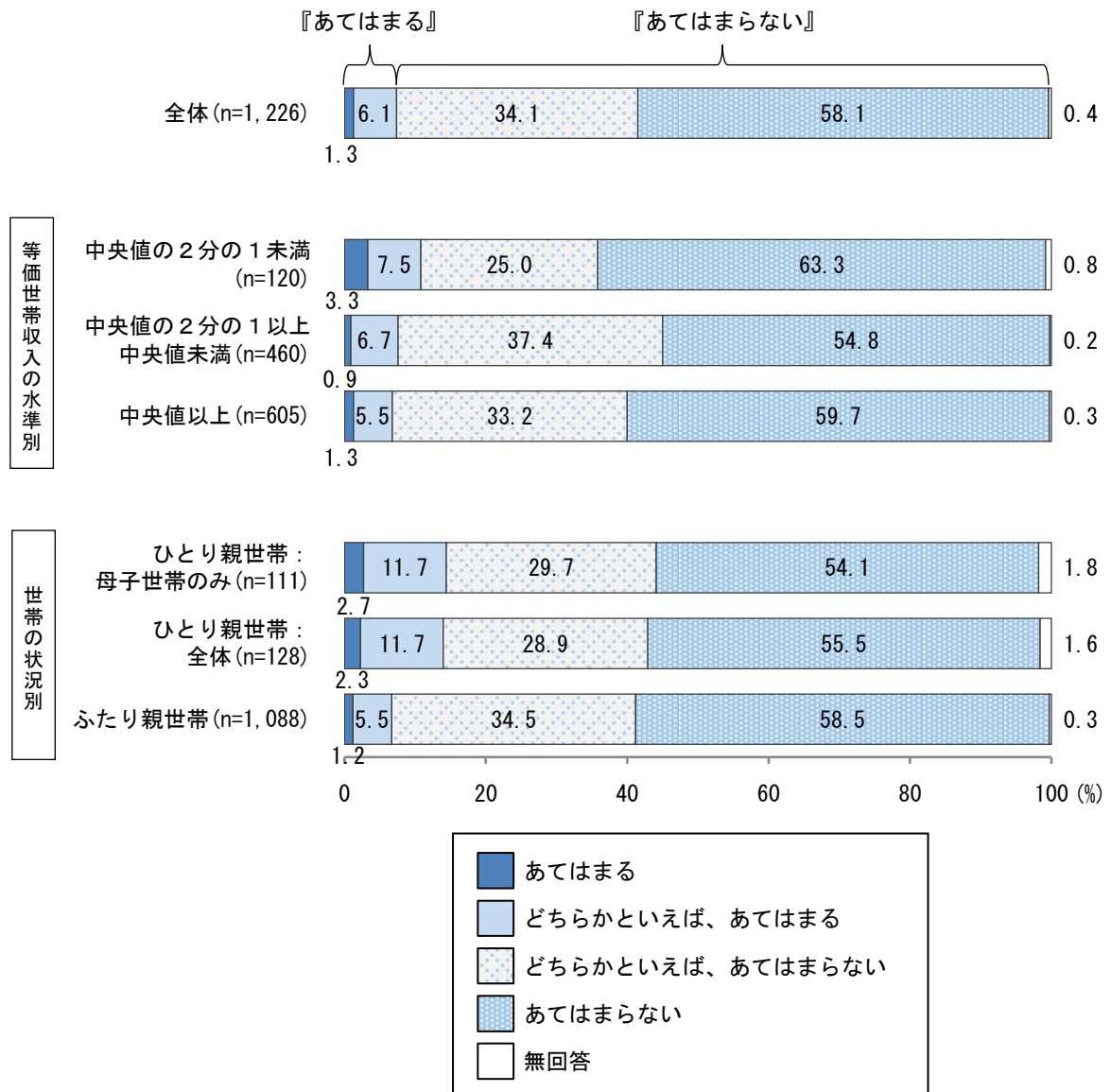


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまる』との回答はすべての世帯で80.0%前後となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、『あてはまる』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで74.7%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

■ 子どもの話を無視することがある

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



子どもの話を無視することがあるかについて、等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』との回答はすべての世帯で90.0%前後となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

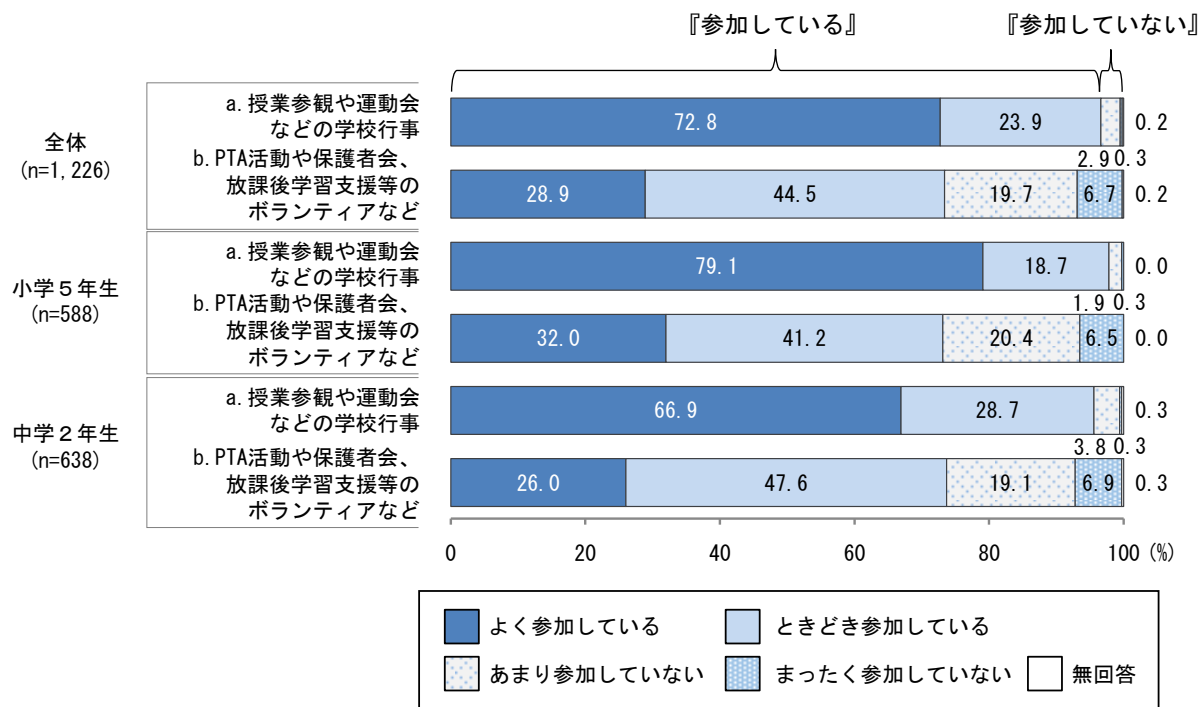
世帯の状況別にみると、『あてはまらない』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで83.8%、ひとり親世帯全体で84.4%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

保護者票問 15

あなたは以下のことにどの程度参加していますか。(SA)

■ 学校行事への参加状況

【全体/学年別】

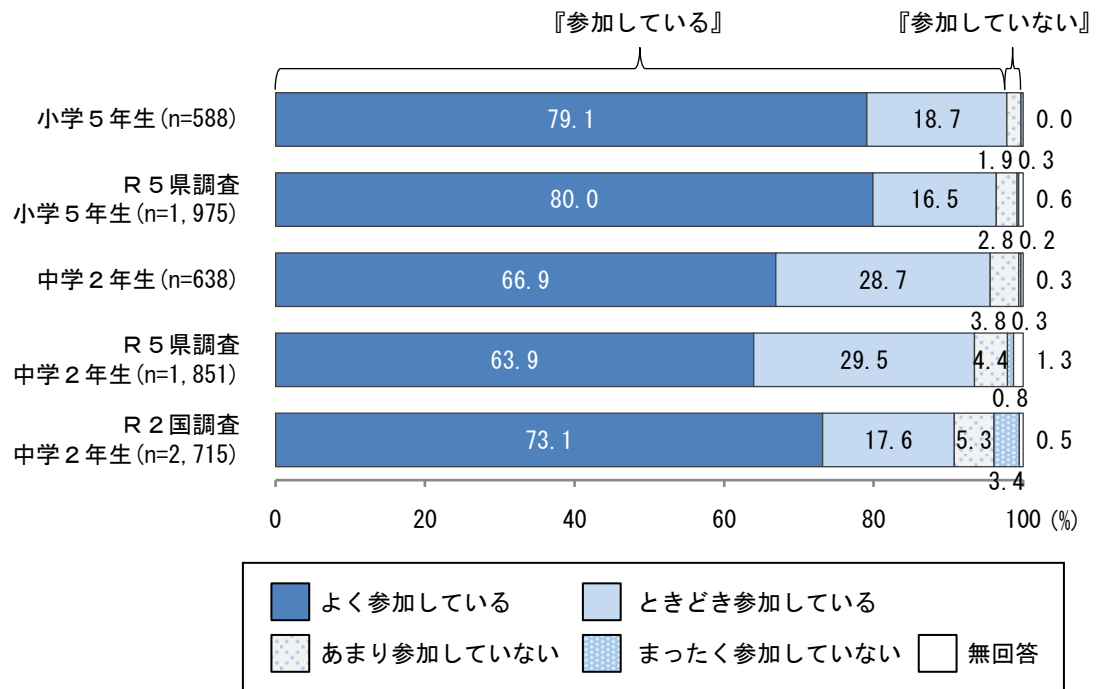


学校行事への参加状況について、『参加している』（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）との回答は「a. 授業参観や運動会などの学校行事」の項目で96.7%、「b. PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど」の項目で73.4%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 授業参観や運動会などの学校行事

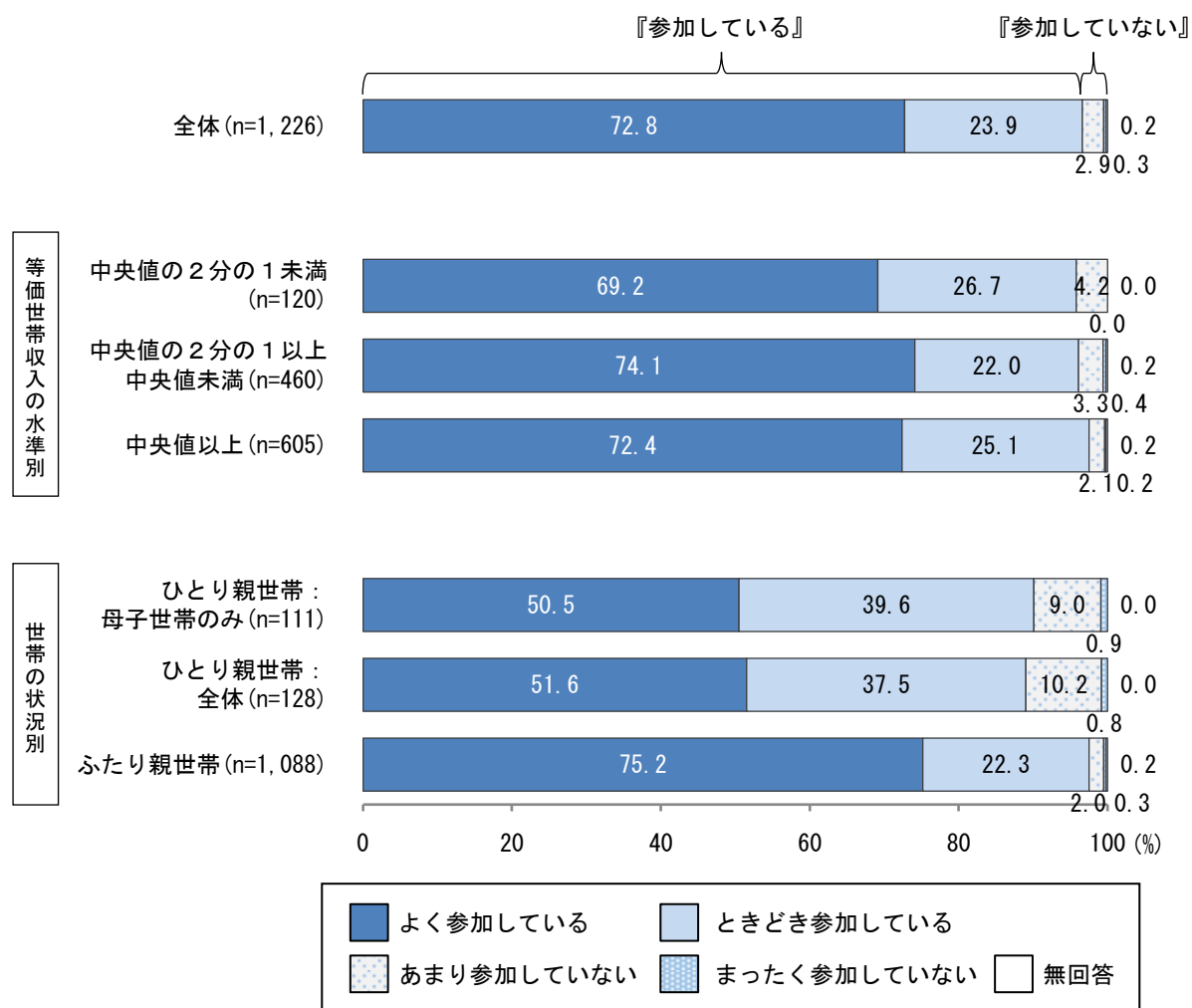
【山口県調査・国調査と比較】



授業参観や運動会などの学校行事の参加状況について、山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■授業参観や運動会などの学校行事

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

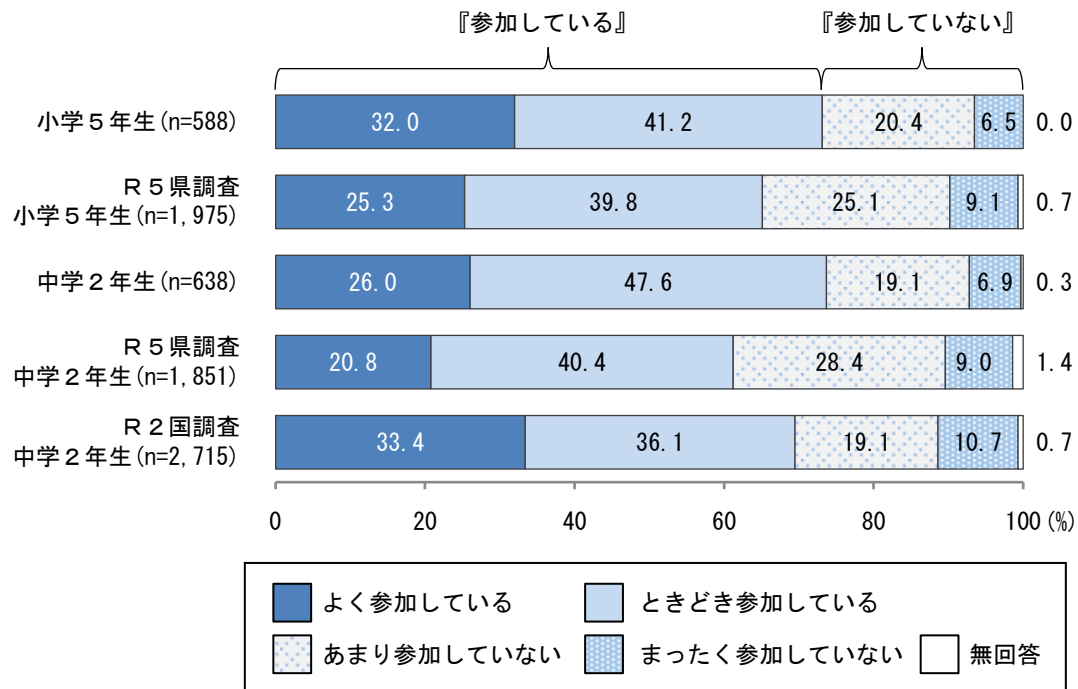


等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』との回答はすべての世帯で95.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、『参加している』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで90.1%、ひとり親世帯全体で89.1%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

■ PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど

【山口県調査・国調査と比較】

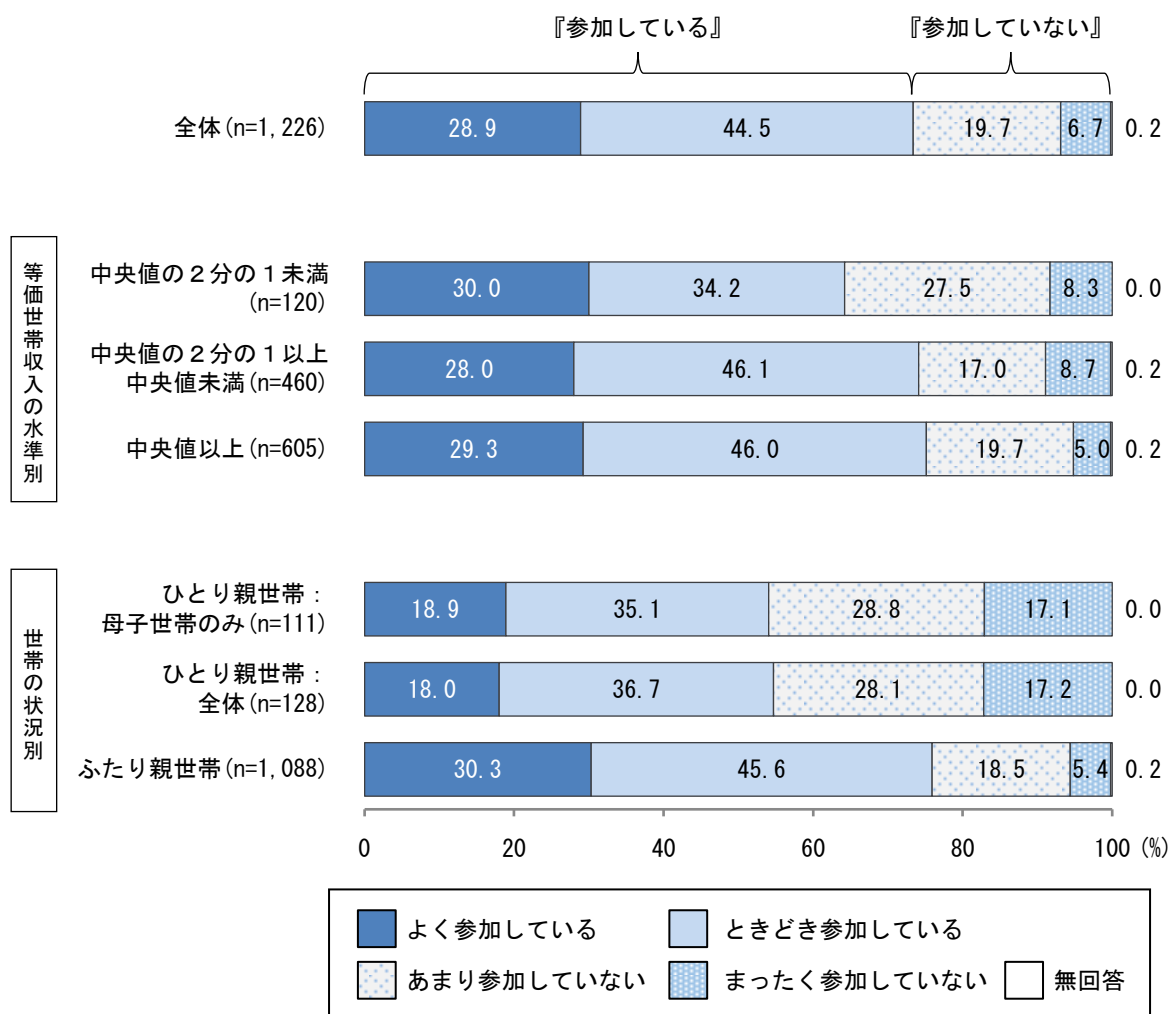


PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどの参加状況について、小学5年生を山口県調査と比較すると、『参加している』との回答は周南市が県を 8.1 ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、『参加している』との回答は周南市が県を 12.4 ポイント上回っている。

■ PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で64.2%と他の世帯に比べ低く、等価世帯収入の水準が高いほど高くなっている。

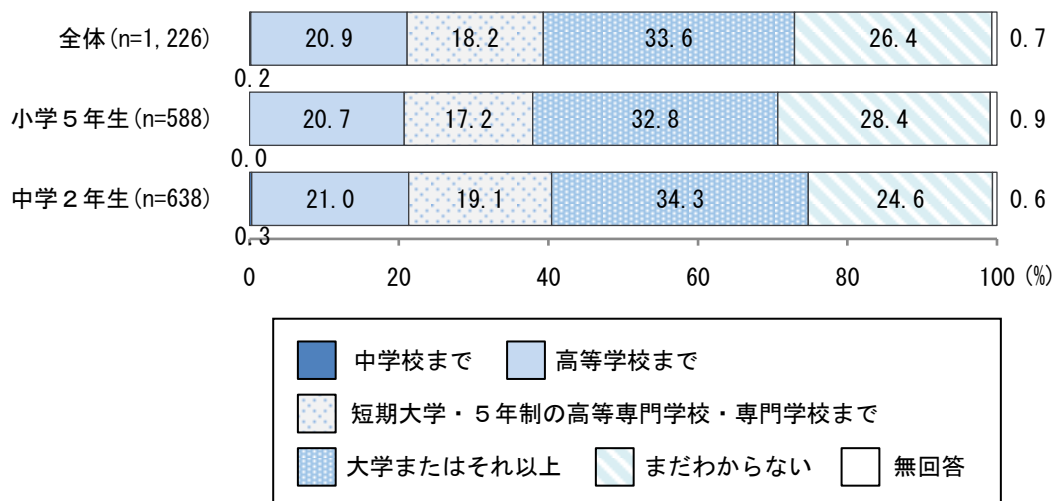
世帯の状況別にみると、『参加している』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで54.0%、ひとり親世帯全体で54.7%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

保護者票問 16

お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(SA)

■ 想定している子どもの最終学歴

【全体/学年別】

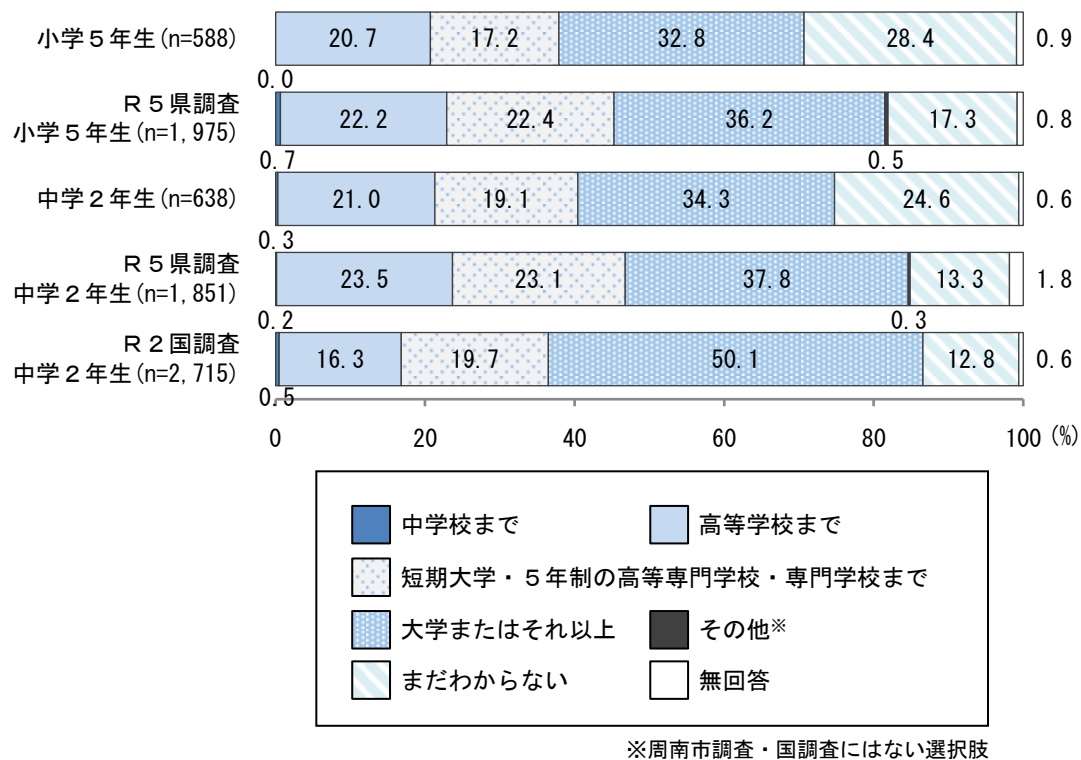


想定している子どもの最終学歴について、「高等学校まで」との回答が20.9%、「短期大学・5年制の高等専門学校・専門学校まで」との回答が18.2%、「大学またはそれ以上」との回答が33.6%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 想定している子どもの最終学歴

【山口県調査・国調査と比較】

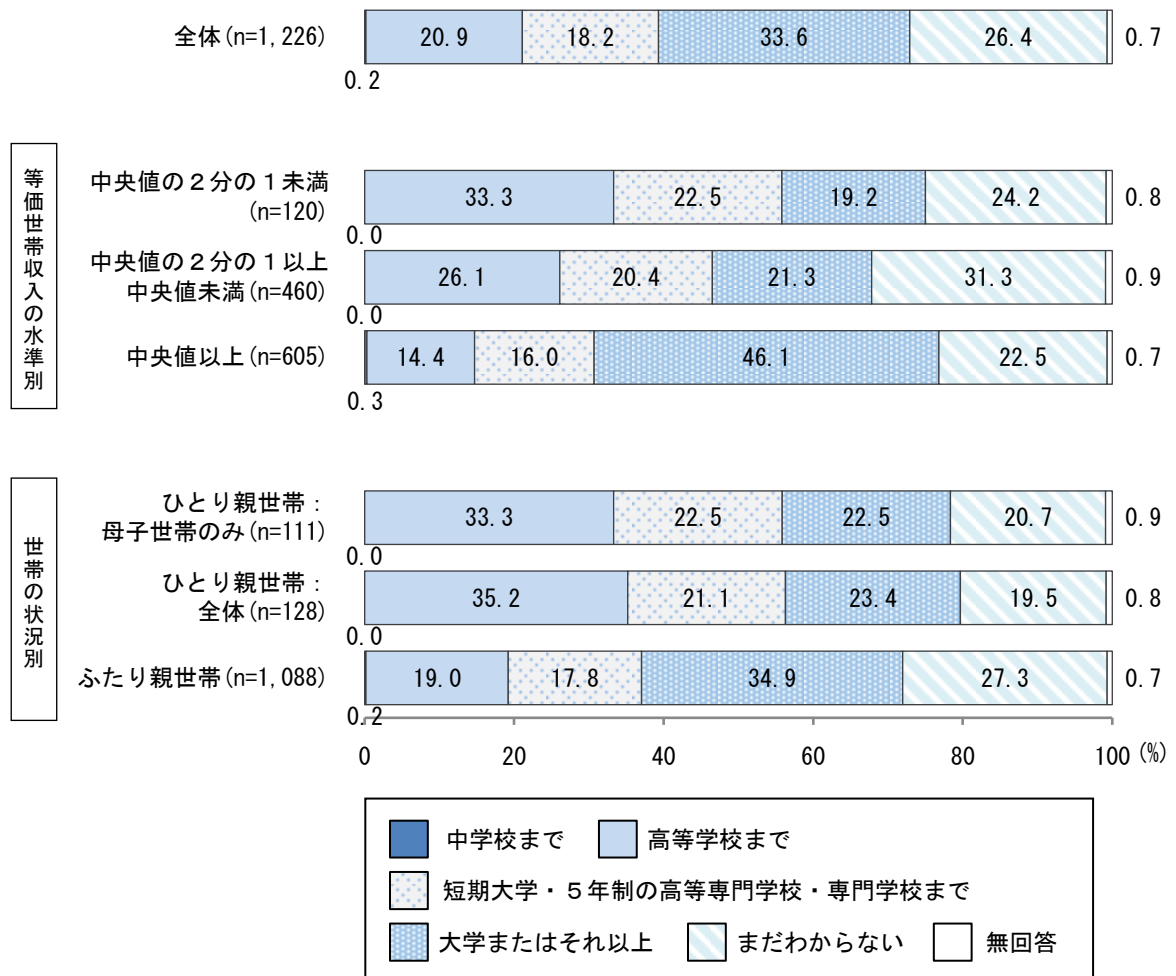


小学5年生を山口県調査と比較すると、「短期大学・5年制の高等専門学校・専門学校まで」との回答は周南市が県を5.2ポイント下回っており、「まだわからない」との回答は周南市が県を11.1ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「大学またはそれ以上」との回答は周南市が国を15.8ポイント下回っており、「まだわからない」との回答は周南市が県を11.3ポイント、国を11.8ポイント上回っている。

■ 想定している子どもの最終学歴

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「高等学校まで」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で33.3%と他の世帯に比べ高く、「大学またはそれ以上」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で19.2%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

世帯の状況別にみると、「高等学校まで」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで33.3%、ひとり親世帯全体で35.2%とふたり親世帯に比べ高く、「大学またはそれ以上」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで22.5%、ひとり親世帯全体で23.4%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

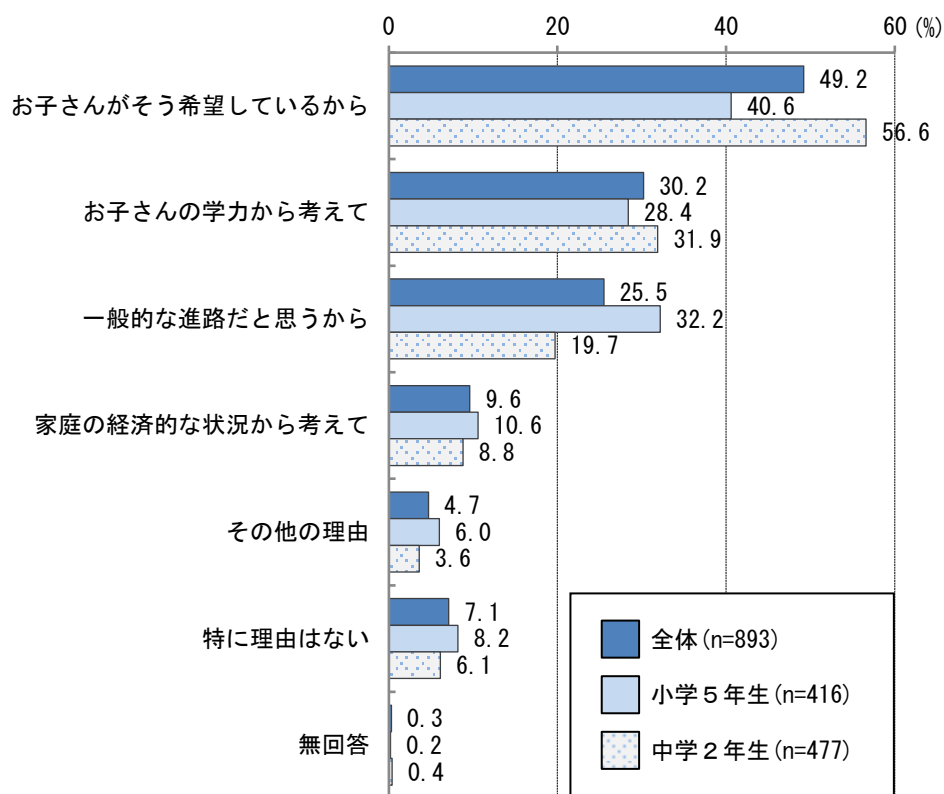
問 16 で「1 ～ 4 」と答えた人にお聞きます。

保護者票問 17

その理由を教えてください。(MA)

■ 想定している学校に進学すると考えている理由

【全体/学年別】



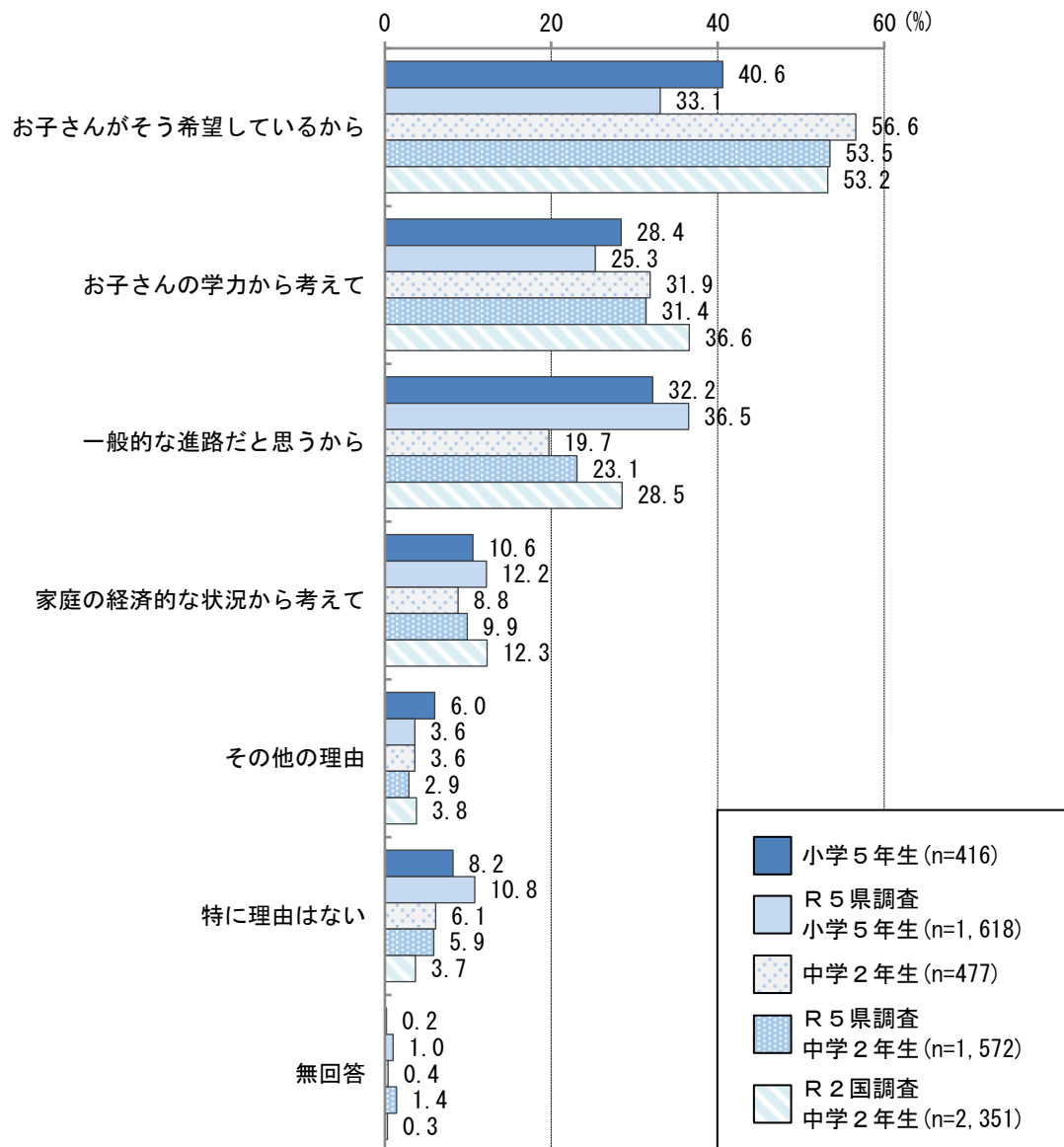
想定している学校に進学すると考えている理由について、「お子さんがそう希望しているから」との回答が49.2%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」(30.2%)、「一般的な進路だと思うから」(25.5%)などの順となっている。

小学5年生では、「お子さんがそう希望しているから」との回答が40.6%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」(32.2%)、「お子さんの学力から考えて」(28.4%)などの順となっている。

中学2年生では、「お子さんがそう希望しているから」との回答が56.6%と全体に比べ高く、「一般的な進路だと思うから」との回答が19.7%と全体に比べ低いものの、おおむね全体と同様の傾向となっている。

■ 想定している学校に進学すると考えている理由

【山口県調査・国調査と比較】

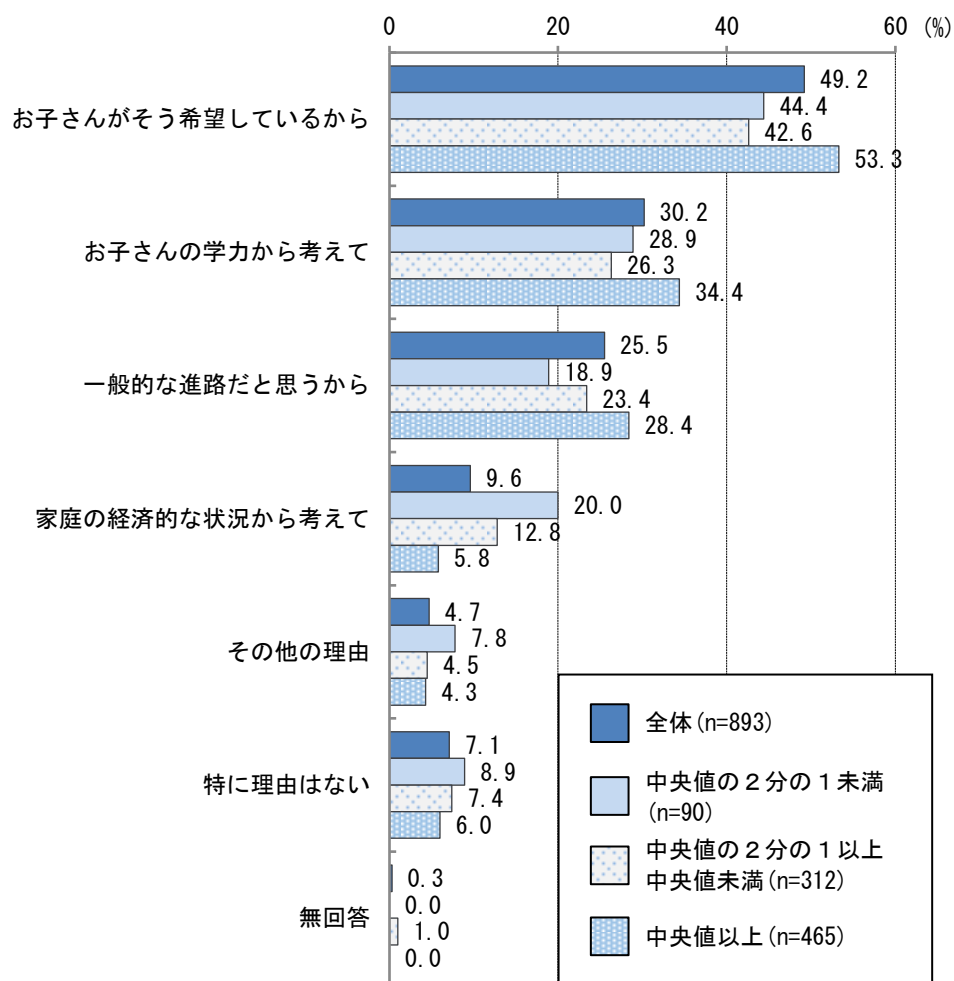


小学5年生を山口県調査と比較すると、「お子さんがそう希望しているから」との回答は周南市が県を7.5ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「一般的な進路だと思うから」との回答は周南市が国を8.8ポイント下回っている。

■ 想定している学校に進学すると考えている理由

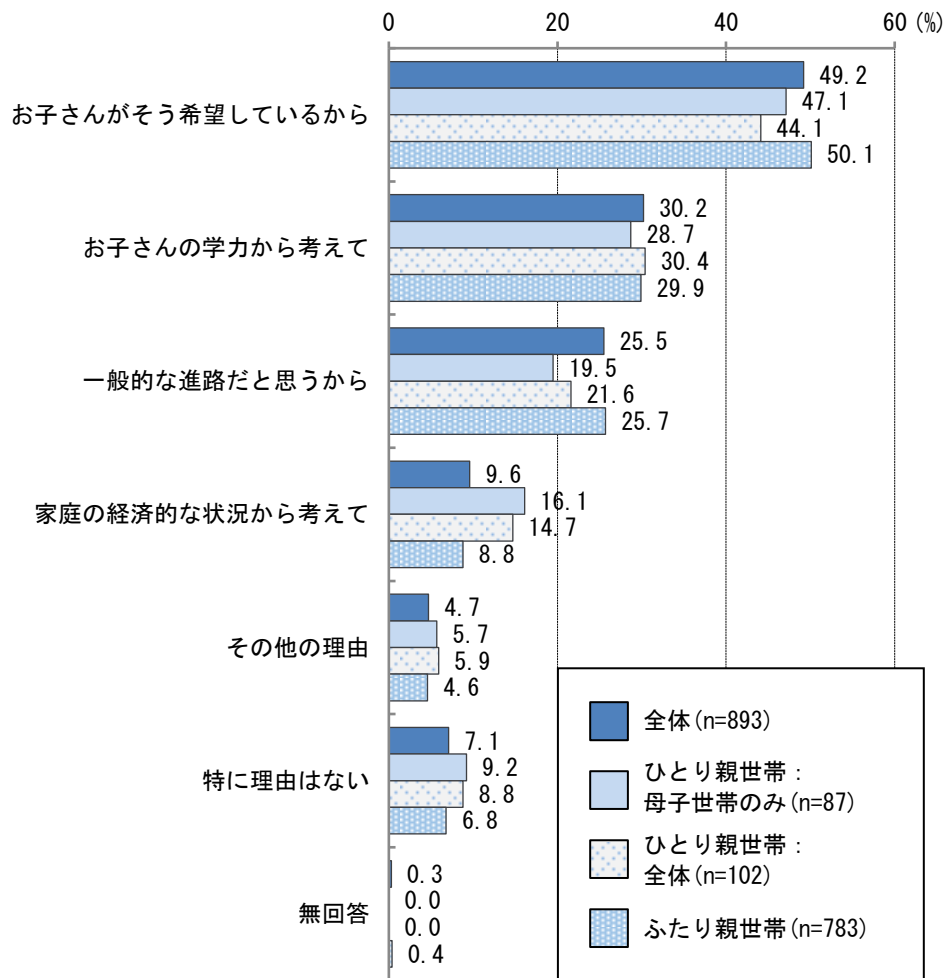
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「お子さんがそう希望しているから」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で44.4%、「お子さんの学力から考えて」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で28.9%、「一般的な進路だと思うから」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で18.9%と中央値以上の世帯に比べ低く、「家庭の経済的な状況から考えて」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で20.0%と他の世帯に比べ高くなっている。

■ 想定している学校に進学すると考えている理由

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「お子さんがそう希望しているから」との回答はひとり親世帯全体で 44.1%、「一般的な進路だと思うから」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 19.5%とふたり親世帯に比べ低く、「家庭の経済的な状況から考えて」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 16.1%、ひとり親世帯全体で 14.7%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

3 頼れる相手について

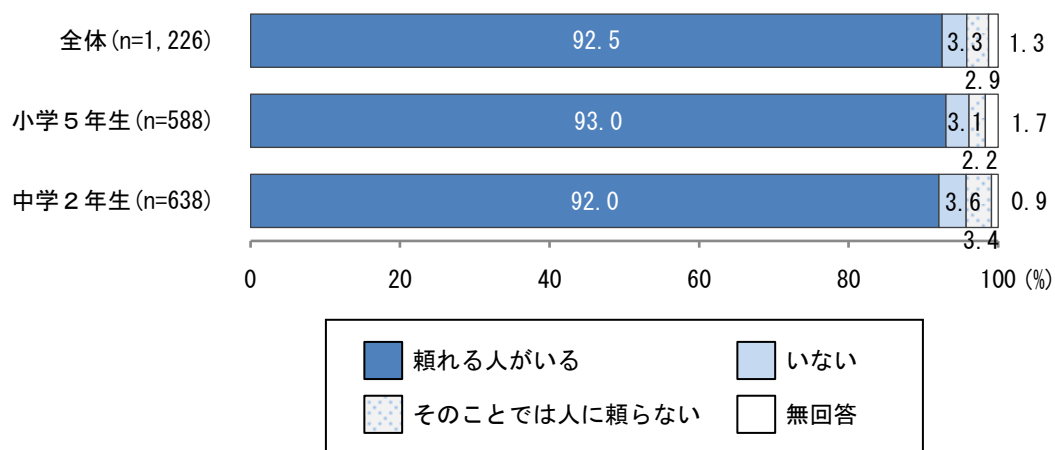
保護者票問 18

あなたは、次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「頼れる人がある」場合、それはだれですか。(MA)

■子育てに関する相談で頼れる相手の有無

【全体/学年別】

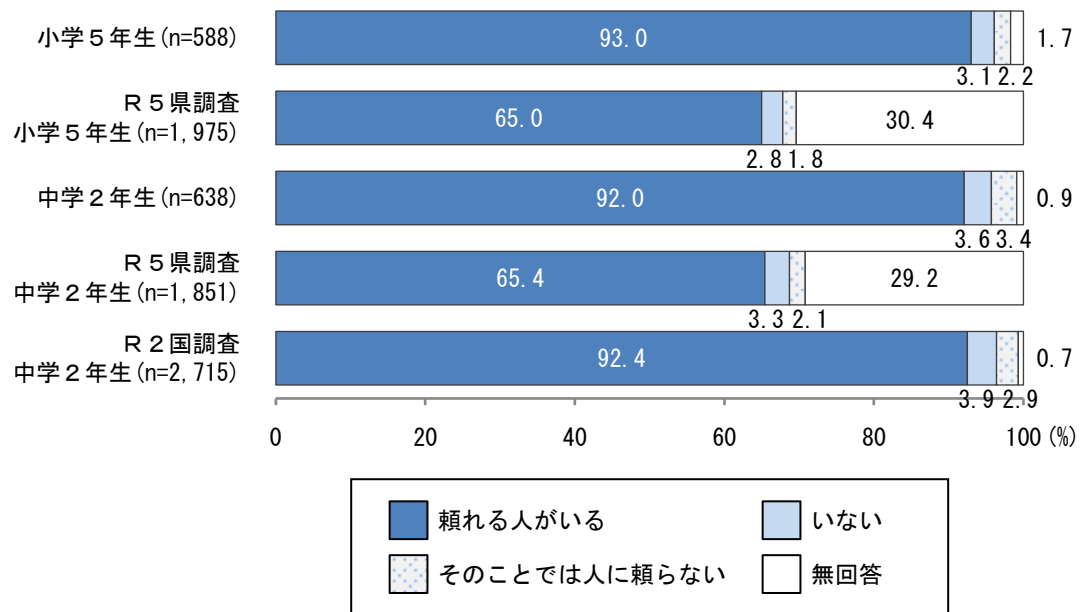


子育てに関する相談で頼れる相手の有無について、「頼れる人がある」との回答が92.5%と最も高くなっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■子育てに関する相談で頼れる相手の有無

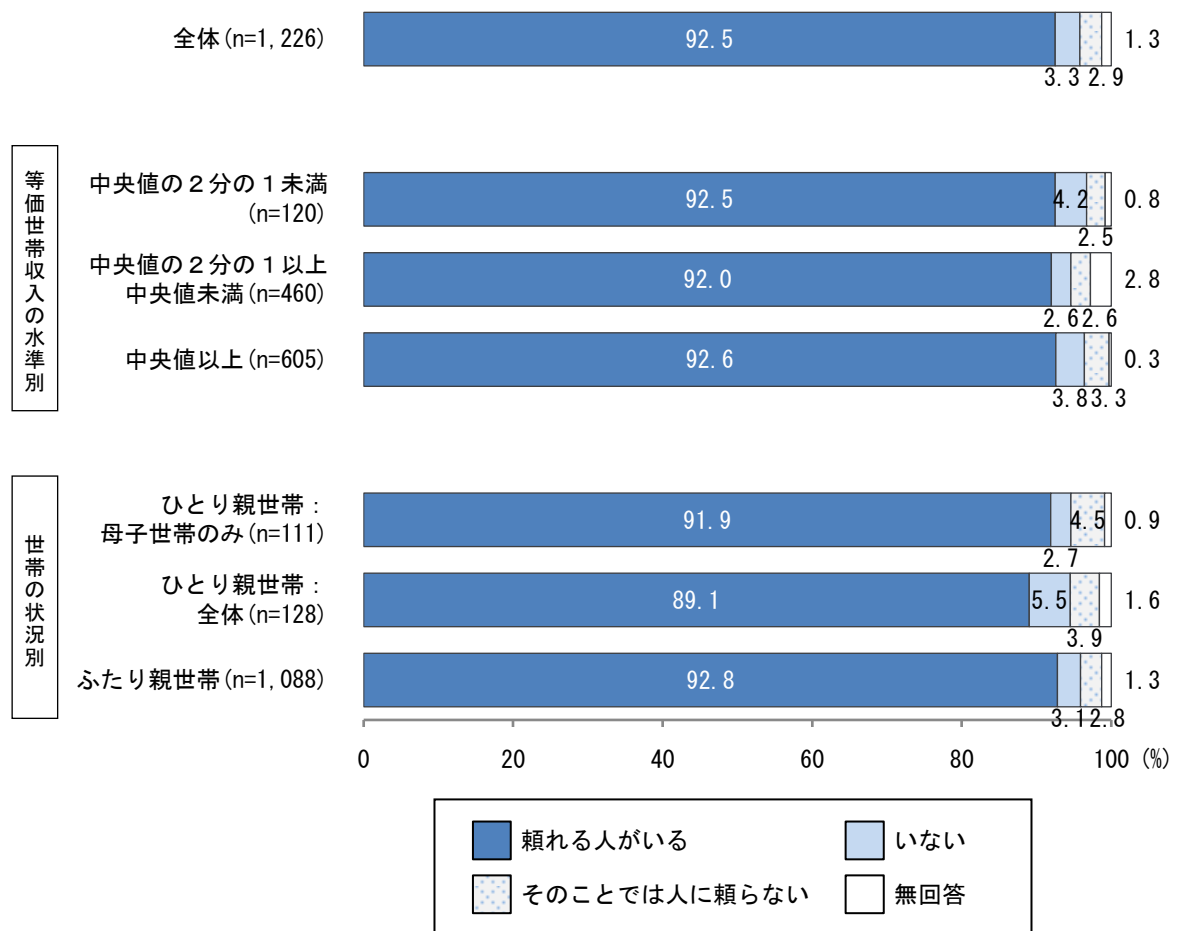
【山口県調査・国調査と比較】



中学2年生を国調査と比較すると、大きな差はみられない。
山口県調査は無回答が高いため、回答傾向の比較はしない。

■子育てに関する相談で頼れる相手の有無

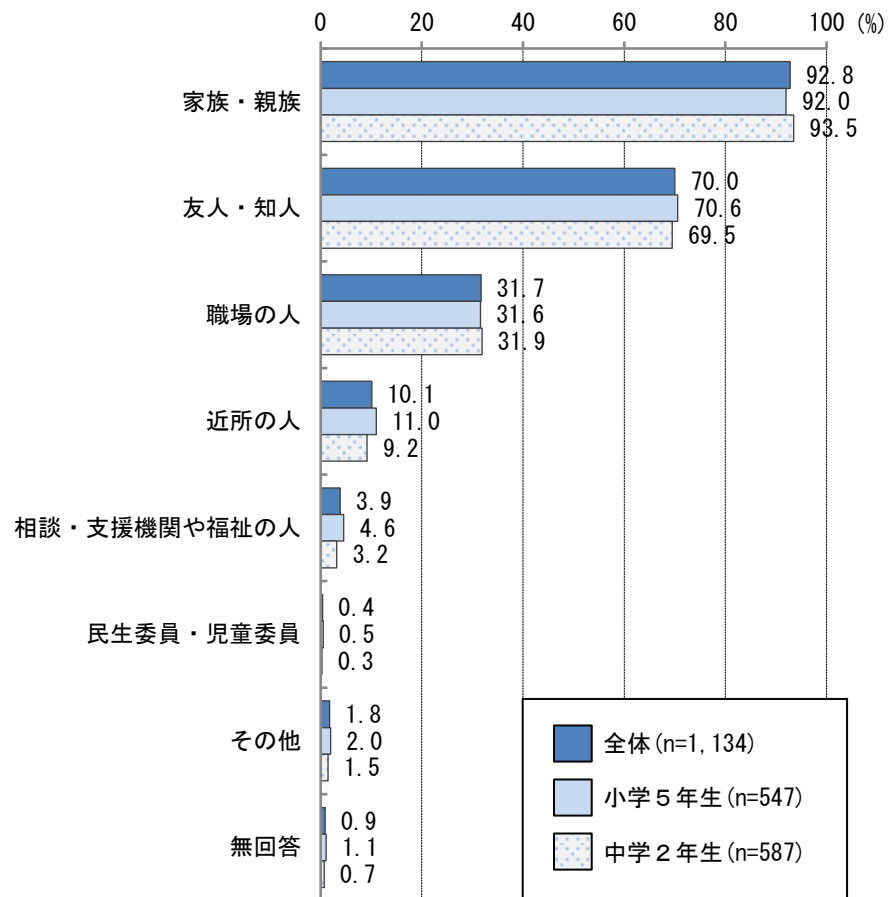
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別、世帯の状況別にみると、「頼れる人がいる」との回答はすべての世帯で90.0%前後となっており、等価世帯収入の水準・世帯の状況による大きな差はみられない。

■子育てに関する相談相手

【全体/学年別】

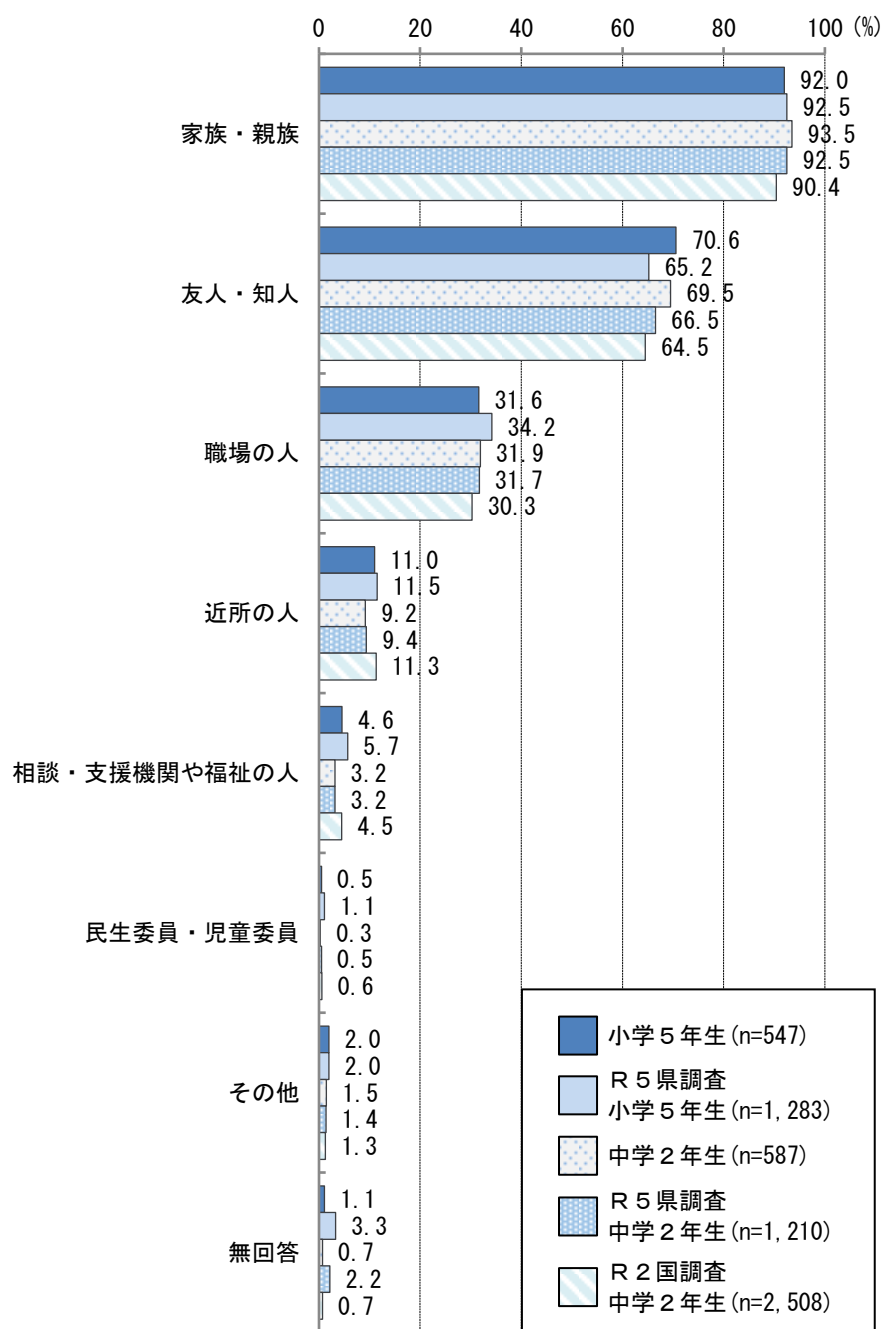


子育てに関する相談相手について、「家族・親族」との回答が 92.8%と最も高く、次いで「友人・知人」(70.0%)、「職場の人」(31.7%)などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■子育てに関する相談相手

【山口県調査・国調査と比較】

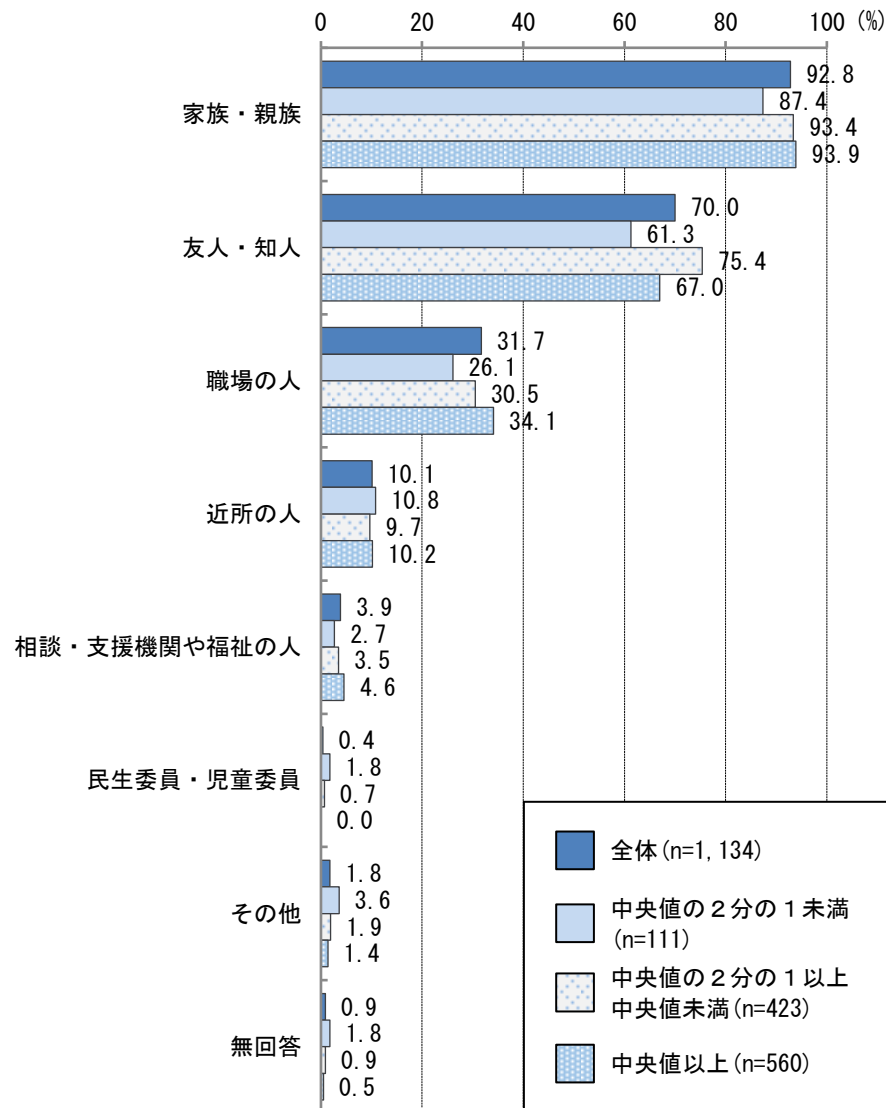


小学5年生を山口県調査と比較すると、「友人・知人」との回答は周南市が県を5.4ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「友人・知人」との回答は周南市が国を5.0ポイント上回っている。

■子育てに関する相談相手

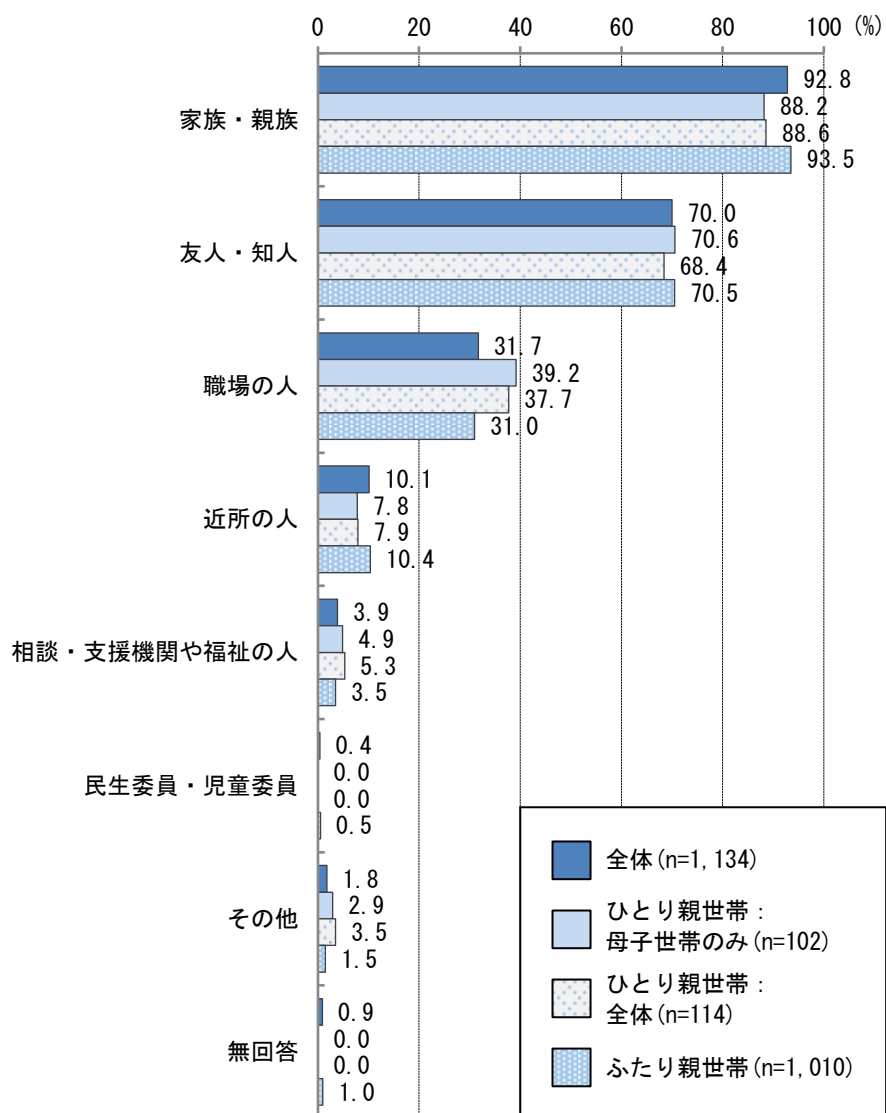
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で87.4%と他の世帯に比べ低く、「友人・知人」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で61.3%と中央値の2分の1以上中央値未満の世帯に比べ低く、「職場の人」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で26.1%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

■子育てに関する相談相手

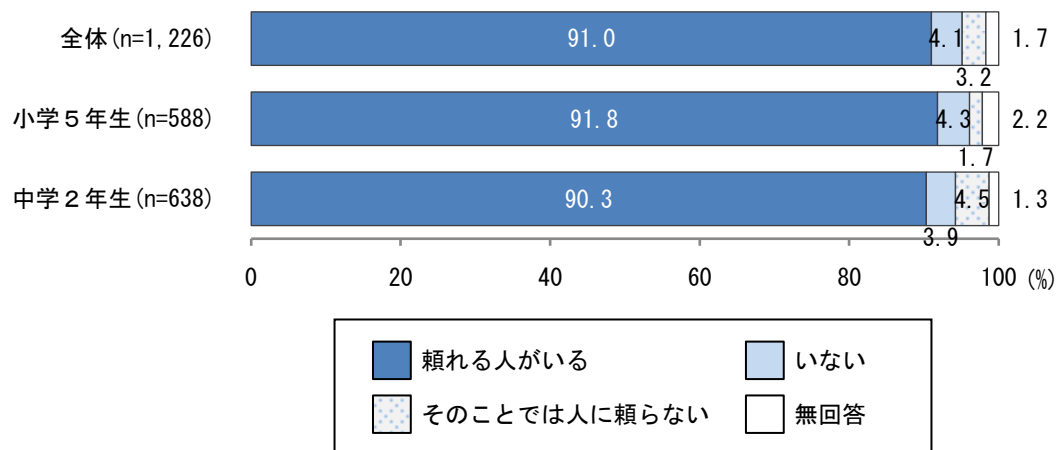
【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「家族・親族」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで88.2%とふたり親世帯に比べ低く、「職場の人」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで39.2%、ひとり親世帯全体で37.7%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■ 重要な事柄の相談で頼れる相手の有無

【全体/学年別】

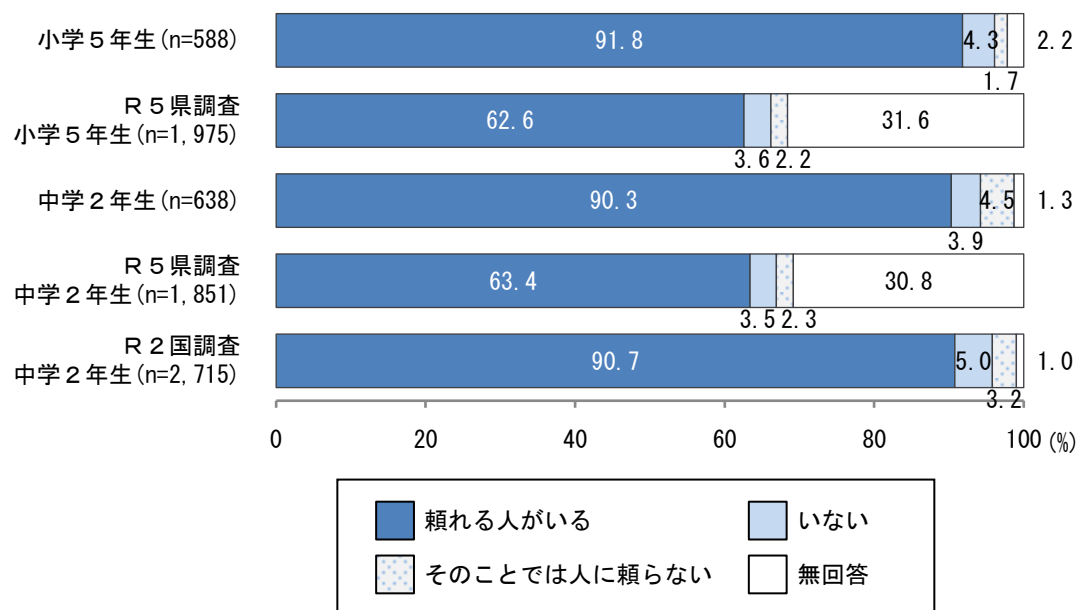


重要な事柄の相談で頼れる相手の有無について、「頼れる人がある」との回答が91.0%と最も高くなっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 重要な事柄の相談で頼れる相手の有無

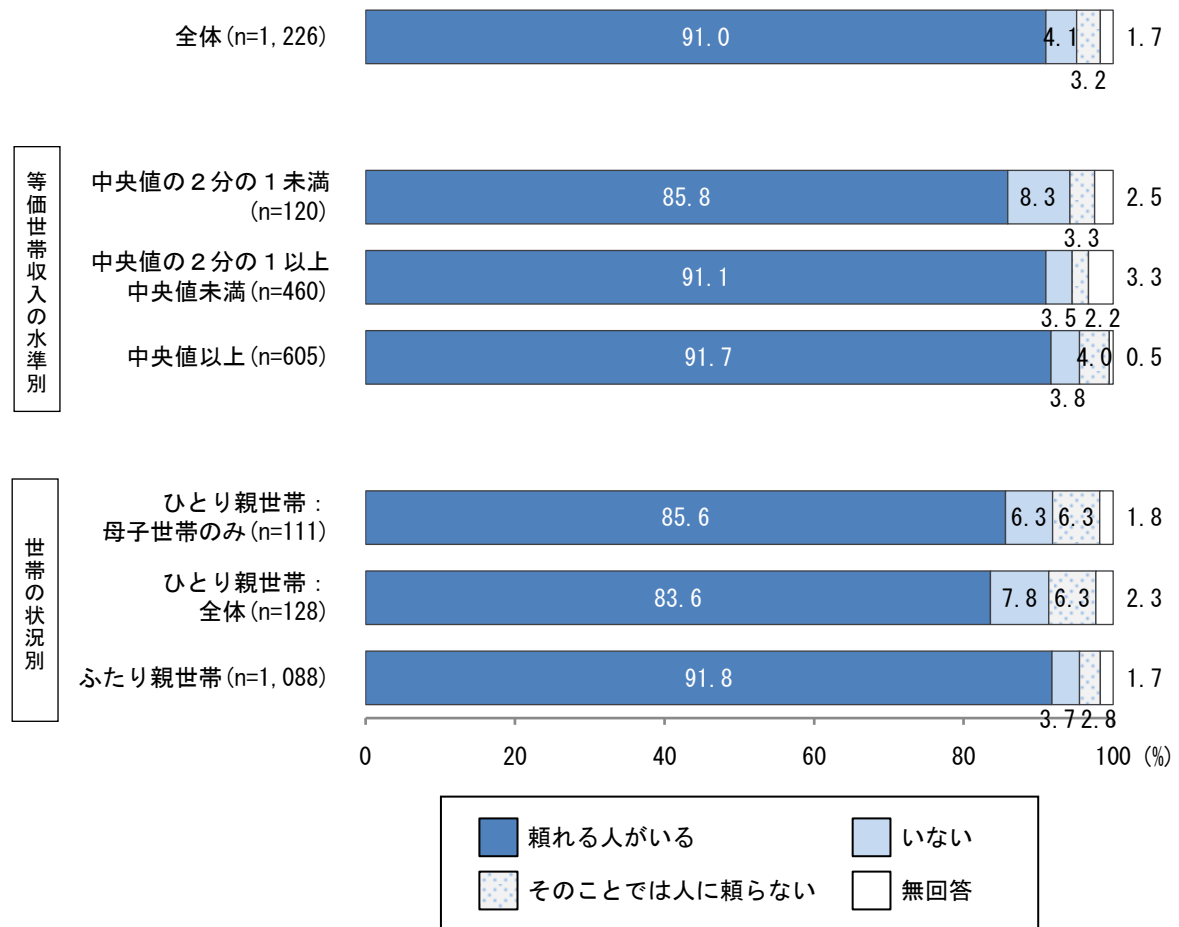
【山口県調査・国調査と比較】



中学2年生を国調査と比較すると、大きな差はみられない。
山口県調査は無回答が高いため、回答傾向の比較はしない。

■ 重要な事柄の相談で頼れる相手の有無

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

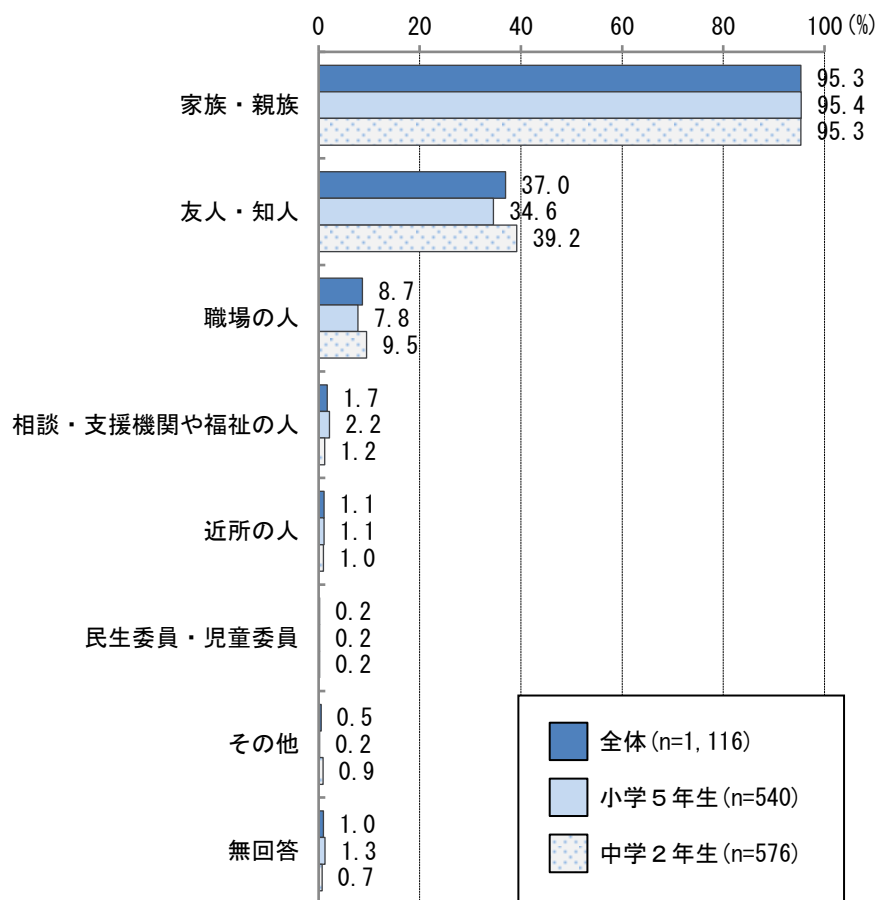


等価世帯収入の水準別にみると、「頼れる人がいる」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で85.8%と他の世帯に比べ低く、等価世帯収入の水準が高いほど高くなっている。

世帯の状況別にみると、「頼れる人がいる」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで85.6%、ひとり親世帯全体で83.6%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

■ 重要な事柄の相談相手

【全体/学年別】

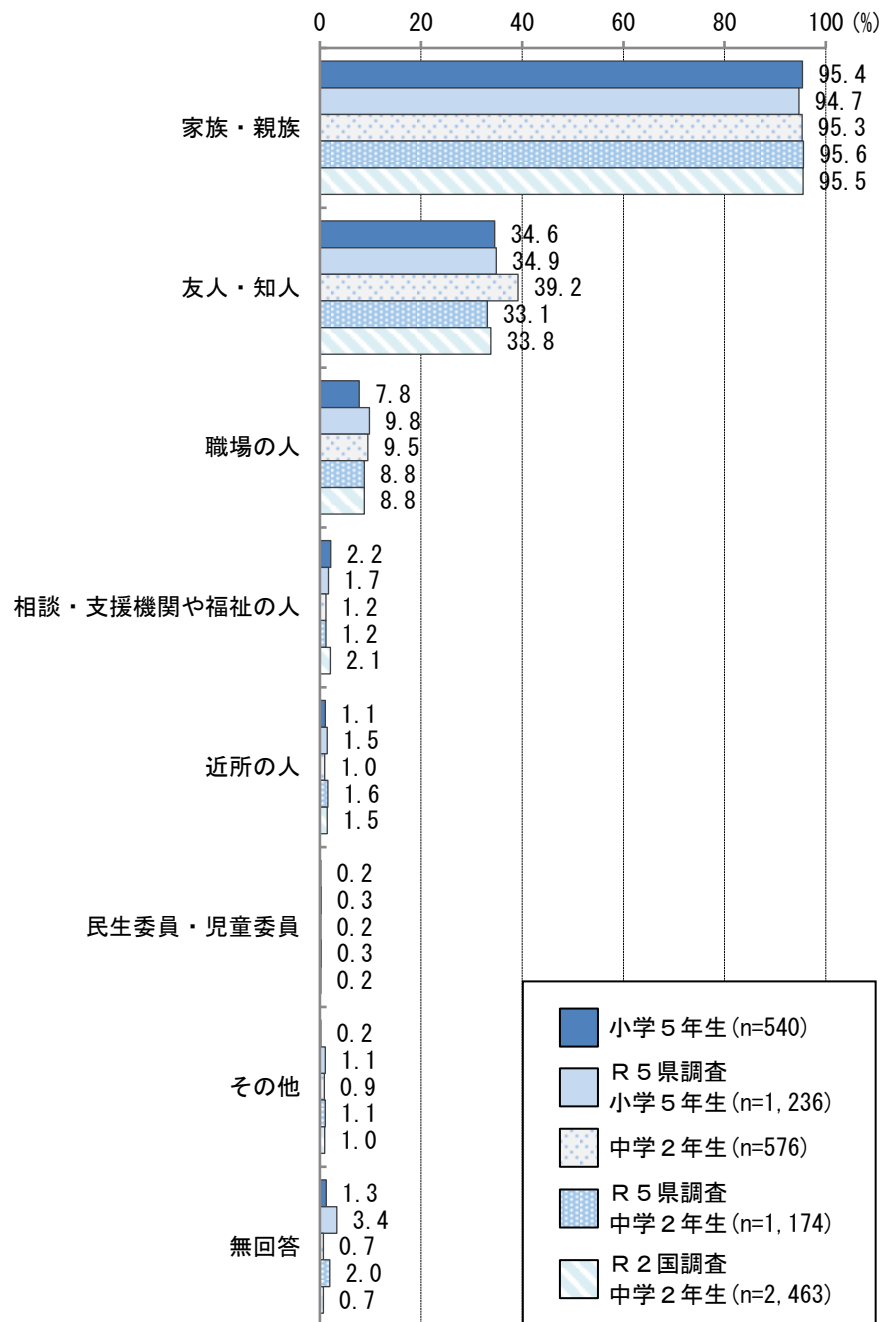


重要な事柄の相談相手について、「家族・親族」との回答が 95.3%と最も高く、次いで「友人・知人」(37.0%)、「職場の人」(8.7%)などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 重要な事柄の相談相手

【山口県調査・国調査と比較】

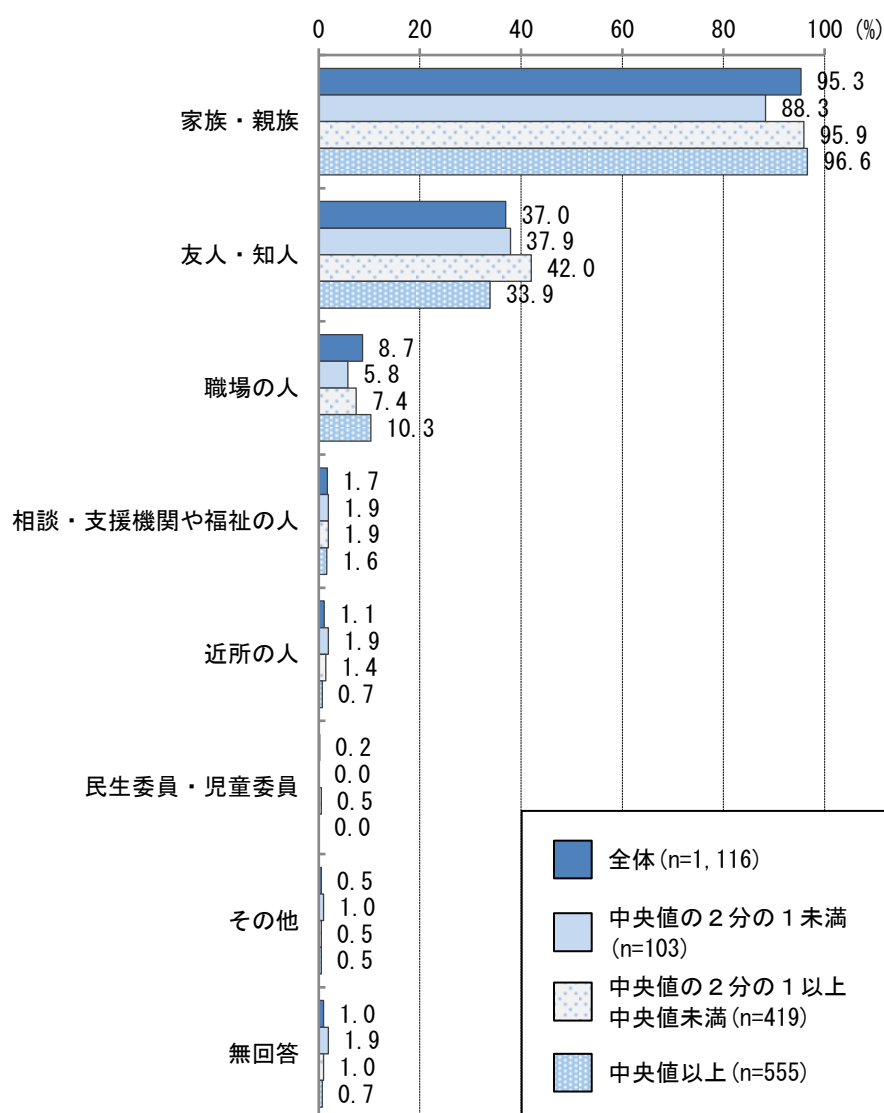


小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「友人・知人」との回答は周南市が県を6.1ポイント、国を5.4ポイント上回っている。

■ 重要な事柄の相談相手

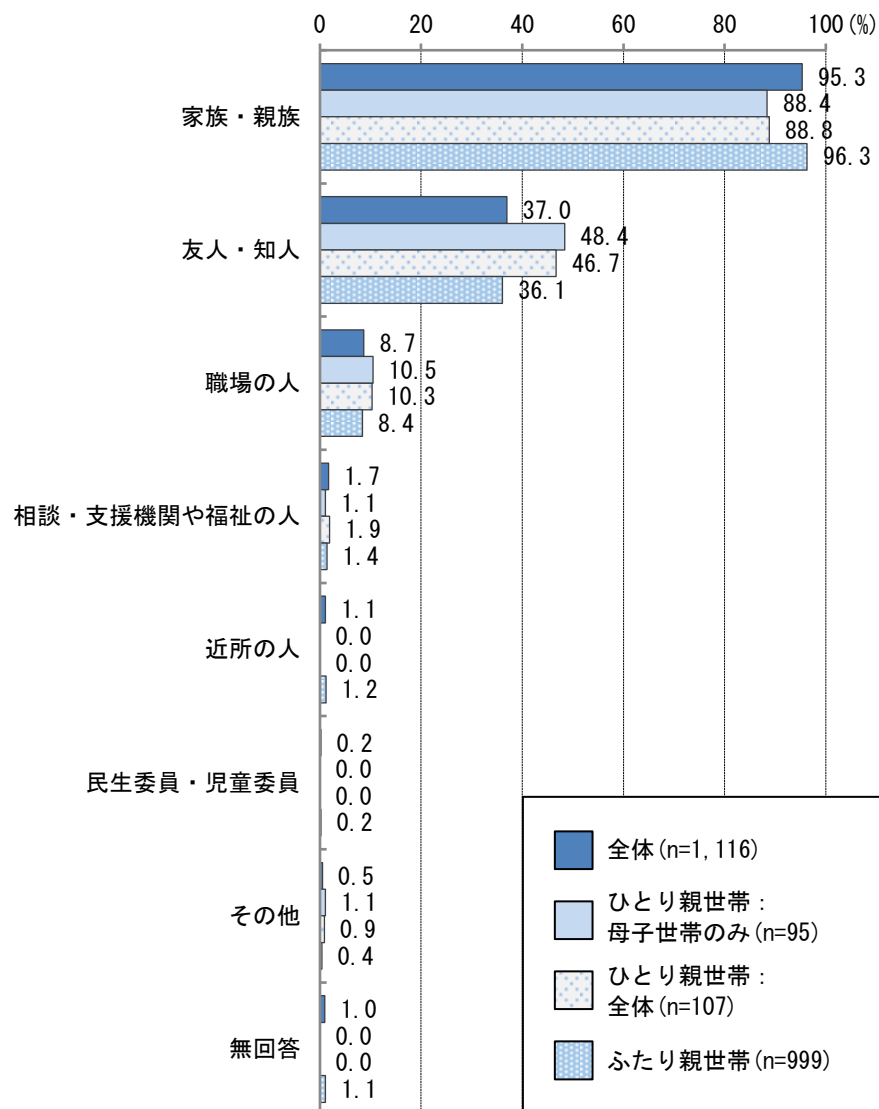
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で88.3%と他の世帯に比べ低く、等価世帯収入の水準が高いほど高くなっている。

■ 重要な事柄の相談相手

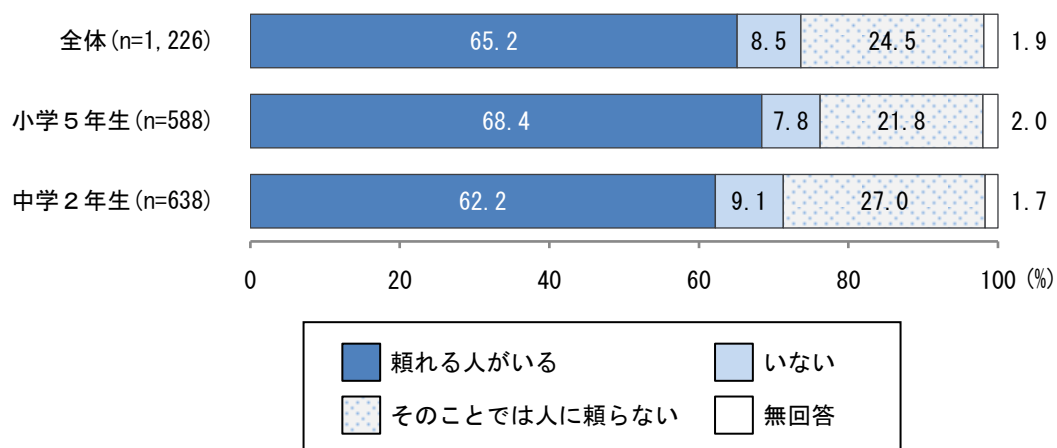
【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「家族・親族」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで88.4%、ひとり親世帯全体で88.8%とふたり親世帯に比べ低く、「友人・知人」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで48.4%、ひとり親世帯全体で46.7%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■ いざという時のお金の援助で頼れる相手の有無

【全体/学年別】

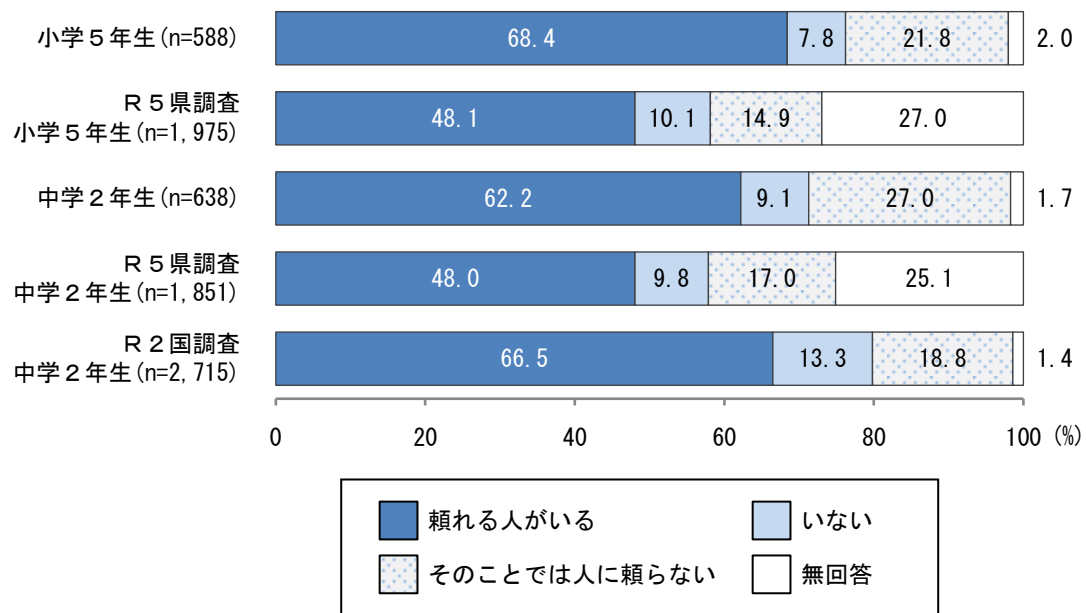


いざという時のお金の援助で頼れる相手の有無について、「頼れる人がある」との回答が65.2%と最も高く、次いで「そのことでは人に頼らない」(24.5%)、「いない」(8.5%)などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ いざという時の金銭の援助で頼れる相手の有無

【山口県調査・国調査と比較】

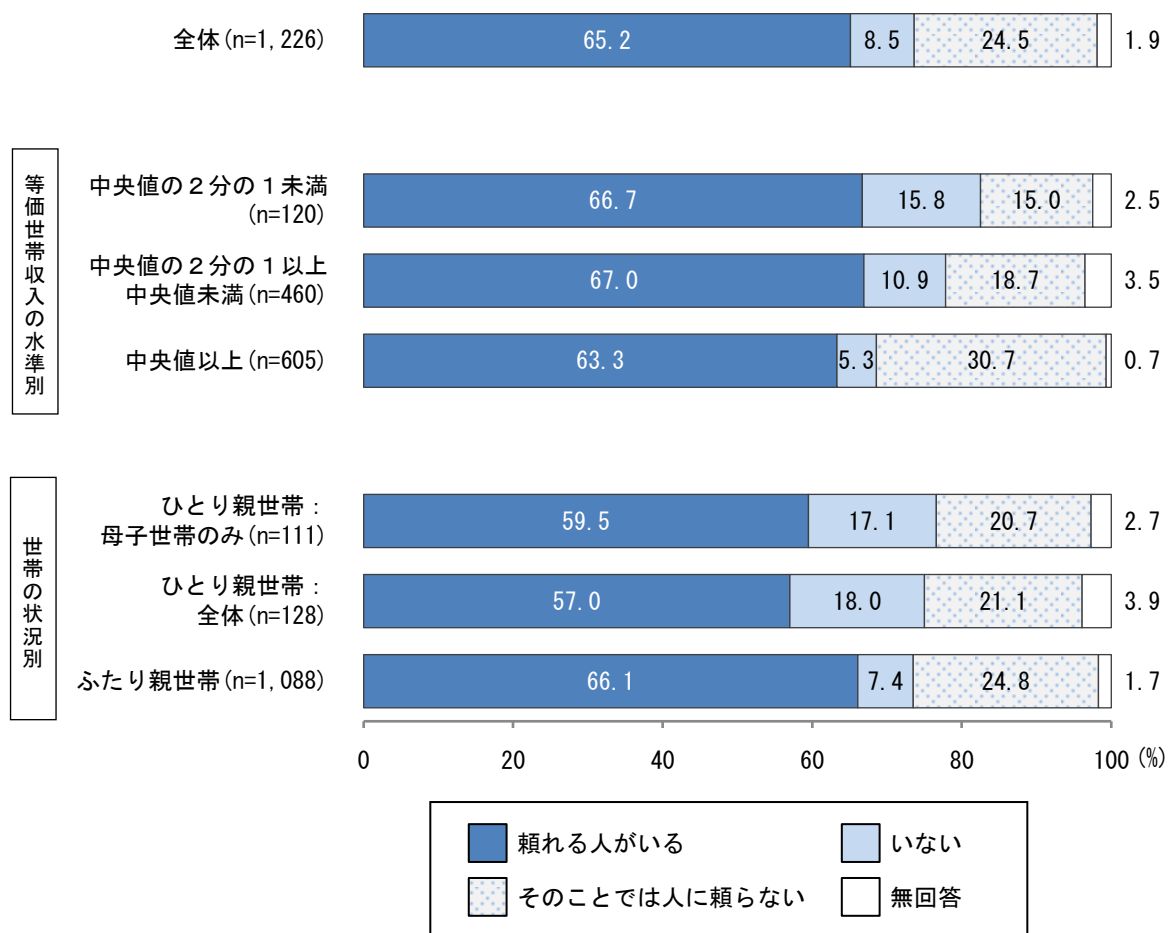


中学2年生を国調査と比較すると、「そのことでは人に頼らない」との回答は周南市が国を8.2ポイント上回っている。

山口県調査は無回答が高いため、回答傾向の比較はしない。

■ いざという時の金銭的援助で頼れる相手の有無

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

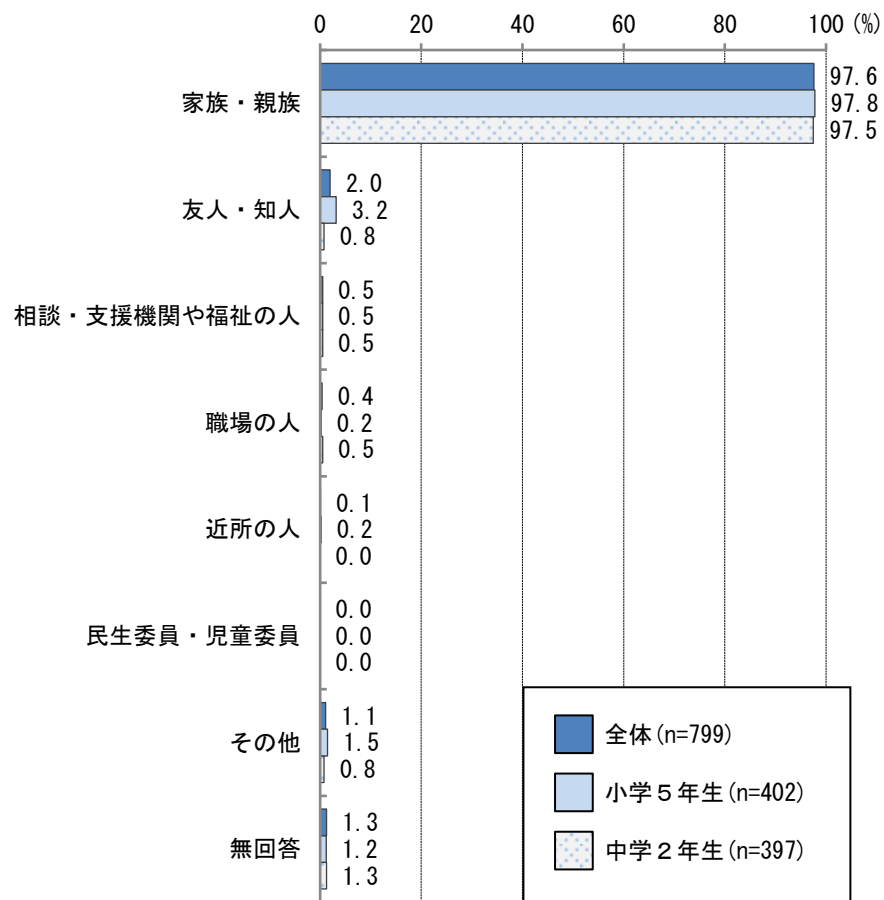


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で15.8%と中央値以上の世帯に比べ高く、「そのことでは人に頼らない」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で15.0%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

世帯の状況別にみると、「頼れる人がいる」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで59.5%、ひとり親世帯全体で57.0%とふたり親世帯に比べ低く、「いない」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで17.1%、ひとり親世帯全体で18.0%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■ いざという時の金銭の援助で頼れる相手

【全体/学年別】

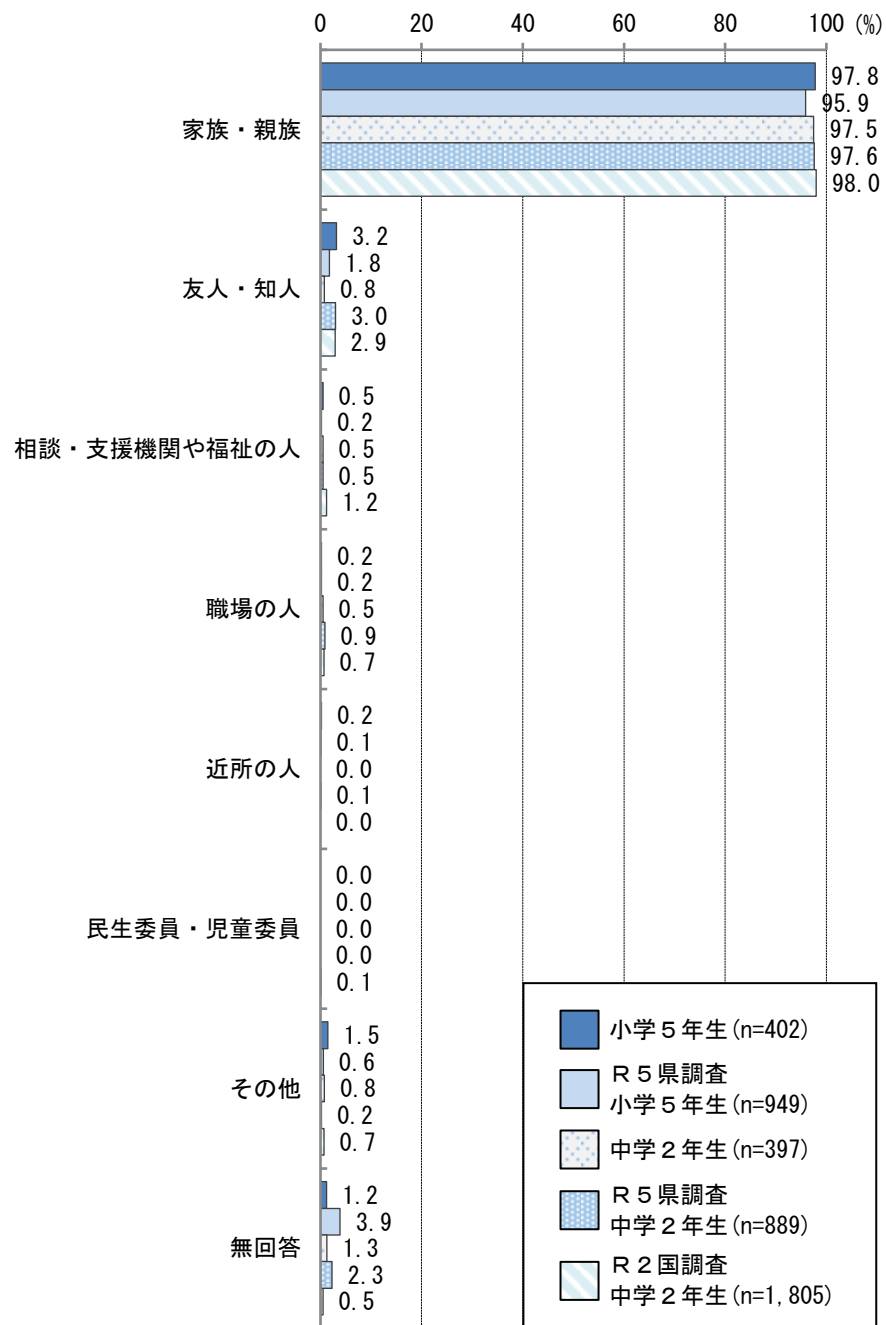


いざという時の金銭の援助で頼れる相手について、「家族・親族」との回答が 97.6%と最も高くなっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ いざという時の金銭の援助で頼れる相手

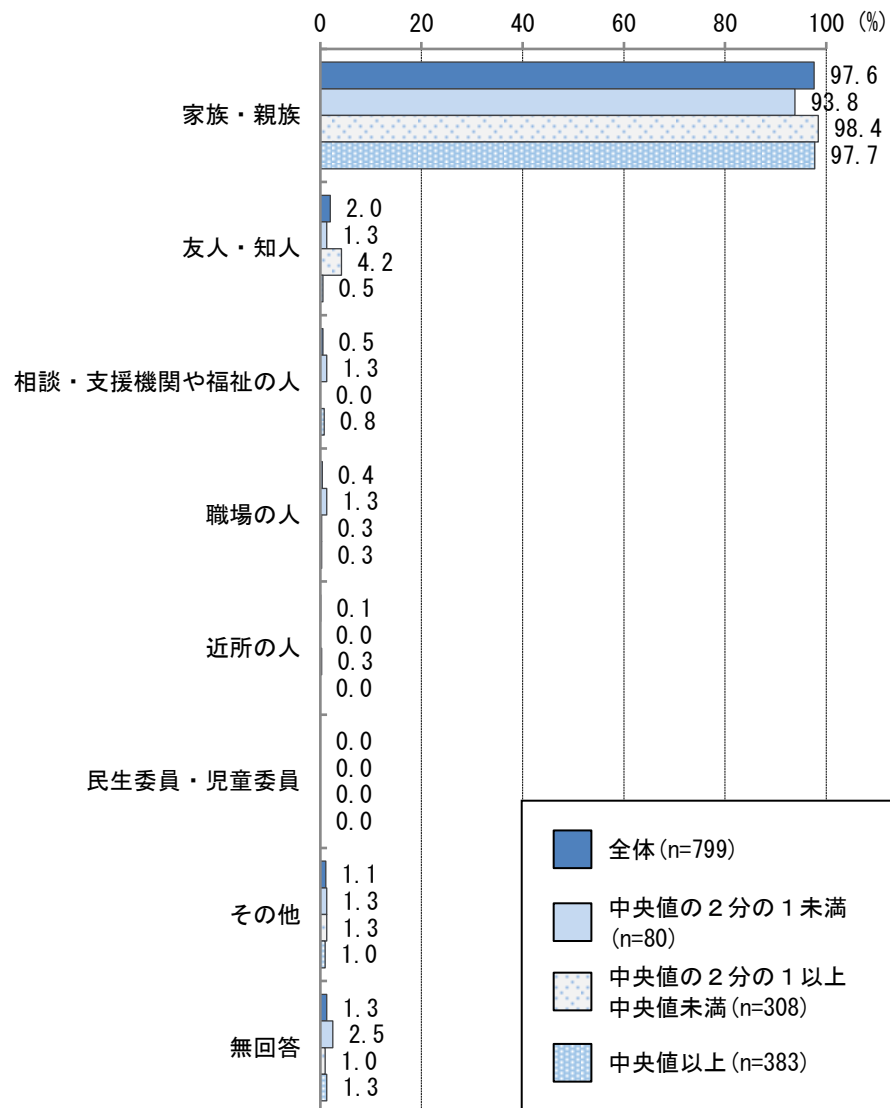
【山口県調査・国調査と比較】



山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■ いざという時の金銭の援助で頼れる相手

【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」との回答はすべての世帯で90.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

■ いざという時の金銭的援助で頼れる相手

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「家族・親族」との回答はすべての世帯で 95.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

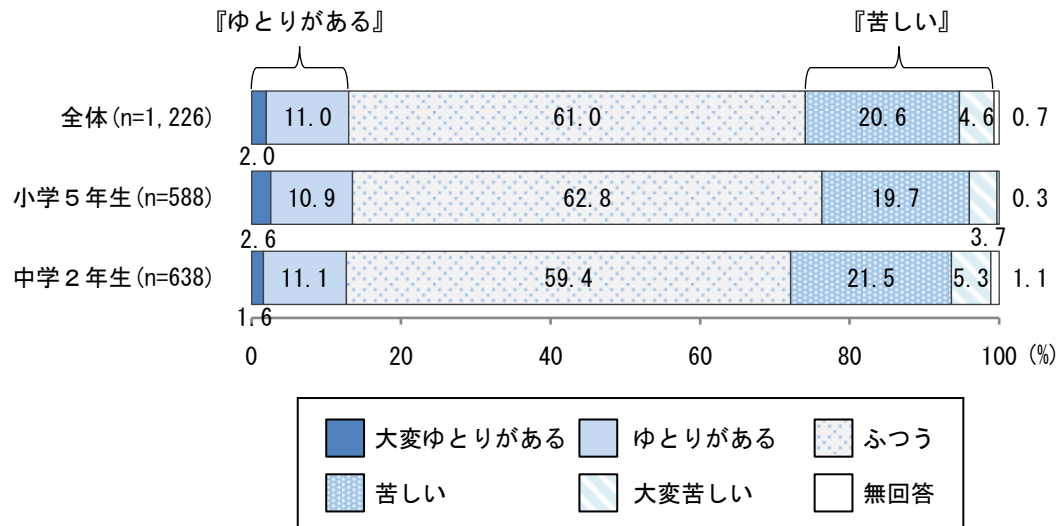
4 暮らしの状況について

保護者票問 19

あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(SA)

■現在の暮らしの状況

【全体/学年別】

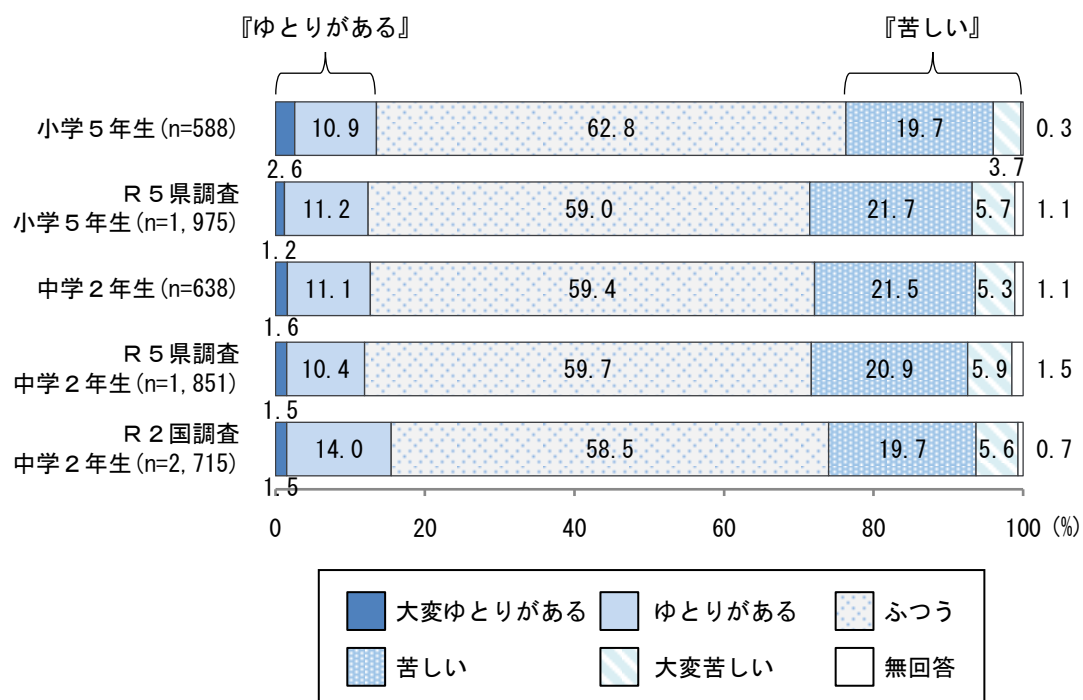


現在の暮らしの状況について、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」）との回答が 13.0%、「ふつう」との回答が 61.0%、『苦しい』（「大変苦しい」＋「苦しい」）との回答が 25.2%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■現在の暮らしの状況

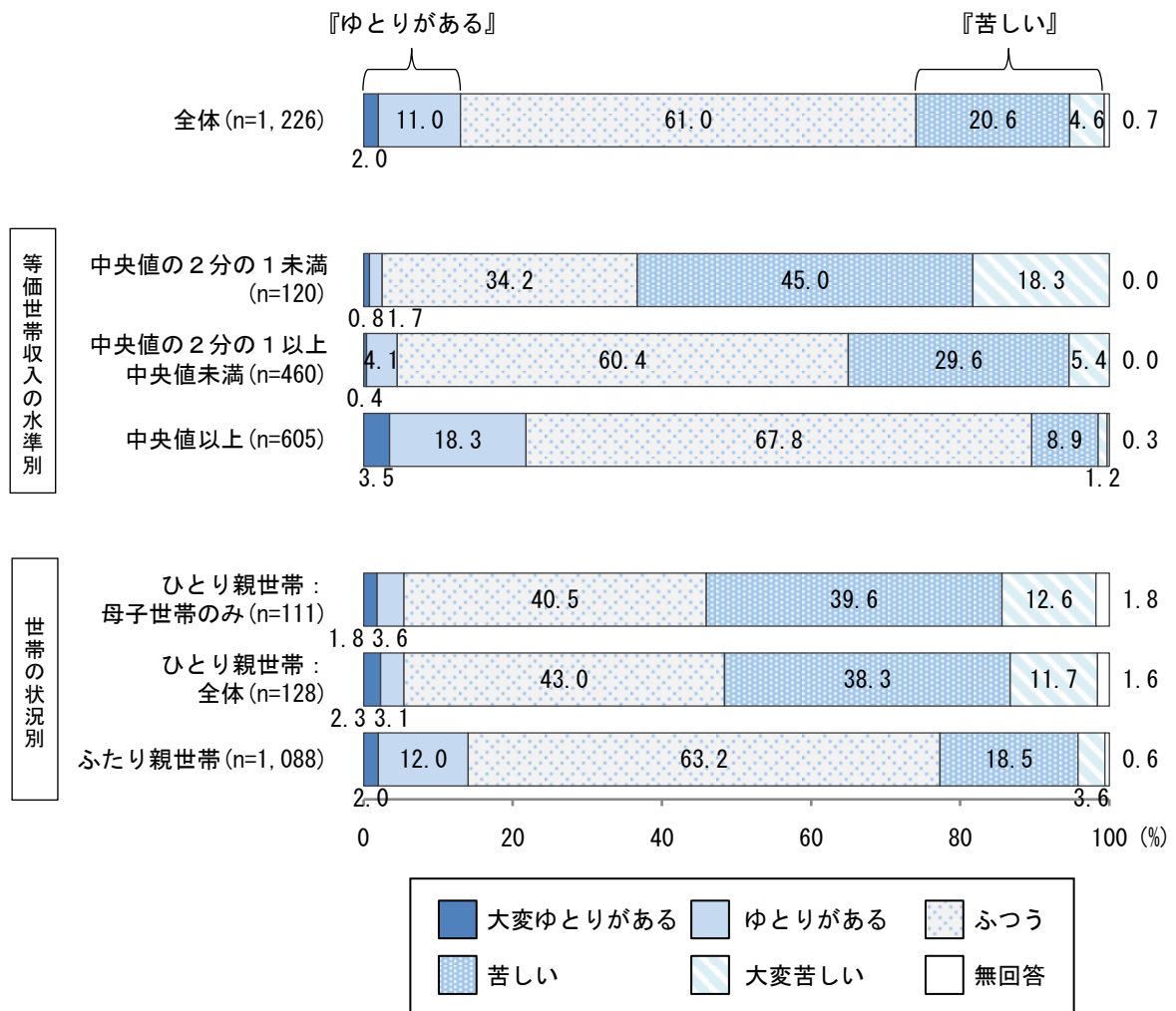
【山口県調査・国調査と比較】



山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■現在の暮らしの状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で63.3%と他の世帯に比べ高く、等価世帯収入の水準が高いほど低くなっている。

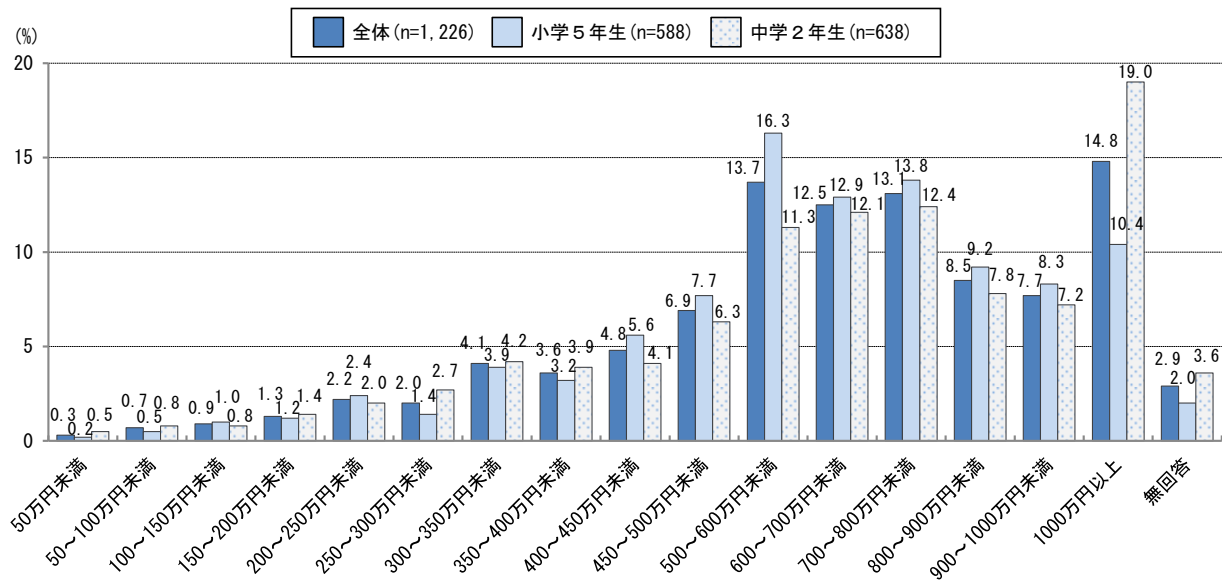
世帯の状況別にみると、『苦しい』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで52.2%、ひとり親世帯全体で50.0%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

保護者票問 20

世帯全体のおよその年間収入（税込）はいくらですか。（SA）

■世帯収入

【全体/学年別】



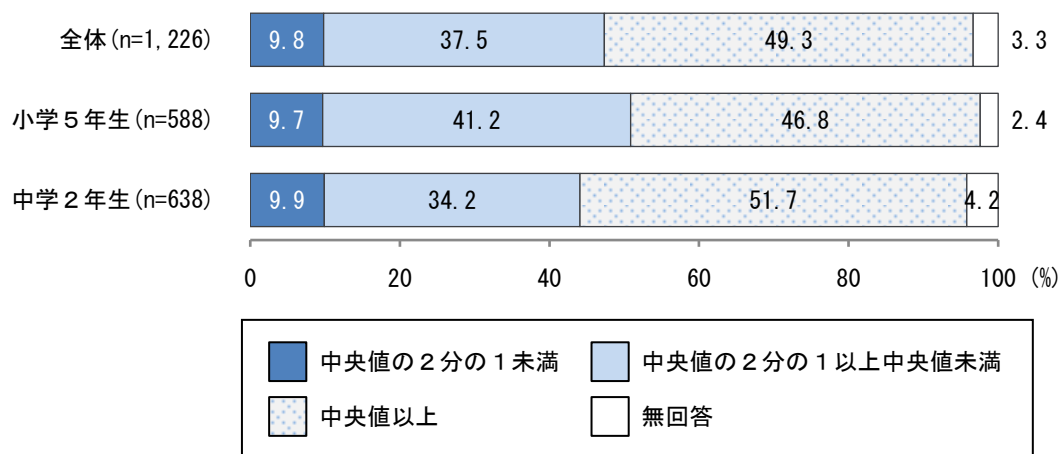
世帯収入について、「1000 万円以上」との回答が 14.8%と最も高く、次いで「500～600 万円未満」（13.7%）、「700～800 万円未満」（13.1%）などの順となっている。

小学 5 年生では、「500～600 万円未満」との回答が 16.3%と最も高く、次いで「700～800 万円未満」（13.8%）、「600～700 万円未満」（12.9%）などの順となっている。

中学 2 年生では、「1000 万円以上」との回答が 19.0%と最も高く、次いで「700～800 万円未満」（12.4%）、「600～700 万円未満」（12.1%）などの順となっている。

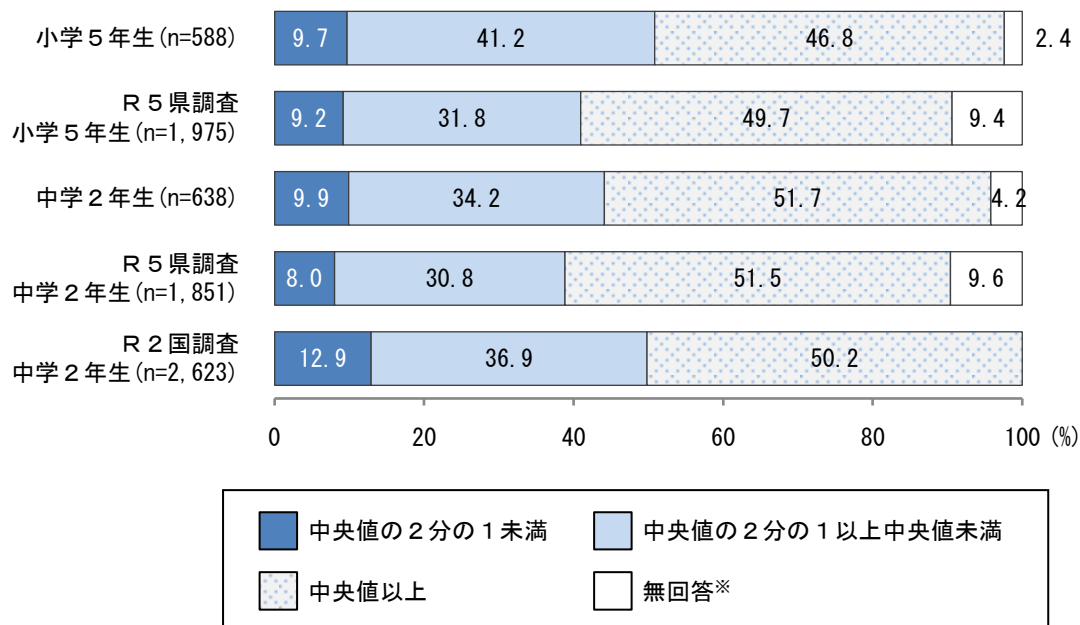
■ 等価世帯収入の水準

【全体/学年別】



■ 等価世帯収入の水準

【山口県調査・国調査と比較】

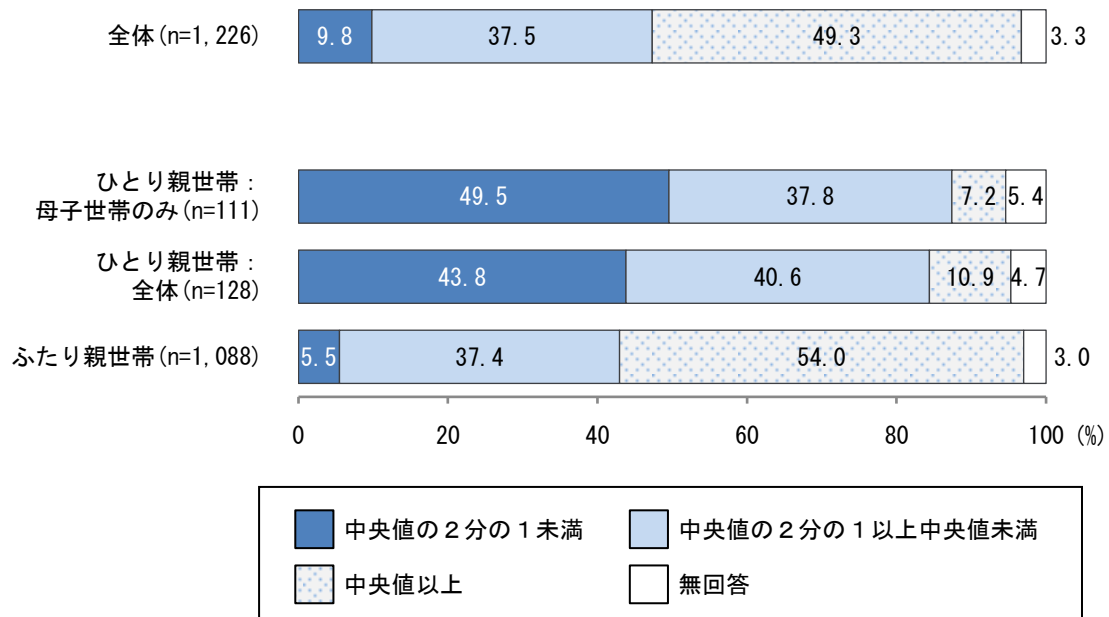


※国調査では「無回答」の集計なし

世帯収入と同居家族の構成人数から等価世帯収入を算出し、中央値は325万円であった。この中央値を基準に3項目に分類すると、「中央値の2分の1未満」が9.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が37.5%、「中央値以上」が49.3%となった。

■ 等価世帯収入の水準

【世帯の状況別】



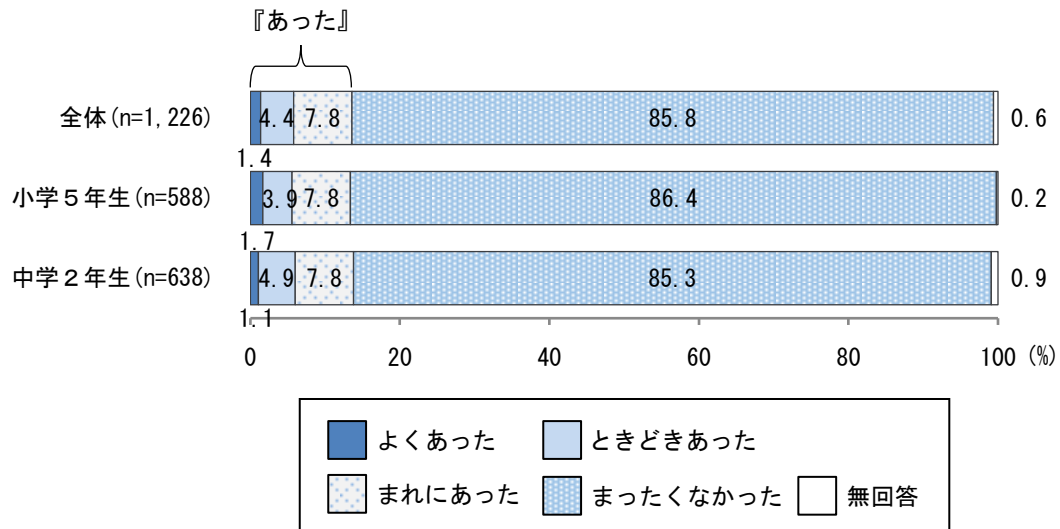
世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」に該当する人はひとり親世帯母子世帯のみで49.5%、ひとり親世帯全体で43.8%とふたり親世帯に比べて高くなっている。

保護者票問 21

あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(SA)

■ 経済的理由により必要な食料を買えなかった経験

【全体/学年別】

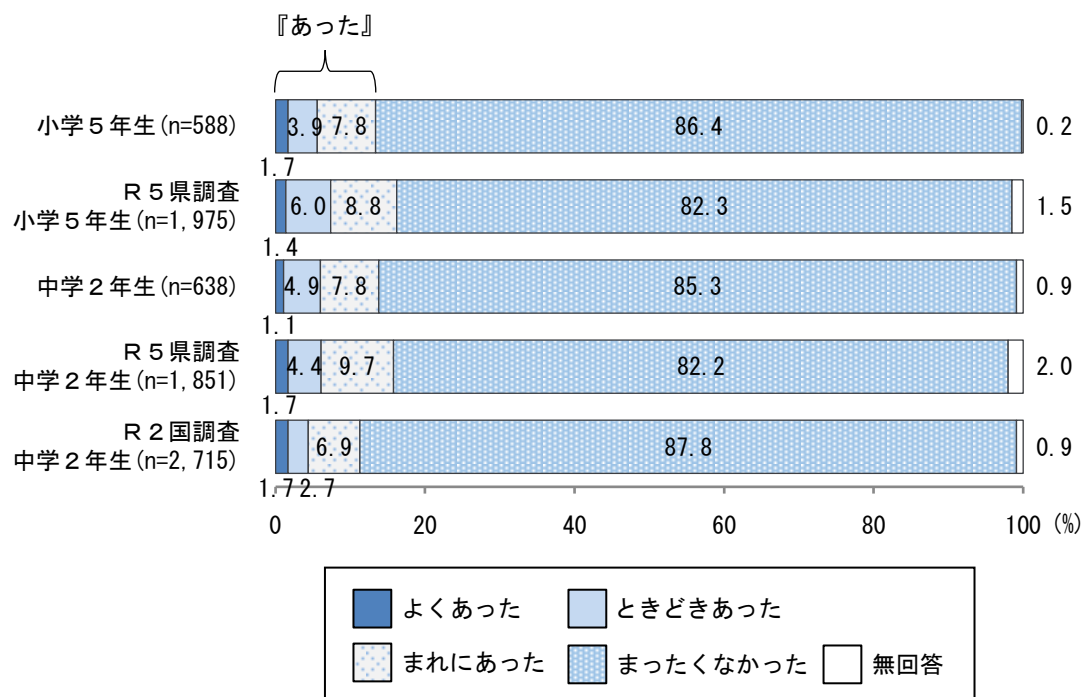


経済的理由により必要な食料を買えなかった経験について、『あった』(「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)との回答が 13.6%、「まったくなかった」との回答が 85.8%となっている。

小学 5 年生、中学 2 年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 経済的理由により必要な食料を買えなかった経験

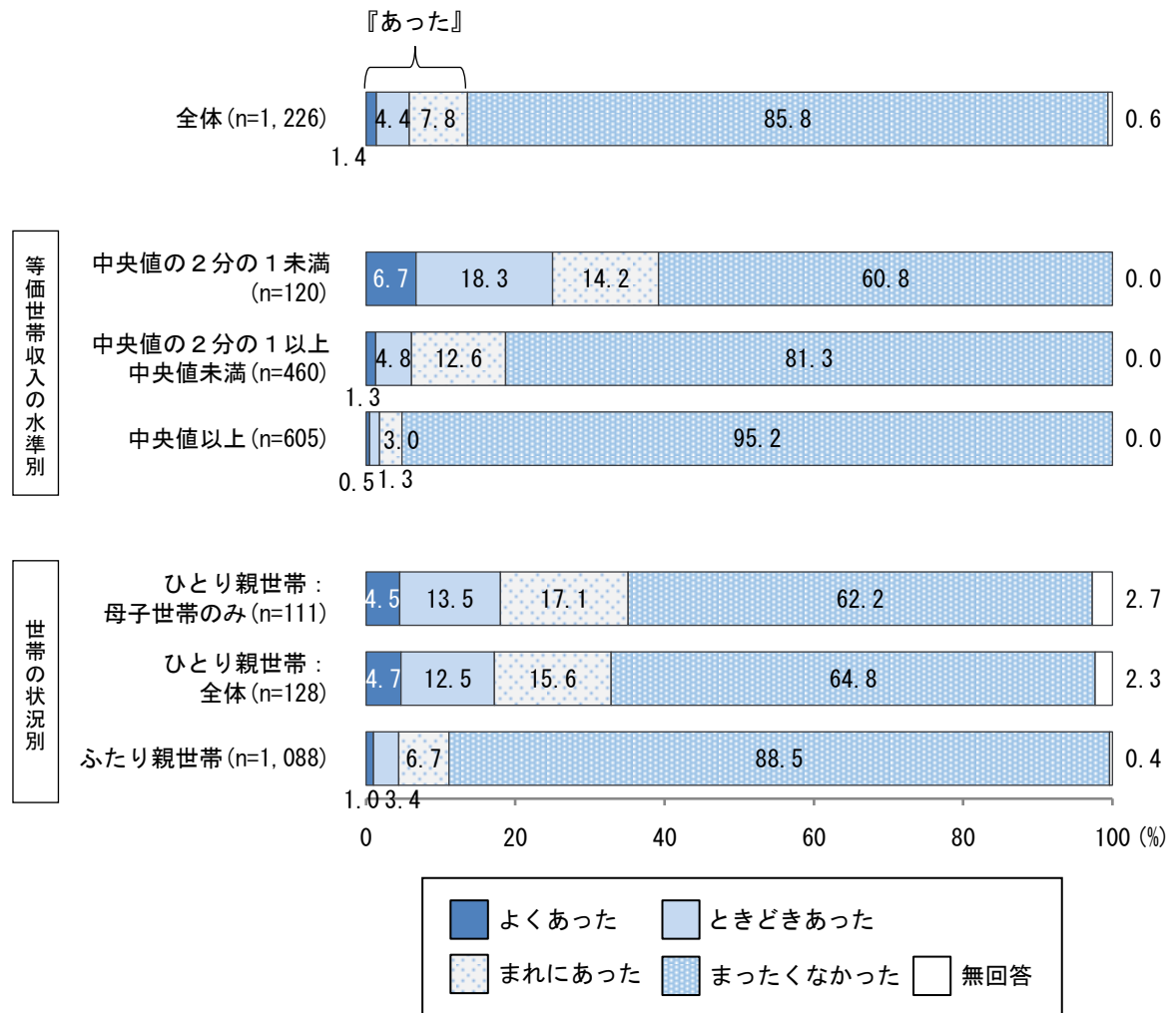
【山口県調査・国調査と比較】



山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■ 経済的理由により必要な食料を買えなかった経験

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で39.2%と他の世帯に比べ高く、等価世帯収入の水準が高いほど低くなっている。

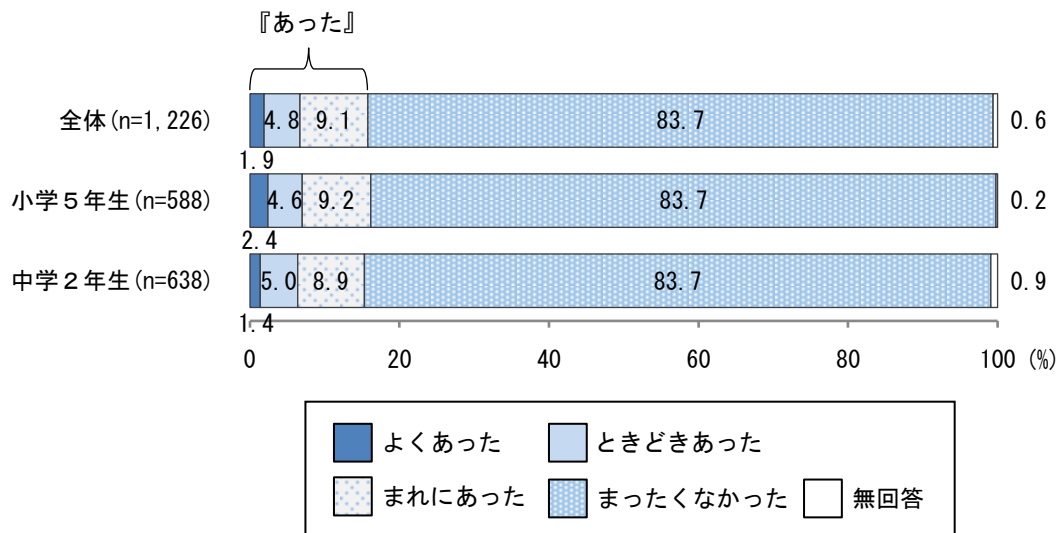
世帯の状況別にみると、『あった』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで35.1%、ひとり親世帯全体で32.8%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

保護者票問 22

あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(SA)

■ 経済的理由により必要な衣服を買えなかった経験

【全体/学年別】

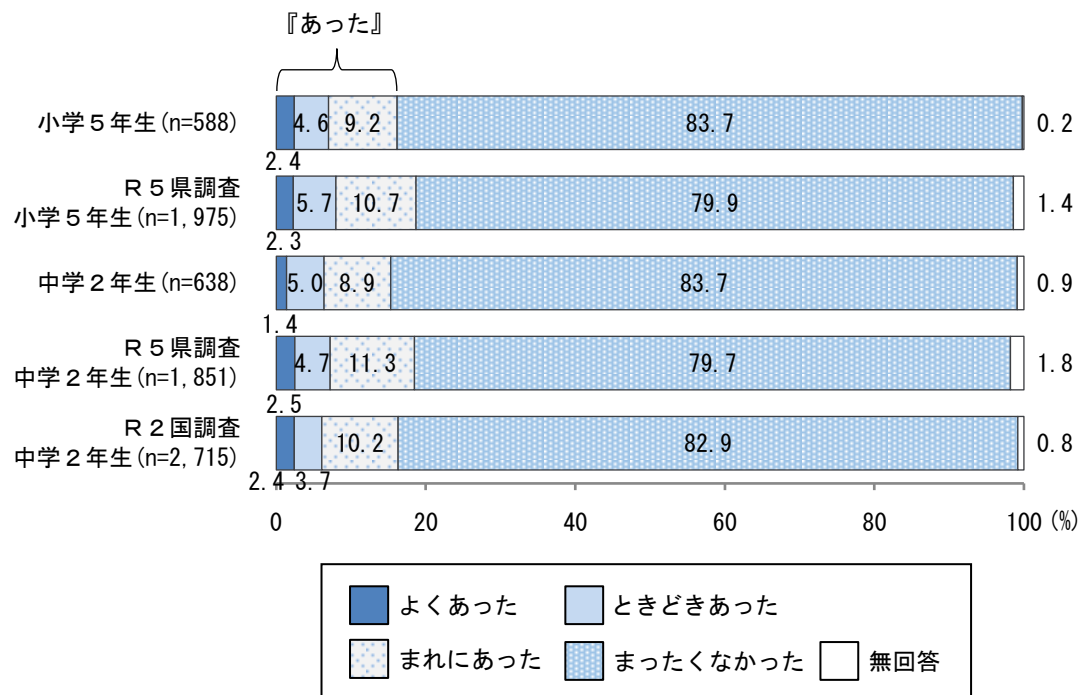


経済的理由により必要な衣服を買えなかった経験について、『あった』との回答が 15.8%、「まったくなかった」との回答が 83.7%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 経済的理由により必要な衣服を買えなかった経験

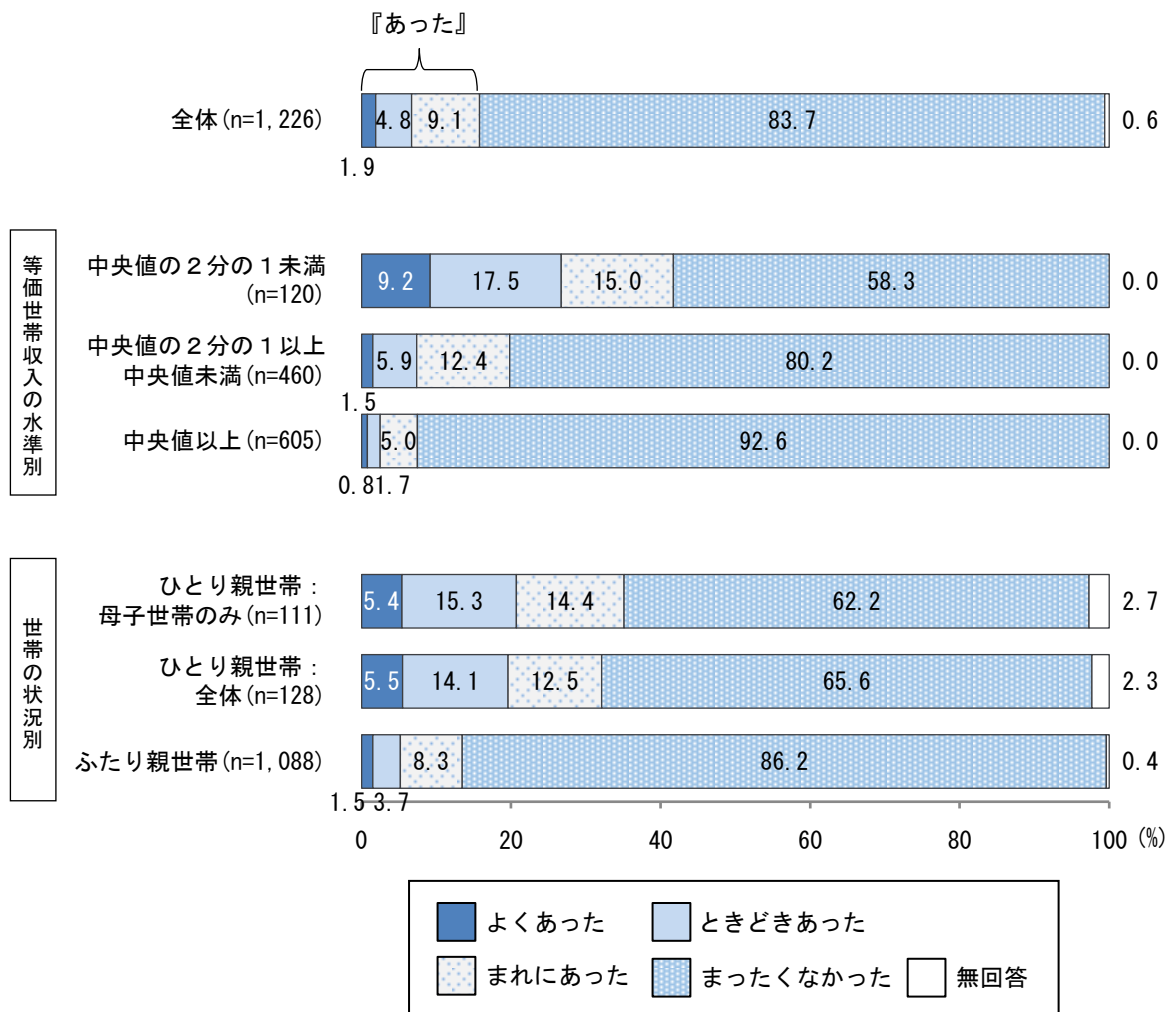
【山口県調査・国調査と比較】



山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■ 経済的理由により必要な衣服を買えなかった経験

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で41.7%と他の世帯に比べ高く、等価世帯収入の水準が高いほど低くなっている。

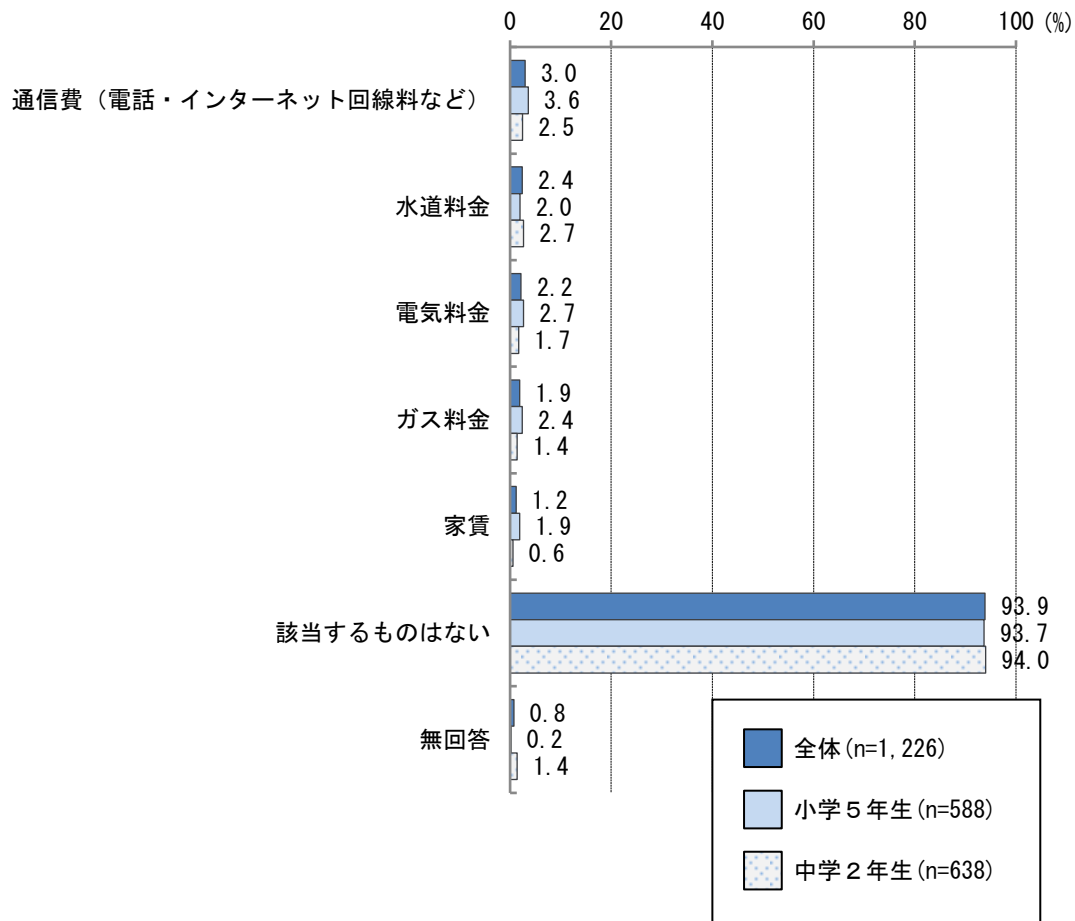
世帯の状況別にみると、『あった』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで35.1%、ひとり親世帯全体で32.1%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

保護者票問 23

あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(MA)

■ 経済的理由により公共料金等が未払いになった経験

【全体/学年別】

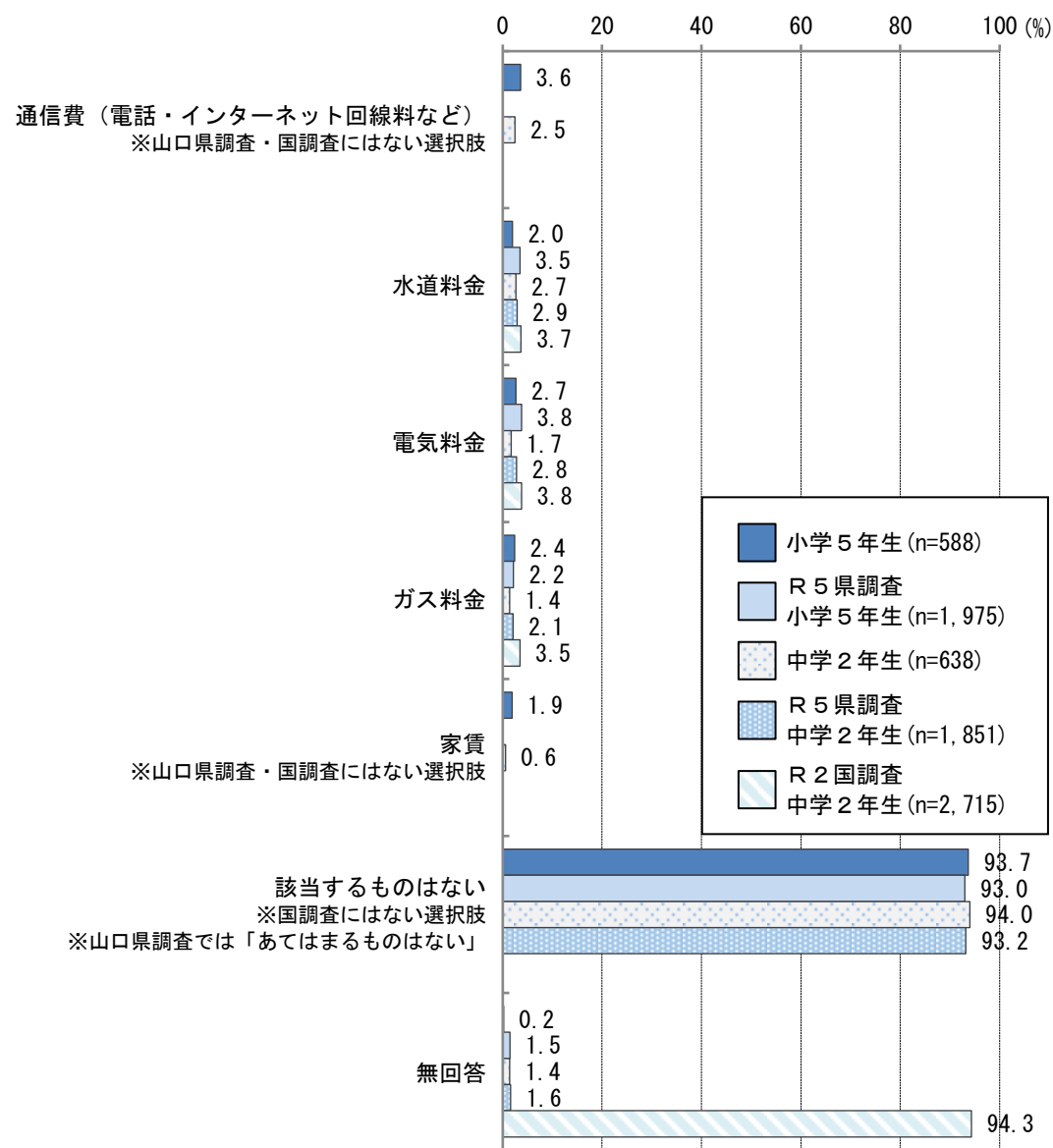


経済的理由により公共料金等が未払いになった経験について、「該当するものはない」との回答が 93.9%と最も高くなっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 経済的理由により公共料金等が未払いになった経験

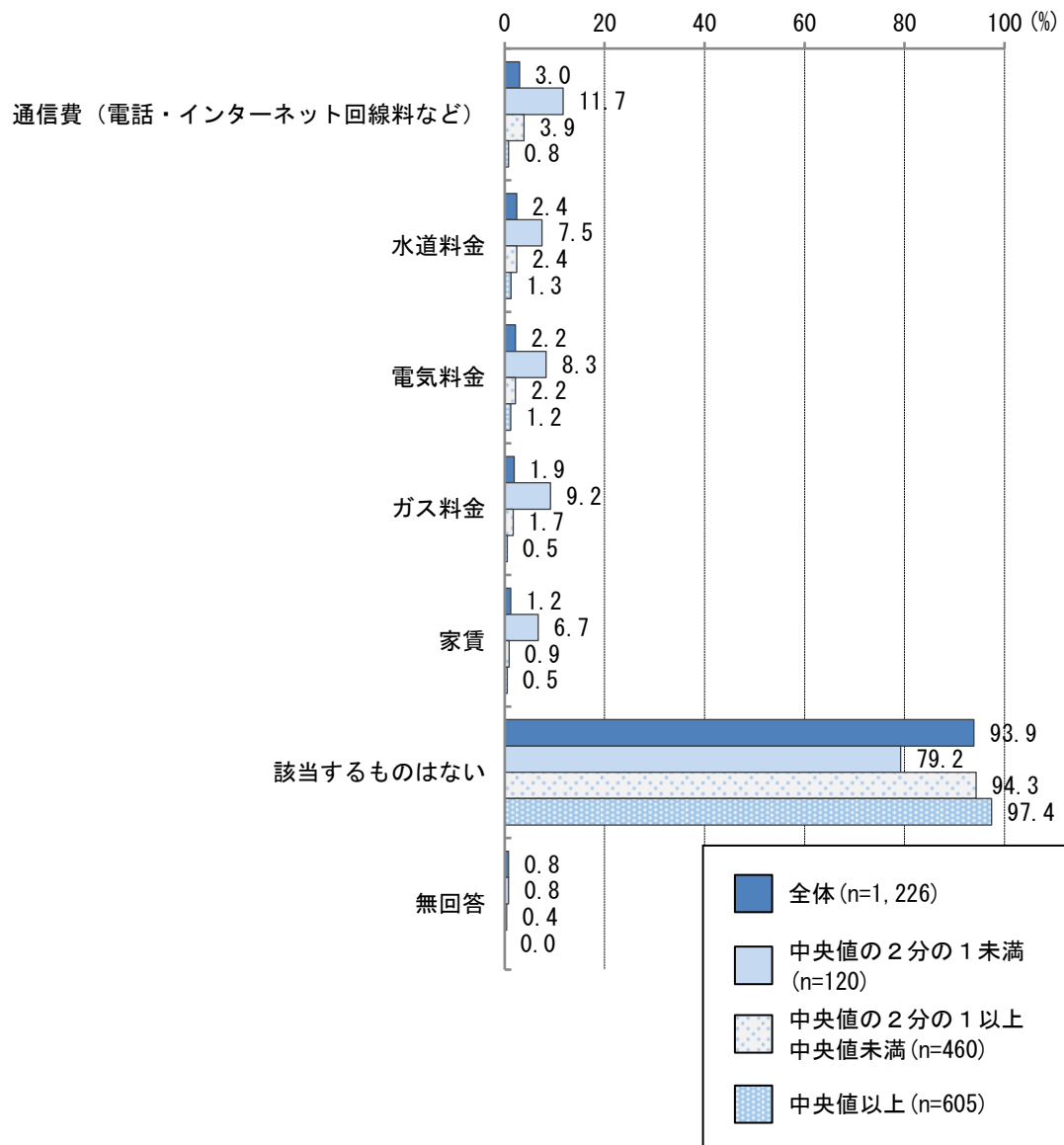
【山口県調査・国調査と比較】



山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■ 経済的理由により公共料金等が未払いになった経験

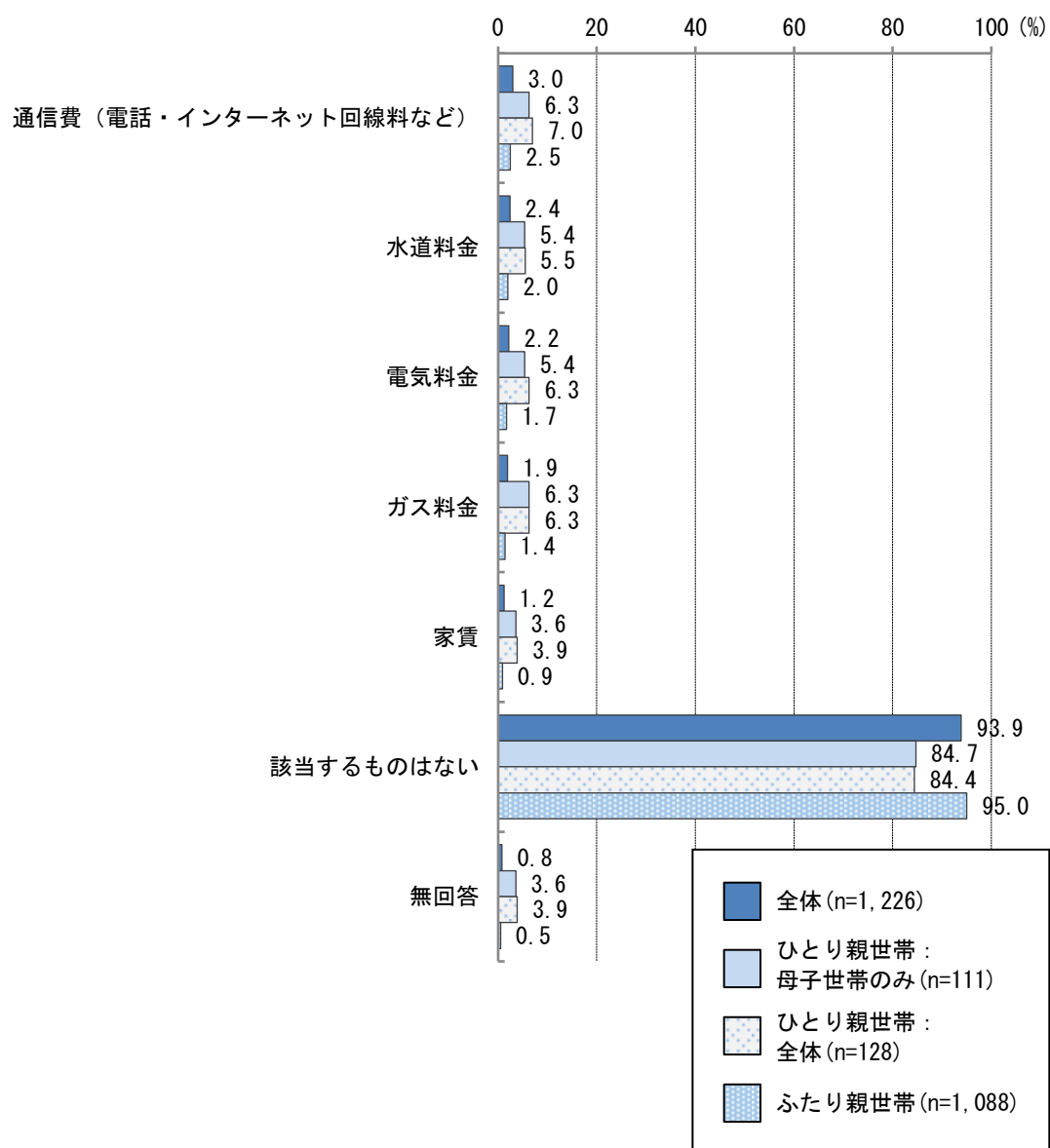
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「通信費（電話・インターネット回線料など）」、「水道料金」、「電気料金」、「ガス料金」、「家賃」のすべての回答で、中央値の2分の1未満の世帯が他の世帯に比べ5.0ポイント以上高くなっている。

■ 経済的理由により公共料金等が未払いになった経験

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「通信費（電話・インターネット回線料など）」、「電気料金」との回答はひとり親世帯全体がふたり親世帯に比べ 4.5 ポイント以上、「ガス料金」との回答はひとり親世帯母子世帯のみ、ひとり親世帯全体がふたり親世帯に比べ 4.5 ポイント以上高く、「該当するものはない」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 84.7%、ひとり親世帯全体で 84.4%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

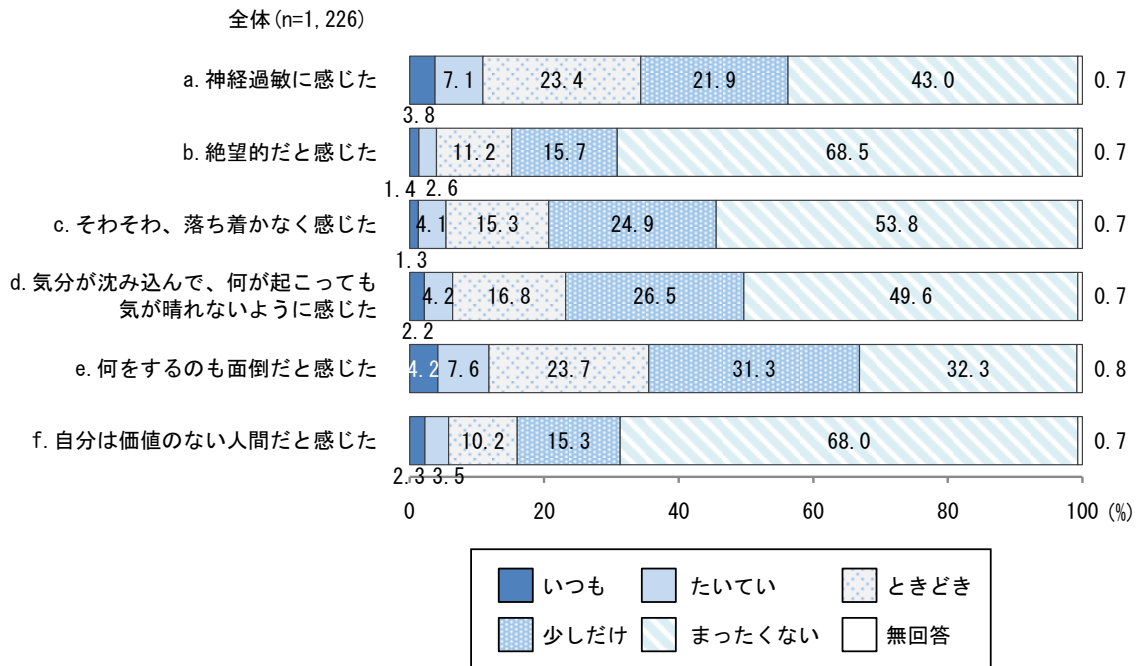
5 生活状況への感じ方について

保護者票問 24

以下の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。(SA)

■ 保護者の心理的な状態

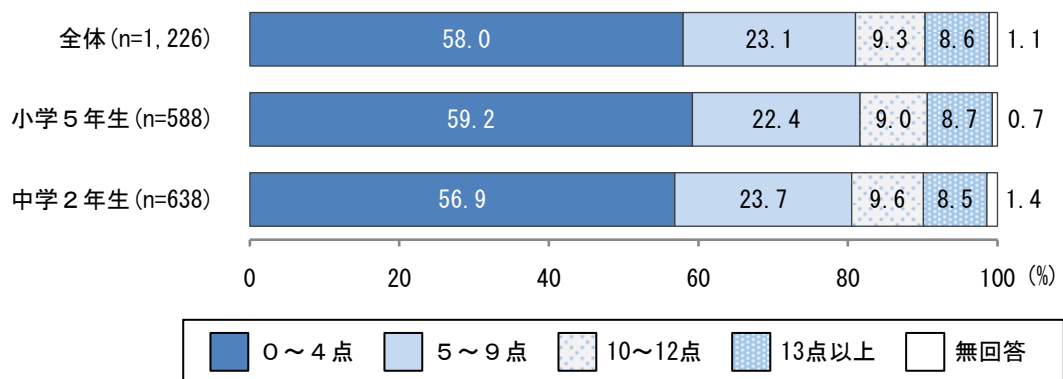
【全体】



保護者の心理的な状態について、『感じた』(「いつも」+「たいてい」+「ときどき」+「少しだけ」)との回答は「e. 何をするのも面倒だと感じた」の項目で66.8%、「a. 神経過敏に感じた」の項目で56.2%と高くなっている

■ K6※スコア

【全体/学年別】

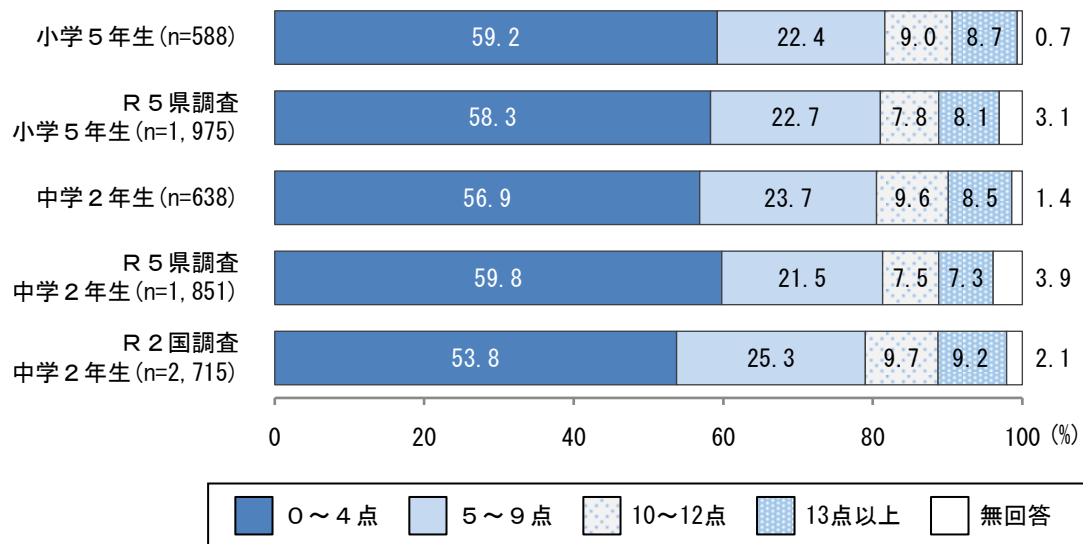


K6 スコアを算出すると、「0～4点」に該当する人が 58.0%、「5～9点」に該当する人が 23.1%、「10～12点」に該当する人が 9.3%、「13点以上」に該当する人が 8.6%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ K6 スコア

【山口県調査・国調査と比較】



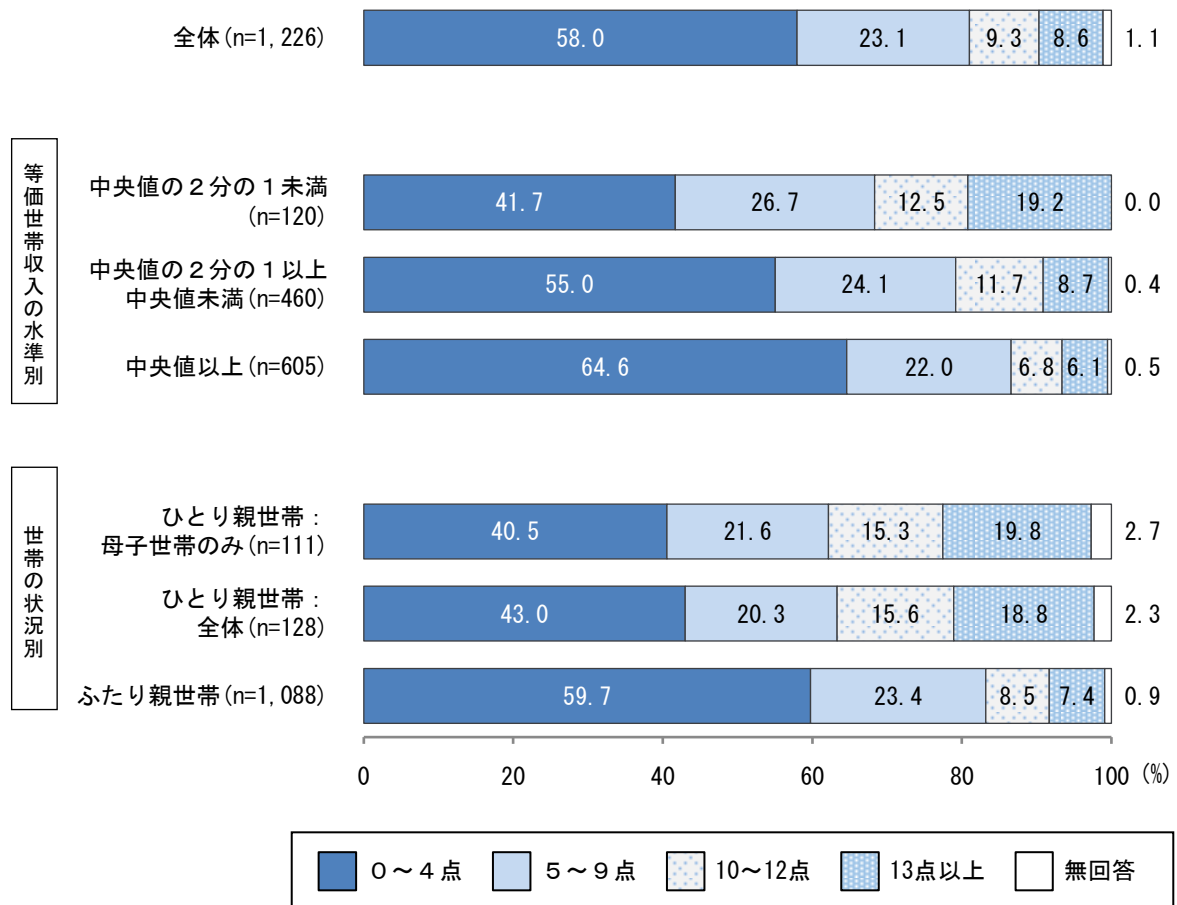
山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

※K6：6項目の質問でこころの健康状態をチェックすることができる尺度。

いつも：4点、たいてい：3点、ときどき：2点、少しだけ：1点、まったくない：0点と点数化し、合計0点～24点で判定する。合計点が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしてい

■ K6 スコア

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「0～4点」に該当する人は中央値の2分の1未満の世帯で41.7%と他の世帯に比べ低く、「13点以上」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で19.2%と他の世帯に比べ高くなっている。

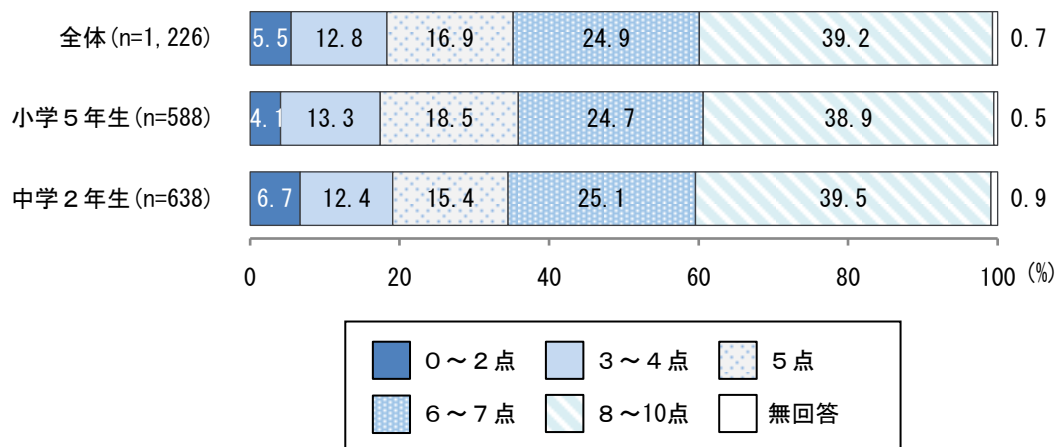
世帯の状況別にみると、「0～4点」に該当する人はひとり親世帯母子世帯のみで40.5%、ひとり親世帯全体で43.0%とふたり親世帯に比べ低く、「13点以上」に該当する人はひとり親世帯母子世帯のみで19.8%、ひとり親世帯全体で18.8%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

保護者票問 25

全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(SA)

■生活の満足度

【全体/学年別】

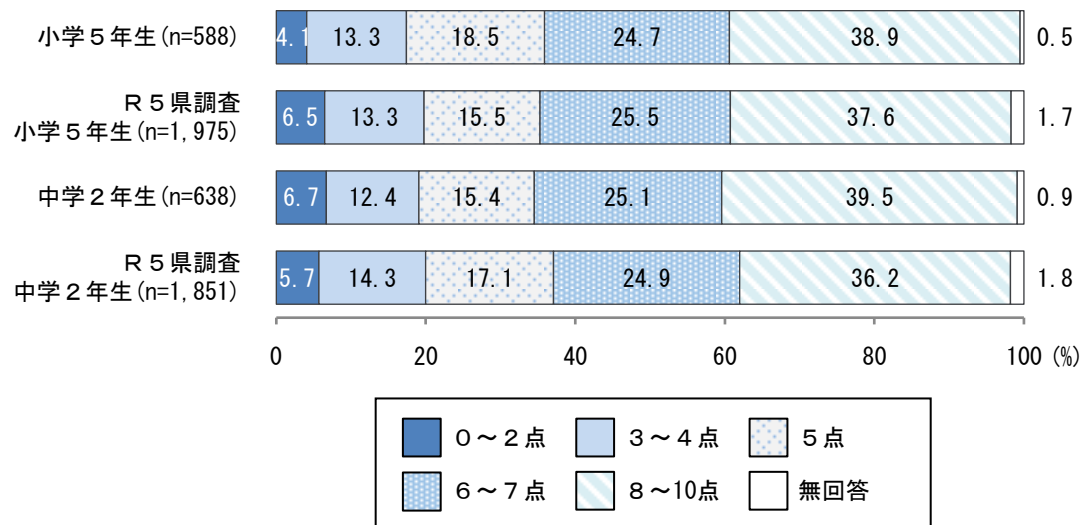


生活の満足度について、「0～2点」との回答が5.5%、「3～4点」との回答が12.8%、「5点」との回答が16.9%、「6～7点」との回答が24.9%、「8～10点」との回答が39.2%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 生活の満足度

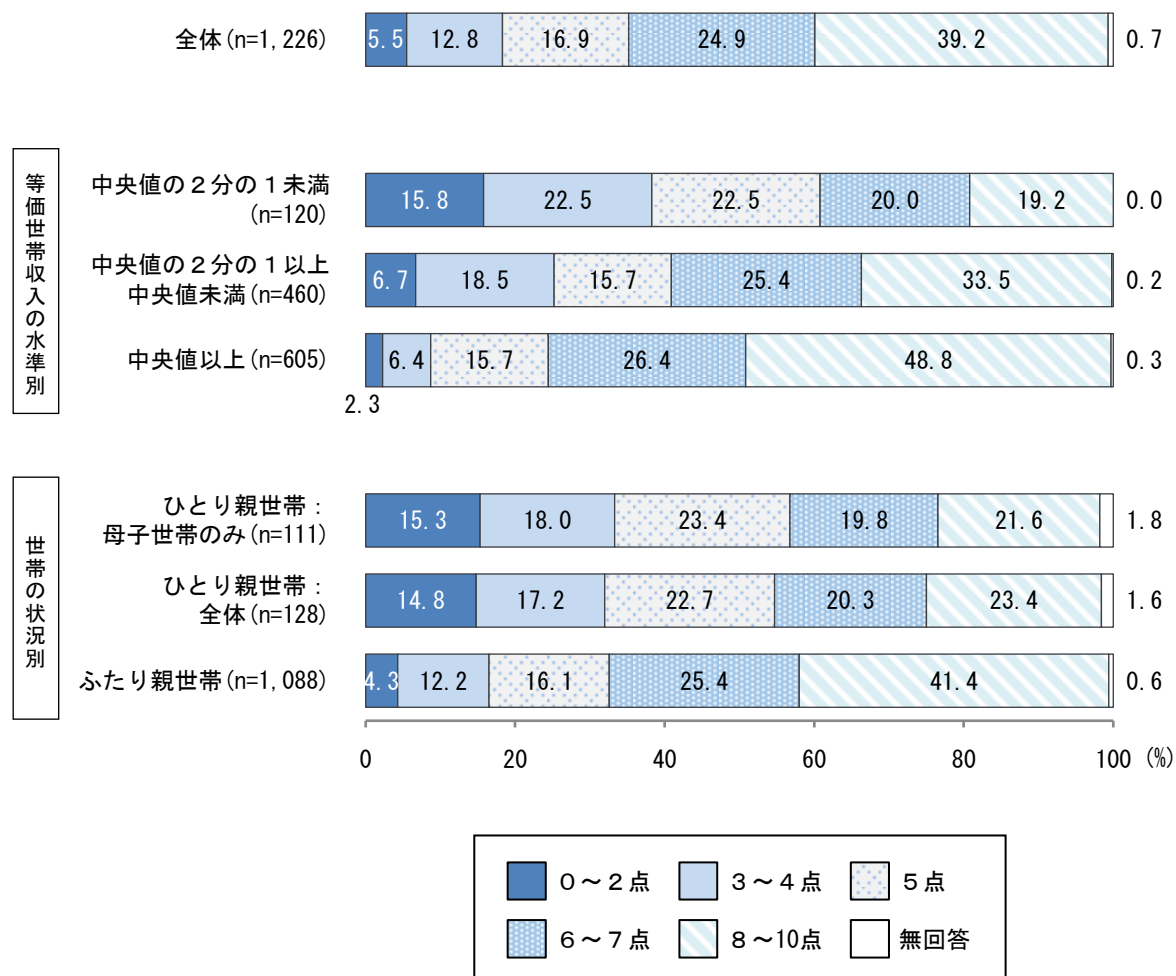
【山口県調査と比較】



山口県調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■生活の満足度

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「0～2点」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で15.8%と他の世帯に比べ高く、「8～10点」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で19.2%と他の世帯に比べ低くなっており、等価世帯収入の水準が高いほど点数が高い傾向がみられる。

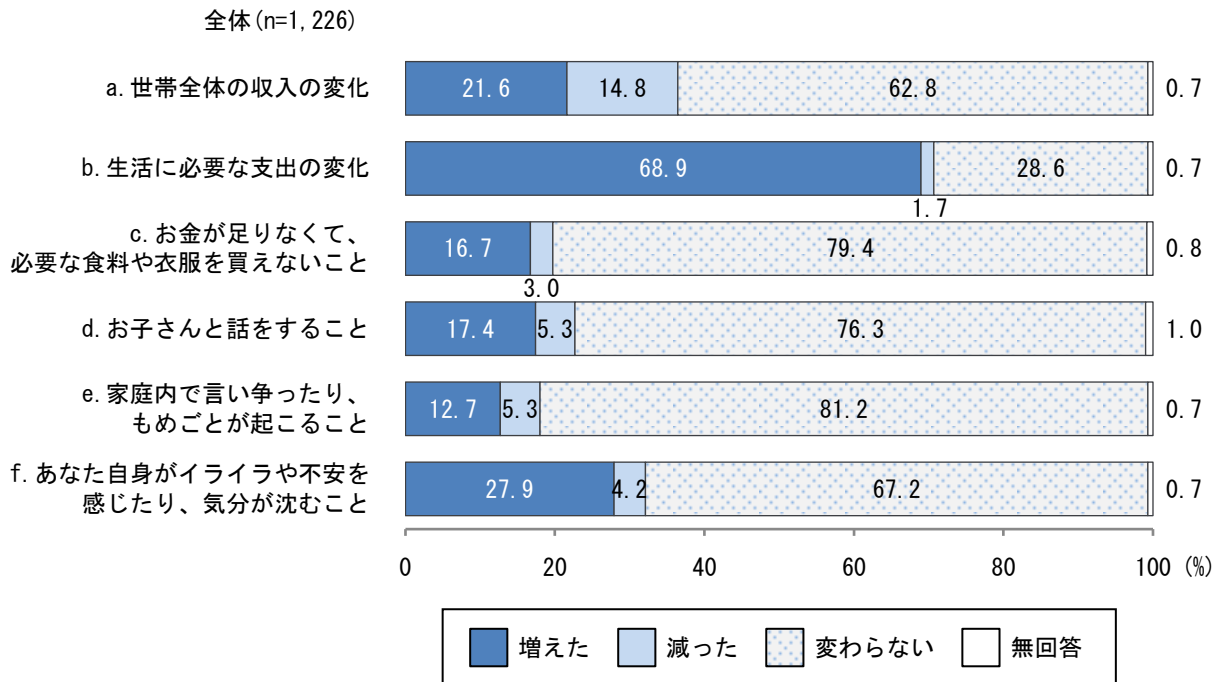
世帯の状況別にみると、「0～2点」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで15.3%、ひとり親世帯全体で14.8%とふたり親世帯に比べ高く、「8～10点」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで21.6%、ひとり親世帯全体で23.4%とふたり親世帯に比べ低くなっており、ひとり親世帯に比べふたり親世帯で点数が高い傾向がみられる。

保護者票問 26

あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（SA）

■ 新型コロナウイルス感染症の影響

【全体】

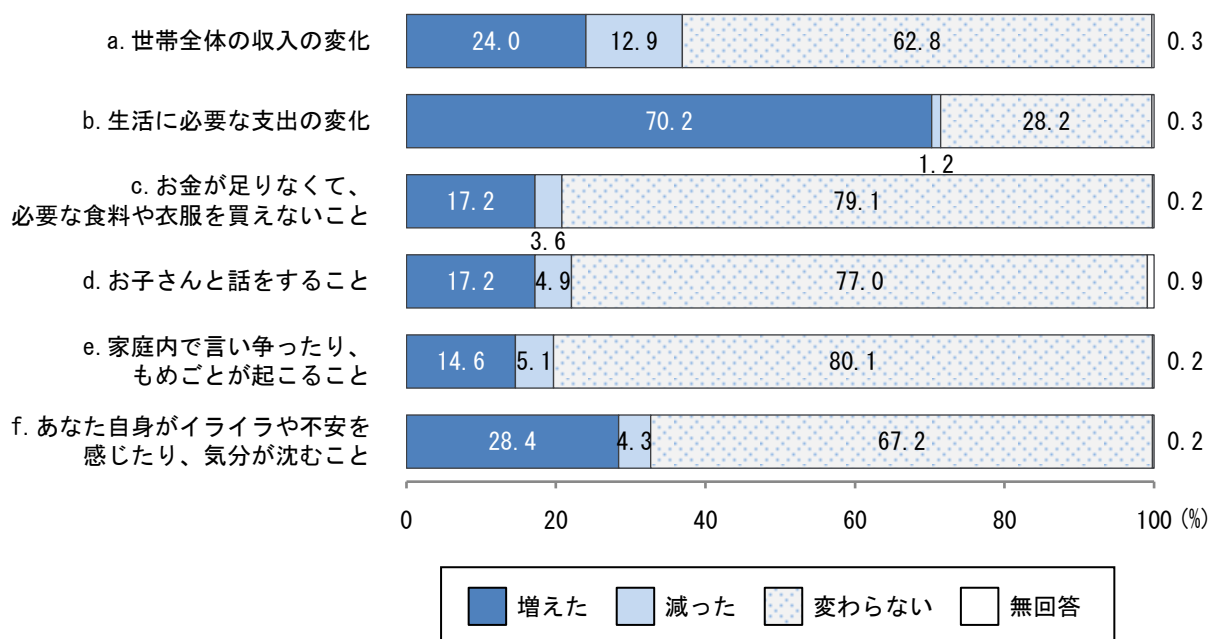


新型コロナウイルス感染症の影響について、「増えた」との回答は「b. 生活に必要な支出の変化」の項目で 68.9%、「減った」との回答は「a. 世帯全体の収入の変化」の項目で 14.8% と高くなっている。

■新型コロナウイルス感染症の影響

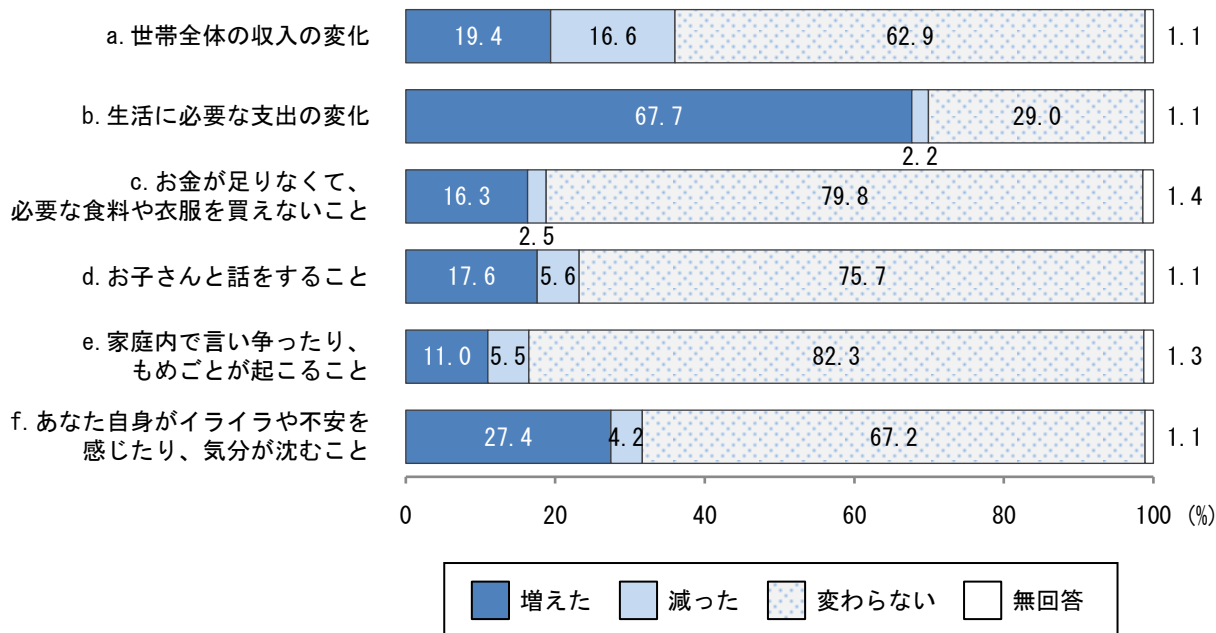
【小学5年生】

小学5年生 (n=588)



【中学2年生】

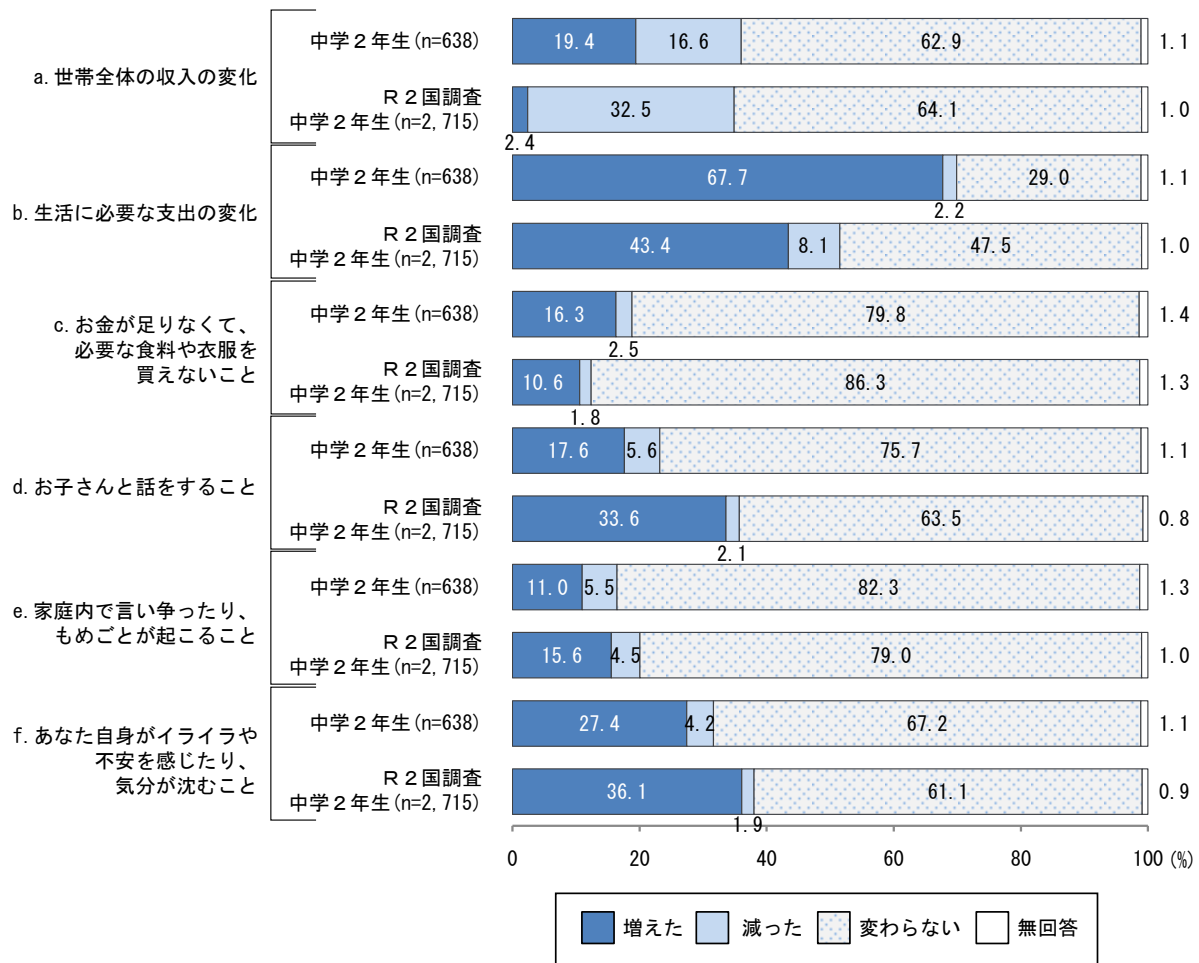
中学2年生 (n=638)



小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■新型コロナウイルス感染症の影響

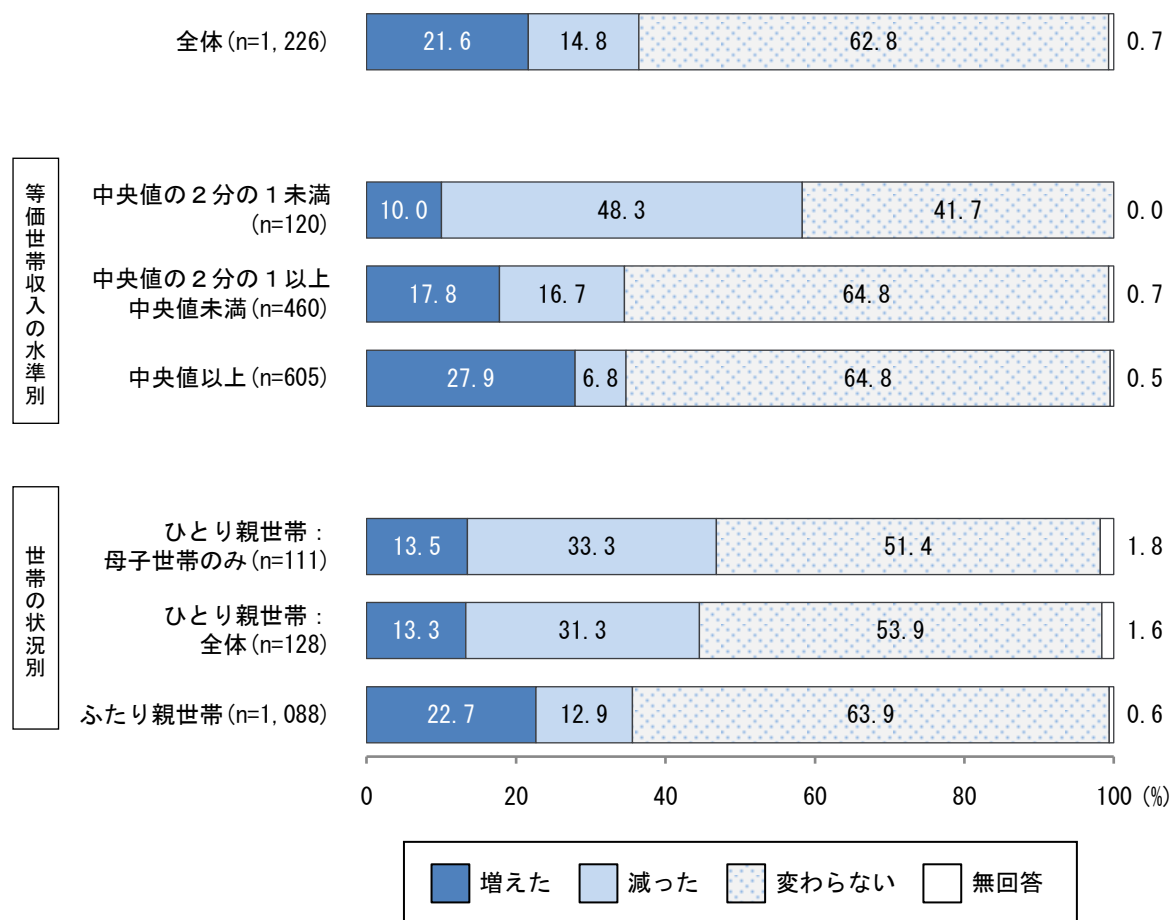
【国調査と比較】



新型コロナウイルス感染症の影響について、中学2年生を国調査と比較すると上記グラフのようになっているが、国調査の実施された令和2年と、周南市調査の実施された令和6年では新型コロナウイルス感染症の影響が大きく異なるので回答傾向は記述しない。

■世帯全体の収入の変化

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

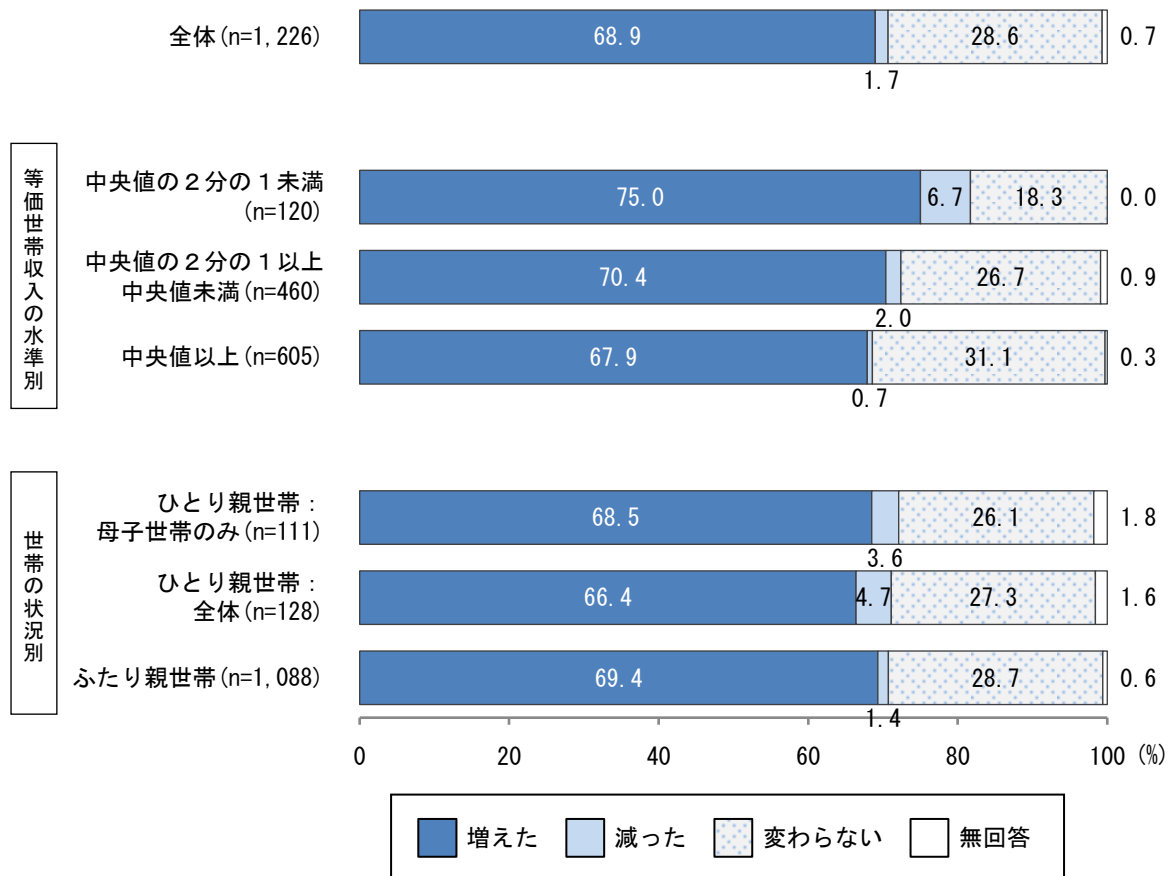


世帯全体の収入の変化について、等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で10.0%と他の世帯に比べ低く、「減った」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で48.3%と他の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで13.5%、ひとり親世帯全体で13.3%とふたり親世帯に比べ低く、「減った」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで33.3%、ひとり親世帯全体で31.3%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■ 生活に必要な支出の変化

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

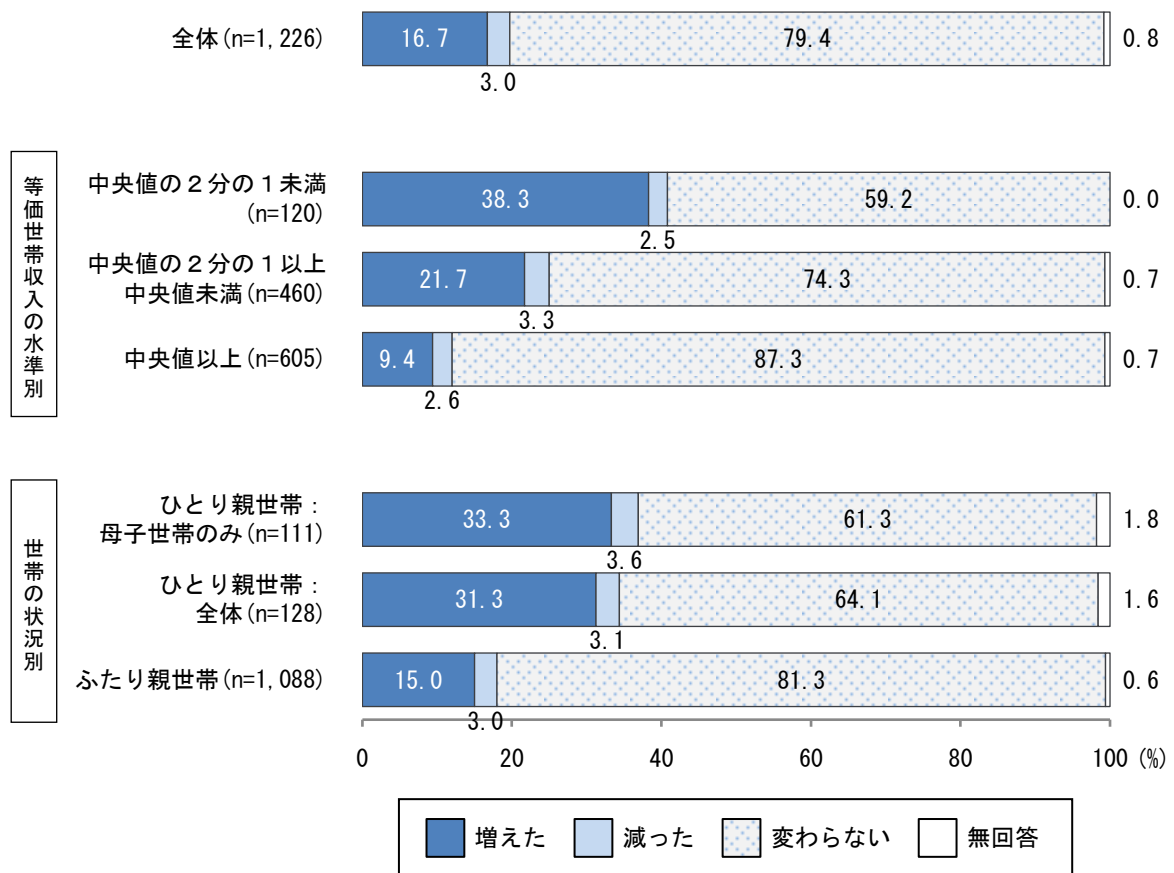


生活に必要な支出の変化について、等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で75.0%、「減った」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で6.7%と中央値以上の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」との回答はすべての世帯で65.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

■ お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

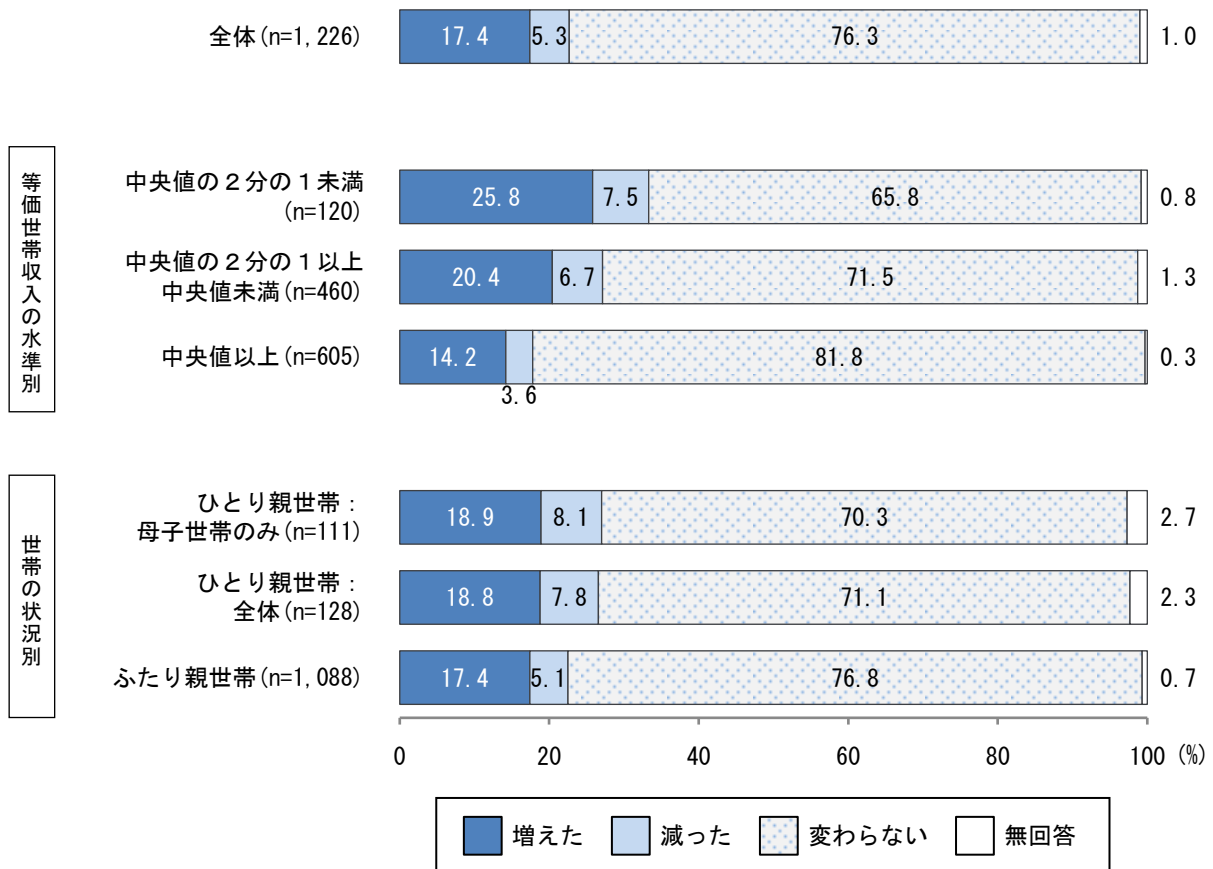


お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないことについて、等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で38.3%と他の世帯に比べ高く、等価世帯収入の水準が高いほど低くなっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで33.3%、ひとり親世帯全体で31.3%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■ 子どもと話をすること

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

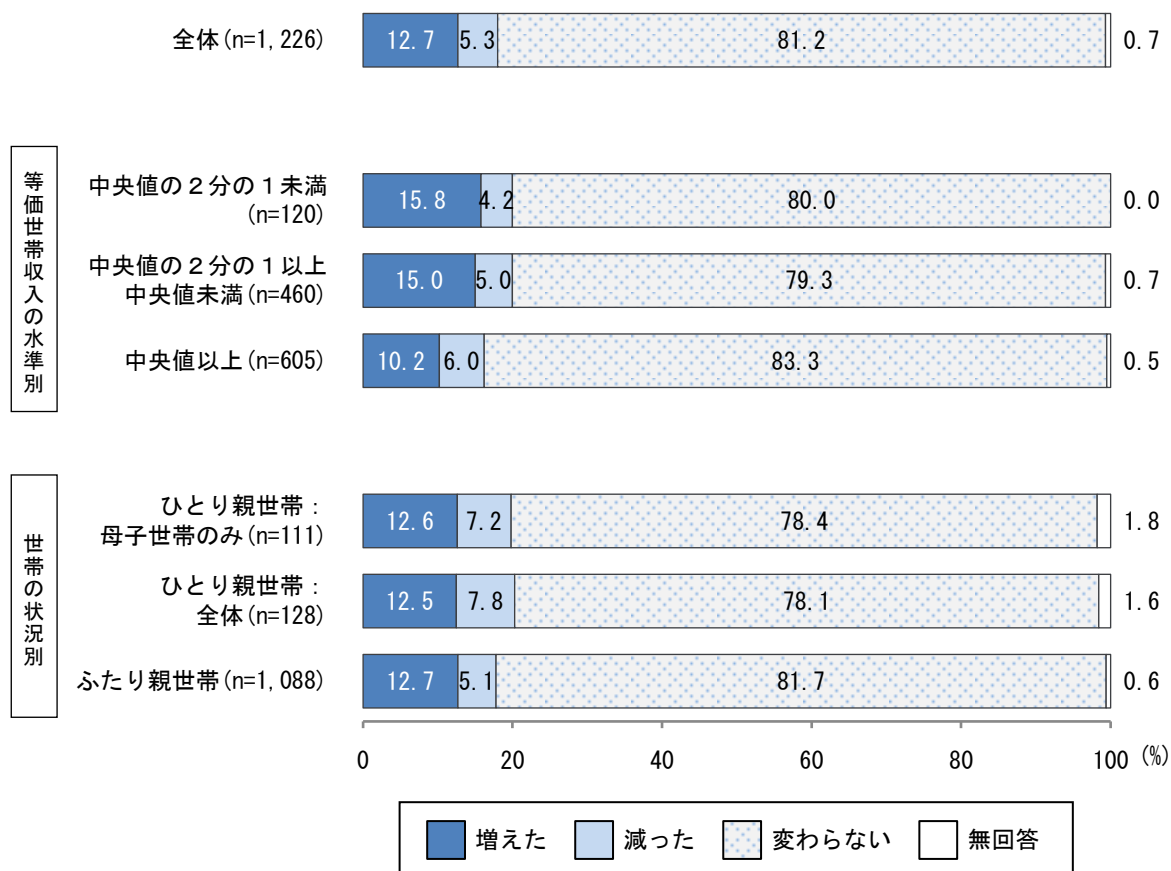


子どもと話をすることについて、等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で25.8%と他の世帯に比べ高く、等価世帯収入の水準が高いほど低くなっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」との回答はすべての世帯で15.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

■ 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

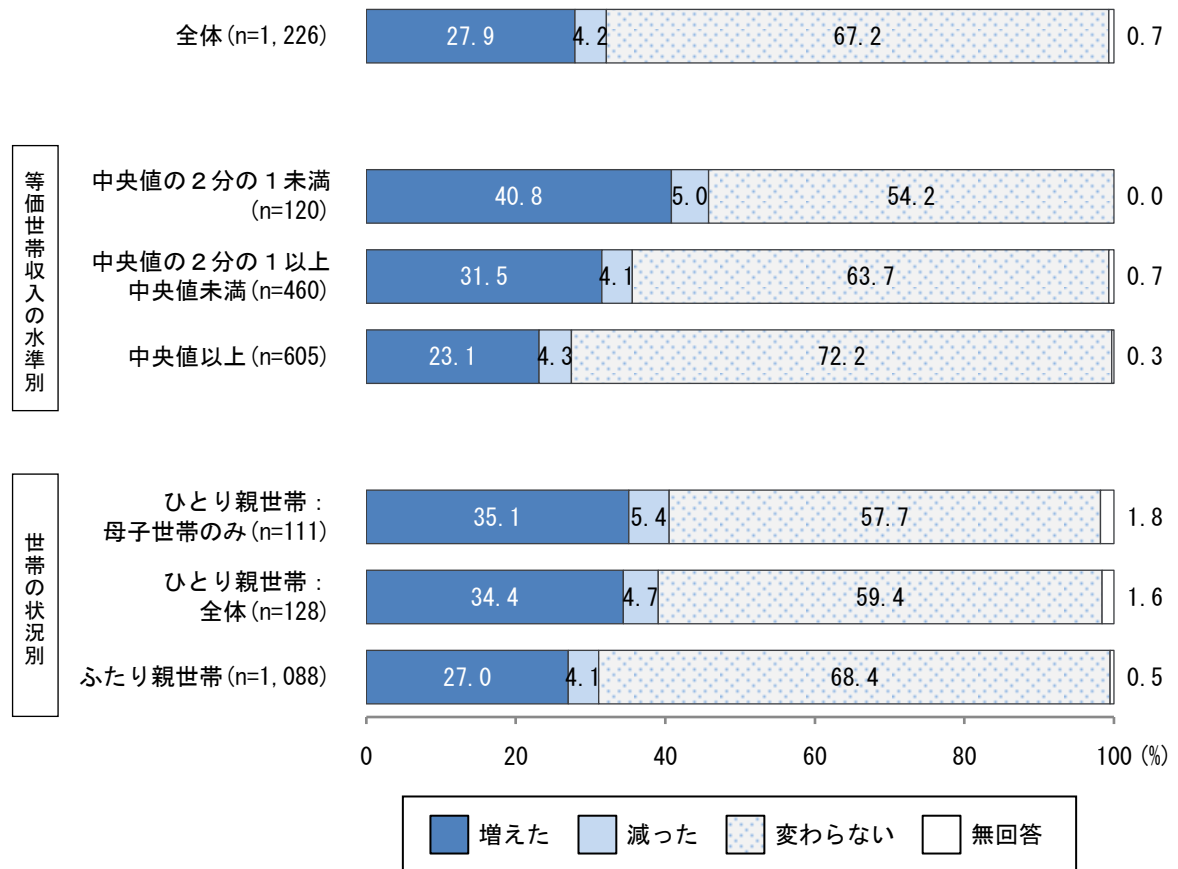


家庭内で言い争ったり、もめごとが起こることについて、等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で15.8%と中央値以上の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」との回答はすべての世帯で15.0%未満となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

■ 自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むことについて、等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で40.8%と他の世帯に比べ高く、等価世帯収入の水準が高いほど低くなっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで35.1%、ひとり親世帯全体で34.4%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

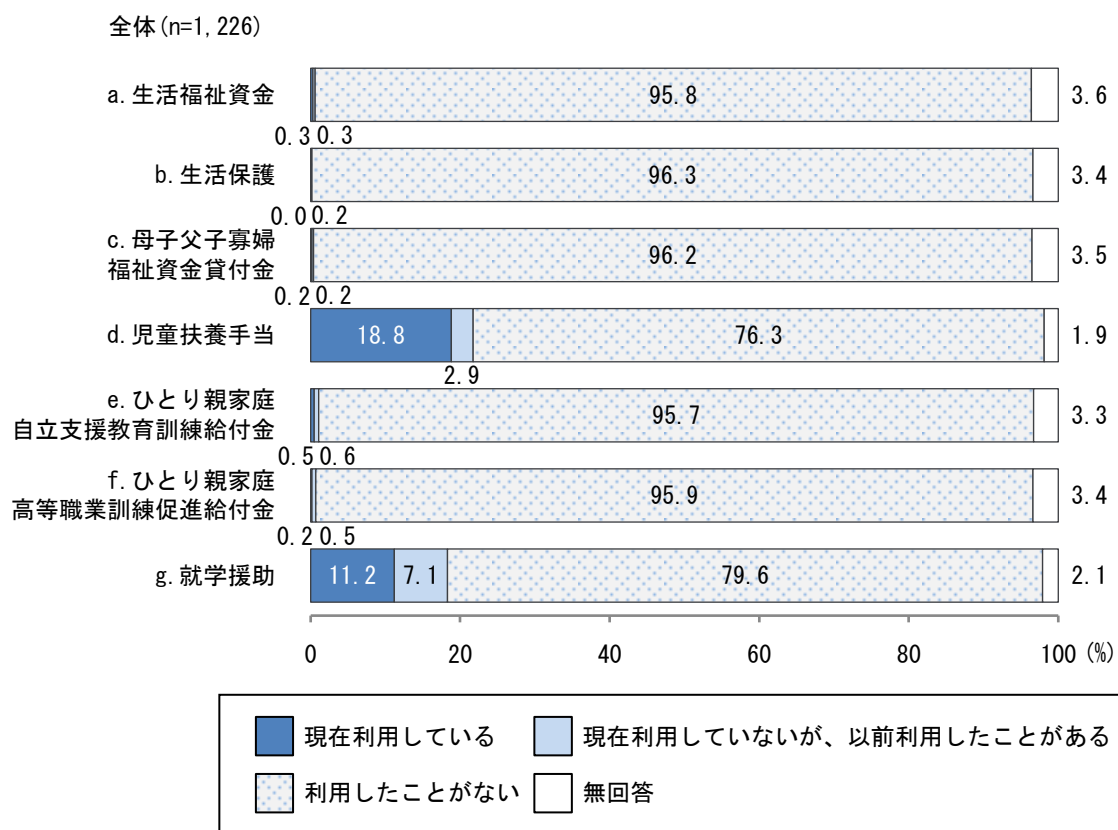
6 支援制度の利用状況について

保護者票問 27

あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(SA)

■ 支援制度の利用状況

【全体】

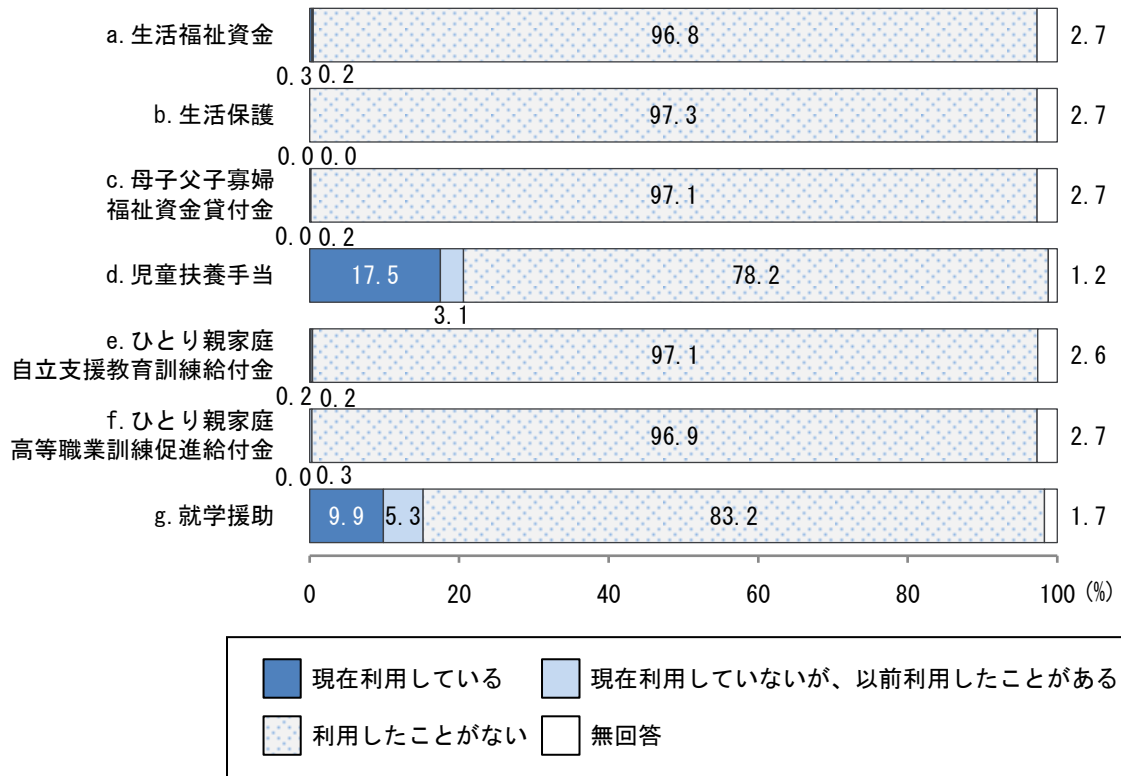


支援制度の利用状況について、「現在利用している」との回答は「d. 児童扶養手当」の項目で18.8%、「g. 就学援助」の項目で11.2%と高くなっている。また、「b. 生活保護」の項目では「現在利用している」との回答が0.0%となっている。

■ 支援制度の利用状況

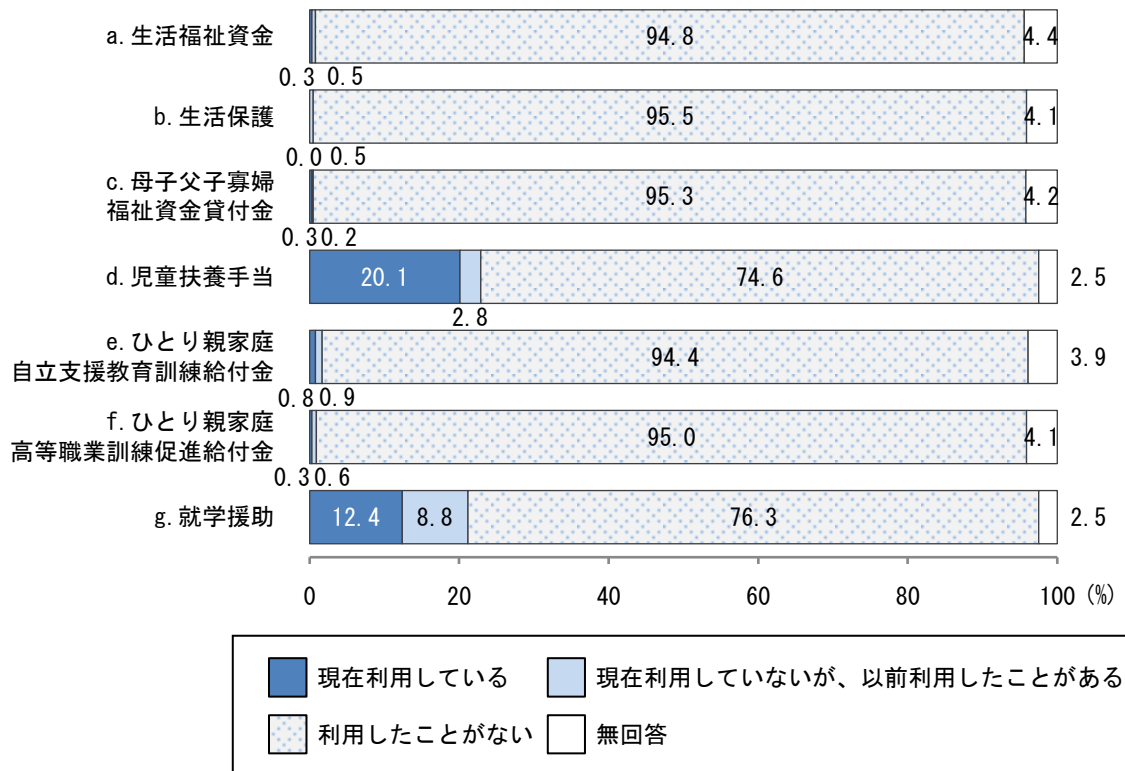
【小学5年生】

小学5年生 (n=588)



【中学2年生】

中学2年生 (n=638)

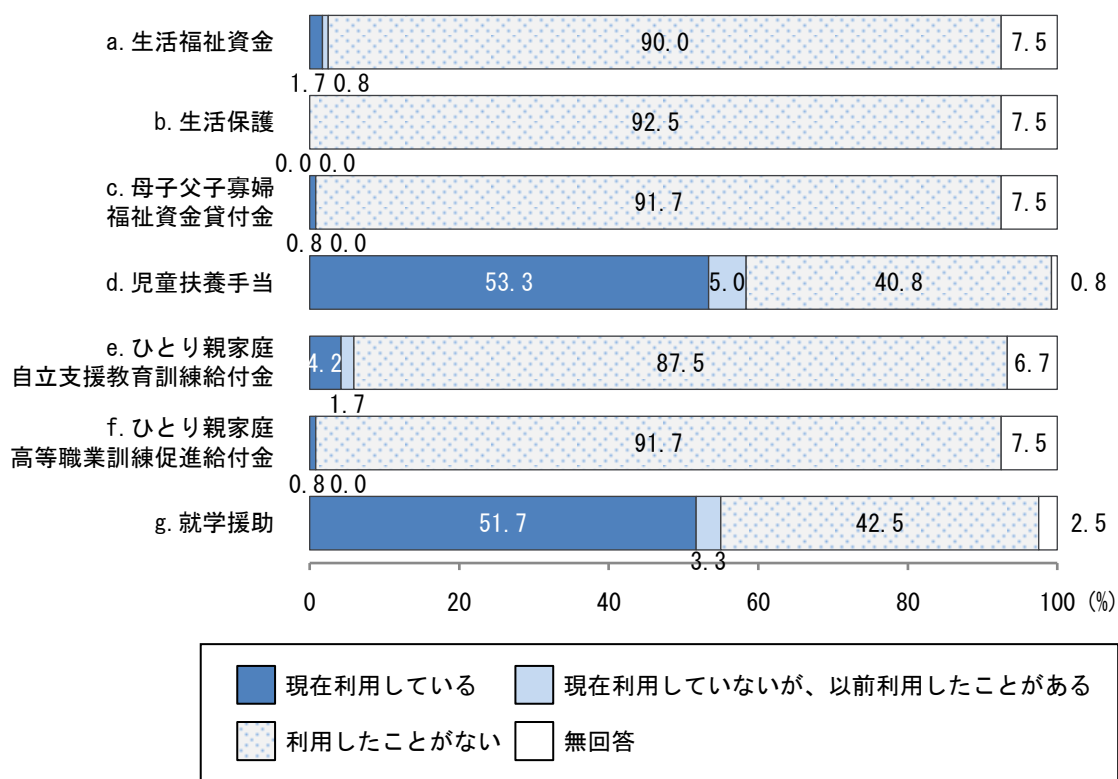


小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 支援制度の利用状況

【中央値の2分の1未満の世帯】

中央値の2分の1未満の世帯
(n=120)

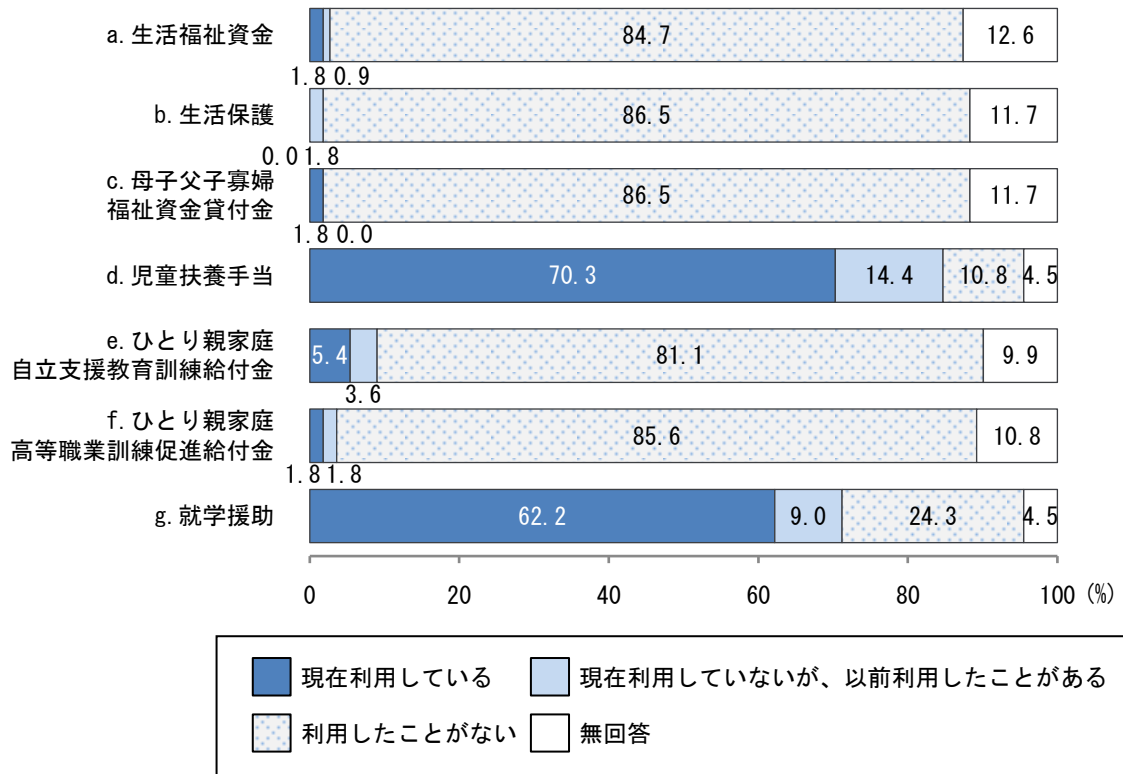


支援制度の利用状況について、中央値の2分の1未満の世帯の状況をみると、「現在利用している」との回答は「d. 児童扶養手当」の項目で53.3%、「g. 就学援助」の項目で51.7%と高くなっている。

■ 支援制度の利用状況

【ひとり親世帯母子世帯のみ】

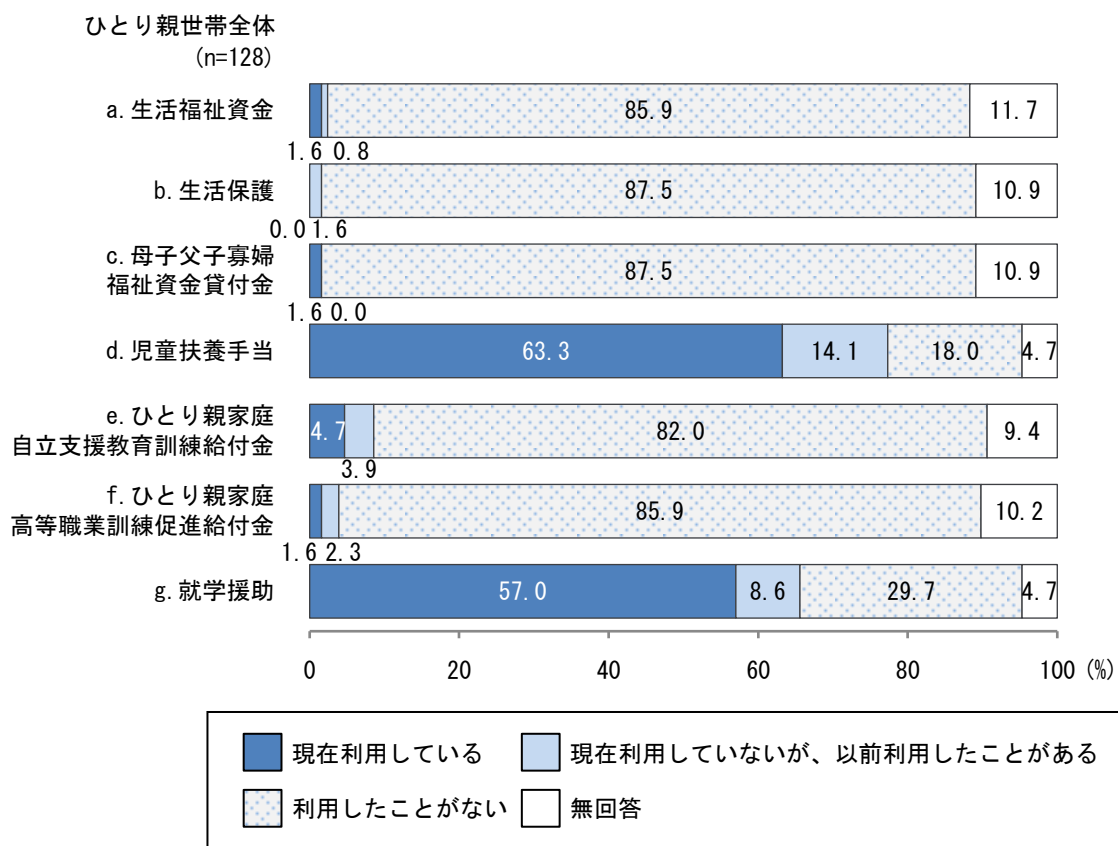
ひとり親世帯母子世帯のみ
(n=111)



ひとり親世帯母子世帯のみの状況をみると、「現在利用している」との回答は「d. 児童扶養手当」の項目で70.3%、「g. 就学援助」の項目で62.2%と高くなっている。

■ 支援制度の利用状況

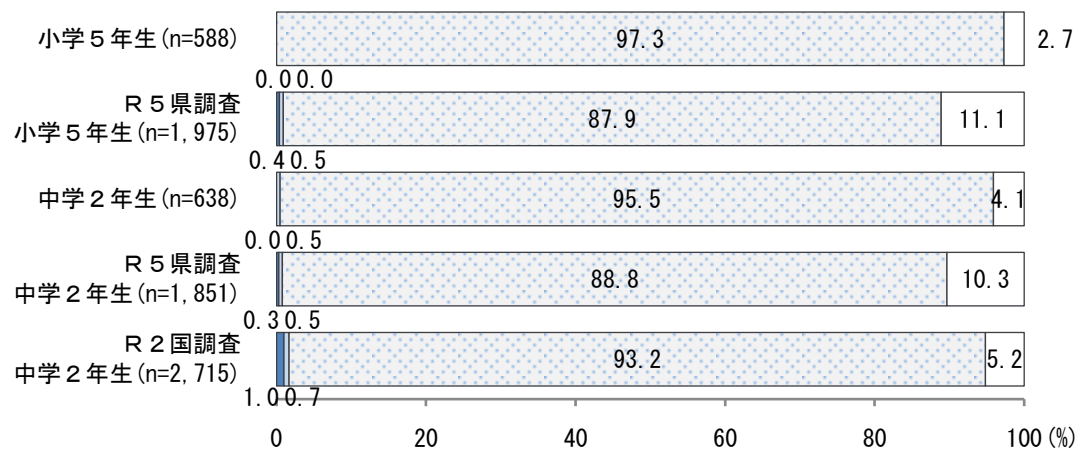
【ひとり親世帯全体】



ひとり親世帯全体の状況をみると、「現在利用している」との回答は「d. 児童扶養手当」の項目で63.3%、「g. 就学援助」の項目で57.0%と高くなっている。

■生活保護

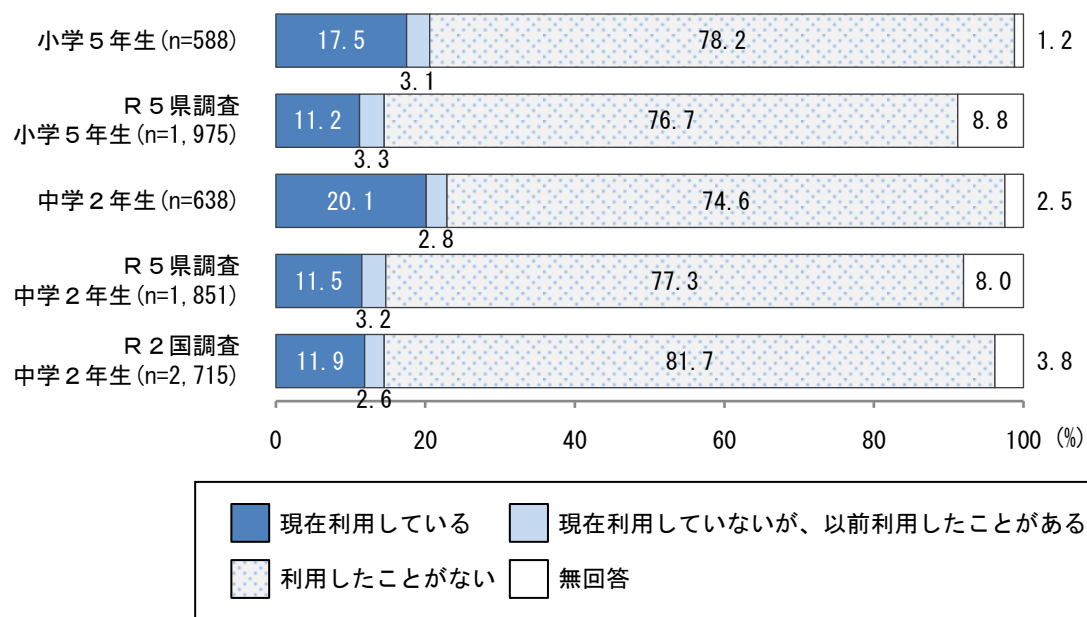
【山口県調査・国調査と比較】



生活保護の利用状況について、山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■児童扶養手当

【山口県調査・国調査と比較】

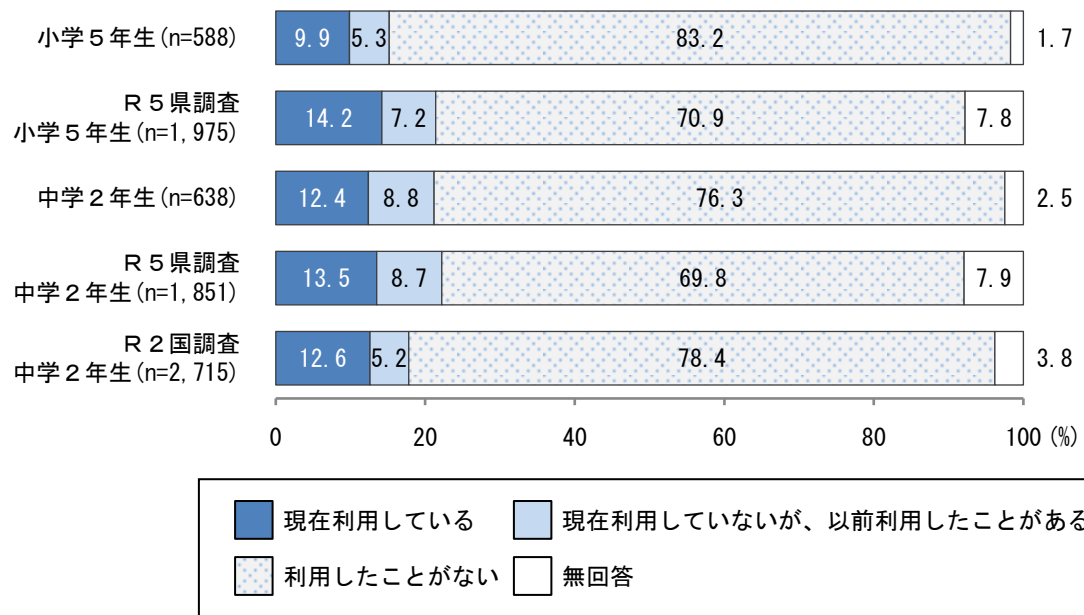


児童扶養手当の利用状況について、小学5年生を山口県調査と比較すると、「現在利用している」との回答は周南市が県を6.3ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「現在利用している」との回答は周南市が県を8.6ポイント、国を8.2ポイント上回っている。

■ 就学援助

【山口県調査・国調査と比較】



就学援助の利用状況について、山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

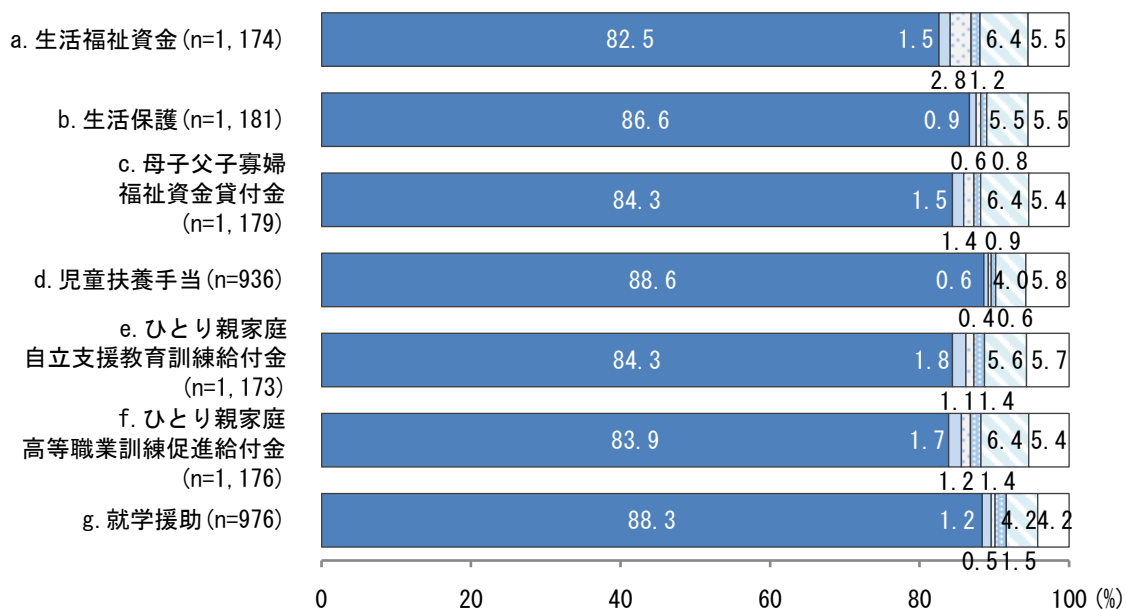
問 27 で「3 利用したことがない」と答えた人にお聞きます。

保護者票問 28

その理由を教えてください。(SA)

■ 支援制度を利用したことがない理由

【全体】

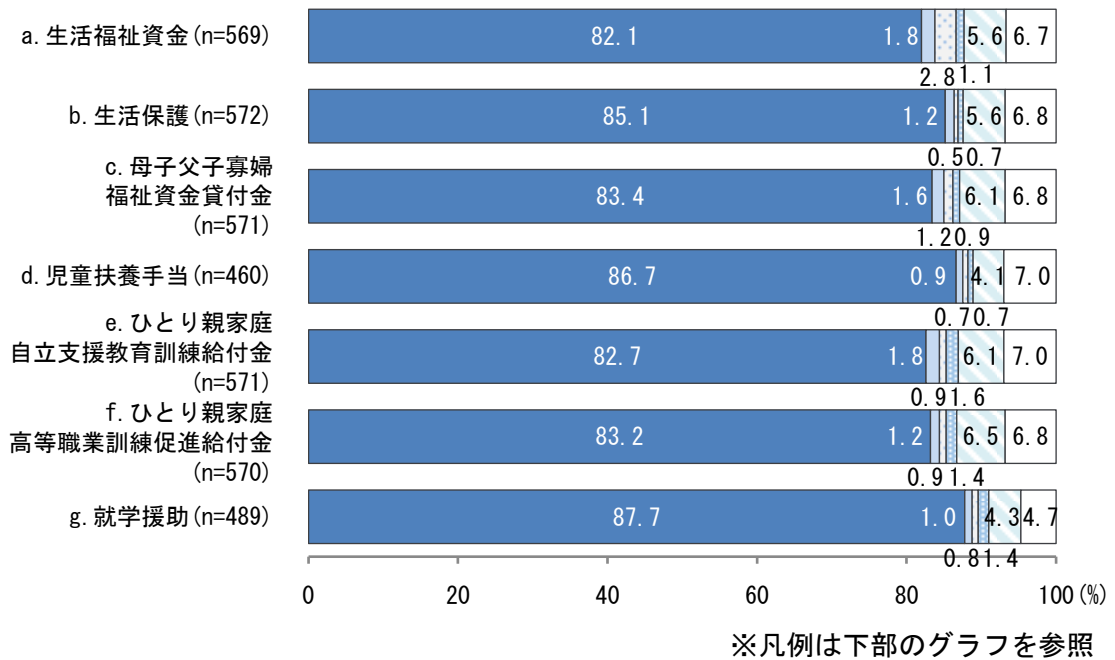


- 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

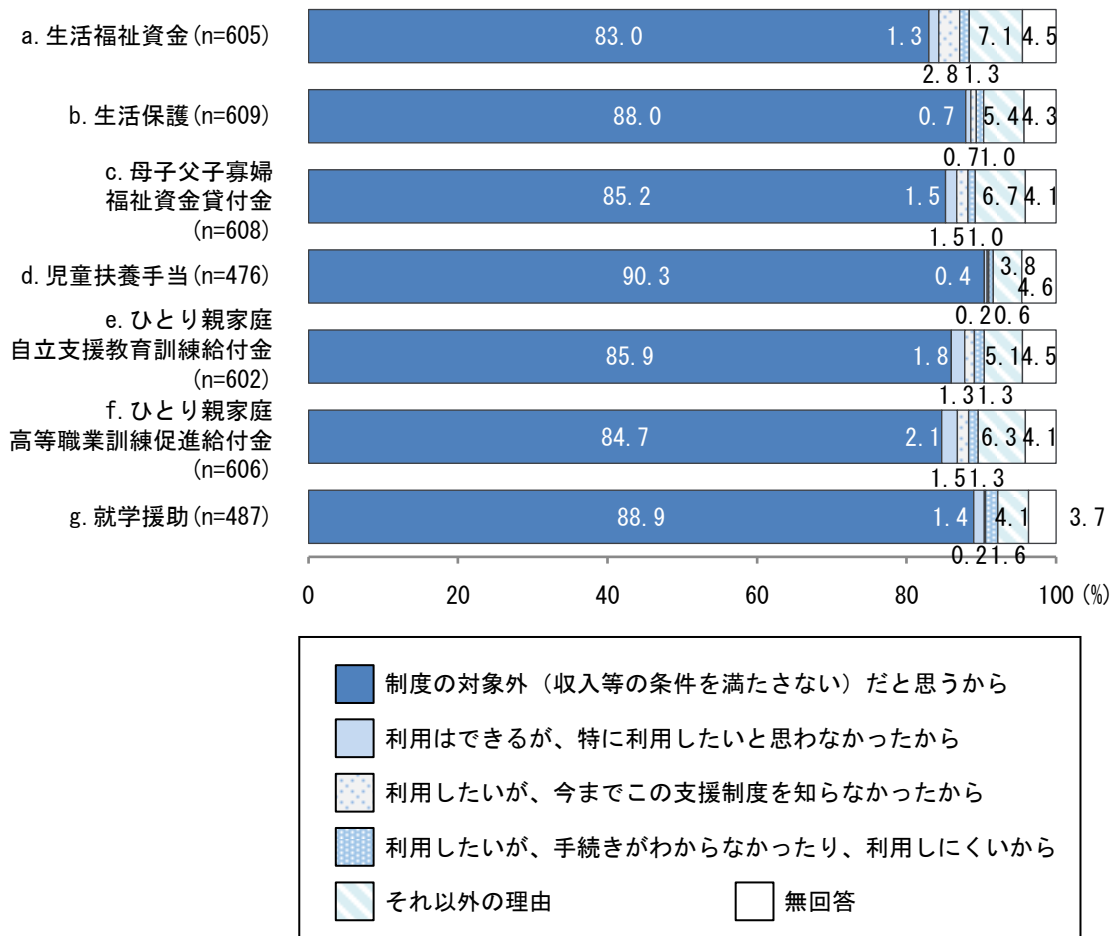
支援制度を利用したことがない理由について、すべての支援制度で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」との回答が80.0%以上と高くなっている。

■ 支援制度を利用したことがない理由

【小学5年生】



【中学2年生】

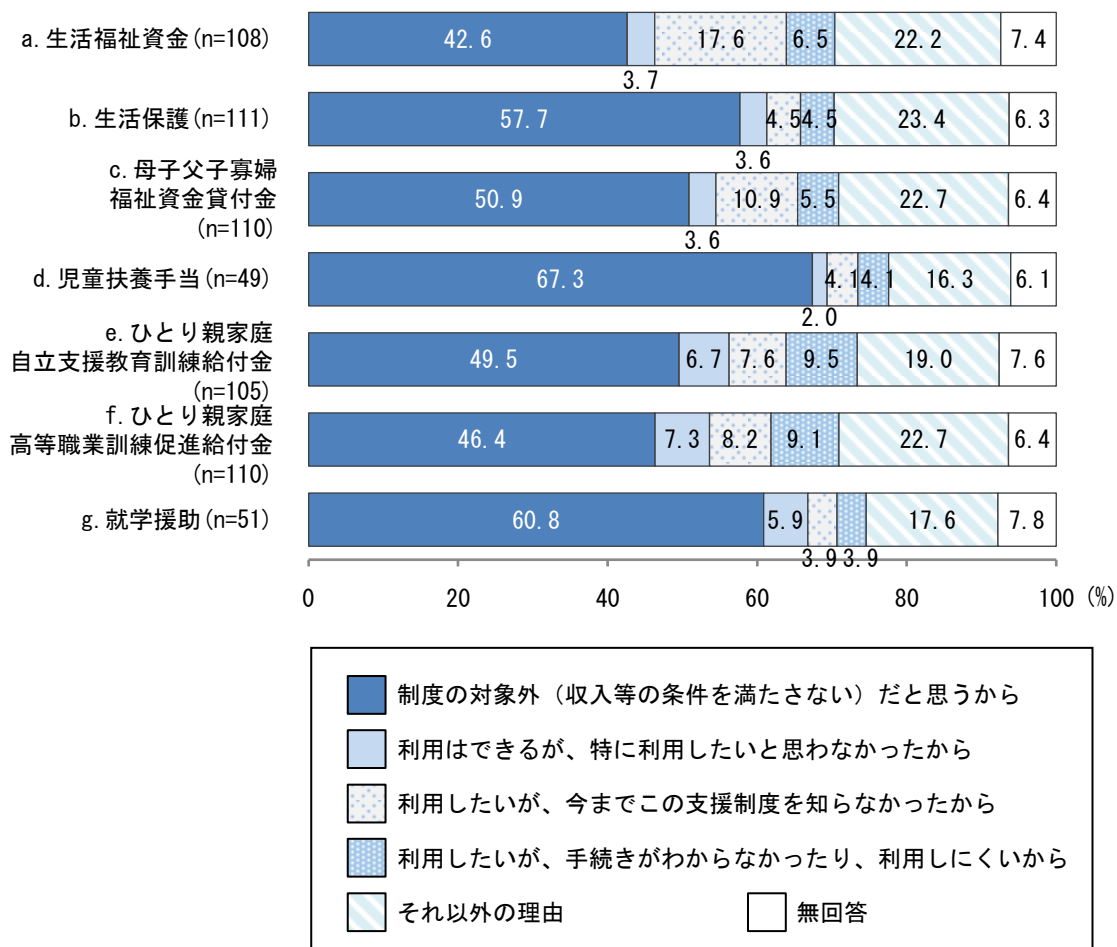


小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 支援制度を利用したことがない理由

【中央値の2分の1未満の世帯】

中央値の2分の1未満の世帯

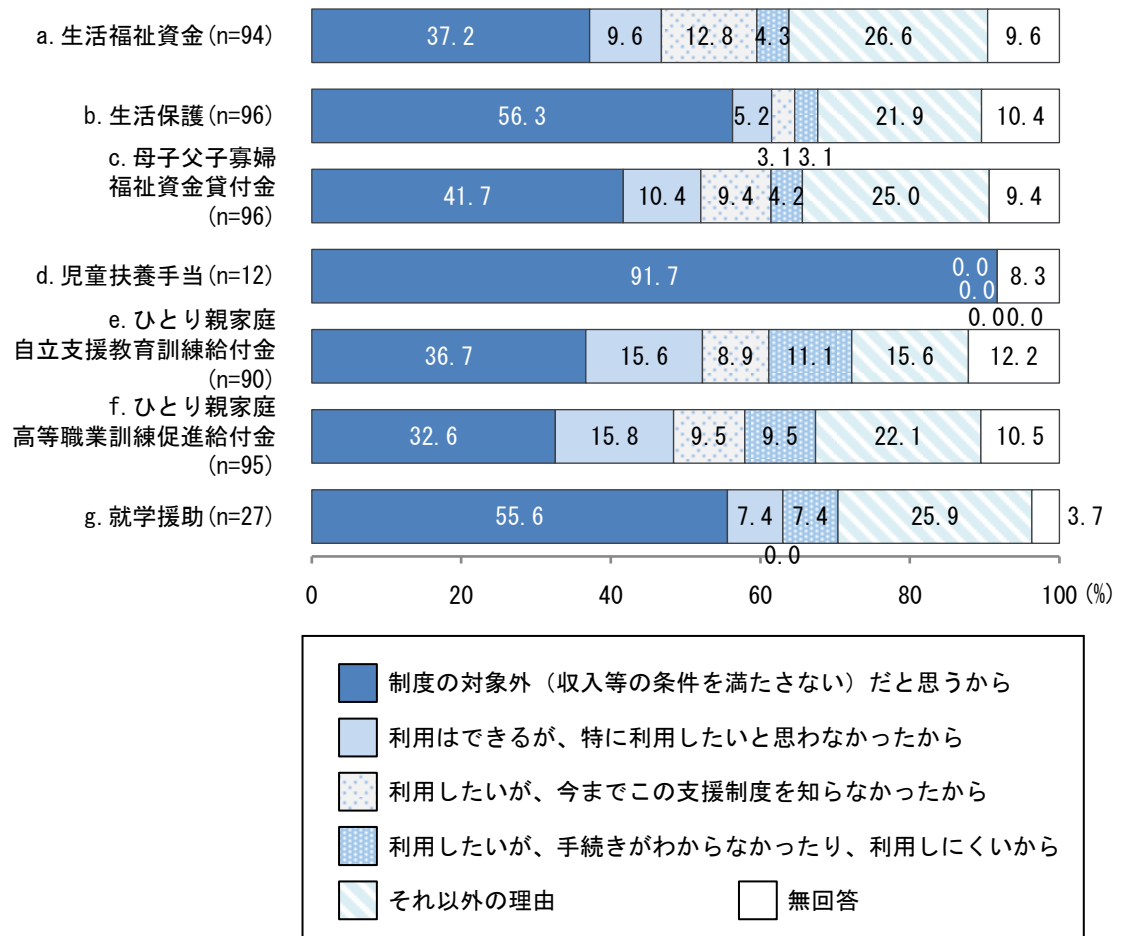


支援制度を利用したことがない理由について、中央値の2分の1未満の世帯の状況をみると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」との回答は「d. 児童扶養手当」の項目で67.3%、「g. 就学援助」の項目で60.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」との回答は「a. 生活福祉資金」の項目で17.6%と高く、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」との回答は「e. ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金」の項目で9.5%、「f. ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金」の項目で9.1%とやや高くなっている。

■ 支援制度を利用したことがない理由

【ひとり親世帯母子世帯のみ】

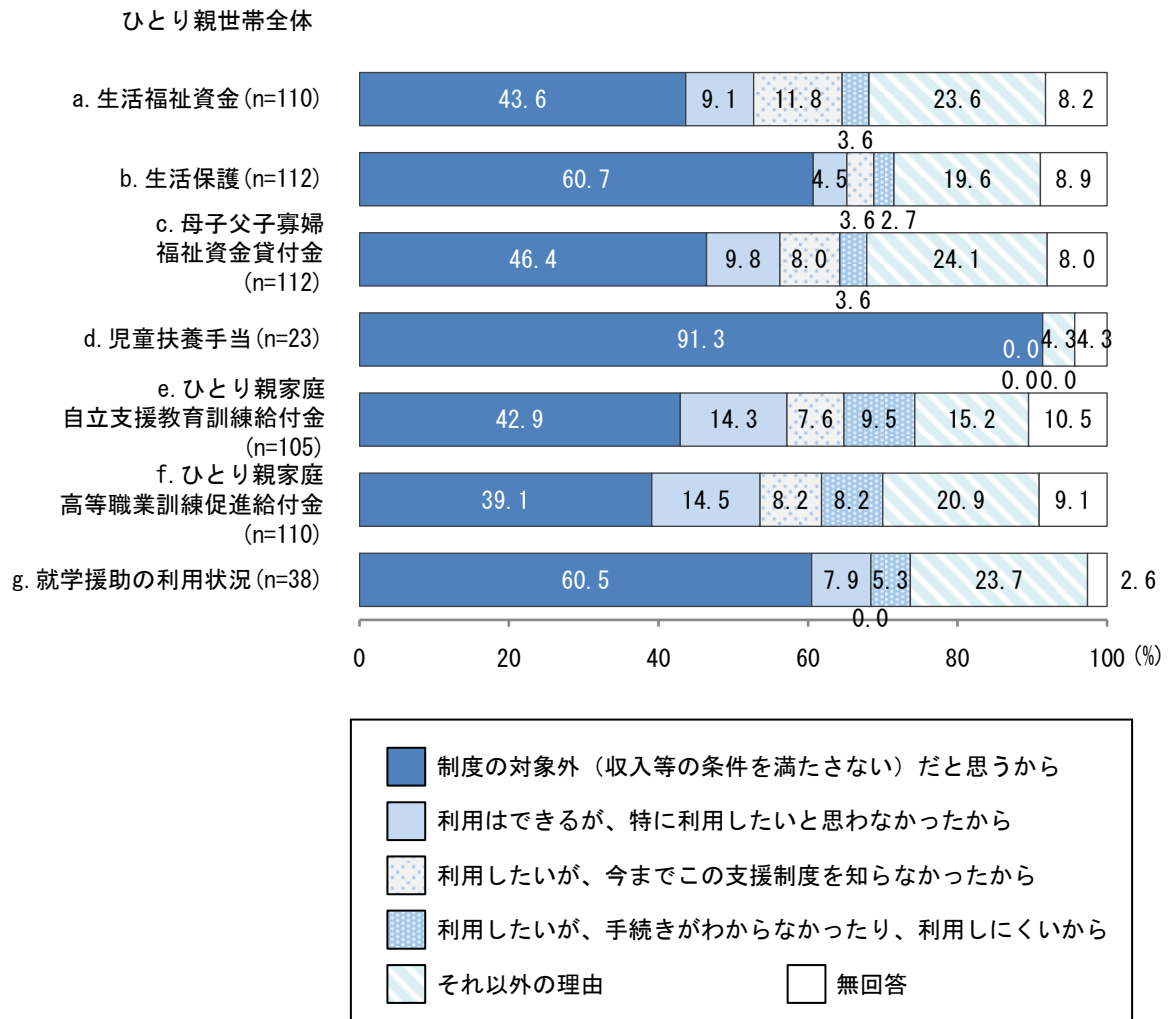
ひとり親世帯母子世帯のみ



ひとり親世帯母子世帯のみの状況をみると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」との回答は「d. 児童扶養手当」の項目で91.7%と高く、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」との回答は「e. ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金」の項目で15.6%、「f. ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金」の項目で15.8%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」との回答は「e. ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金」の項目で11.1%、「f. ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金」の項目で9.5%とやや高くなっている。

■ 支援制度を利用したことがない理由

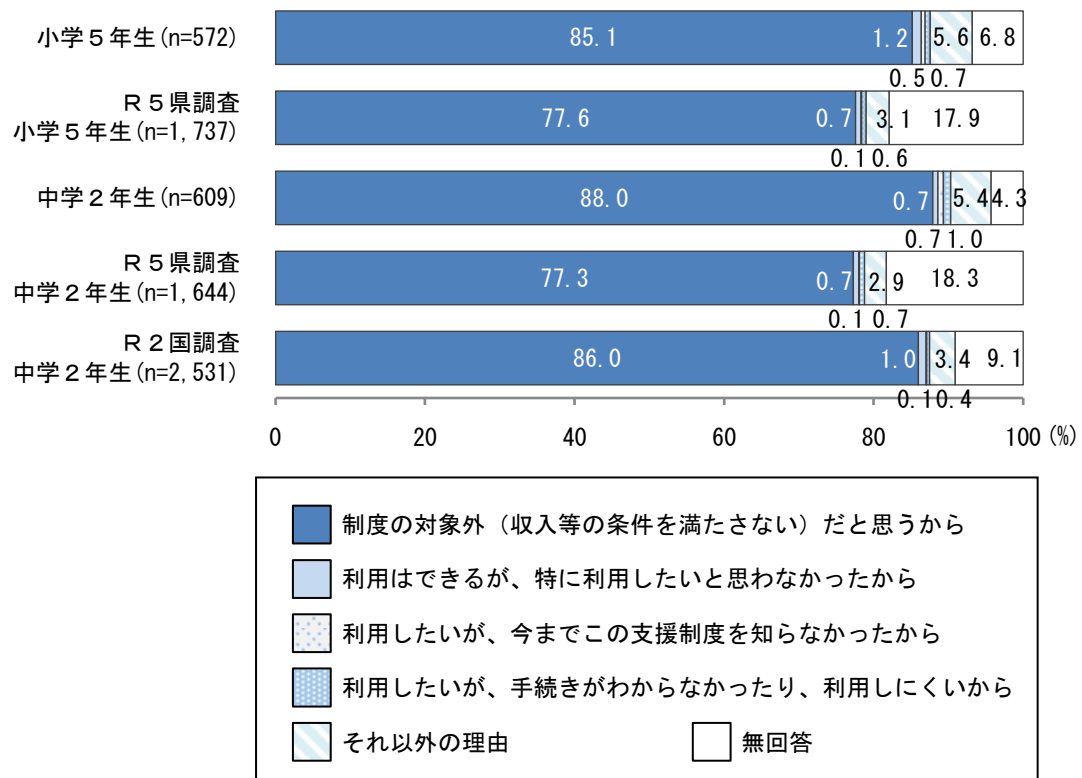
【ひとり親世帯全体】



ひとり親世帯全体の状況をみると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」との回答は「d. 児童扶養手当」の項目で91.3%と高く、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」との回答は「e. ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金」の項目で14.3%、「f. ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金」の項目で14.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」との回答は「e. ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金」の項目で9.5%、「f. ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金」の項目で8.2%とやや高くなっている。

■生活保護

【山口県調査・国調査と比較】

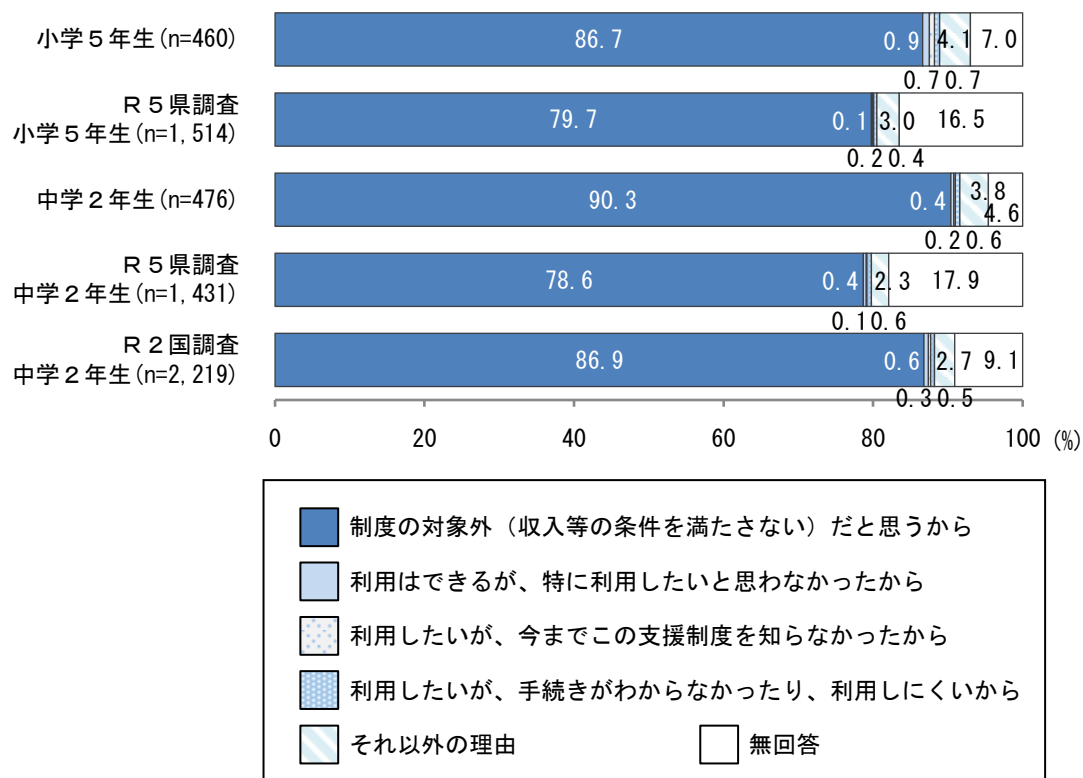


生活保護を利用したことがない理由について、中学2年生を国調査と比較すると、大きな差はみられない。

山口県調査は無回答が高いため、回答傾向の比較はしない。

■児童扶養手当

【山口県調査・国調査と比較】

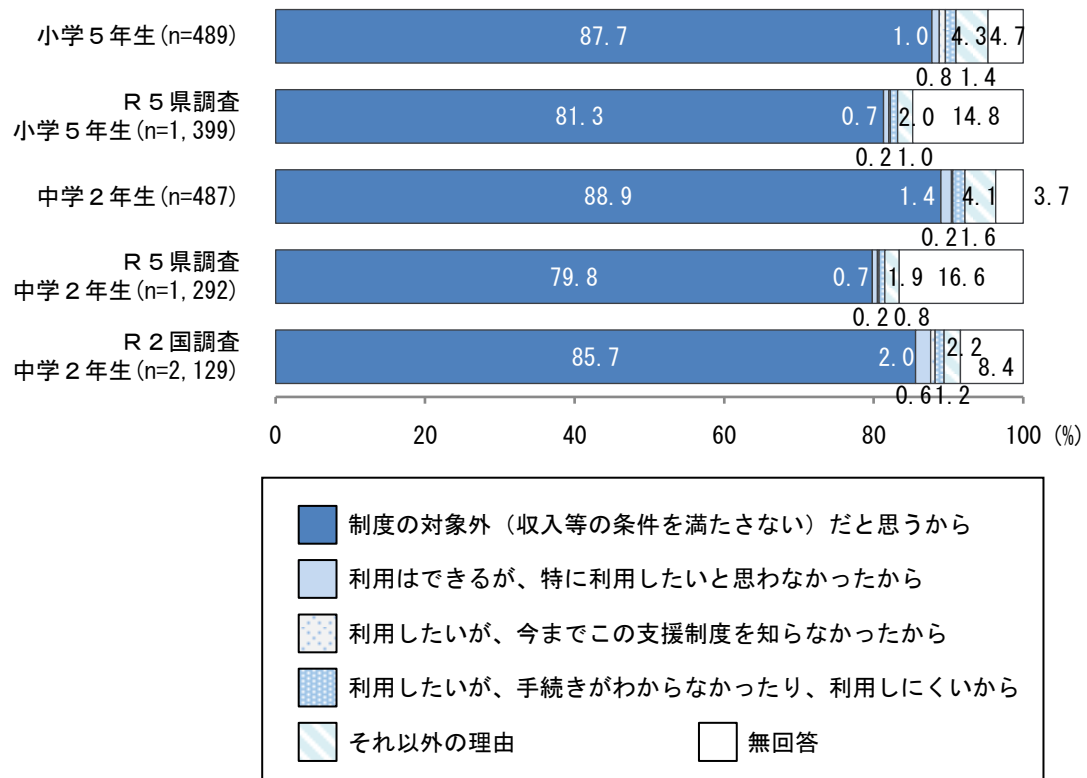


児童扶養手当を利用したことがない理由について、中学2年生を国調査と比較すると、大きな差はみられない。

山口県調査は無回答が高いため、回答傾向の比較はしない。

■ 就学援助

【山口県調査・国調査と比較】



就学援助を利用したことがない理由について、中学2年生を国調査と比較すると、大きな差はみられない。

山口県調査は無回答が高いため、回答傾向の比較はしない。

IV 子どもの調査結果

1 学校や勉強のことについて

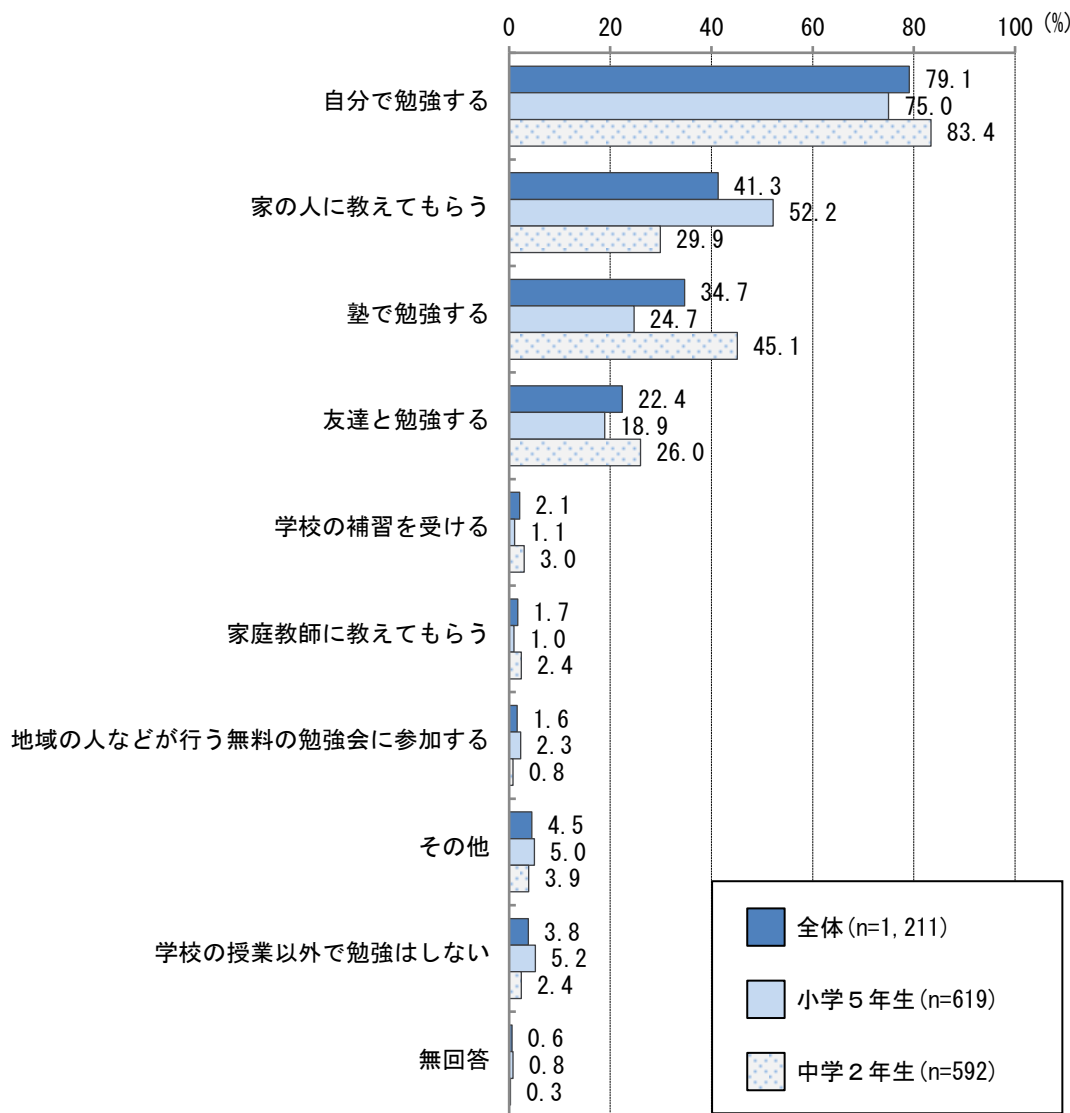
子ども票問3

あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(MA)

※勉強には学校の宿題もふくみます。

■授業以外での勉強の仕方

【全体/学年別】



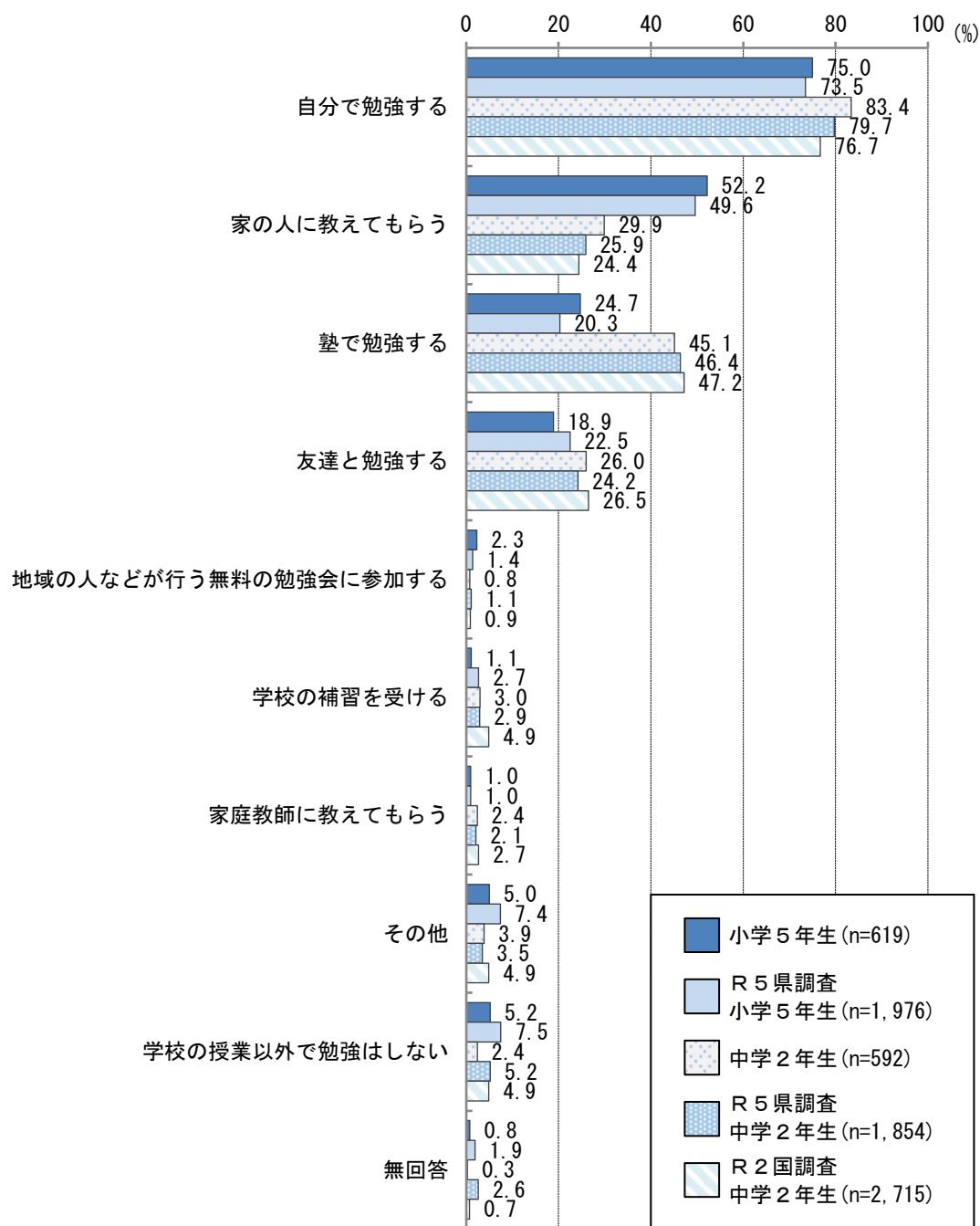
授業以外での勉強の仕方について、「自分で勉強する」との回答が79.1%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」(41.3%)、「塾で勉強する」(34.7%)、「友達と勉強する」(22.4%)などの順となっている。

小学5年生では、「家の人に教えてもらう」との回答が52.2%と全体に比べ高く、「塾で勉強する」との回答が24.7%と低いものの、おおむね全体と同様の傾向となっている。

中学2年生では、「自分で勉強する」との回答が83.4%と最も高く、次いで「塾で勉強する」(45.1%)、「家の人に教えてもらう」(29.9%)、「友達と勉強する」(26.0%)などの順となっている。

■授業以外での勉強の仕方

【山口県調査・国調査と比較】

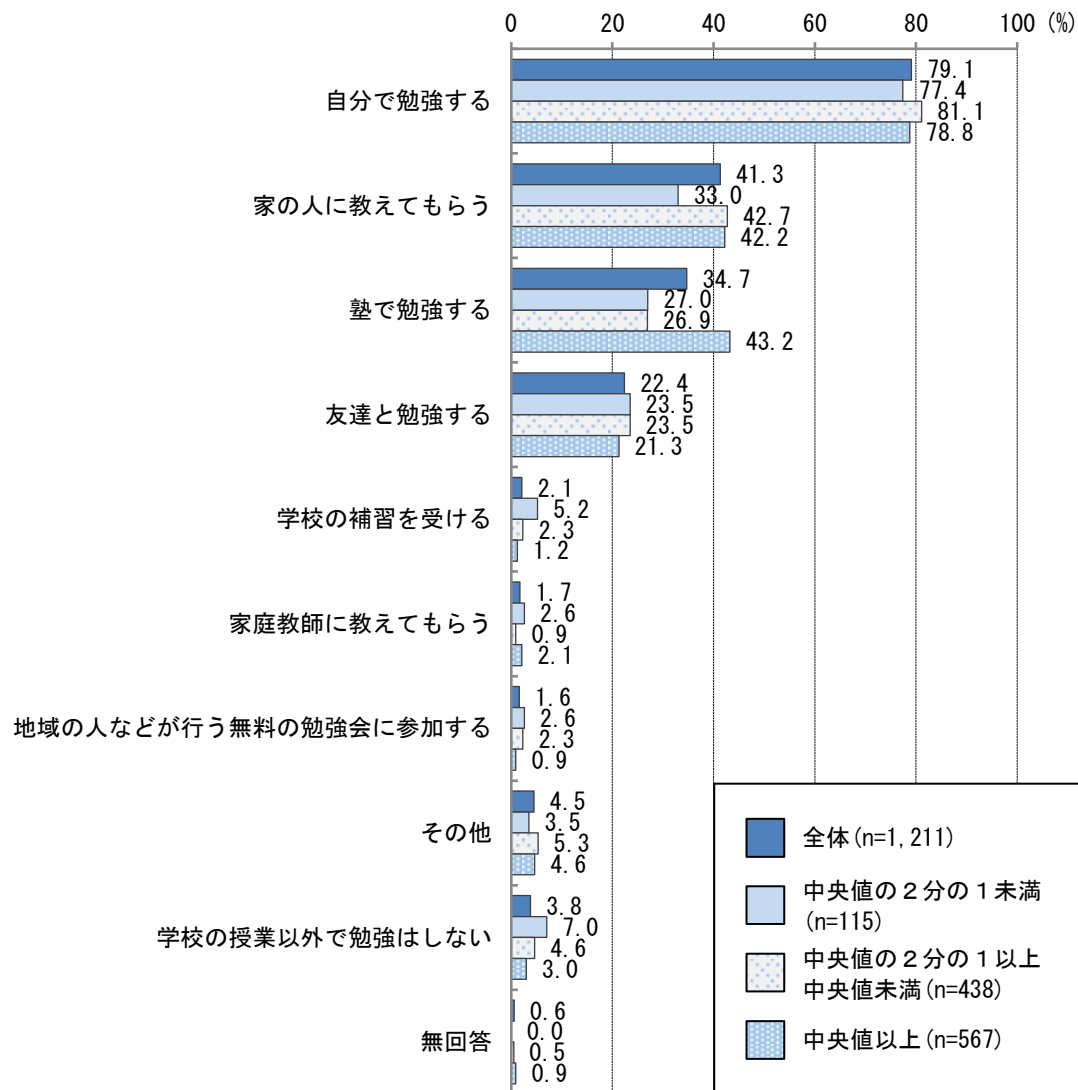


小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「自分で勉強する」との回答は周南市が国を6.7ポイント、「家の人に教えてもらう」との回答は周南市が国を5.5ポイント上回っている。

■ 授業以外での勉強の仕方

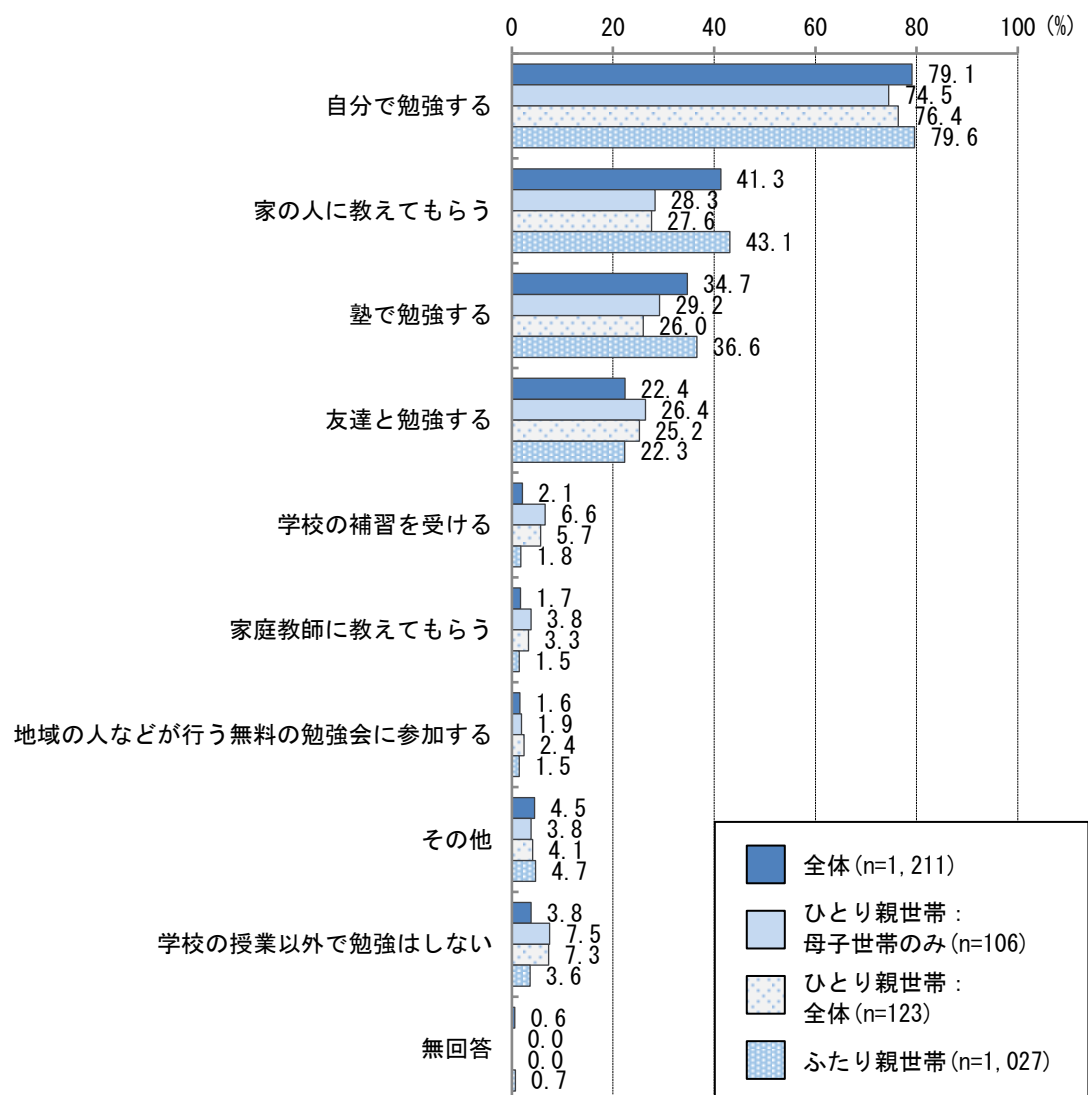
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「家の人に教えてもらう」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で33.0%と他の世帯に比べ低く、「塾で勉強する」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で27.0%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

■授業以外での勉強の仕方

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「自分で勉強する」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで74.5%、「家の人に教えてもらう」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで28.3%、ひとり親世帯全体で27.6%、「塾で勉強する」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで29.2%、ひとり親世帯全体で26.0%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

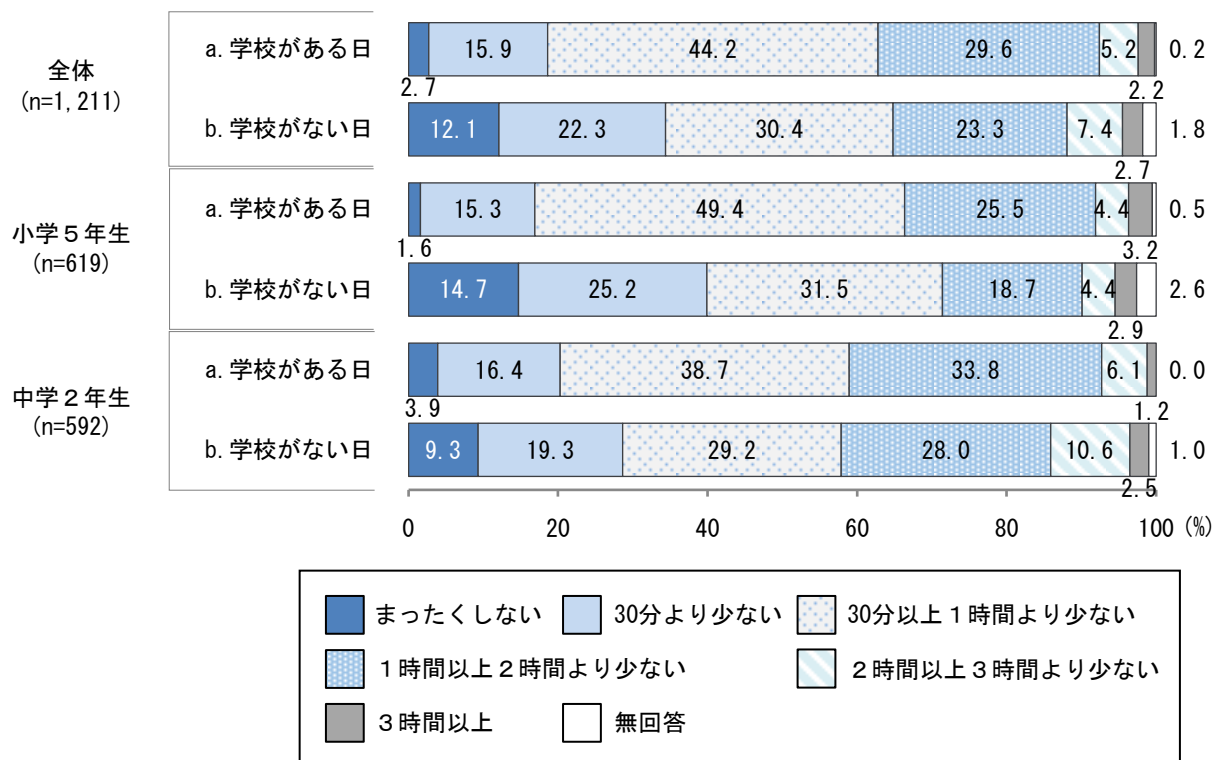
子ども票問 4

あなたは、ふだん学校の授業以外に、1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(SA)

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

■ 授業以外の勉強時間

【全体/学年別】

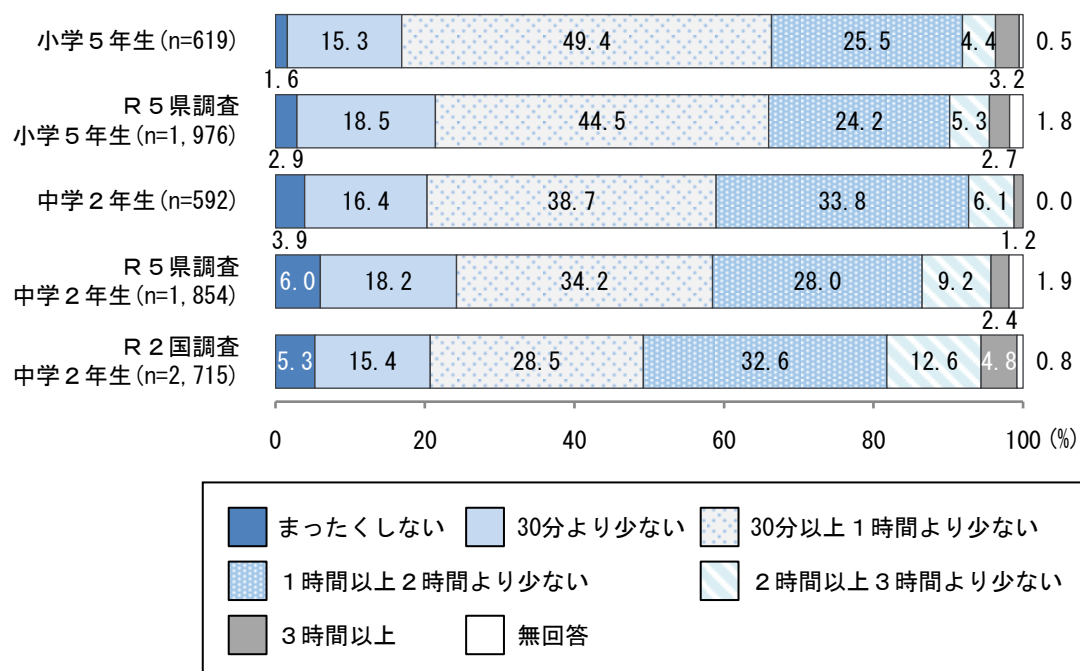


授業以外の勉強時間について、学校がある日は『30分より少ない』（「まったくしない」＋「30分より少ない」）との回答が18.6%、「30分以上1時間より少ない」との回答が44.2%、『1時間以上』（「1時間以上2時間より少ない」＋「2時間以上3時間より少ない」＋「3時間以上」）との回答が37.0%となっている。学校がない日は『30分より少ない』との回答が34.4%、「30分以上1時間より少ない」との回答が30.4%、『1時間以上』との回答が33.4%となっている。また、「まったくしない」との回答は学校がない日で12.1%と学校がある日に比べ高くなっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 学校がある日の授業以外の勉強時間

【山口県調査・国調査と比較】

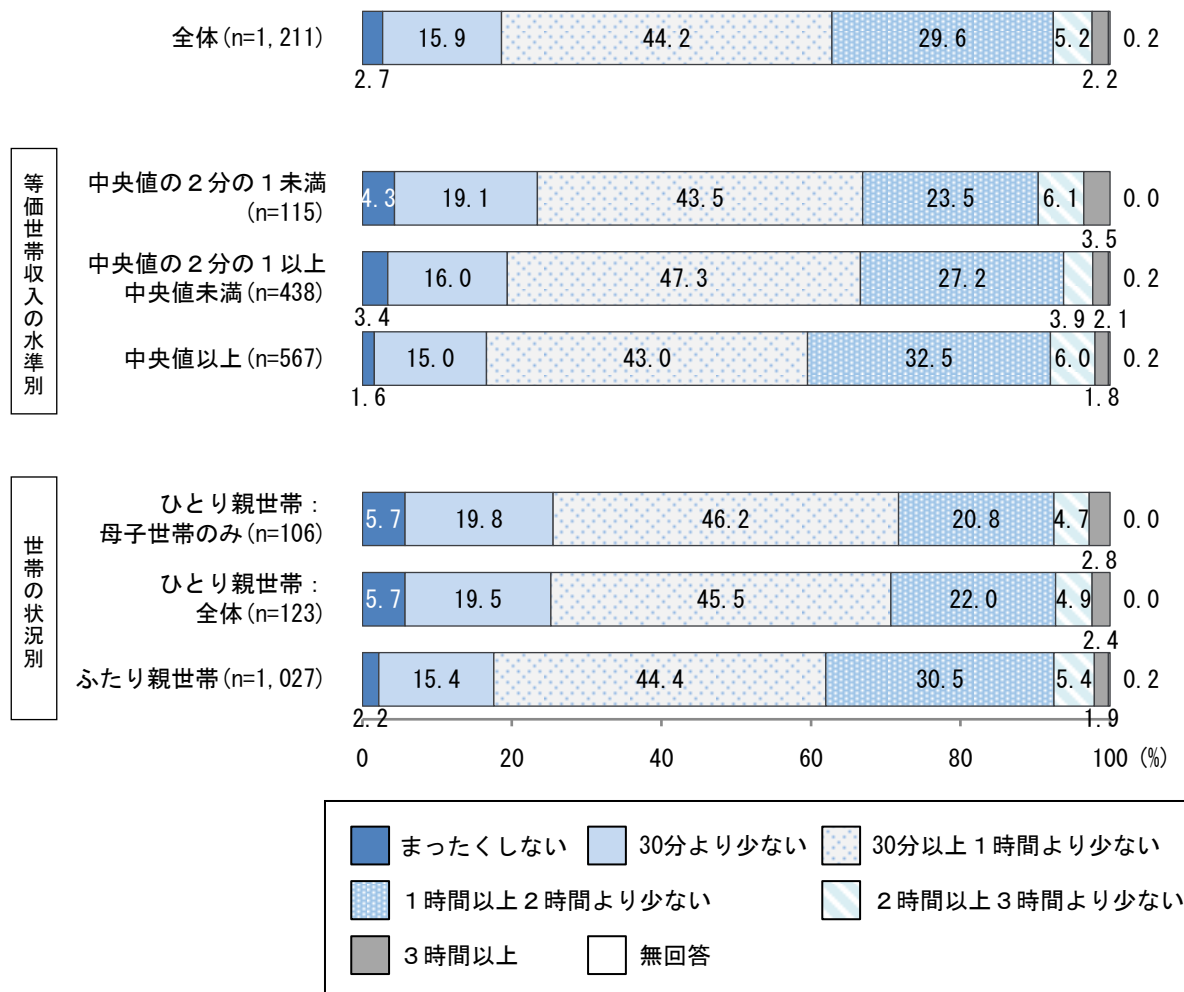


学校がある日の授業以外の勉強時間について、小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、『1時間以上』との回答は周南市が国を8.9ポイント下回っている。

■ 学校がある日の授業以外の勉強時間

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

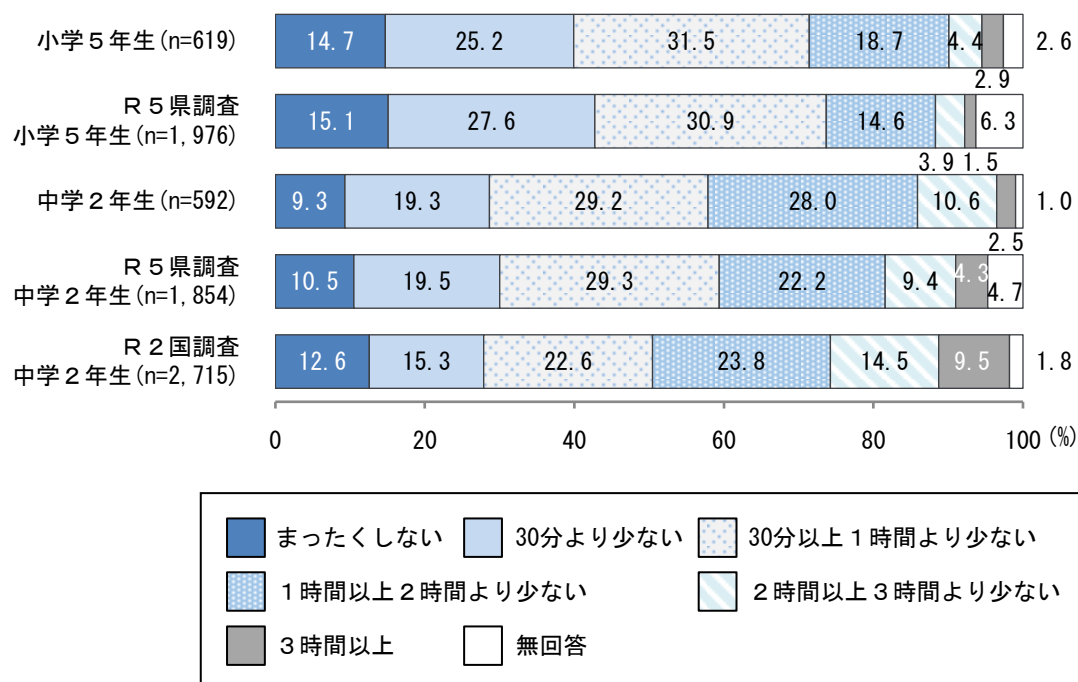


等価世帯収入の水準別にみると、『1時間以上』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で33.1%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で33.2%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

世帯の状況別にみると、『1時間以上』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで28.3%、ひとり親世帯全体で29.3%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

■ 学校がない日の勉強時間

【山口県調査・国調査と比較】

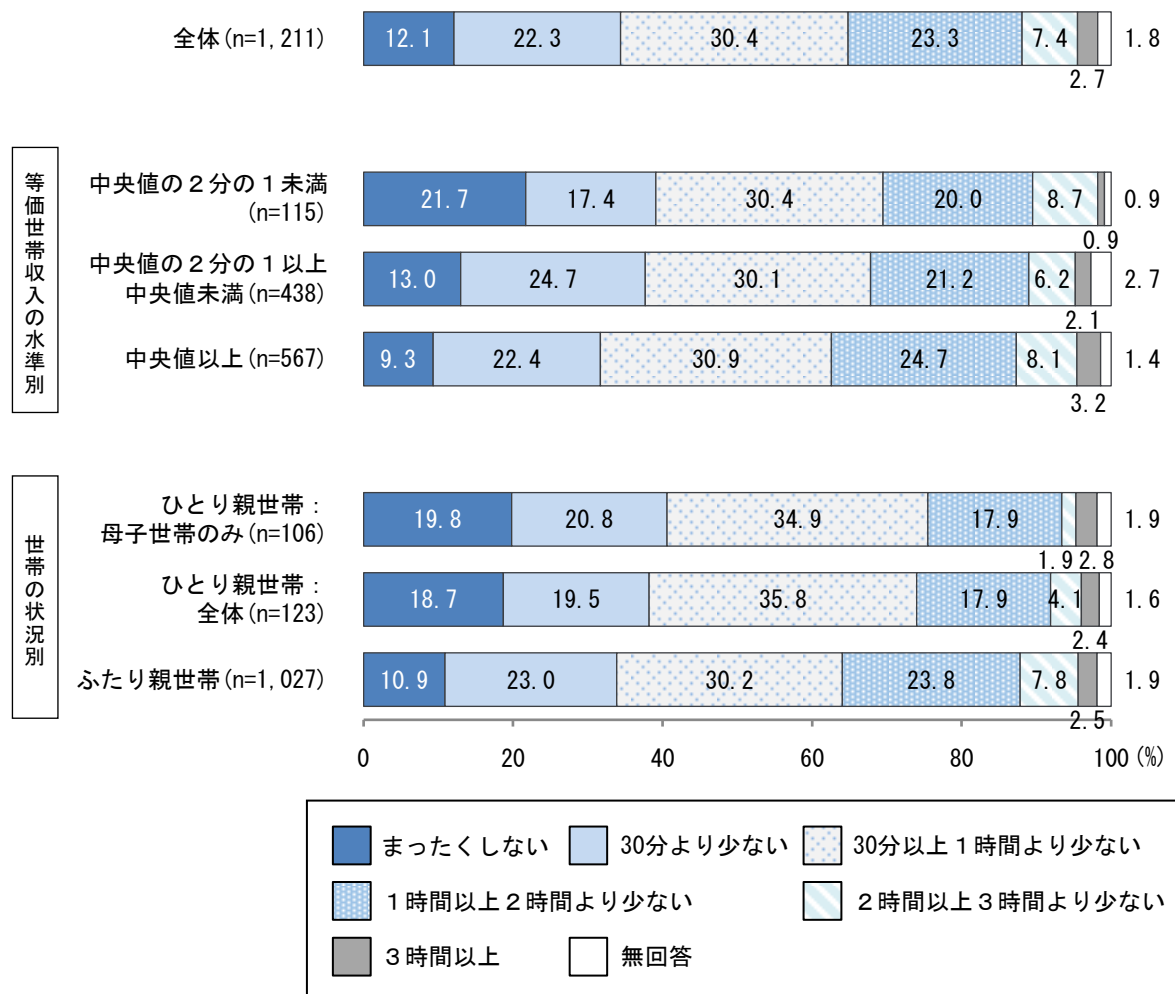


学校がない日の勉強時間について、小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、『1時間以上』との回答は周南市が国を6.7ポイント下回っている。

■ 学校がない日の勉強時間

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、『1時間以上』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で29.6%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で29.5%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

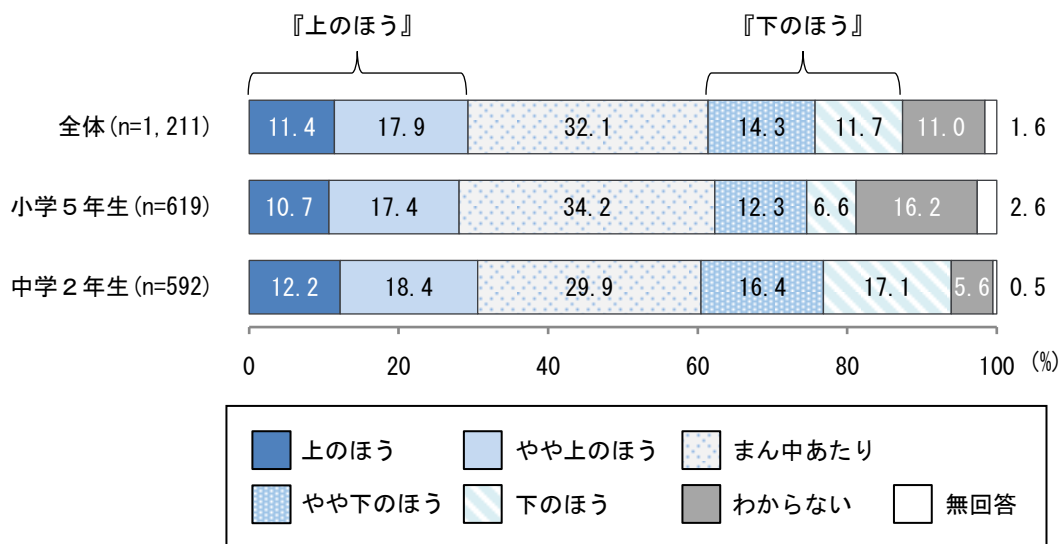
世帯の状況別にみると、『1時間以上』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで22.6%、ひとり親世帯全体で24.4%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

子ども票問5

あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(SA)

■クラス中での自分の成績

【全体/学年別】



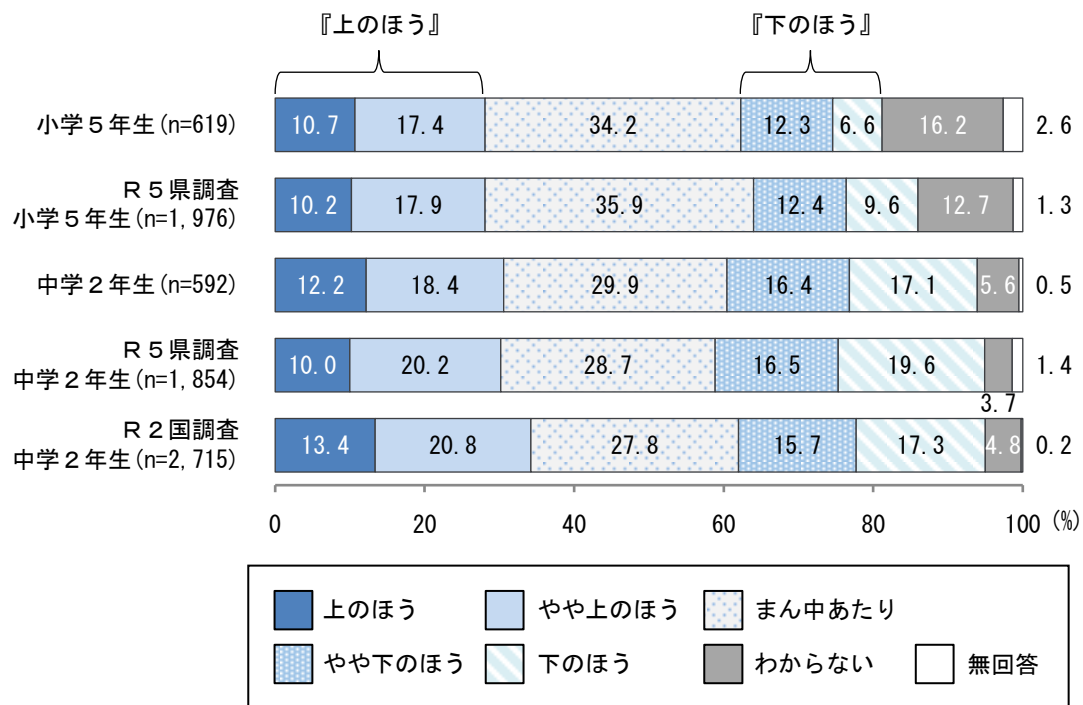
クラス中での自分の成績について、『上のほう』（「上のほう」＋「やや上のほう」）との回答が29.3%、「まん中あたり」との回答が32.1%、『下のほう』（「下のほう」＋「やや下のほう」）との回答が26.0%、「わからない」との回答が11.0%となっている。

小学5年生では、『下のほう』との回答が18.9%と低く、「わからない」との回答が16.2%と高くなっている。

中学2年生では、『下のほう』との回答が33.5%と高く、「わからない」との回答が5.6%と低くなっている。

■クラスの中での自分の成績

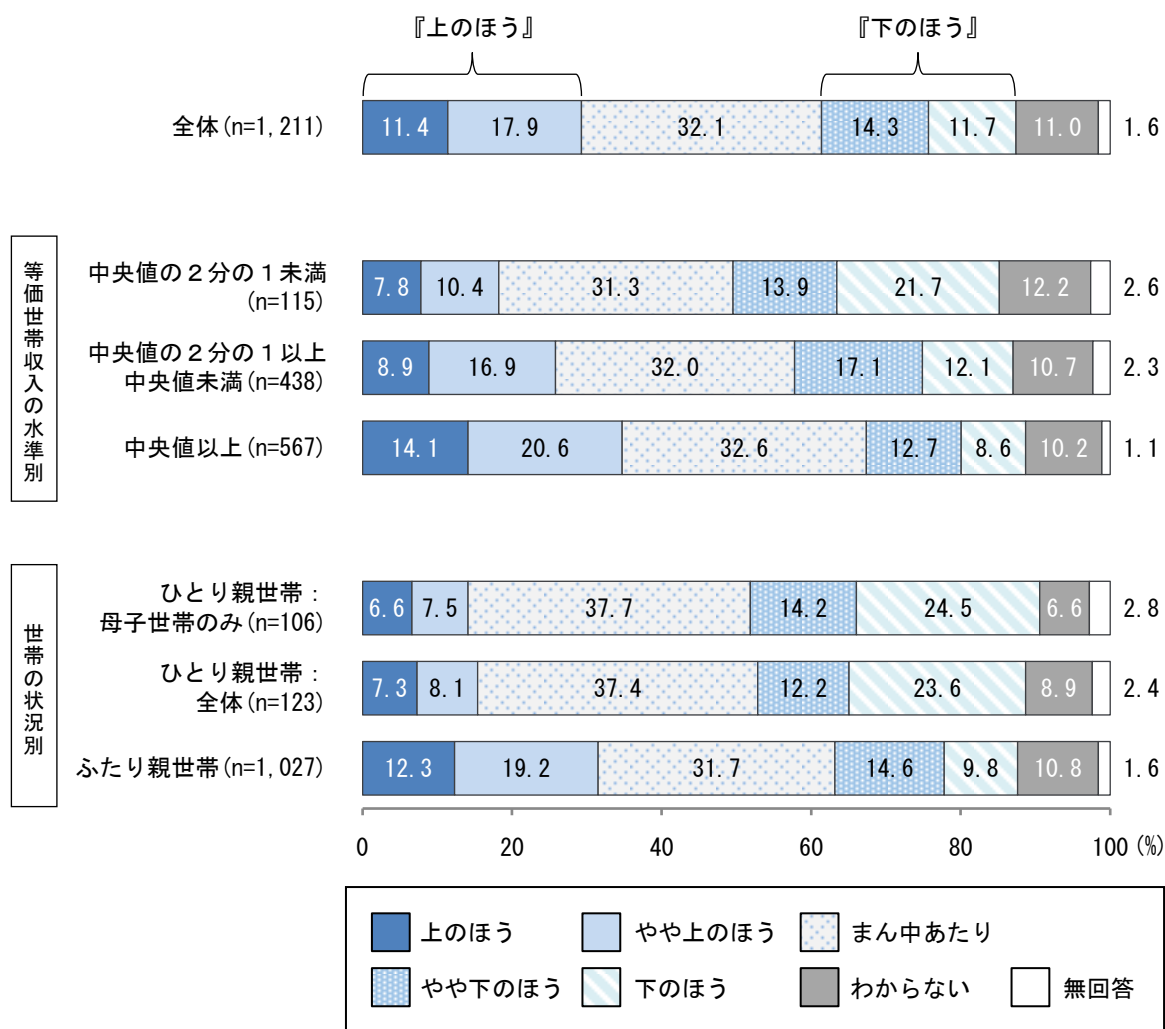
【山口県調査・国調査と比較】



山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■クラスの中での自分の成績

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、『上のほう』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で18.2%と他の世帯に比べ低く、『下のほう』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で35.6%と他の世帯に比べ高くなっており、等価世帯収入の水準が高いほどクラスの中での自分の成績を「上のほう」と考えている割合が高くなっている。

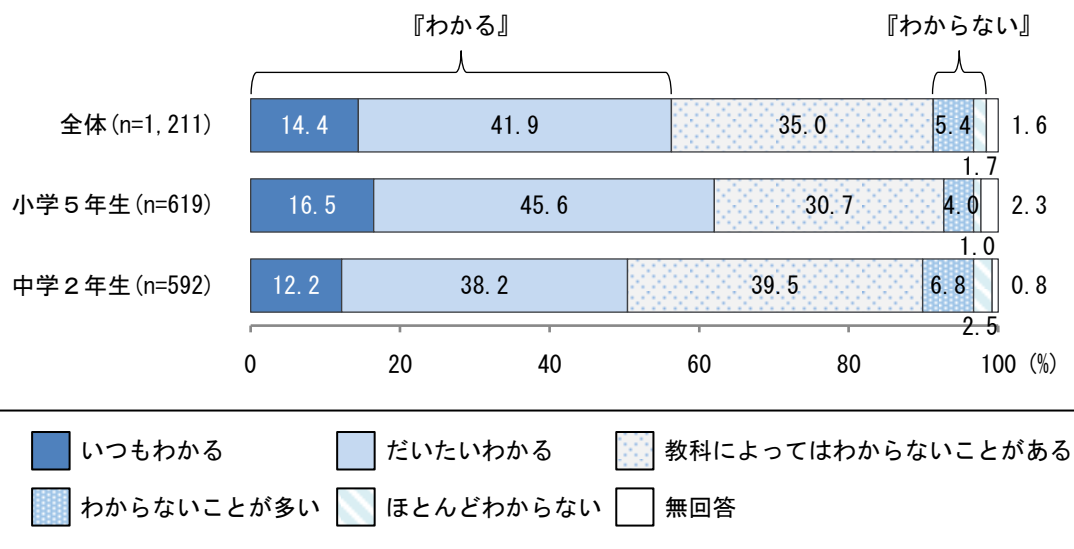
世帯の状況別にみると、『上のほう』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで14.1%、ひとり親世帯全体で15.4%とふたり親世帯に比べ低く、「まん中あたり」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで37.7%、ひとり親世帯全体で37.4%、『下のほう』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで38.7%、ひとり親世帯全体で35.8%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

子ども票問6

あなたは、学校の授業の内容がわからないことがありますか。(SA)

■ 授業の理解状況

【全体/学年別】



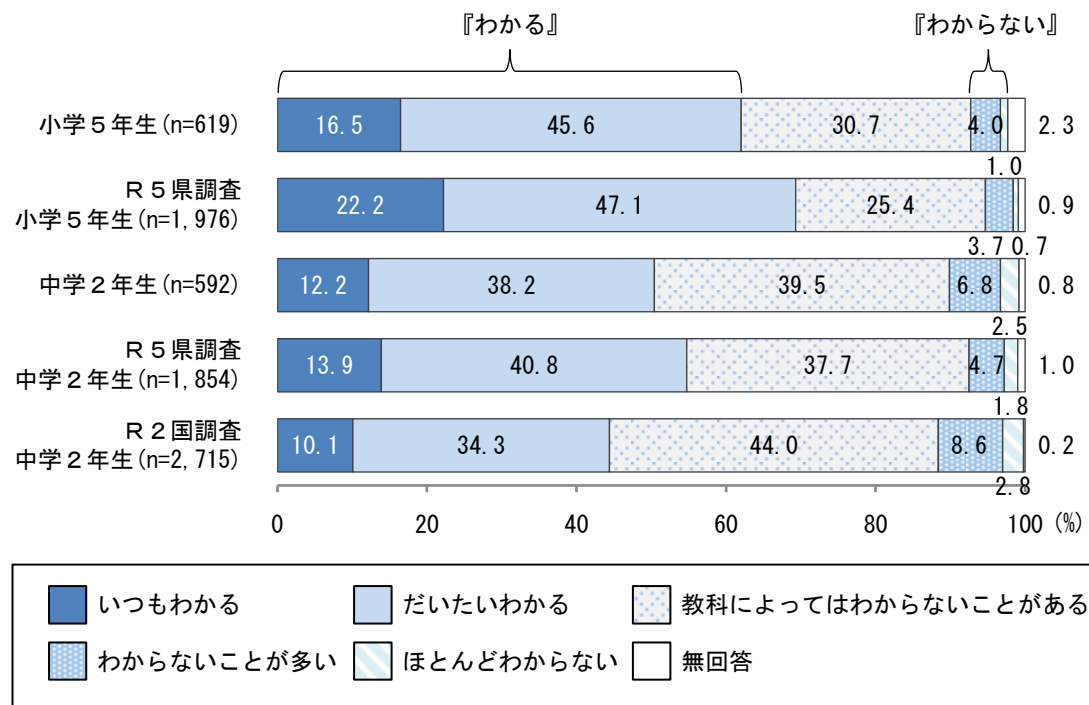
授業の理解状況について、『わかる』（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）との回答が56.3%、「教科によってはわからないことがある」との回答が35.0%、『わからない』（「ほとんどわからない」＋「わからないことが多い」）との回答が7.1%となっている。

小学5年生では、『わかる』との回答が62.1%と全体に比べ高いものの、おおむね全体と同様の傾向となっている。

中学2年生では、『わかる』との回答が50.4%と全体に比べ低いものの、おおむね全体と同様の傾向となっている。

■授業の理解状況

【山口県調査・国調査と比較】

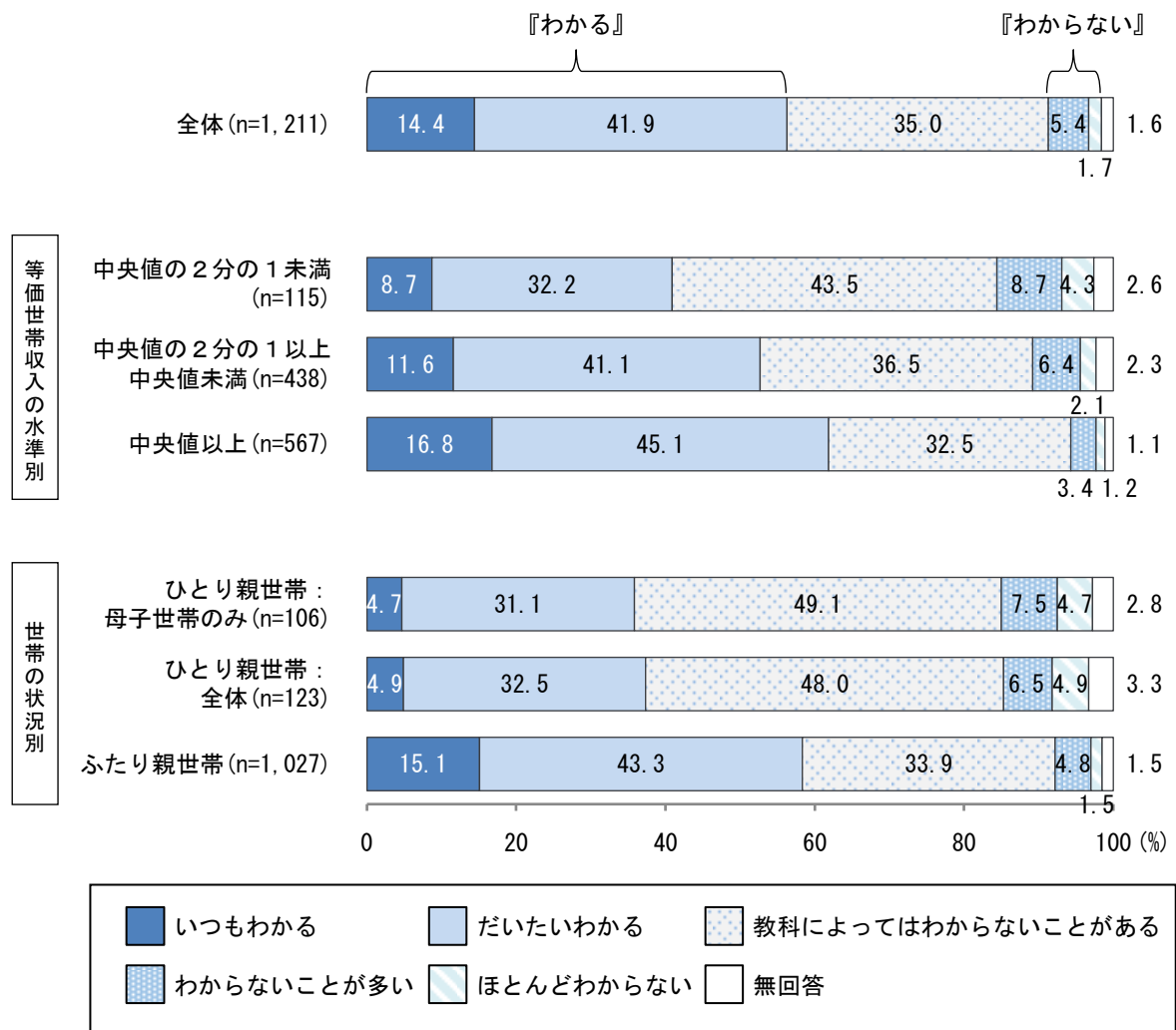


小学5年生を山口県調査と比較すると、『わかる』との回答は周南市が県を7.2ポイント下回っており、「教科によってはわからないことがある」との回答は周南市が県を5.3ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、『わかる』との回答は周南市が国を6.0ポイント上回っている。

■ 授業の理解状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、『わかる』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で40.9%と他の世帯に比べ低く、「教科によってはわからないことがある」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で43.5%と他の世帯に比べ高く、『わからない』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で13.0%と中央値以上の世帯に比べ高くなっている。等価世帯収入の水準が低いほど授業の内容が「わからない」と考えている割合が高くなっている。

世帯の状況別にみると、『わかる』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで35.8%、ひとり親世帯全体で37.4%とふたり親世帯に比べ低く、「教科によってはわからないことがある」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで49.1%、ひとり親世帯全体で48.0%、『わからない』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで12.2%、ひとり親世帯全体で11.4%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

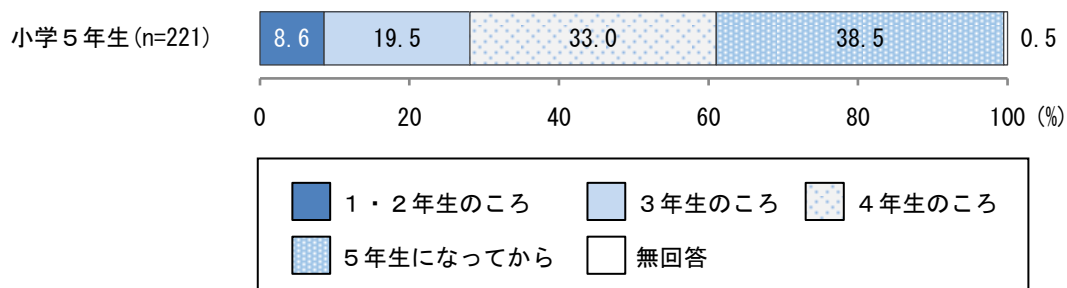
問6で「3～5」と答えた人にお聞きします。

子ども票問7

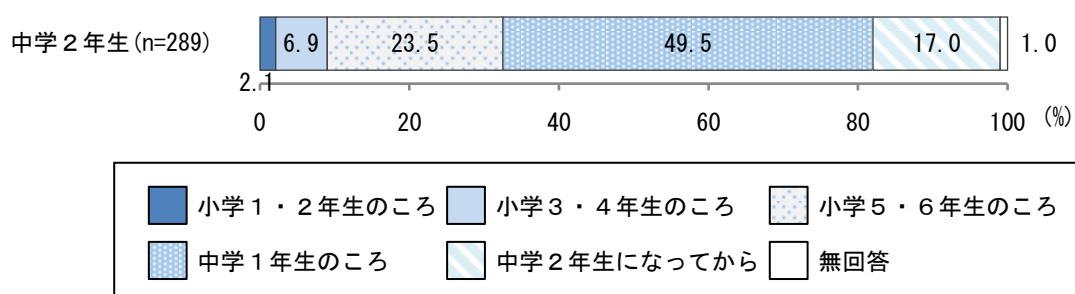
いつごろから、授業の内容でわからないことがあるようになりましたか。(SA)

■授業がわからなくなった時期

【小学5年生】



【中学2年生】

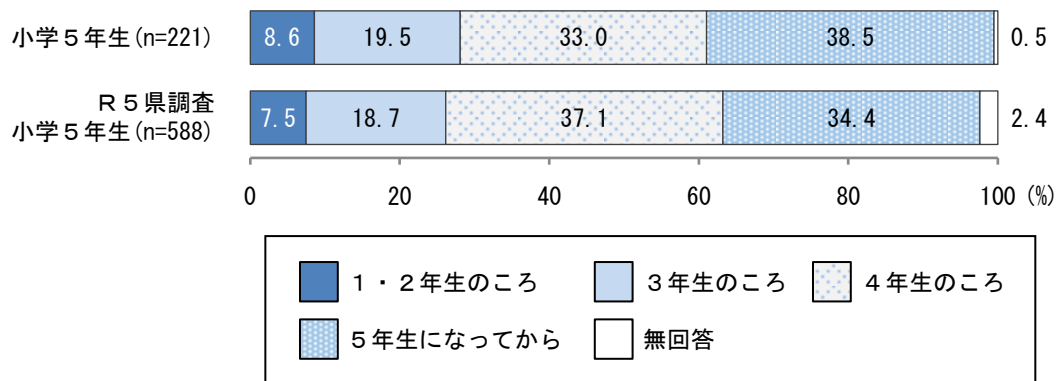


授業がわからなくなった時期について、小学5年生では『1・2・3年生のころ』(「1・2年生のころ」＋「3年生のころ」)との回答が28.1%、「4年生のころ」との回答が33.0%、「5年生のころ」との回答が38.5%となっている。

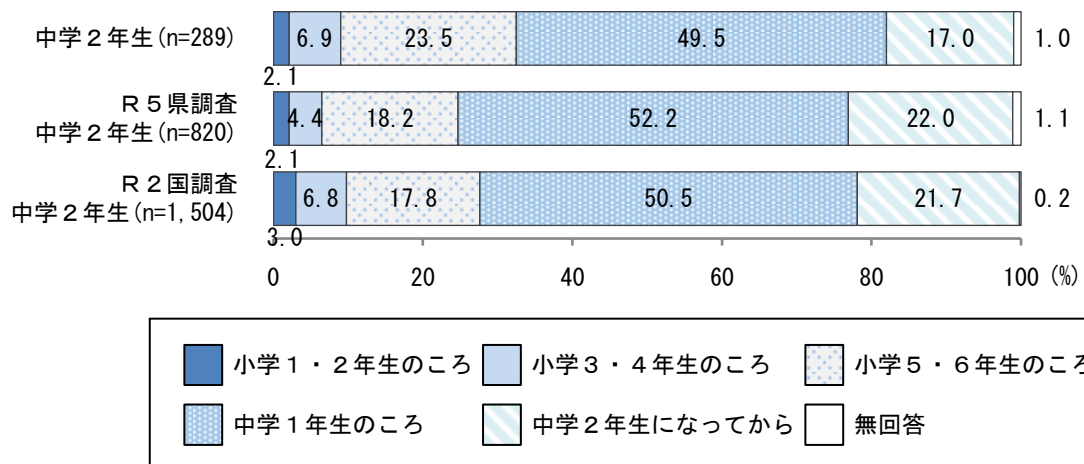
中学2年生では『小学生のころ』(「小学1・2年生のころ」＋「小学3・4年生のころ」＋「小学5・6年生のころ」)との回答が32.5%、「中学1年生のころ」との回答が49.5%、「中学2年生になってから」との回答が17.0%となっている。

■ 授業がわからなくなった時期

【山口県調査と比較（小学5年生）】



【山口県調査・国調査と比較（中学2年生）】

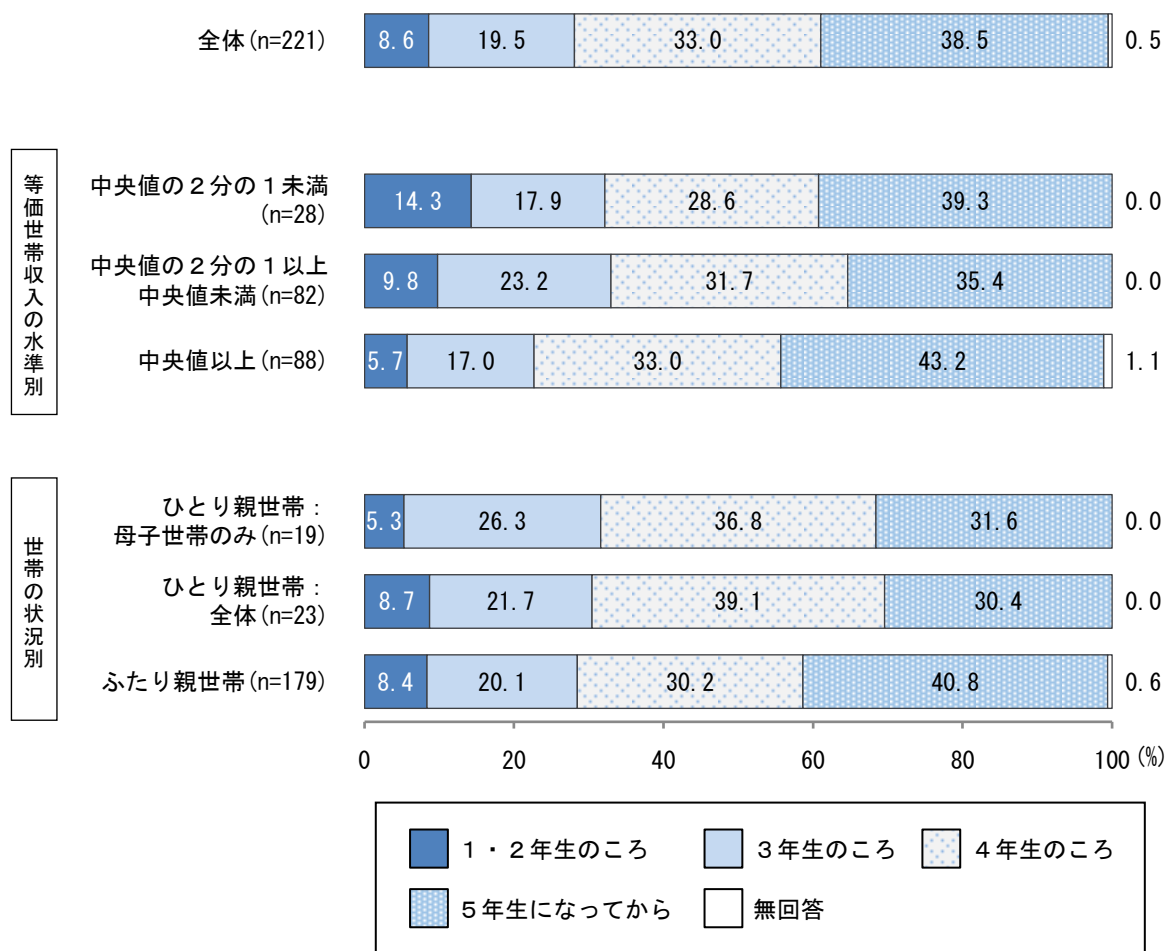


小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、『小学生のころ』との回答は周南市が県を7.8ポイント上回っている。

■ 授業がわからなくなった時期

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学5年生）】

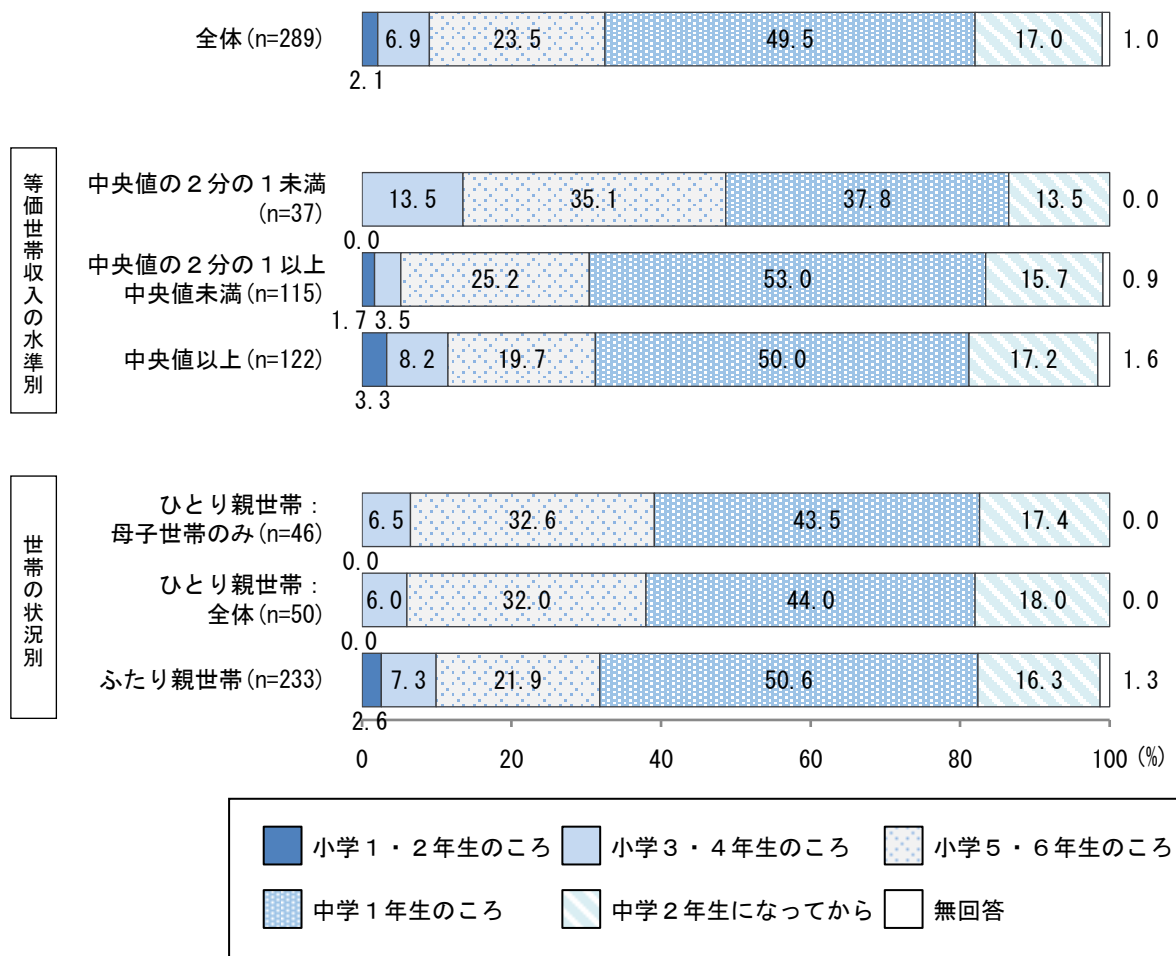


小学5年生を等価世帯収入の水準別にみると、『1・2・3年生のころ』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で32.2%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で33.0%と中央値以上の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別にみると、「4年生のころ」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで36.8%、ひとり親世帯全体で39.1%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■ 授業がわからなくなった時期

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学2年生）】



中学2年生を等価世帯収入の水準別にみると、『小学生のころ』との回答は中央値の2分の1未満の世帯で48.6%と他の世帯に比べ高くなっている。

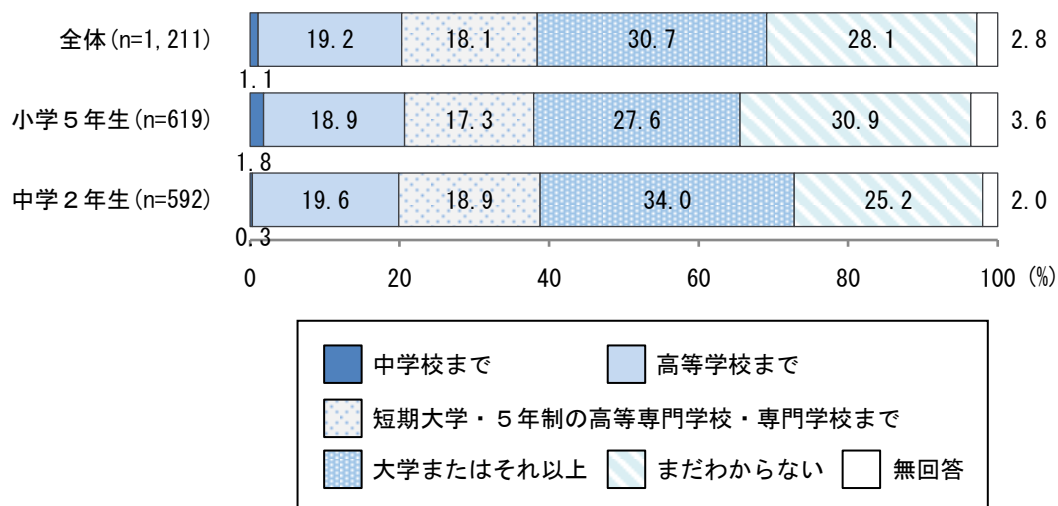
世帯の状況別にみると、『小学生のころ』との回答はひとり親世帯母子世帯のみで39.1%、ひとり親世帯全体で38.0%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

子ども票問 8

あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(SA)

■ 希望する最終学歴

【全体/学年別】

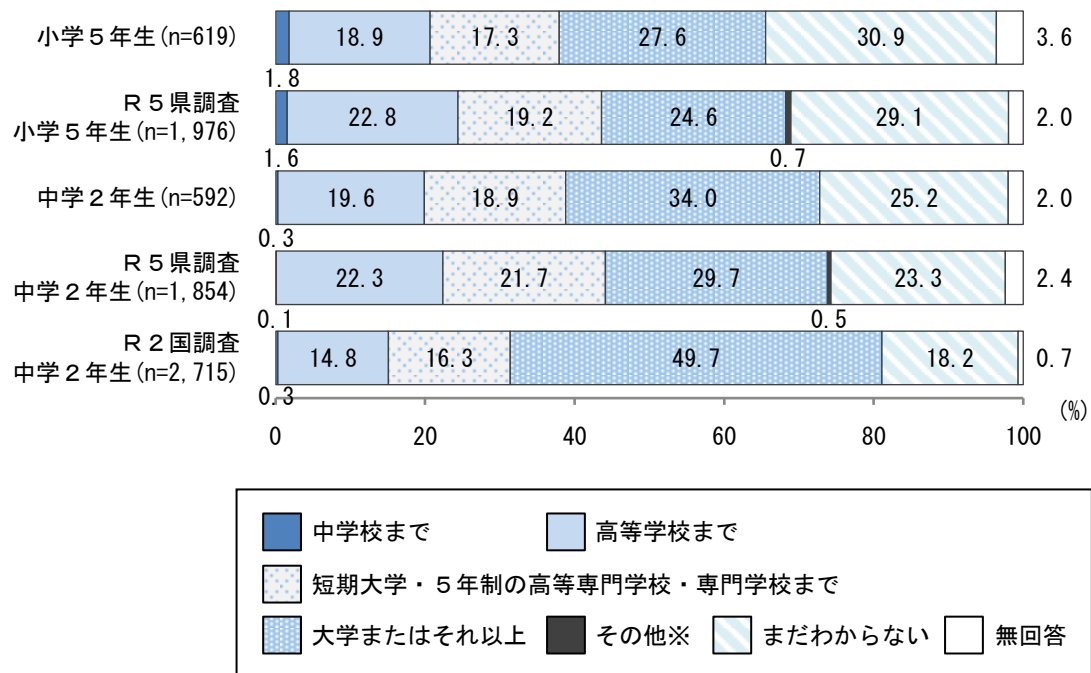


希望する最終学歴について、「高等学校まで」との回答が19.2%、「短期大学・5年制の高等専門学校・専門学校まで」との回答が18.1%、「大学またはそれ以上」との回答が30.7%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 希望する最終学歴

【山口県調査・国調査と比較】

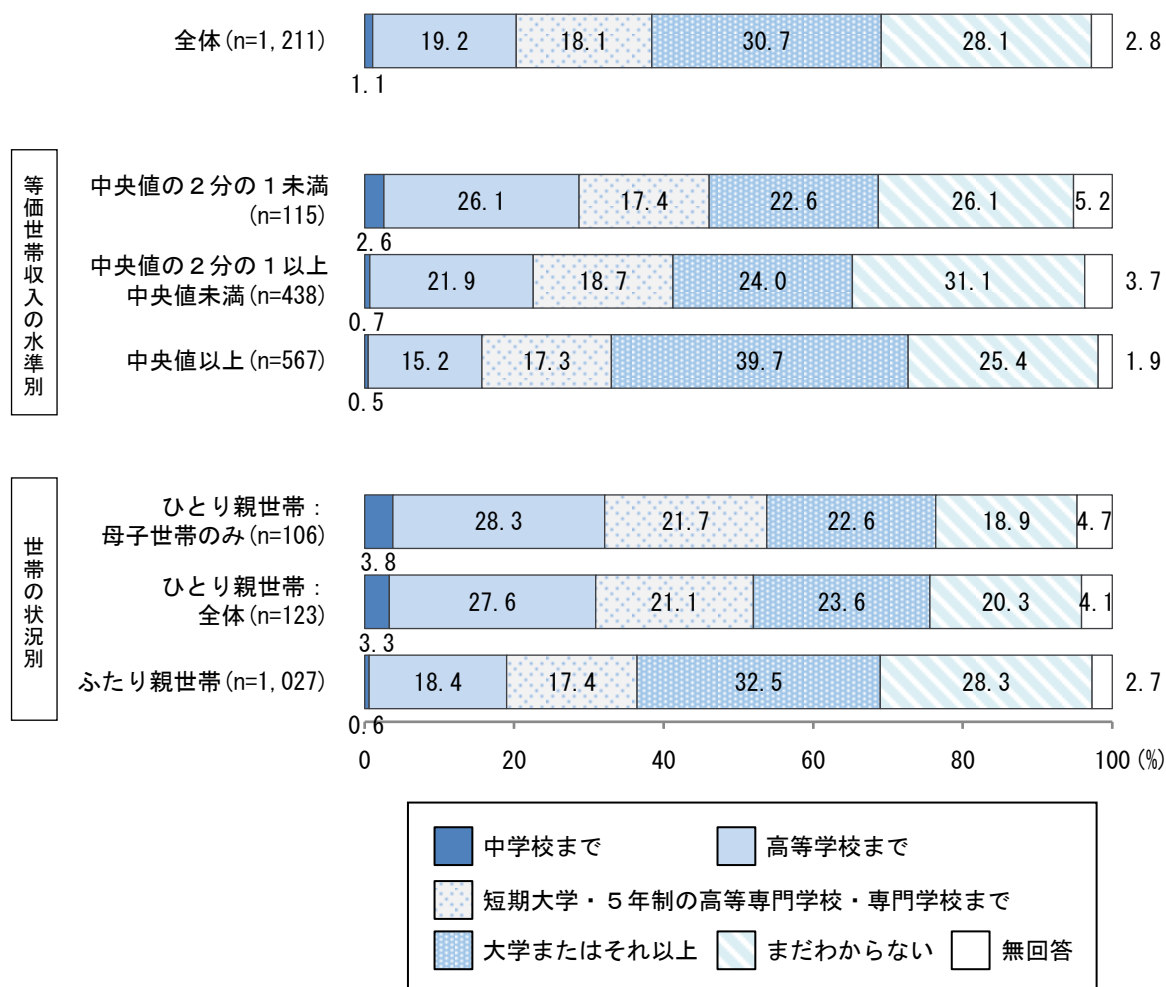


小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「大学またはそれ以上」との回答は周南市が国を 15.7 ポイント下回っている。

■ 希望する最終学歴

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「高等学校まで」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で26.1%と中央値以上の世帯に比べ高く、「大学またはそれ以上」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で22.6%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

世帯の状況別にみると、「高等学校まで」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで28.3%、ひとり親世帯全体で27.6%とふたり親世帯に比べ高く、「大学またはそれ以上」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで22.6%、ひとり親世帯全体で23.6%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

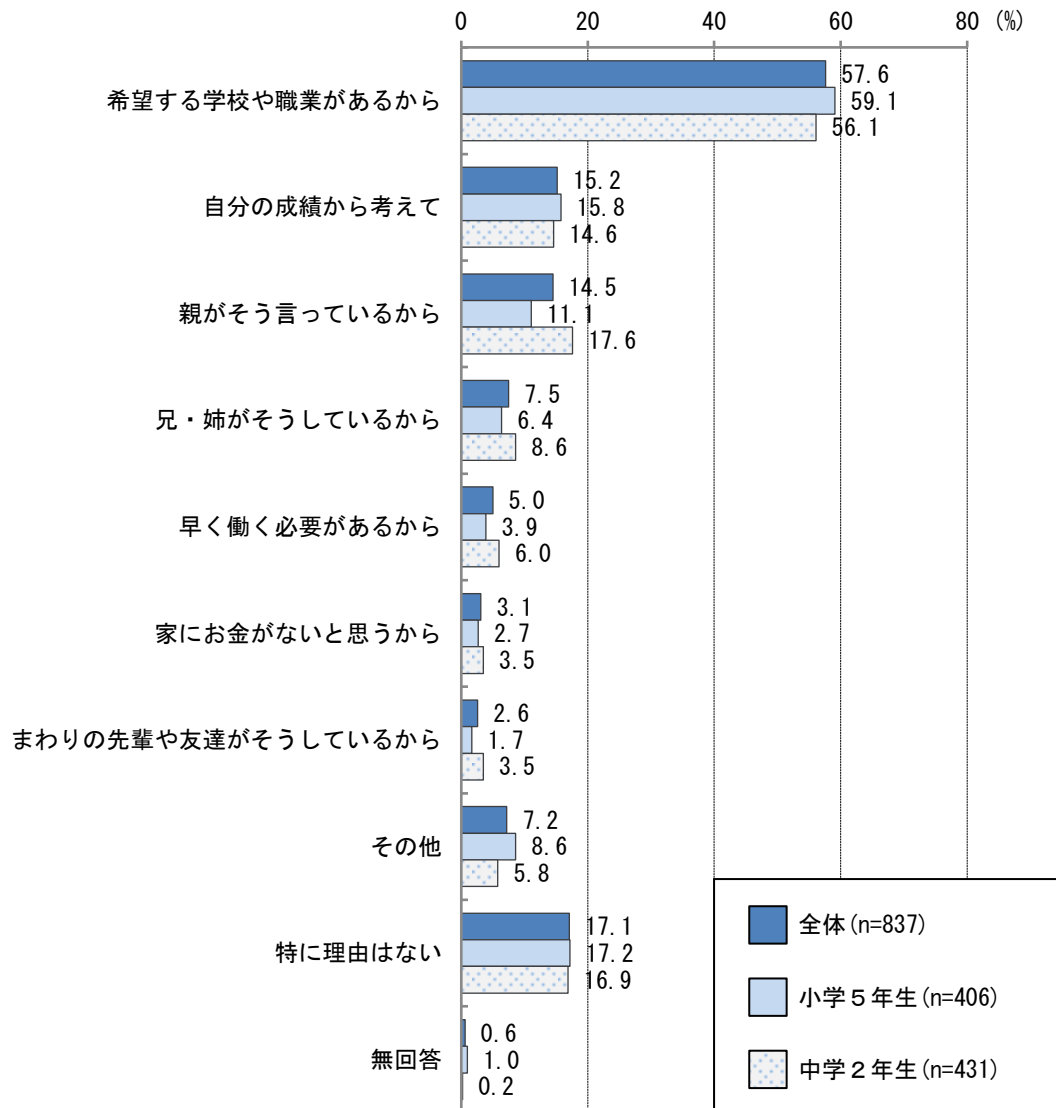
問8で「1～4」と答えた人にお聞きします。

子ども票問9

その理由を教えてください。(MA)

■最終学歴の希望理由

【全体/学年別】

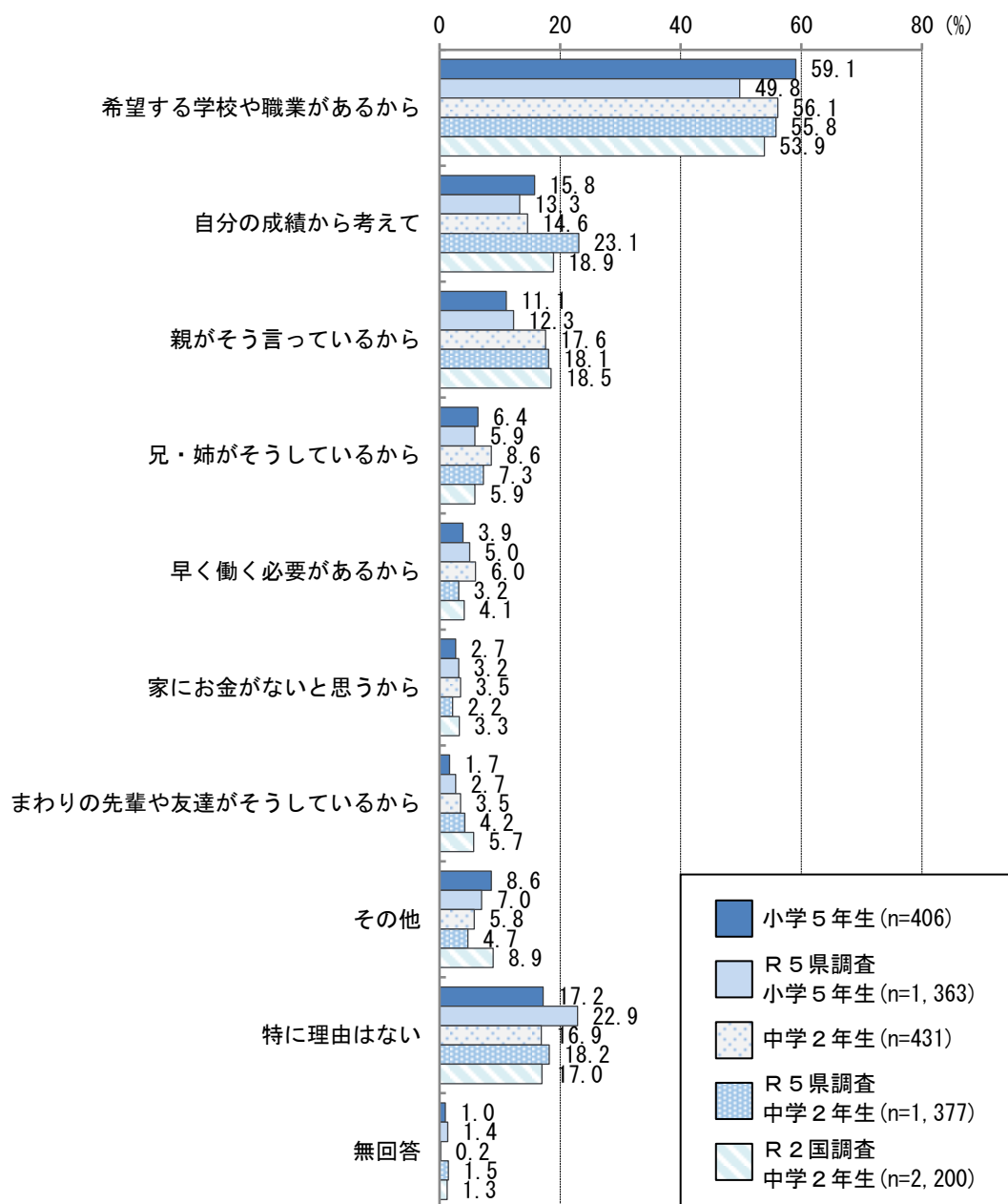


最終学歴の希望理由について、「希望する学校や職業があるから」との回答が57.6%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」(15.2%)、「親がそう言っているから」(14.5%)などの順となっている。また、「特に理由はない」との回答も17.1%と高くなっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■最終学歴の希望理由

【山口県調査・国調査と比較】

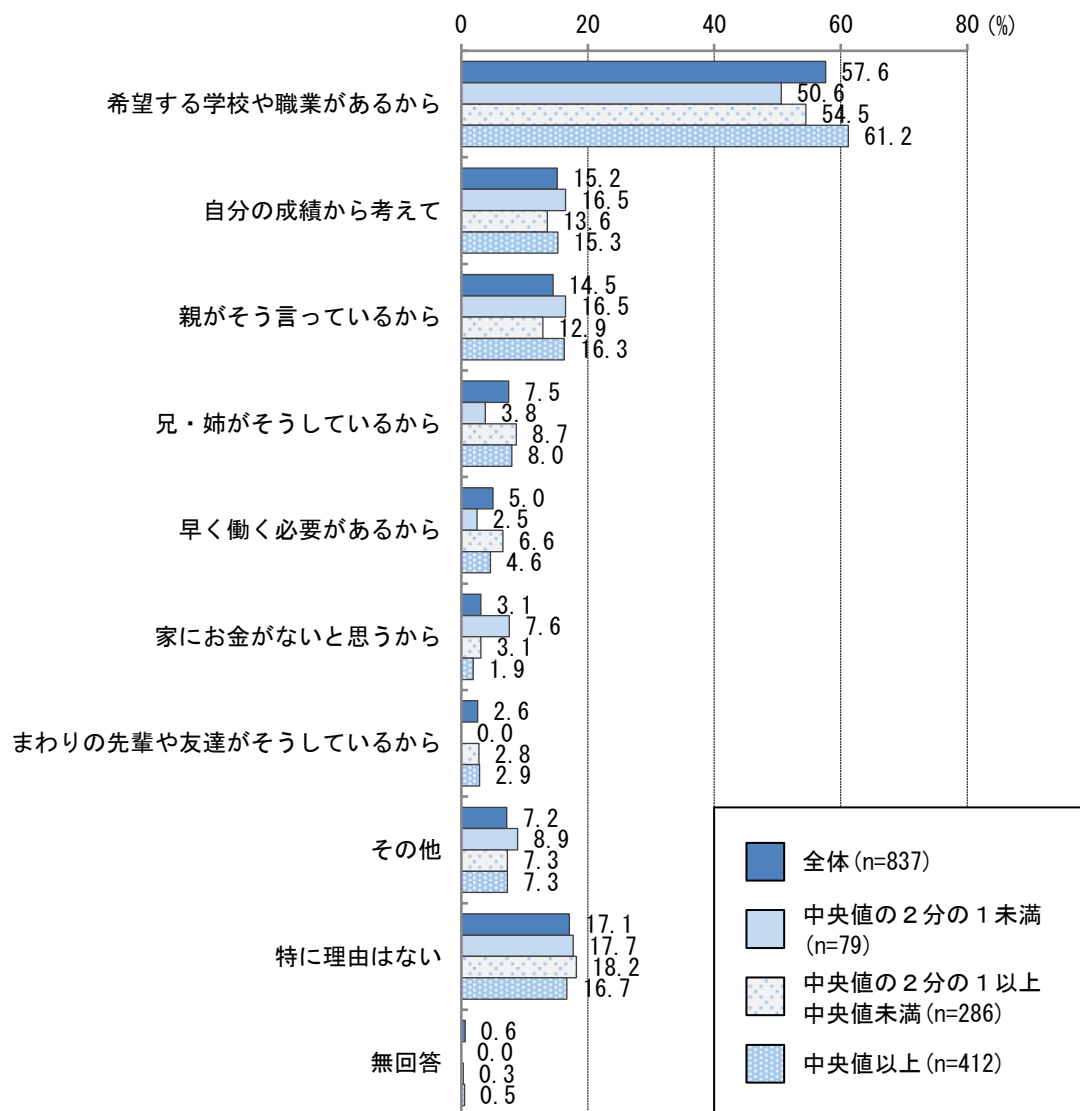


小学5年生を山口県調査と比較すると、「希望する学校や職業があるから」との回答は周南市が県を9.3ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「自分の成績から考えて」との回答は周南市が県を8.5ポイント下回っている。

■ 最終学歴の希望理由

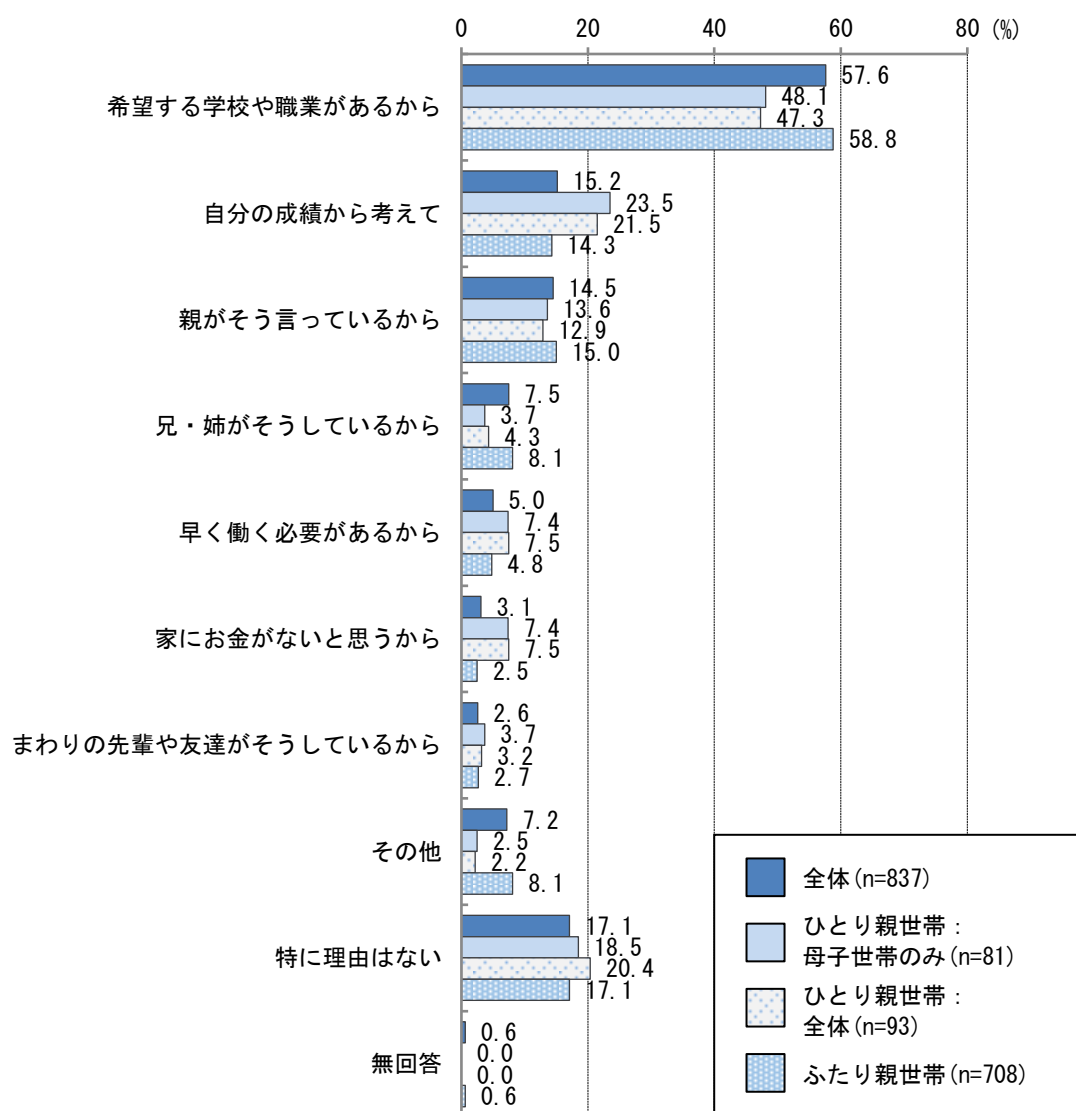
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で50.6%と中央値以上の世帯に比べ低く、「家にお金がないと思うから」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で7.6%と中央値以上の世帯に比べ高くなっている。

■最終学歴の希望理由

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 48.1%、ひとり親世帯全体で 47.3%とふたり親世帯に比べ低く、「自分の成績から考えて」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 23.5%、ひとり親世帯全体で 21.5%、「家にお金がないと思うから」との回答はひとり親世帯全体で 7.5%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

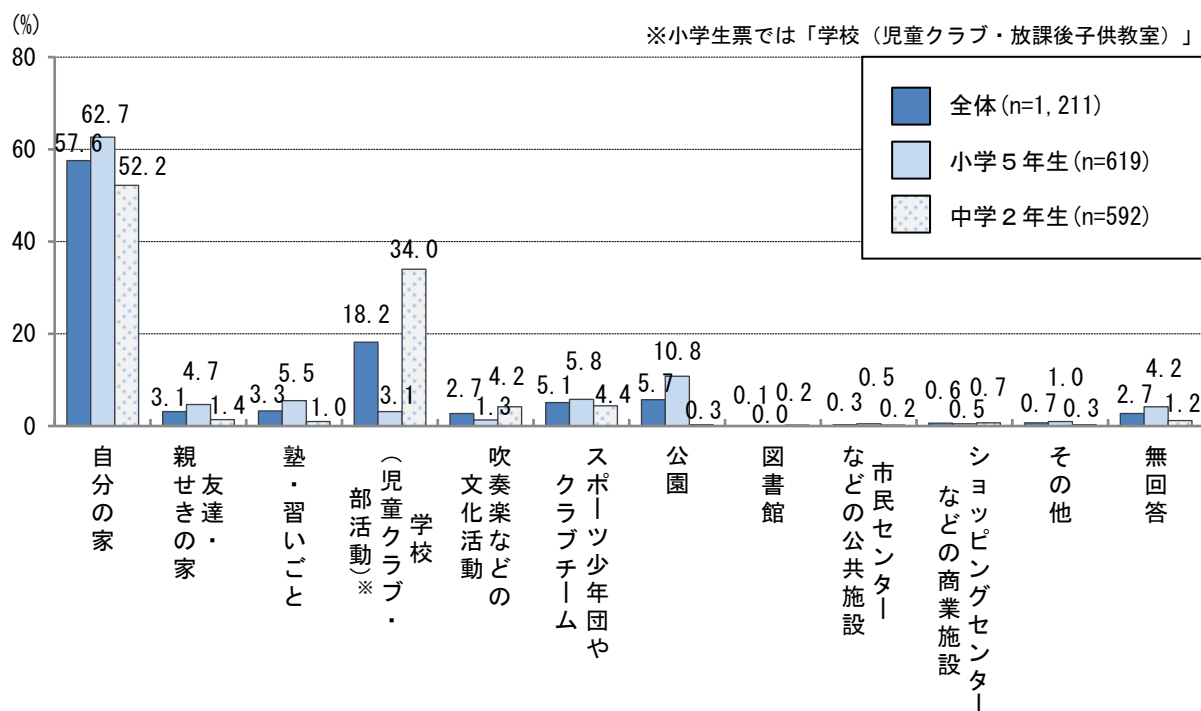
2 放課後・休日の過ごし方について

子ども票問 10

あなたは、平日の放課後（夕方 6 時くらいまで）はどこで過ごしていますか。1 週間のうち、一番多く過ごす場所を 1 つ教えてください。（SA）

■ 平日の放課後によく過ごす場所

【全体/学年別】



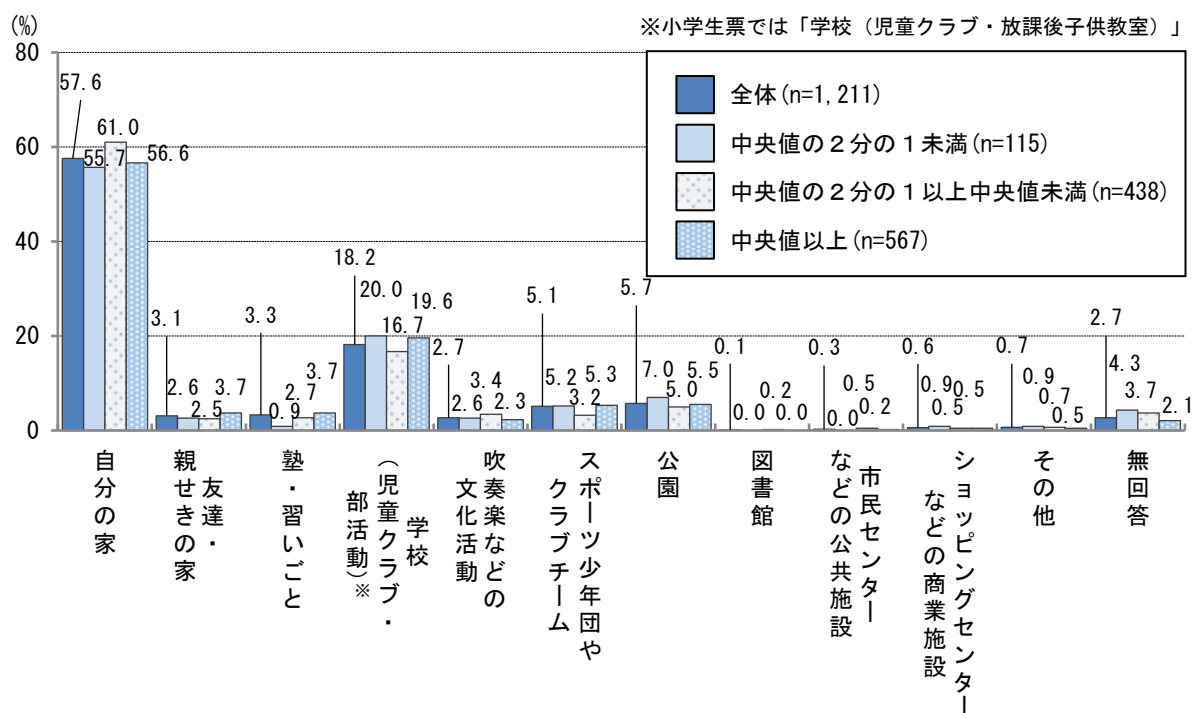
平日の放課後によく過ごす場所について、「自分の家」との回答が 57.6%と最も高く、次いで「学校（児童クラブ・部活動）」（18.2%）、「公園」（5.7%）、「スポーツ少年団やクラブチーム」（5.1%）などの順となっている。

小学 5 年生では、「自分の家」との回答が 62.7%と最も高く、次いで「公園」（10.8%）、「スポーツ少年団やクラブチーム」（5.8%）、「塾・習いごと」（5.5%）などの順となっている。

中学 2 年生では、「自分の家」との回答が 52.2%と最も高く、次いで「学校（児童クラブ・部活動）」（34.0%）などの順となっている。

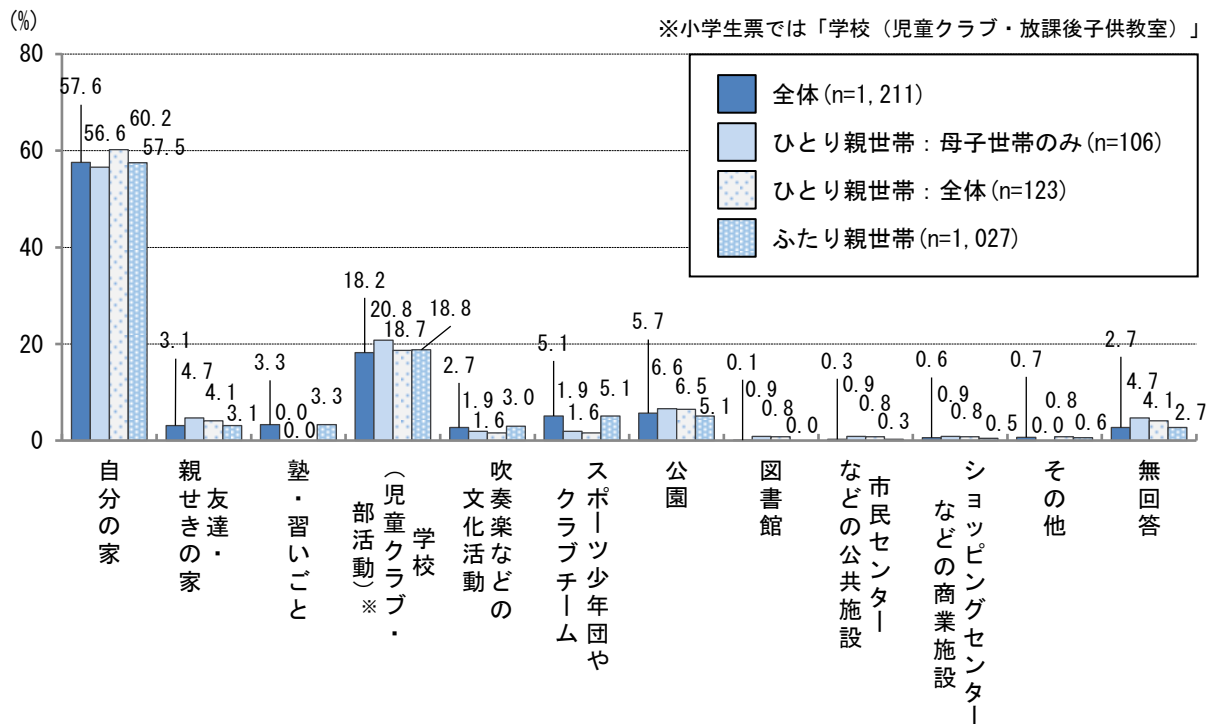
■平日の放課後によく過ごす場所

【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「自分の家」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で55.7%と中央値の2分の1以上中央値未満の世帯に比べ低くなっている。

【世帯の状況別】



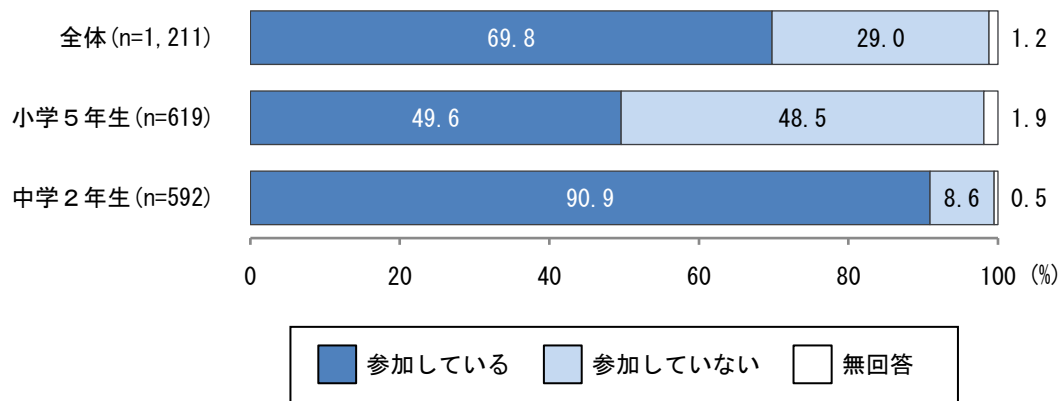
世帯の状況別にみると、「自分の家」との回答はすべての世帯で55.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

子ども票問 11

あなたは、スポーツ少年団やクラブチーム、吹奏楽などの文化活動、学校の部活動などに参加していますか。(SA)

■クラブチーム・部活動等への参加状況

【全体/学年別】



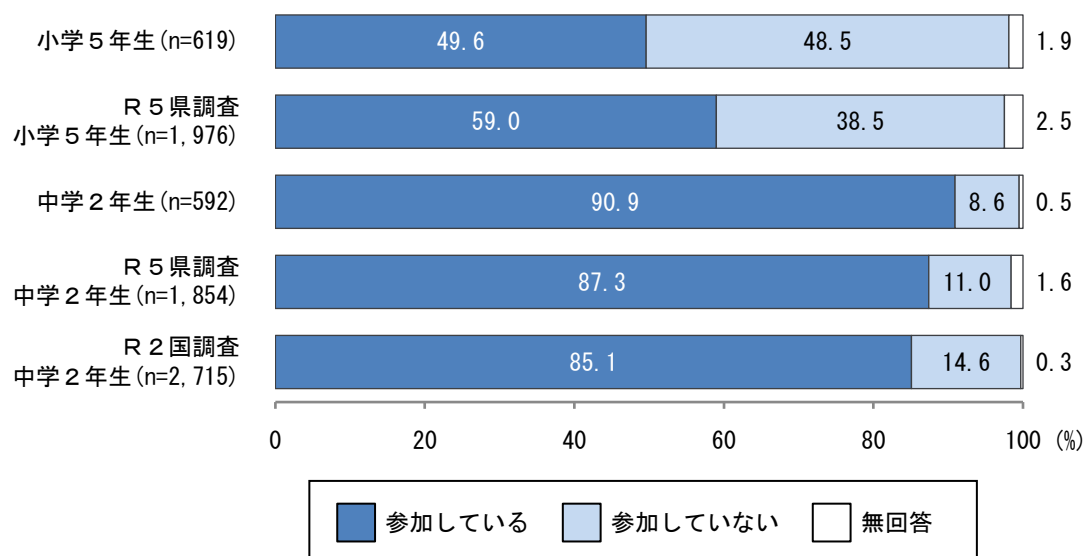
クラブチーム・部活動等への参加状況について、「参加している」との回答が69.8%、「参加していない」との回答が29.0%となっている。

小学5年生では、「参加している」との回答が49.6%、「参加していない」との回答が48.5%となっている。

中学2年生では、「参加している」との回答が90.9%、「参加していない」との回答が8.6%となっている。

■クラブチーム・部活動等への参加状況

【山口県調査・国調査と比較】

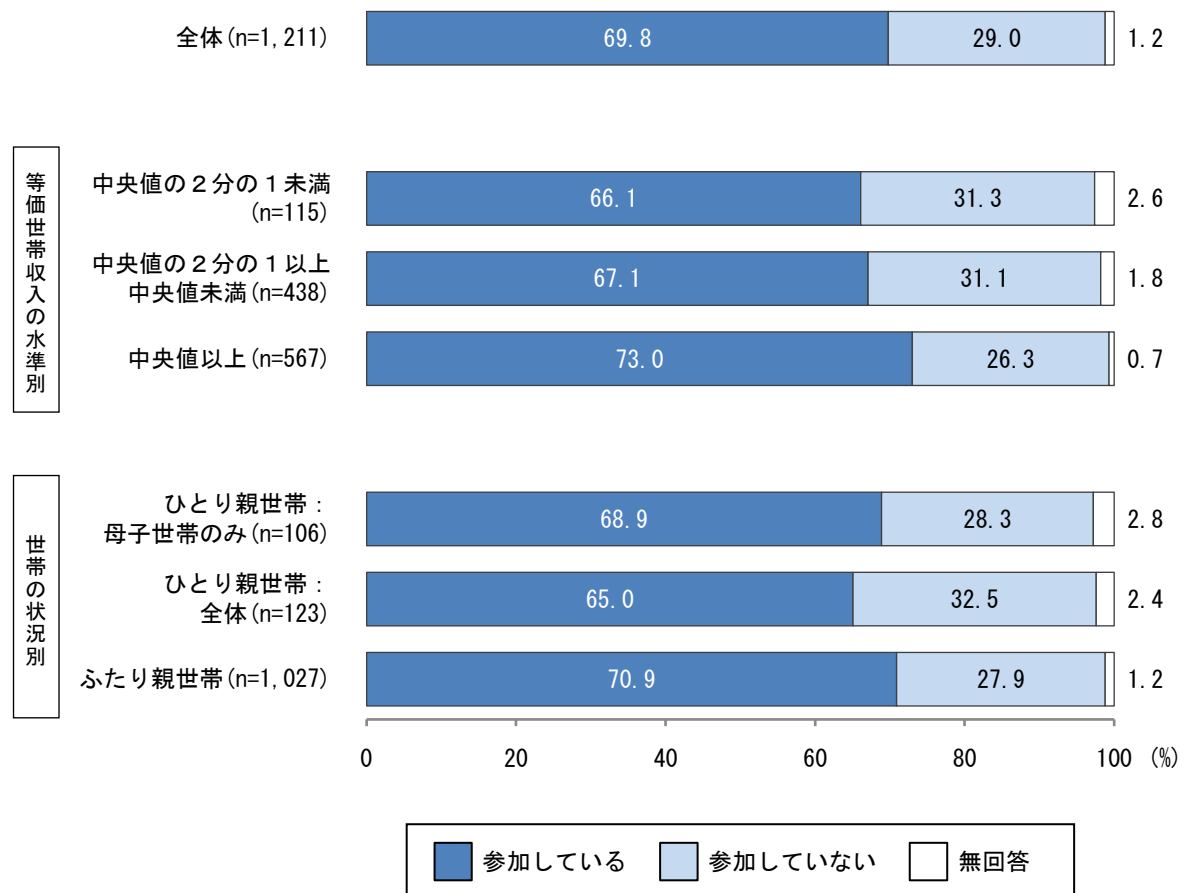


小学5年生を山口県調査と比較すると、「参加している」との回答は周南市が県を9.4ポイント下回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「参加している」との回答は周南市が国を5.8ポイント上回っている。

■ クラブチーム・部活動等への参加状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「参加している」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で66.1%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

世帯の状況別にみると、「参加している」との回答はひとり親世帯全体で65.0%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

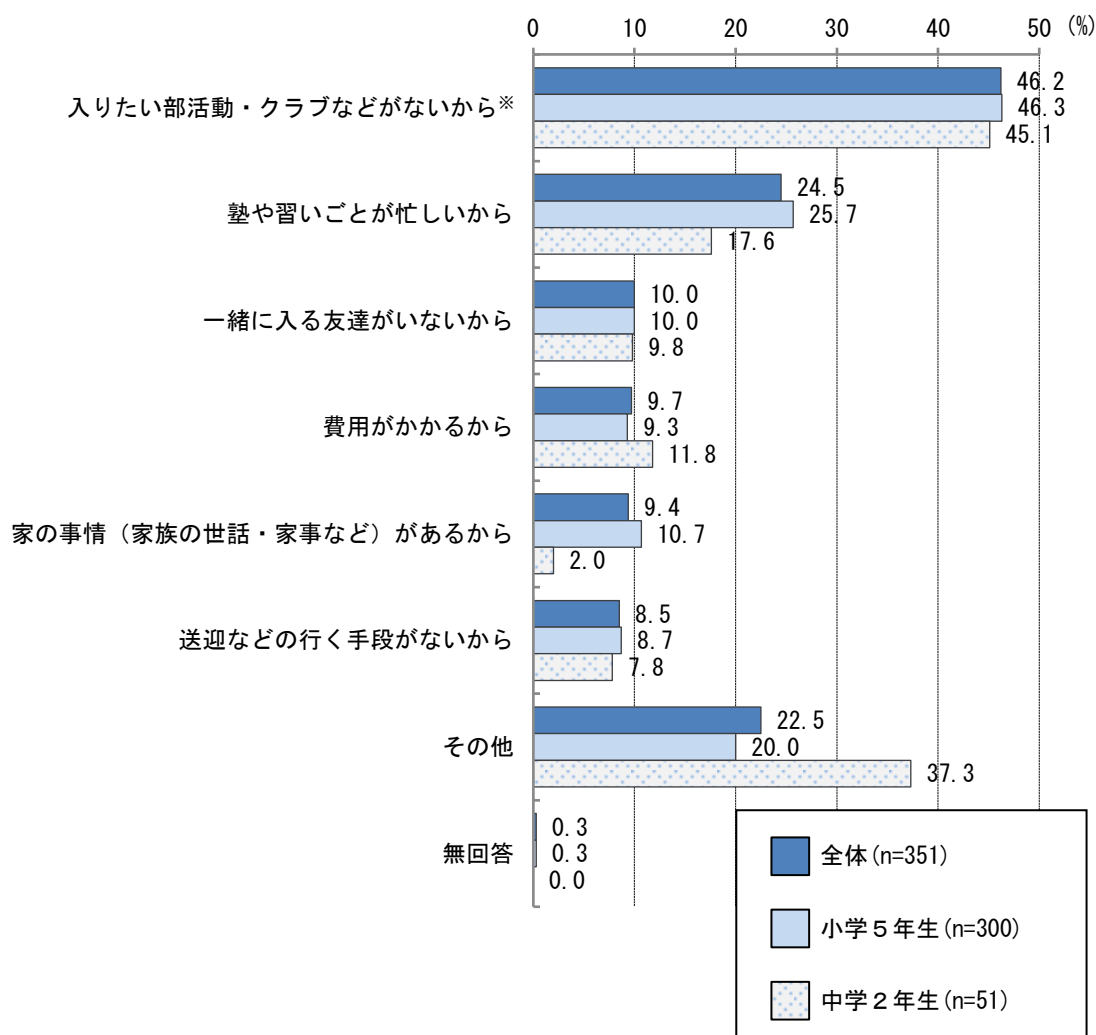
問 11 で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。

子ども票問 12

参加していない理由は何ですか。(MA)

■クラブチーム・部活動等へ参加していない理由

【全体/学年別】



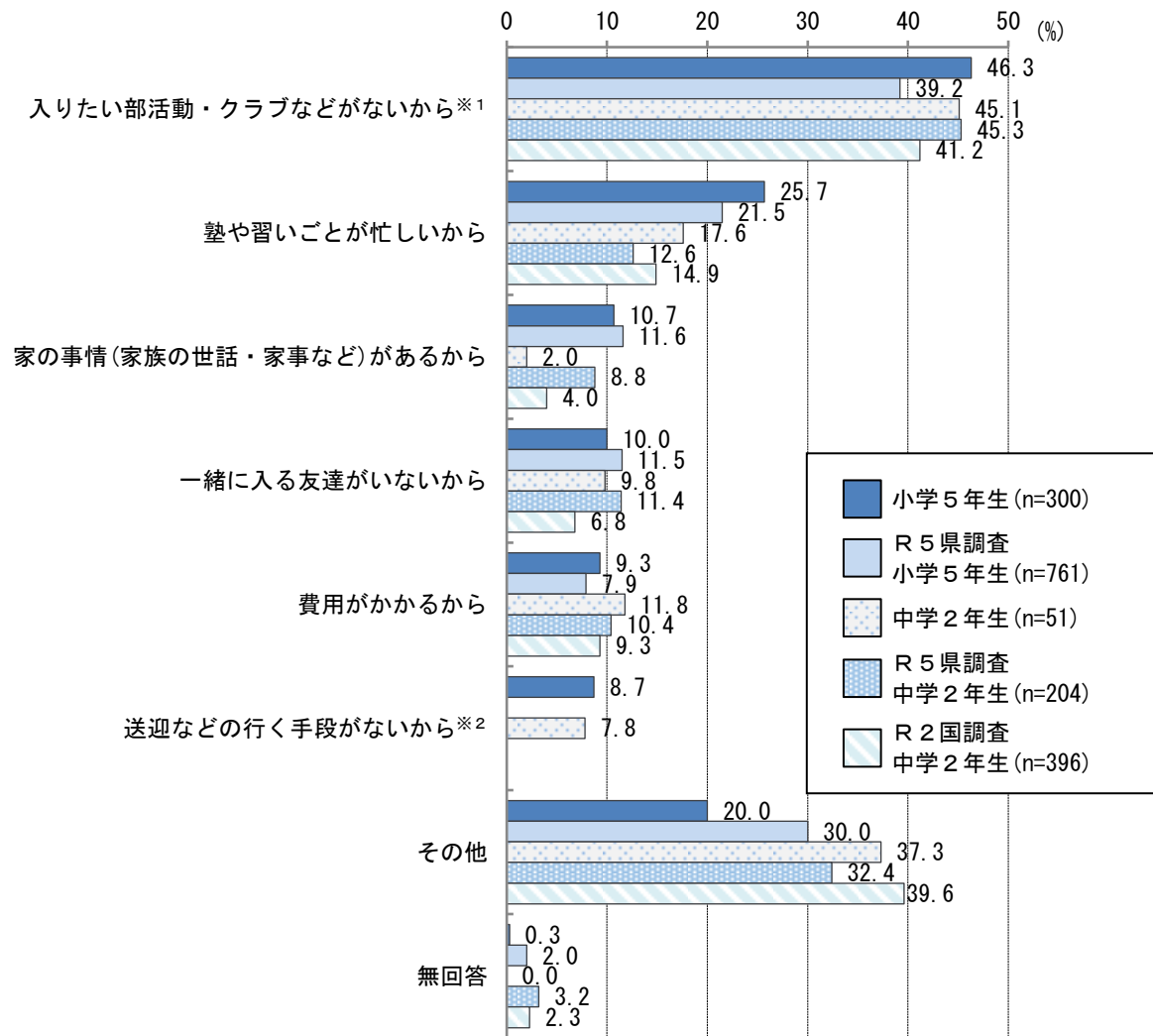
クラブチーム・部活動等へ参加していない理由について、「入りたい部活動・クラブがないから」との回答が 46.2%と最も高く、次いで「塾や習いごとが忙しいから」(24.5%)、「一緒にいる友達がいないから」(10.0%)などの順となっている。

小学5年生では、全体と同様の傾向となっている。

中学2年生では、「塾や習いごとが忙しいから」との回答が 17.6%、「家の事情（家族の世話・家事など）があるから」との回答が 2.0%と全体に比べ低いものの、おおむね全体と同様の傾向となっている。

■クラブチーム・部活動等へ参加していない理由

【山口県調査・国調査と比較】



※1 小学生票では「参加したい活動・クラブなどがないから」
山口県調査・国調査では「入りたいクラブ・部活動がないから」

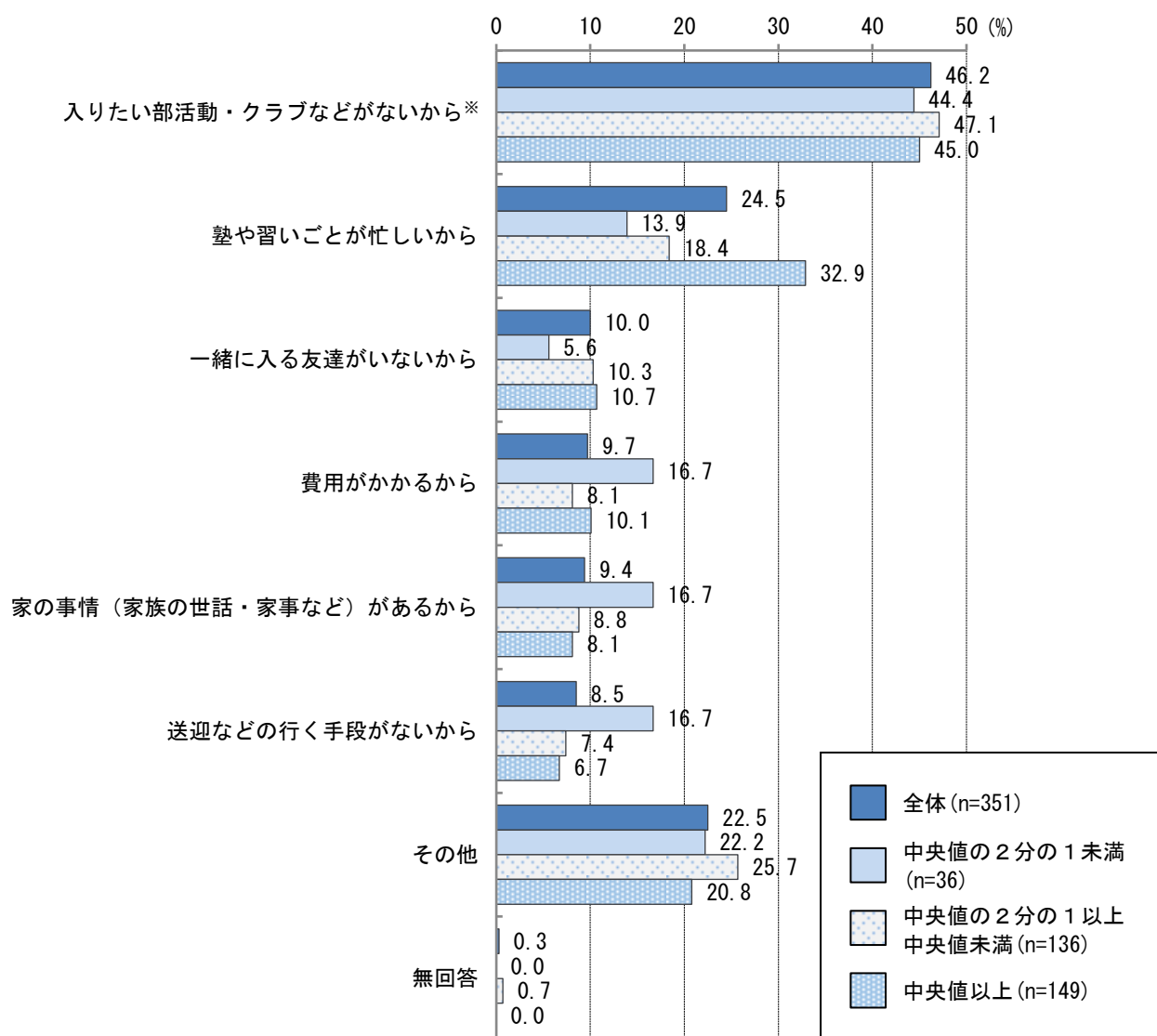
※2 山口県調査・国調査にはない選択肢

小学5年生を山口県調査と比較すると、「入りたい部活動・クラブなどがないから」との回答は周南市が県を7.1ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「塾や習いごとが忙しいから」との回答は周南市が県を5.0ポイント上回っており、「家の事情(家族の世話・家事など)があるから」との回答は周南市が県を6.8ポイント下回っている。

■クラブチーム・部活動等へ参加していない理由

【等価世帯収入の水準別】

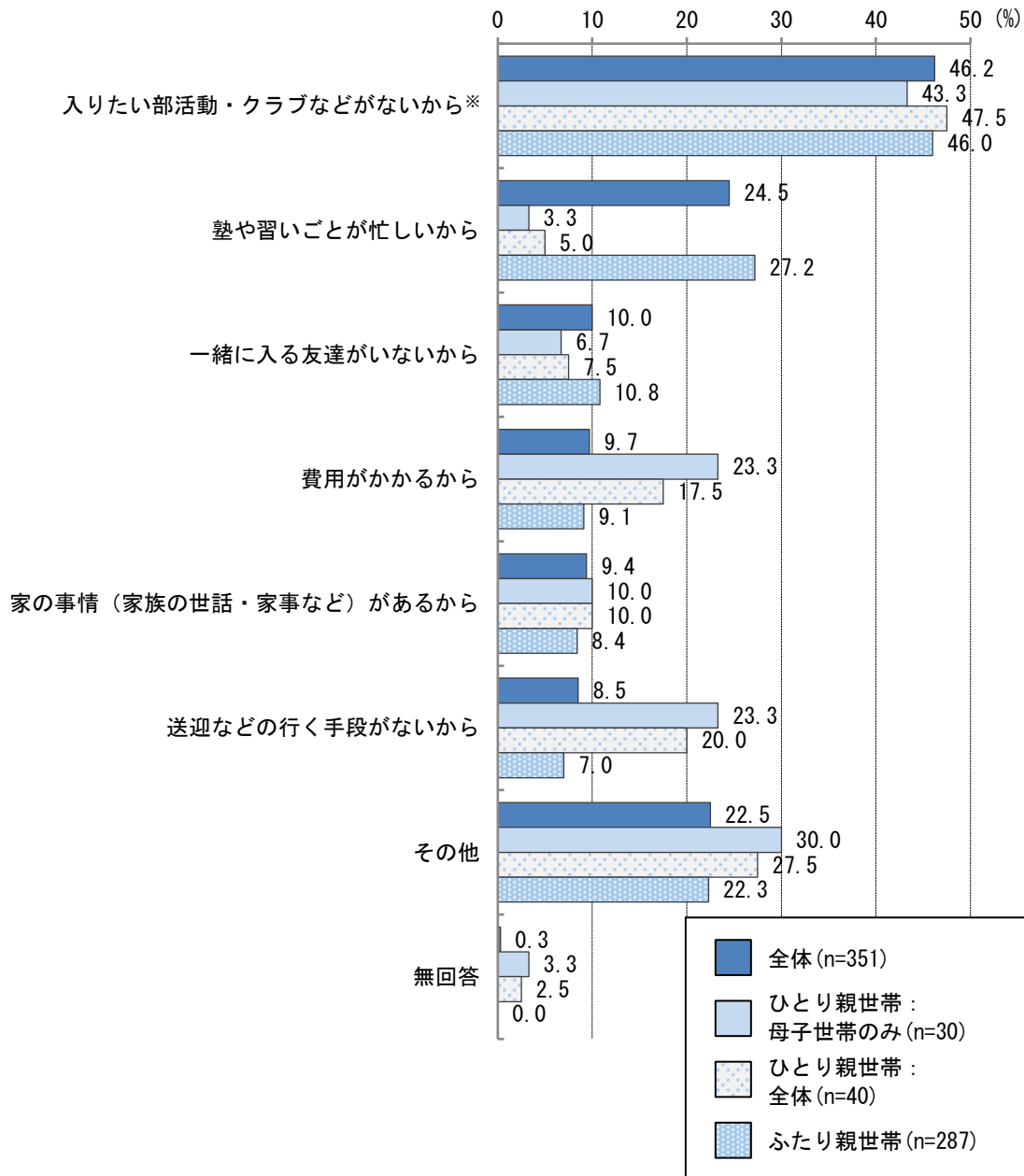


※小学生票では「参加したい活動・クラブなどがないから」

等価世帯収入の水準別にみると、「塾や習いごとが忙しいから」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で13.9%、「一緒にいる友達がいないから」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で5.6%と中央値以上の世帯に比べ低く、「費用がかかるから」、「家の事情（家族の世話・家事など）があるから」、「送迎などの行く手段がないから」との回答は中央値の2分の1未満の世帯でいずれも16.7%と他の世帯に比べ高くなっている。

■クラブチーム・部活動等へ参加していない理由

【世帯の状況別】



※小学生票では「参加したい活動・クラブがないから」

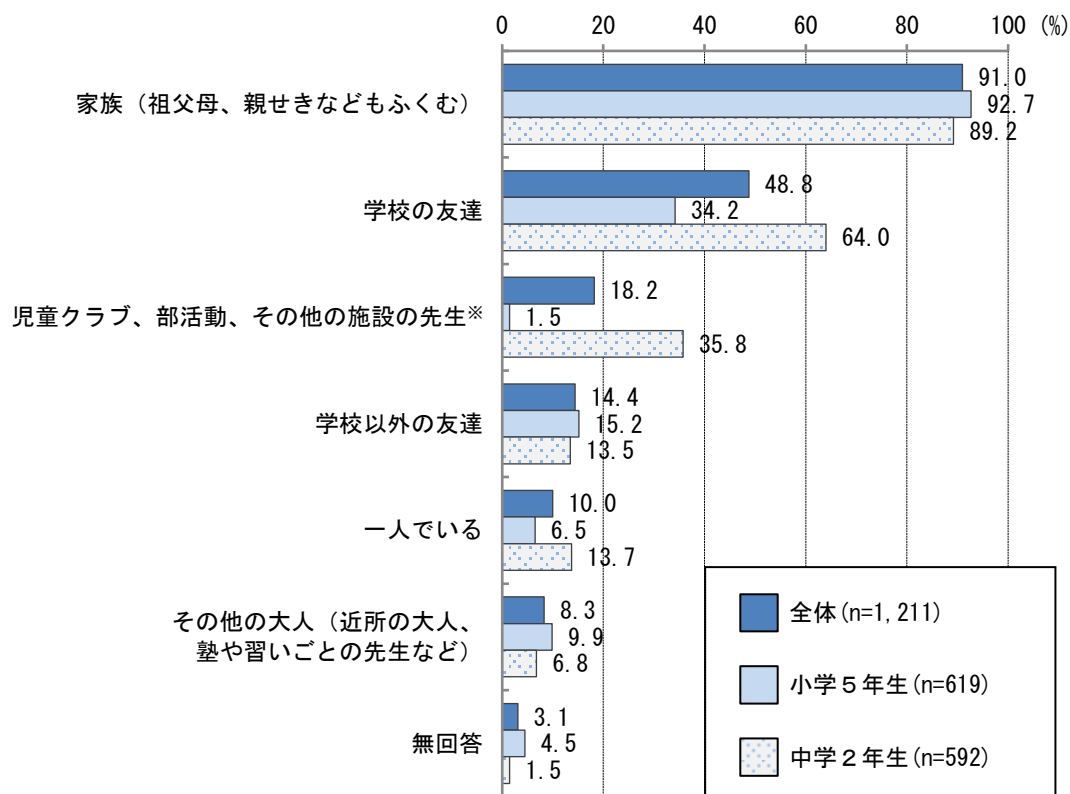
世帯の状況別にみると、「塾や習いごとが忙しいから」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 3.3%、ひとり親世帯全体で 5.0%とふたり親世帯に比べ低く、「費用がかかるから」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 23.3%、ひとり親世帯全体で 17.5%、「送迎などの行く手段がないから」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 23.3%、ひとり親世帯全体で 20.0%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

子ども票問 13

あなたは、休日はだれと過ごしますか。(MA)

■ 休日に一緒に過ごす人

【全体/学年別】



※小学生票では「児童クラブ、その他の施設の先生」

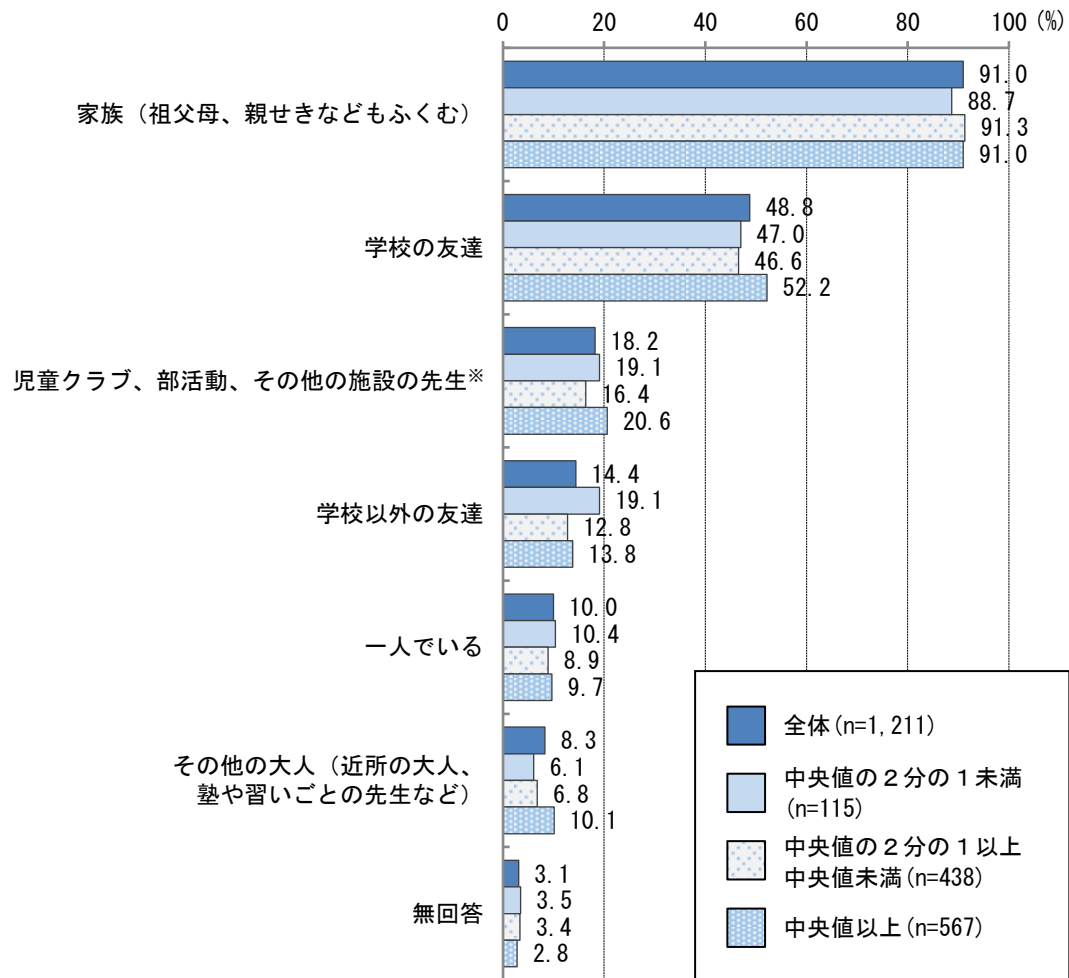
休日に一緒に過ごす人について、「家族（祖父母、親せきなどもふくむ）」との回答が 91.0% と最も高く、次いで「学校の友達」（48.8%）、「児童クラブ、部活動、その他の施設の先生」（18.2%）などの順となっている。

小学5年生では、「家族（祖父母、親せきなどもふくむ）」との回答が 92.7% と最も高く、次いで「学校の友達」（34.2%）、「学校以外の友達」（15.2%）などの順となっている。

中学2年生では、「学校の友達」との回答が 64.0%、「児童クラブ、部活動、その他の施設の先生」との回答が 35.8% と全体に比べ高いものの、おおむね全体と同様の傾向となっている。

■ 休日に一緒に過ごす人

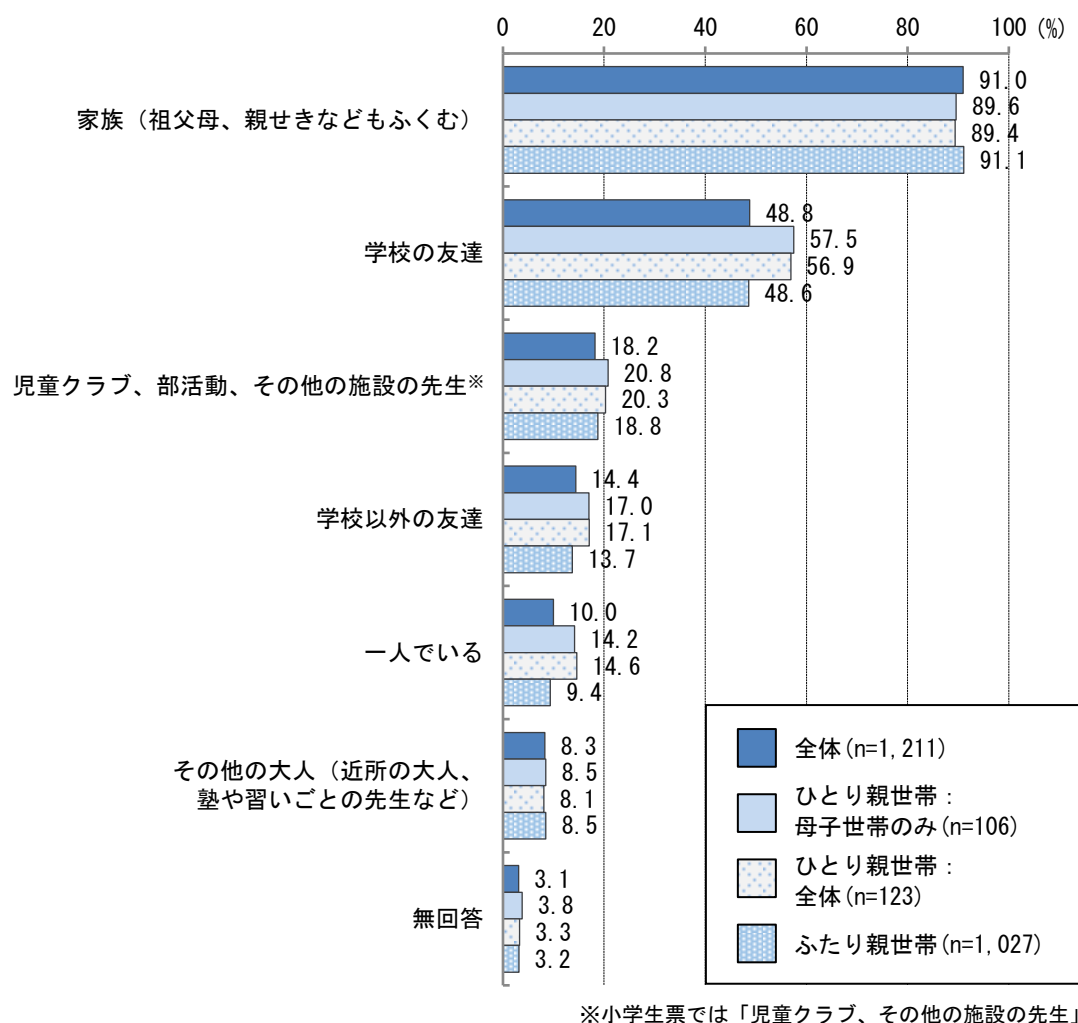
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「学校の友達」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で47.0%と中央値以上の世帯に比べ低く、「学校以外の友達」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で19.1%と他の世帯に比べ高くなっている。

■ 休日に一緒に過ごす人

【世帯の状況別】



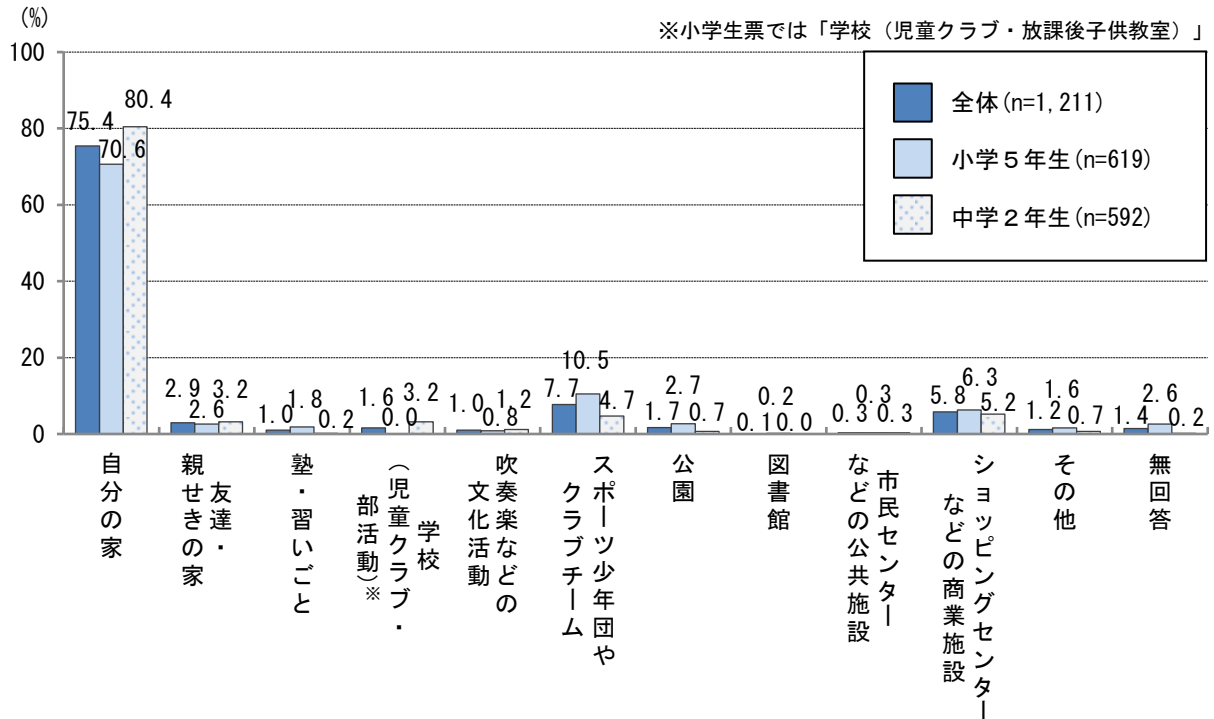
世帯の状況別にみると、「学校の友達」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで 57.5%、ひとり親世帯全体で 56.9%、「一人でいる」との回答はひとり親世帯全体で 14.6%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

子ども票問 14

あなたは、休日はどこで過ごしますか。一番多く過ごす場所を1つ教えてください。(SA)

■ 休日によく過ごす場所

【全体/学年別】

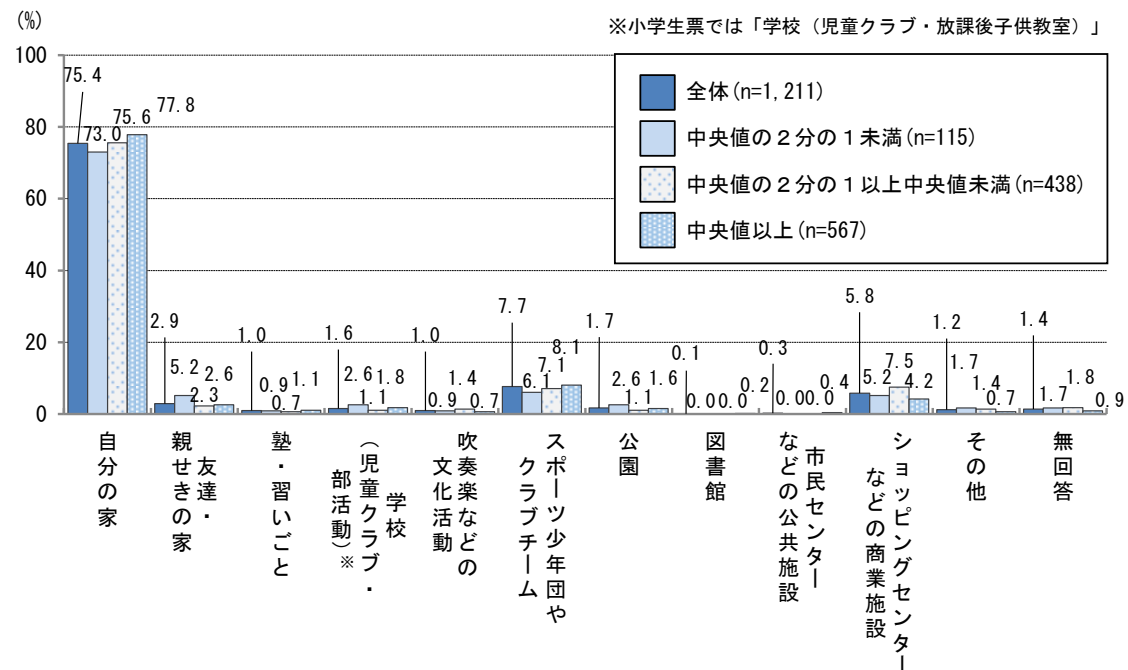


休日によく過ごす場所について、「自分の家」との回答が75.4%と最も高く、次いで「スポーツ少年団やクラブチーム」(7.7%)、「ショッピングセンターなどの商業施設」(5.8%)などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

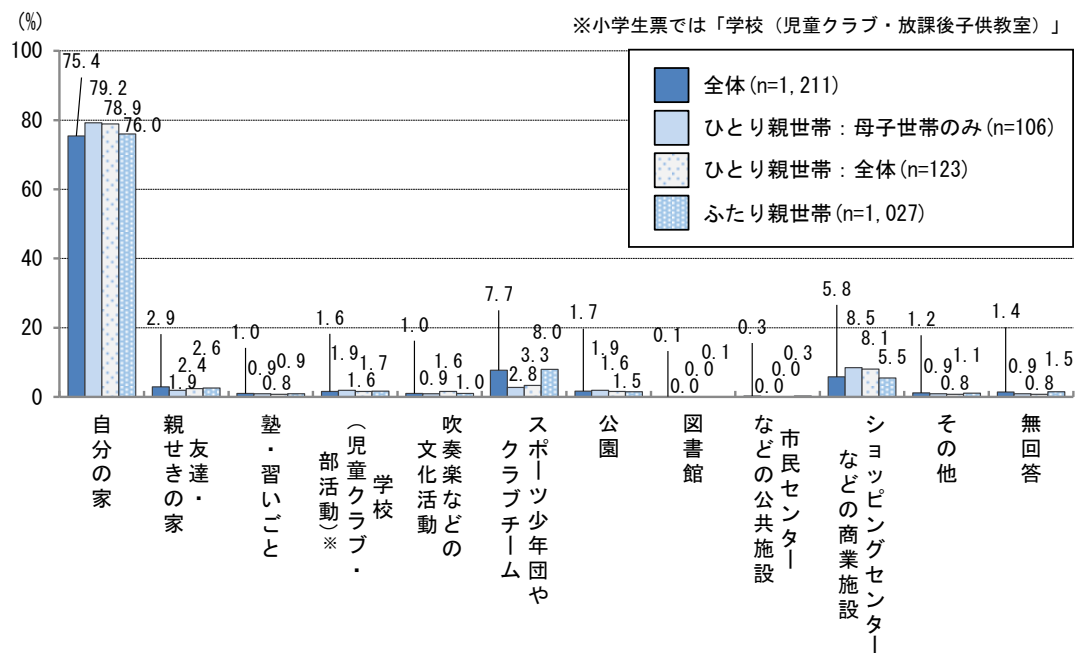
■休日によく過ごす場所

【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「自分の家」との回答はすべての世帯で75.0%前後となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「スポーツ少年団やクラブチーム」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで2.8%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

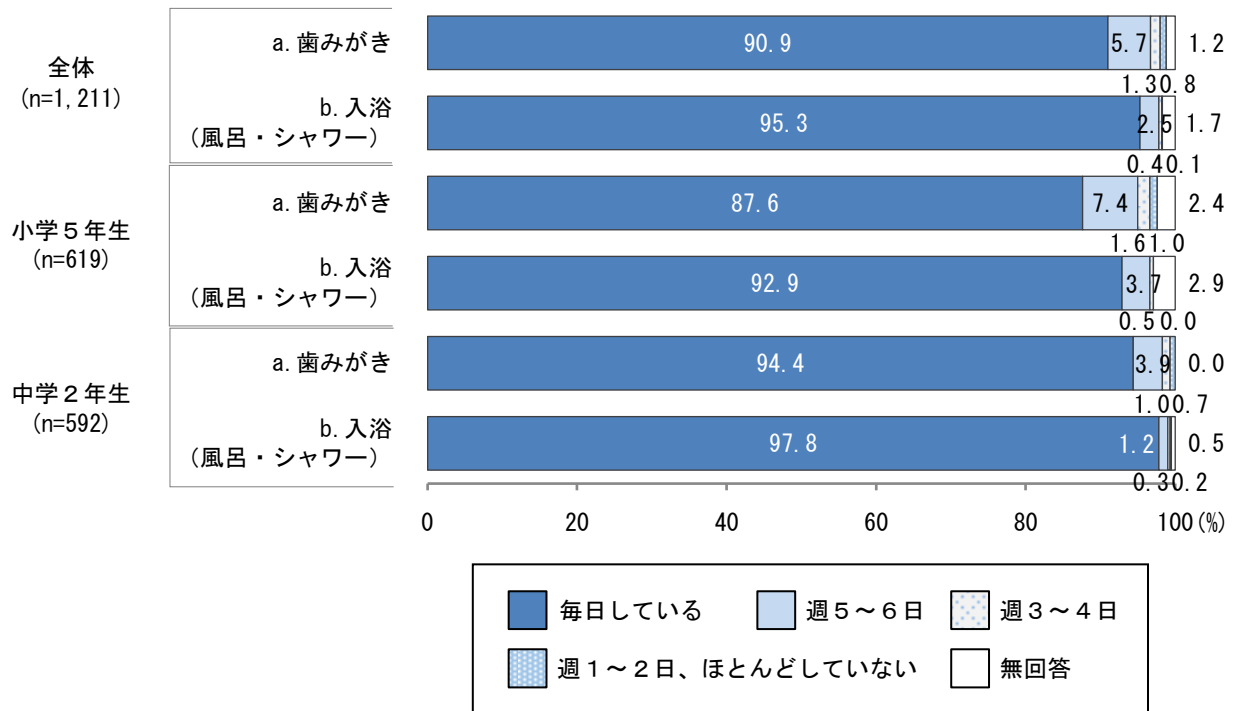
3 食事や生活のことについて

子ども票問 15

あなたは週にどのくらい歯みがきや入浴（風呂・シャワー）をしていますか。（SA）

■ 歯みがきや入浴の頻度

【全体/学年別】

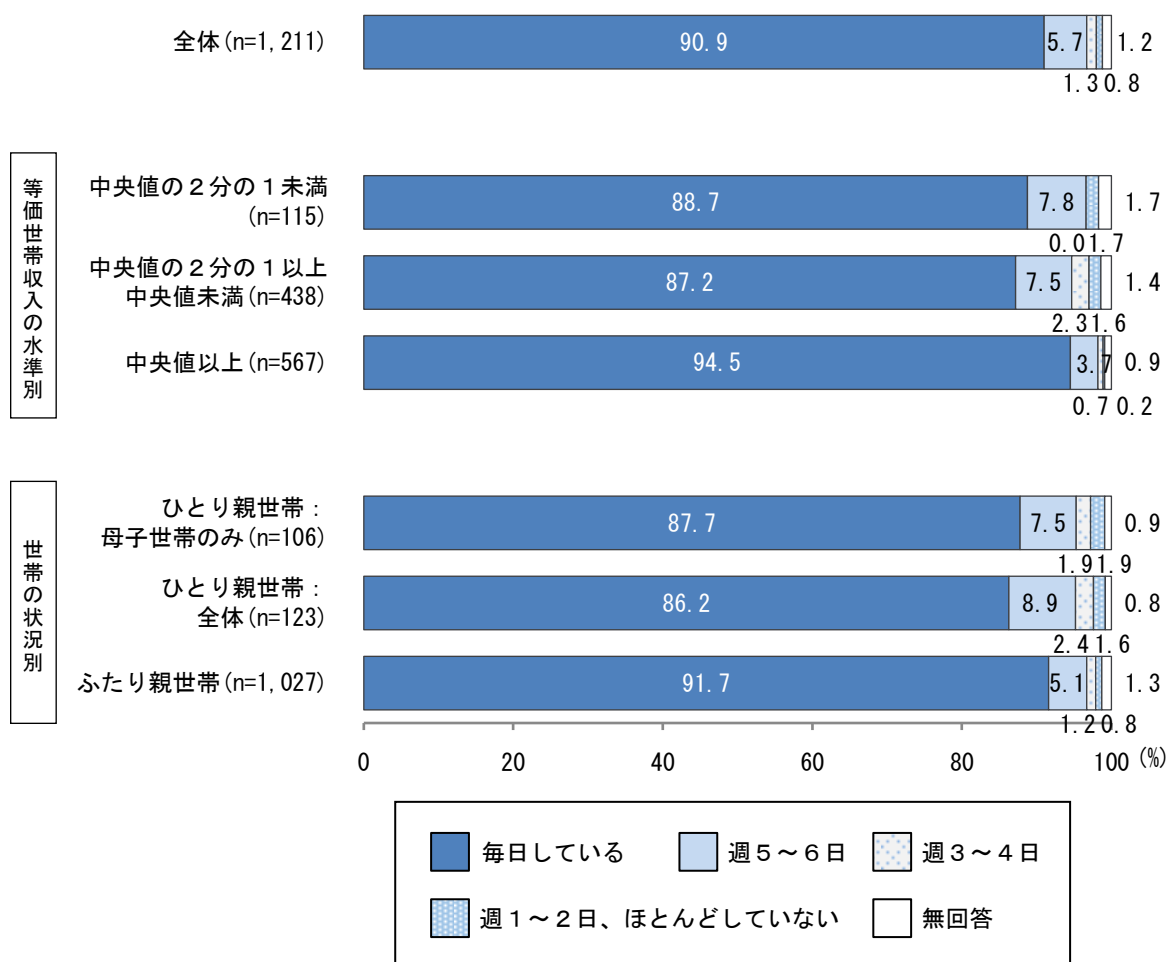


歯みがきや入浴の頻度について、「毎日している」との回答は「a. 歯みがき」の項目で90.9%、「b. 入浴」の項目で95.3%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 歯みがきの頻度

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

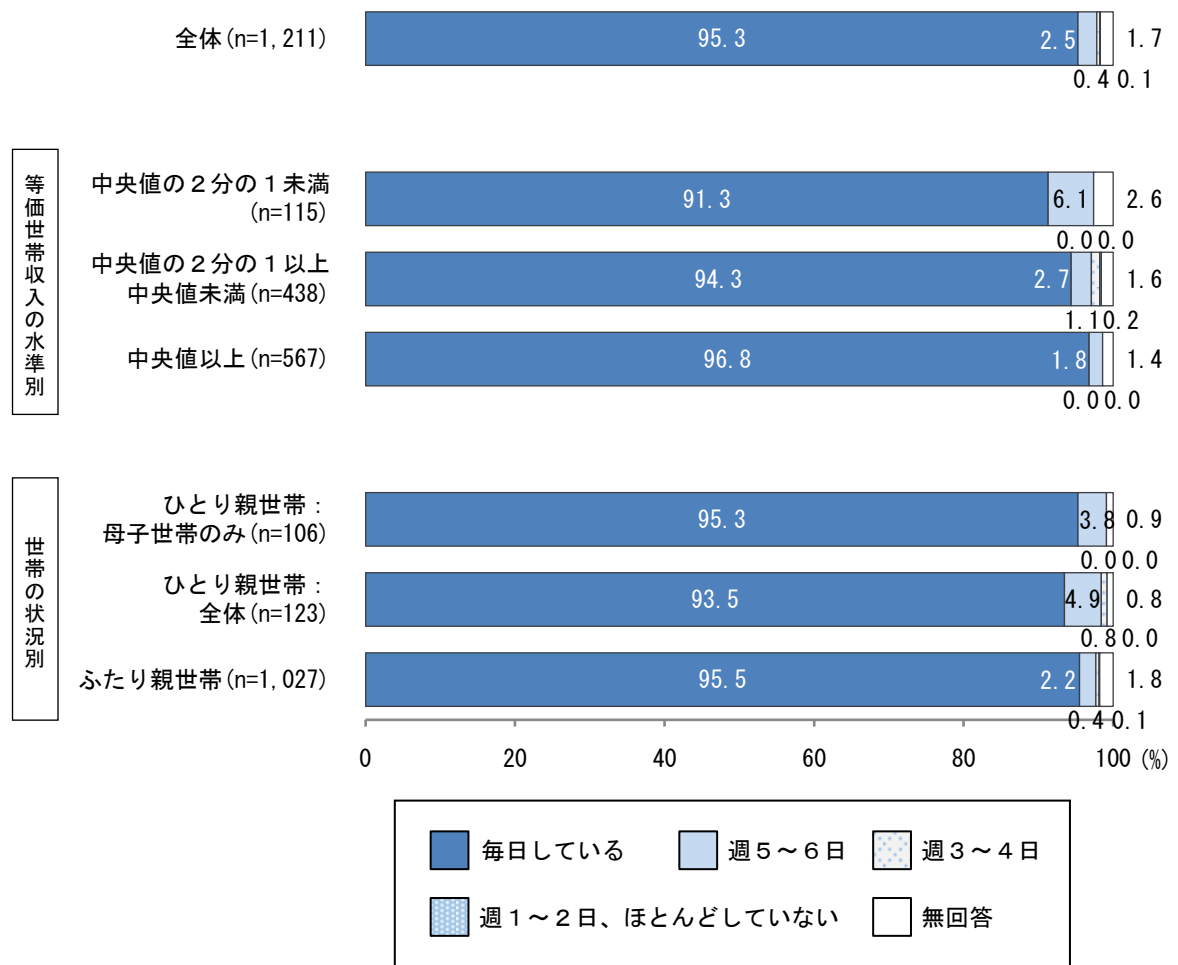


歯みがきの頻度について、等価世帯収入の水準別にみると、「毎日している」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で88.7%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

世帯の状況別にみると、「毎日している」との回答はひとり親世帯全体で86.2%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

■入浴の頻度

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



入浴の頻度について、等価世帯収入の水準別にみると、「毎日している」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で91.3%と中央値以上の世帯に比べ低くなっている。

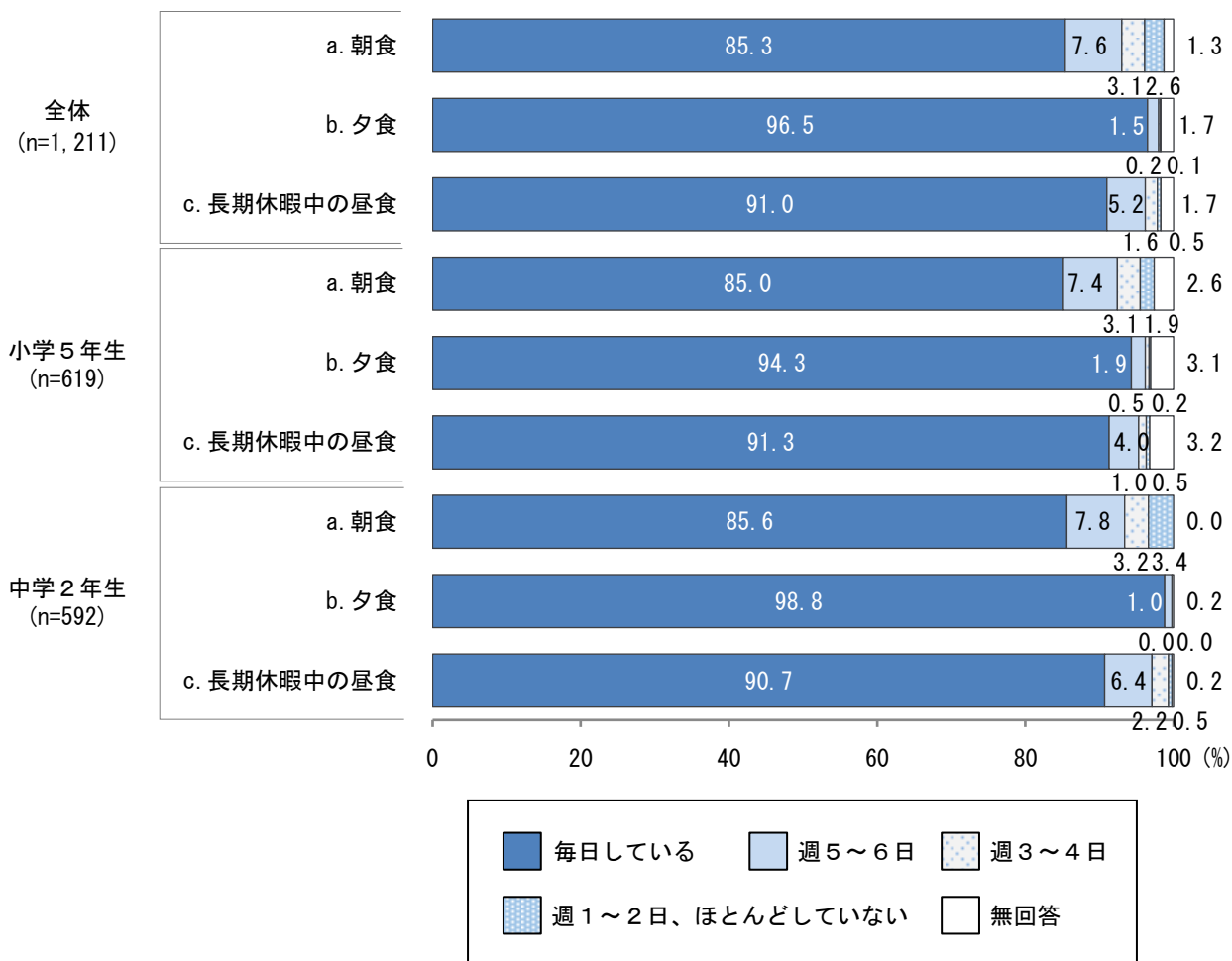
世帯の状況別にみると、「毎日している」との回答はすべての世帯で95.0%前後となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

子ども票問 16

あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(SA)

■ 食事の頻度

【全体/学年別】

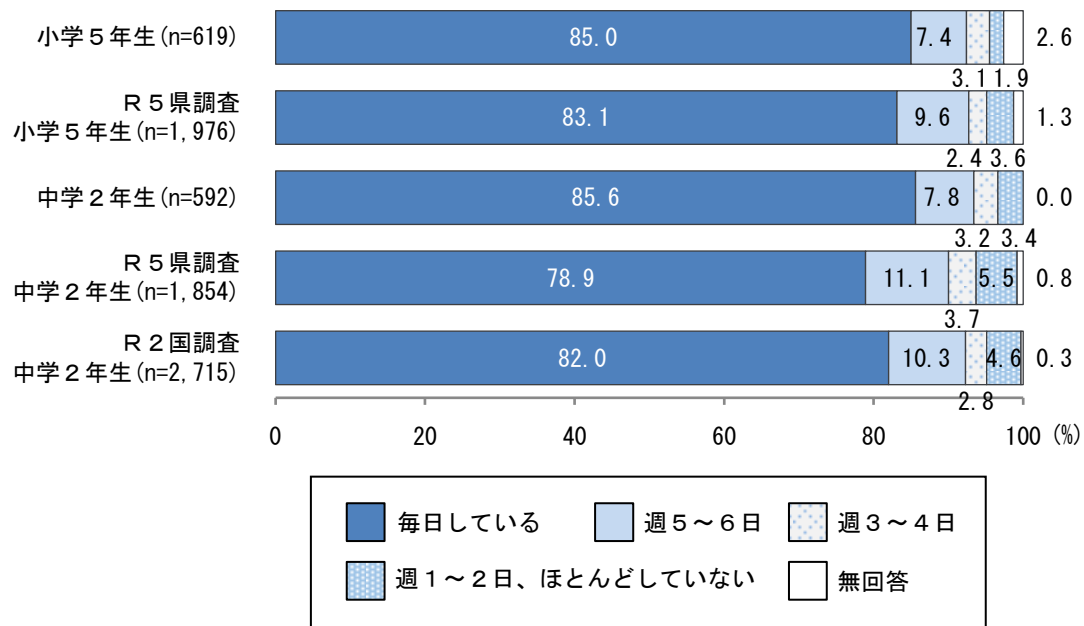


食事の頻度について、「毎日している」との回答は「a. 朝食」の項目で 85.3%、「b. 夕食」の項目で 96.5%、「c. 長期休暇中の昼食」の項目で 91.0%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 朝食をとる頻度

【山口県調査・国調査と比較】

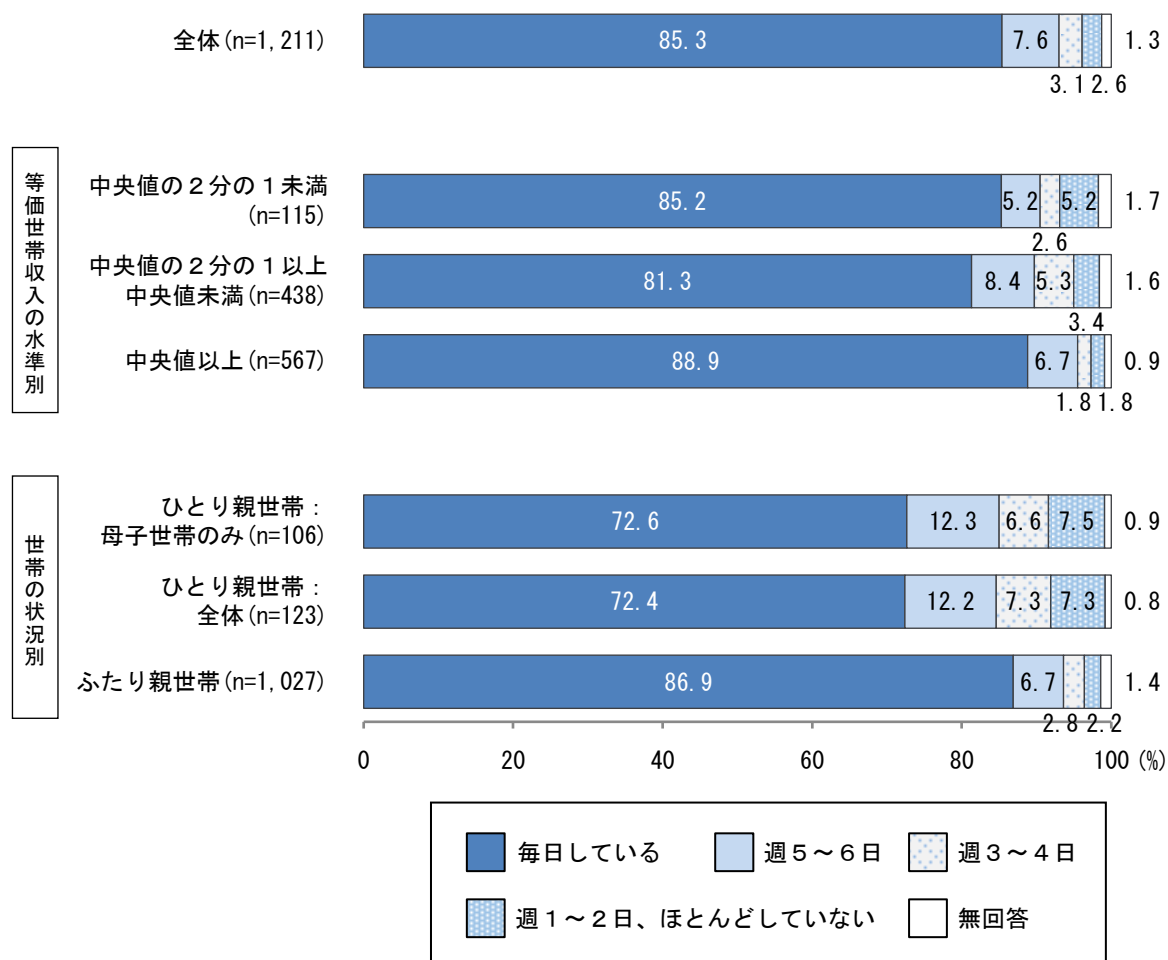


朝食をとる頻度について、小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「毎日している」との回答は周南市が県を6.7ポイント上回っている。

■朝食をとる頻度

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

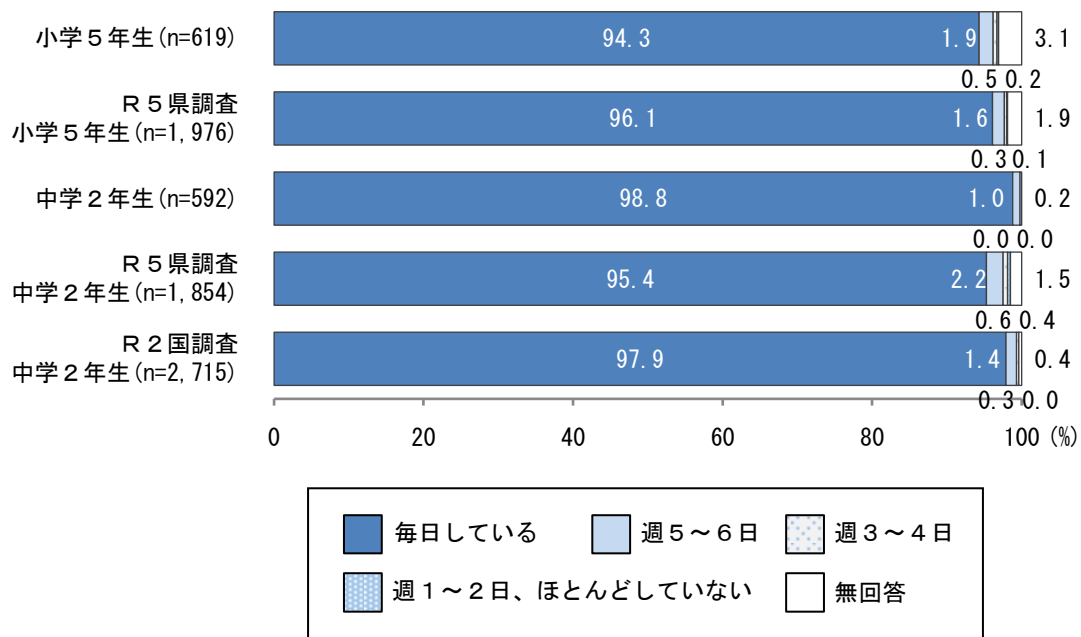


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日している」との回答はすべての世帯で80.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「毎日している」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで72.6%、ひとり親世帯全体で72.4%とふたり親世帯に比べ低く、「週5～6日」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで12.3%、ひとり親世帯全体で12.2%、「週1～2日、ほとんどしていない」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで7.5%、ひとり親世帯全体で7.3%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■夕食をとる頻度

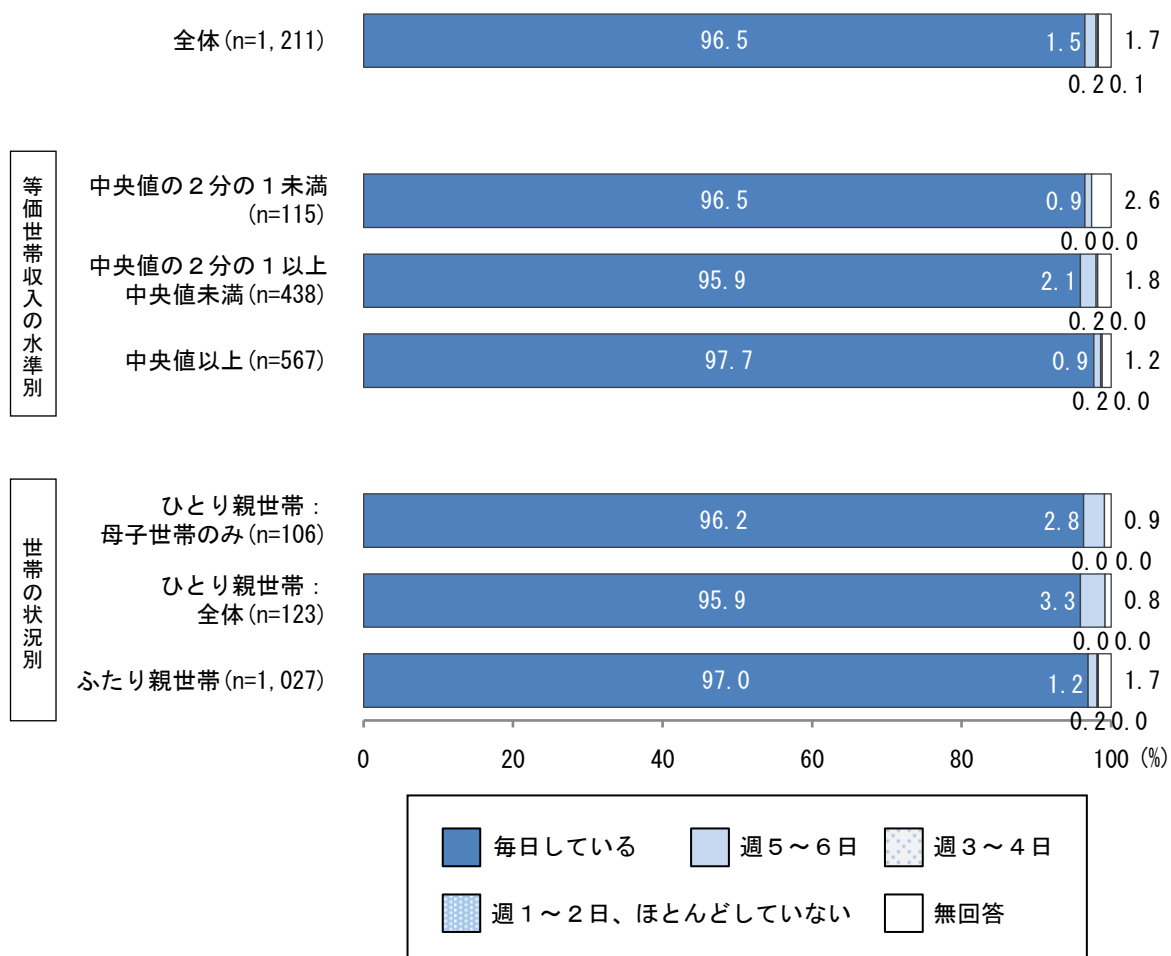
【山口県調査・国調査と比較】



夕食をとる頻度について、山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■夕食をとる頻度

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

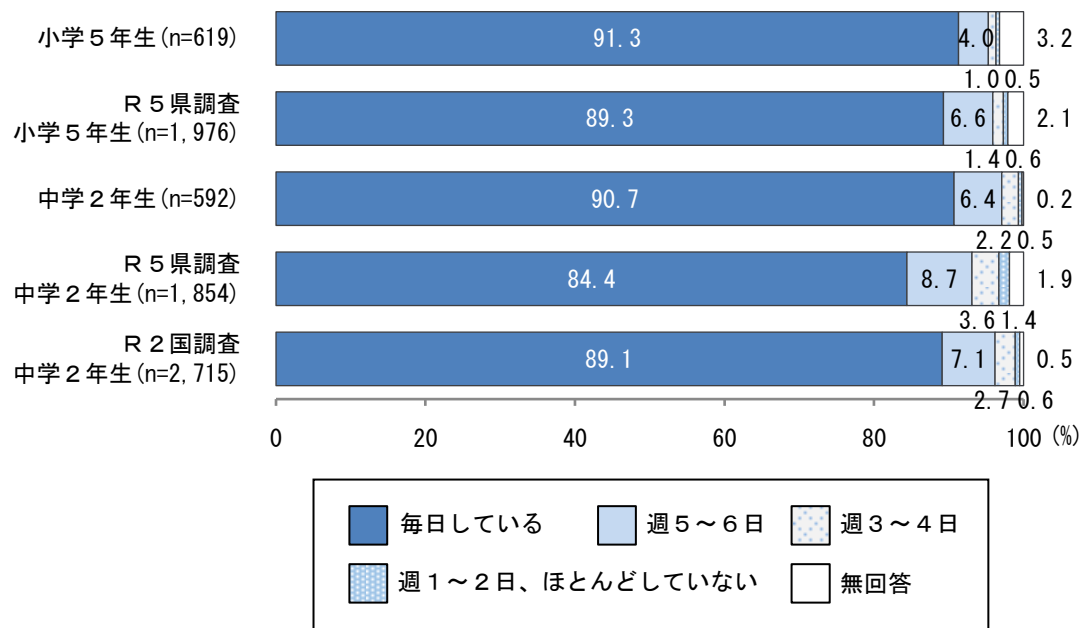


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日している」との回答はすべての世帯で95.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「毎日している」との回答はすべての世帯で95.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

■ 長期休暇中の昼食をとる頻度

【山口県調査・国調査と比較】

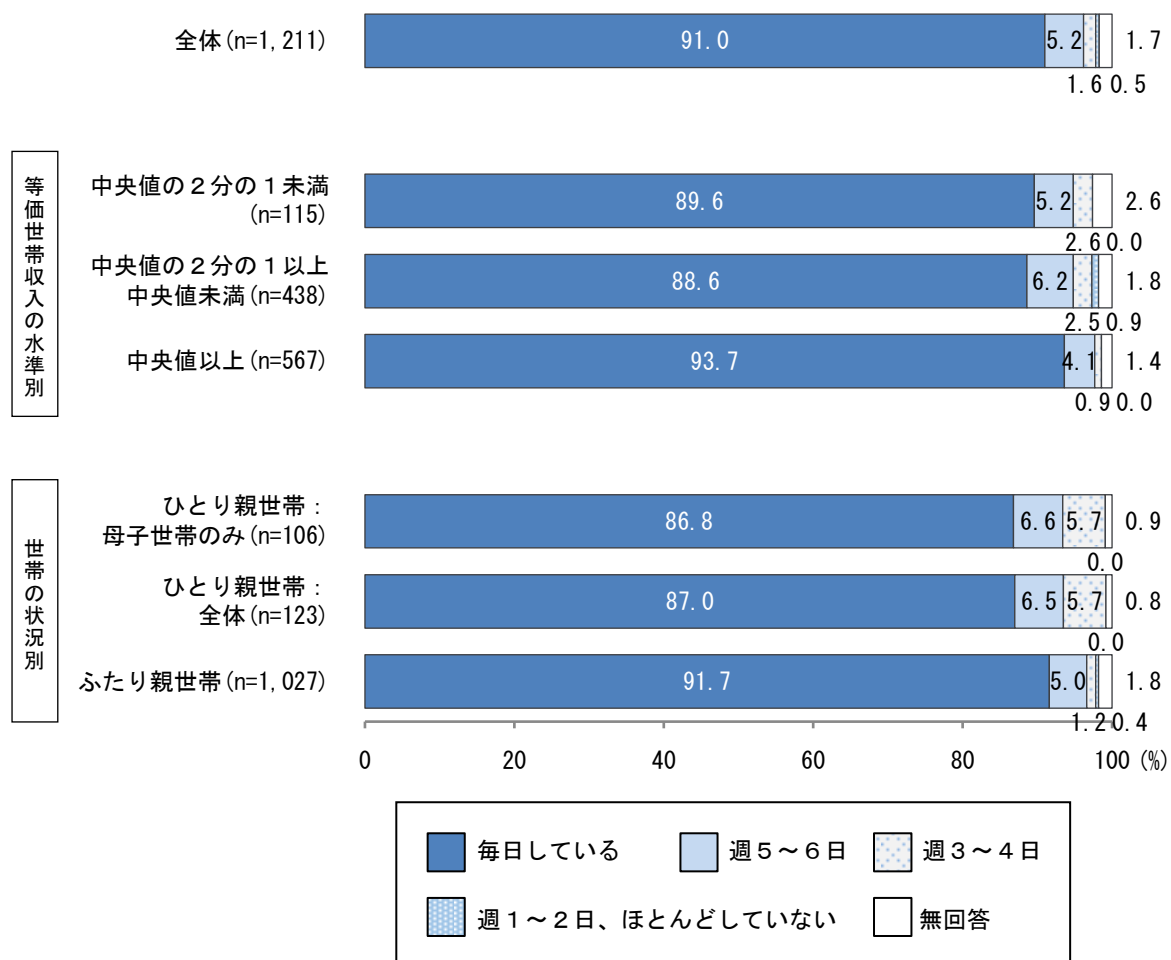


長期休暇中の昼食をとる頻度について、小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「毎日している」との回答は周南市が県を6.3ポイント上回っている。

■長期休暇中の昼食をとる頻度

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日している」との回答はすべての世帯で90.0%前後となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

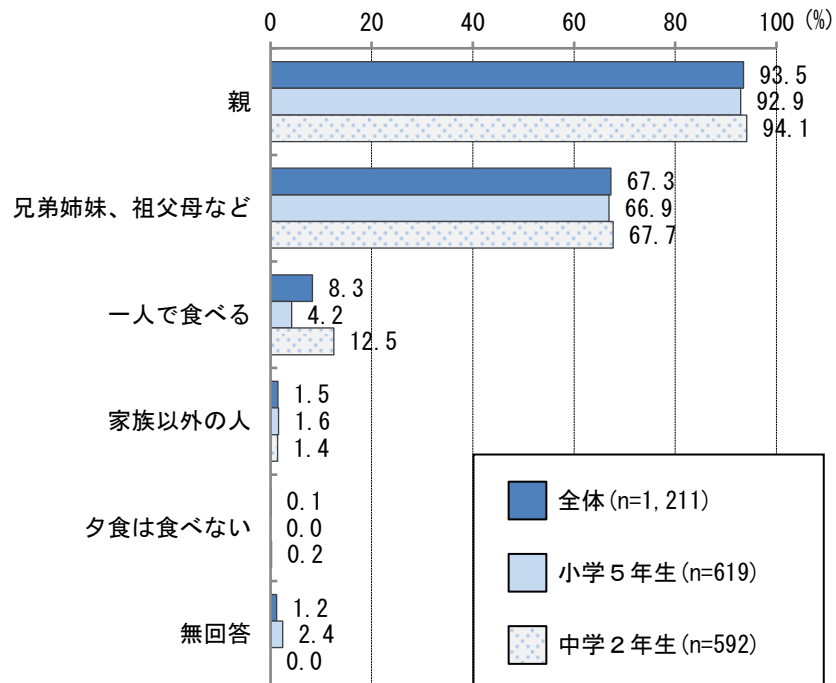
世帯の状況別にみると、「毎日している」との回答はすべての世帯で85.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

子ども票問 17

あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、だれと夕食を食べていますか。（MA）

■ 平日に夕食を一緒に食べる人

【全体/学年別】

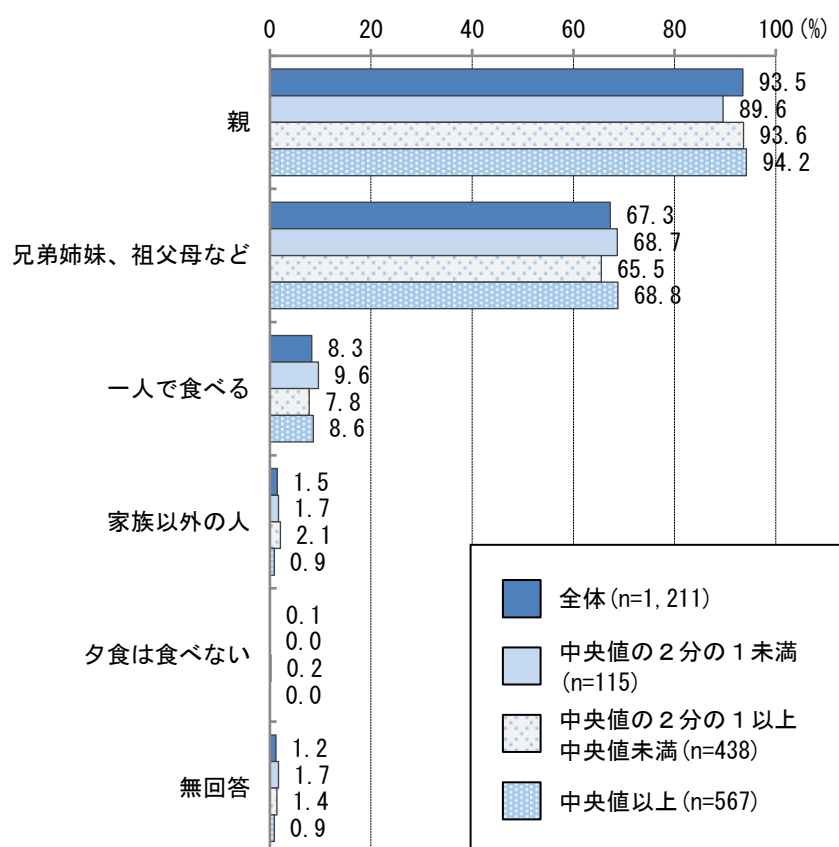


平日に夕食を一緒に食べる人について、「親」との回答が93.5%と最も高く、次いで「兄弟姉妹、祖父母など」(67.3%)、「一人で食べる」(8.3%)などの順となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 平日に夕食を一緒に食べる人

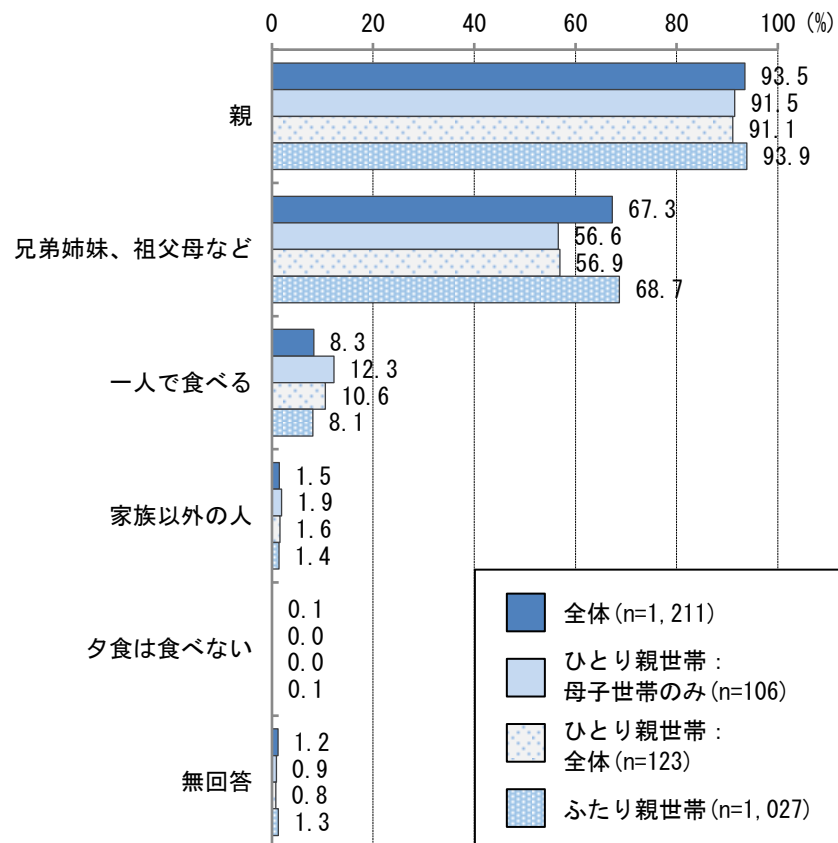
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「親」との回答はすべての世帯で 85.0%以上、「兄弟姉妹、祖父母など」との回答はすべての世帯で 65.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

■ 平日に夕食を一緒に食べる人

【世帯の状況別】



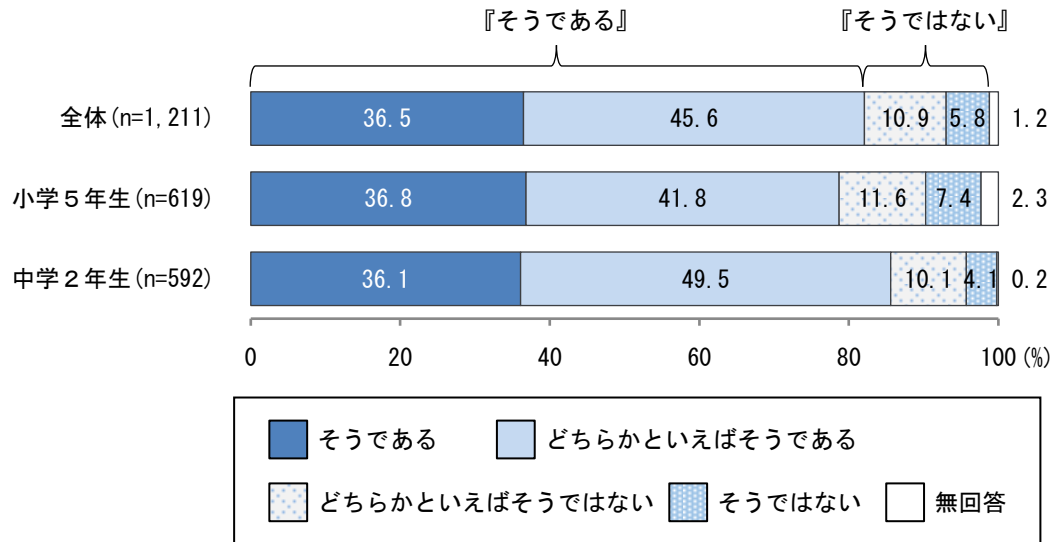
世帯の状況別にみると、「兄弟姉妹、祖父母など」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで56.6%、ひとり親世帯全体で56.9%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

子ども票問 18

あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（SA）

■ 平日に同じ時間に就寝しているか

【全体/学年別】

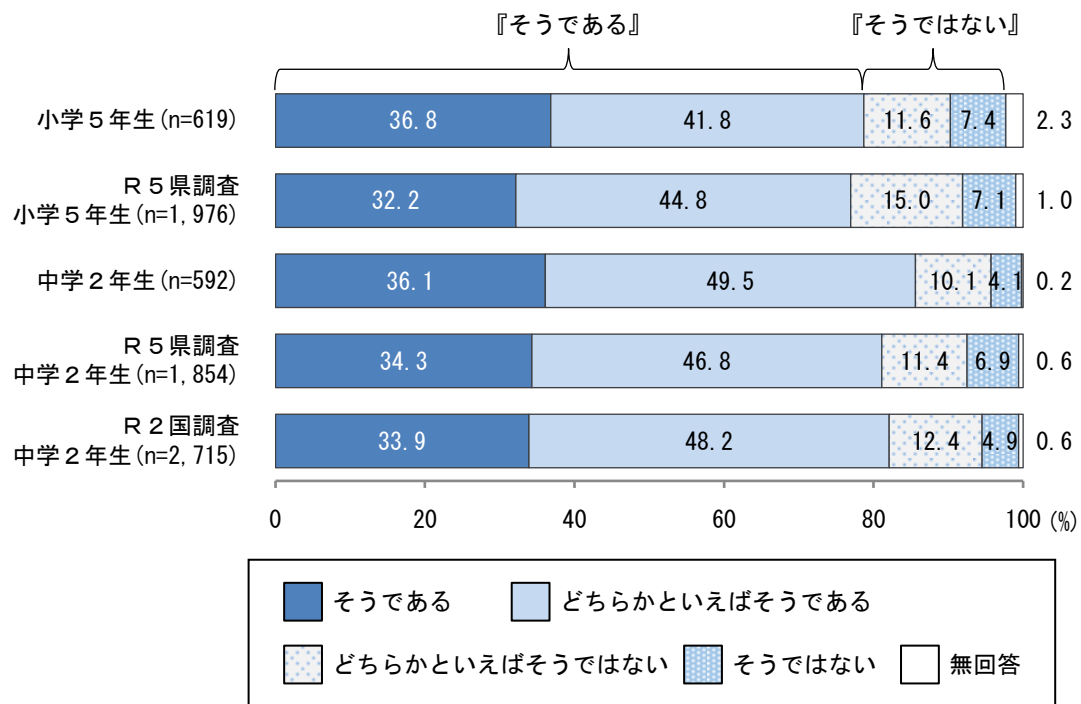


平日に同じ時間に就寝しているかについて、『そうである』（「そうである」＋「どちらかといえばそうである」）との回答が82.1%、『そうではない』（「そうではない」＋「どちらかといえばそうではない」）との回答が16.7%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 平日に同じ時間に就寝しているか

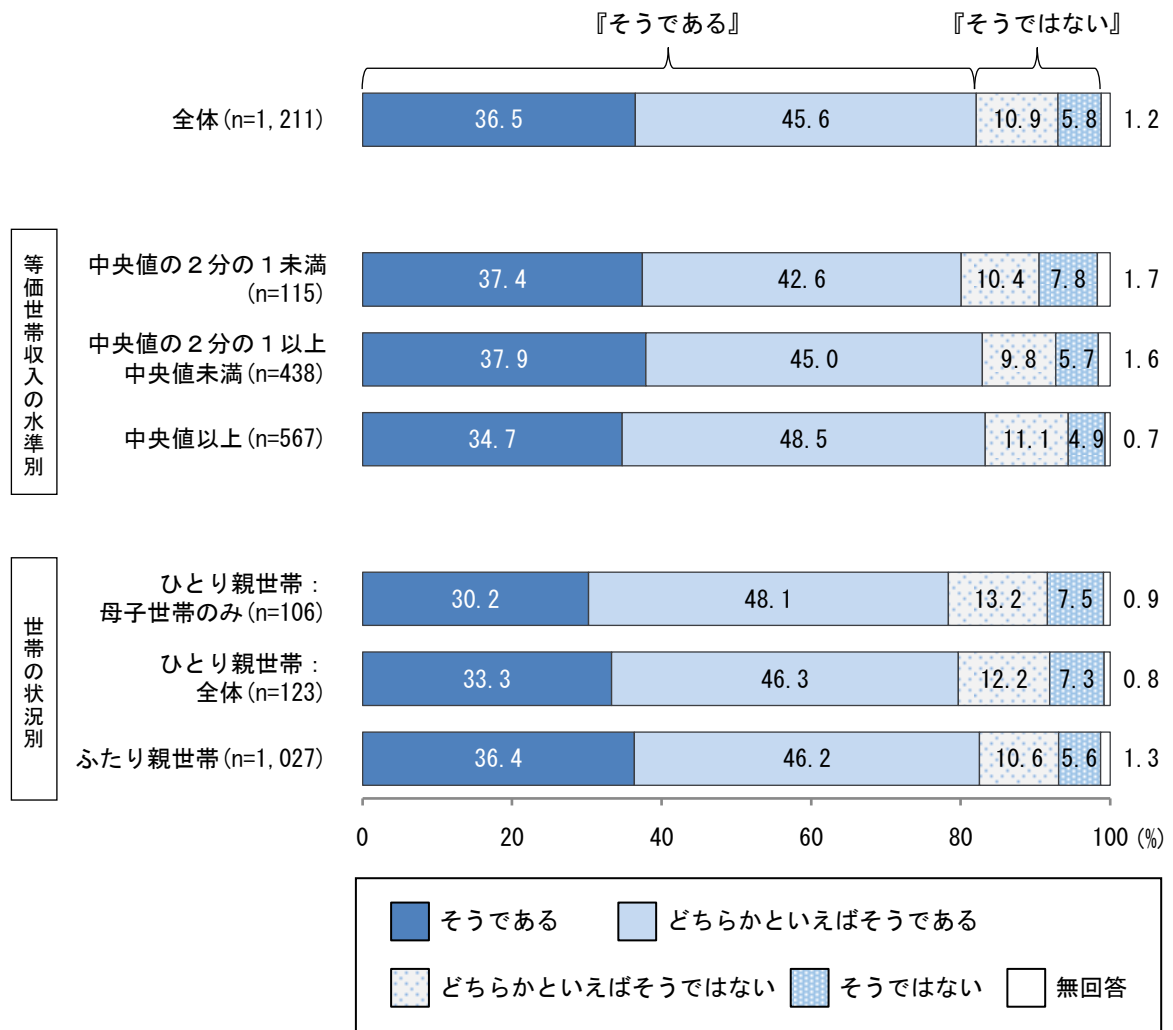
【山口県調査・国調査と比較】



山口県調査・国調査と比較すると、いずれの学年でも大きな差はみられない。

■ 平日に同じ時間に就寝しているか

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』との回答はすべての世帯で80.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、『そうである』との回答はすべての世帯で80.0%前後となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

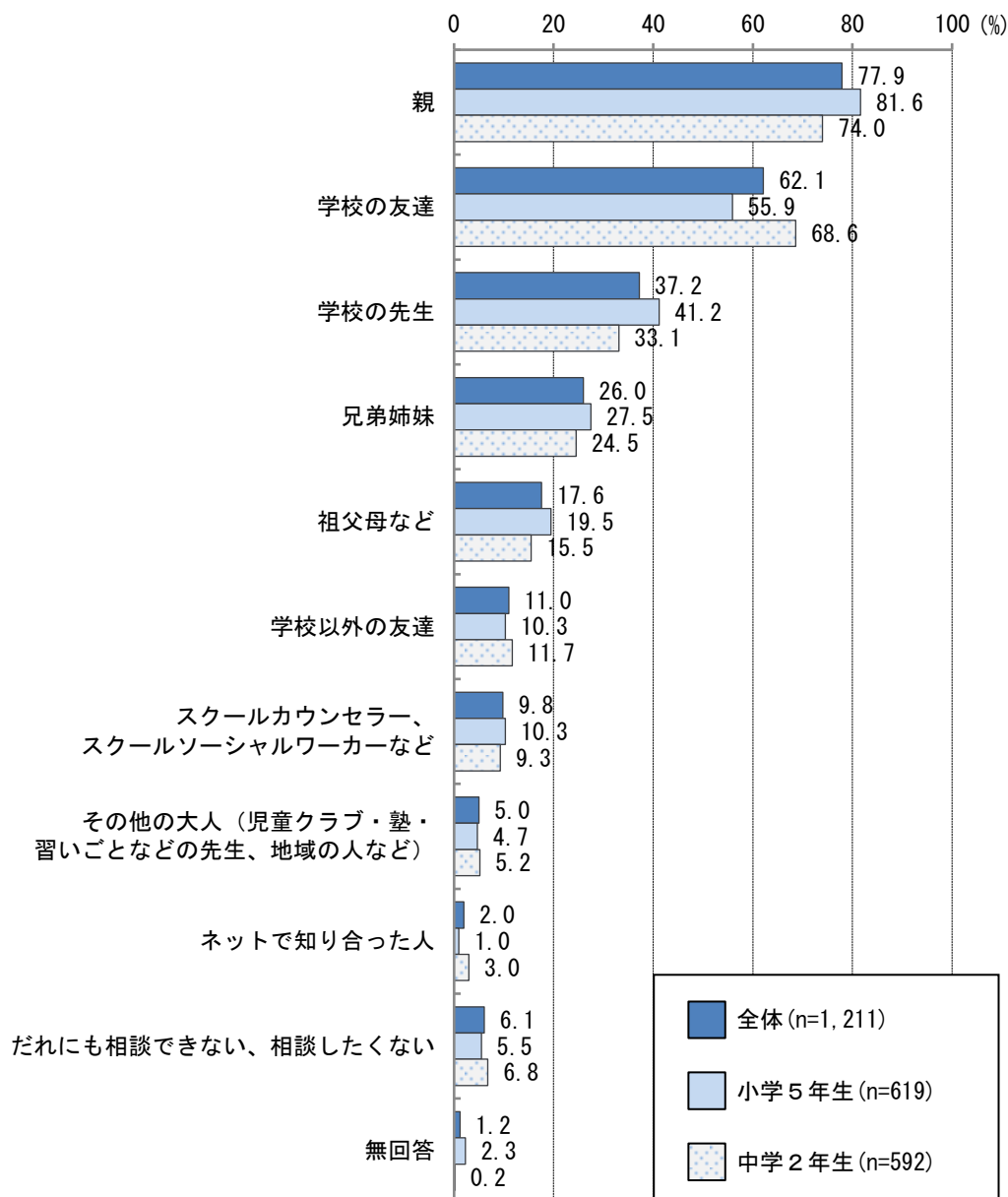
4 相談できる相手について

子ども票問 19

あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(MA)

■ 困りごとや悩みの相談相手

【全体/学年別】



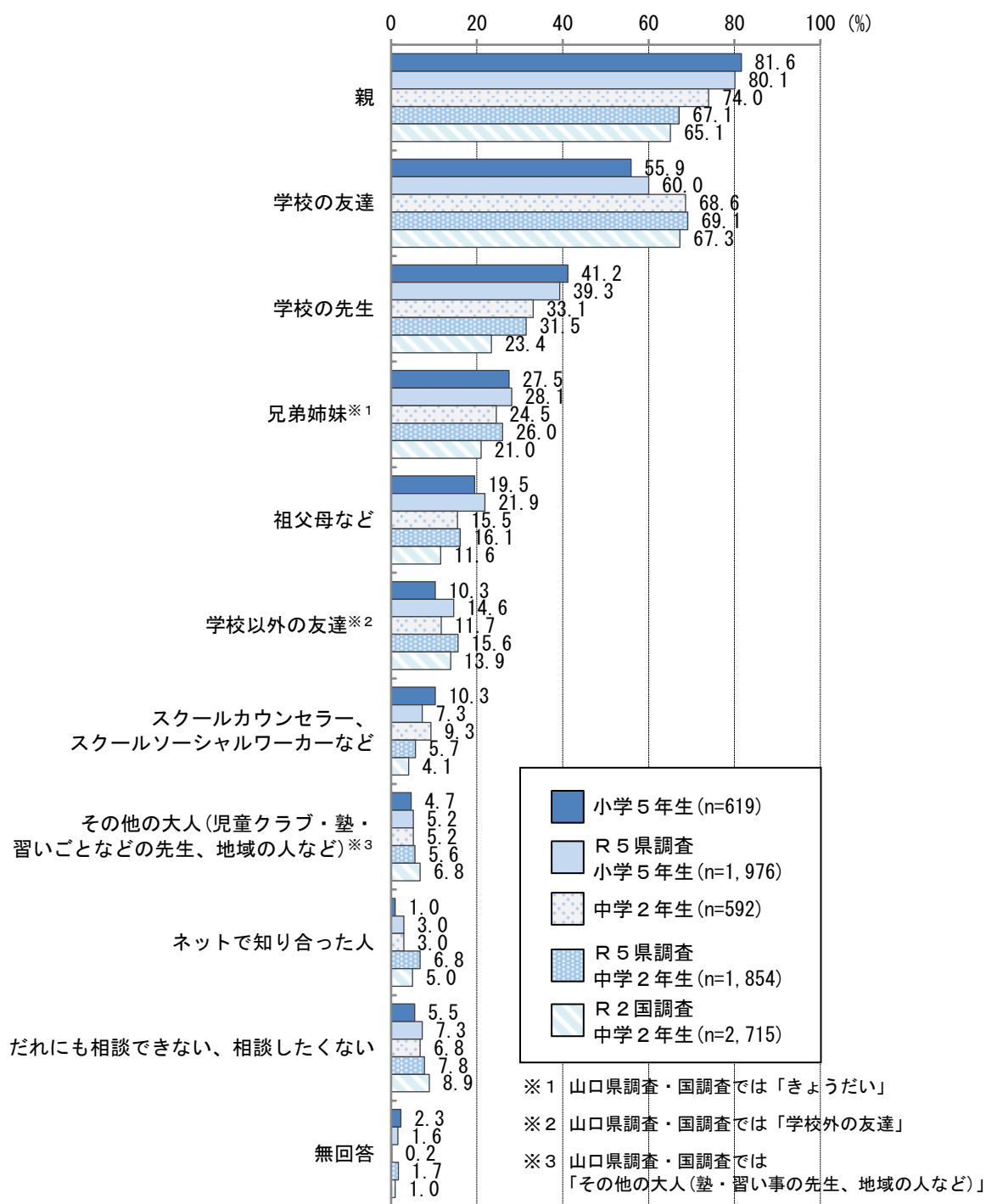
困りごとや悩みの相談相手について、「親」との回答が77.9%と最も高く、次いで「学校の友達」(62.1%)、「学校の先生」(37.2%)などの順となっている。

小学5年生では、「学校の友達」との回答が55.9%と全体に比べ低いものの、おおむね全体と同様の傾向となっている。

中学2年生では、「学校の友達」との回答が68.6%と全体に比べ高いものの、おおむね全体と同様の傾向となっている。

■ 困りごとや悩みの相談相手

【山口県調査・国調査と比較】

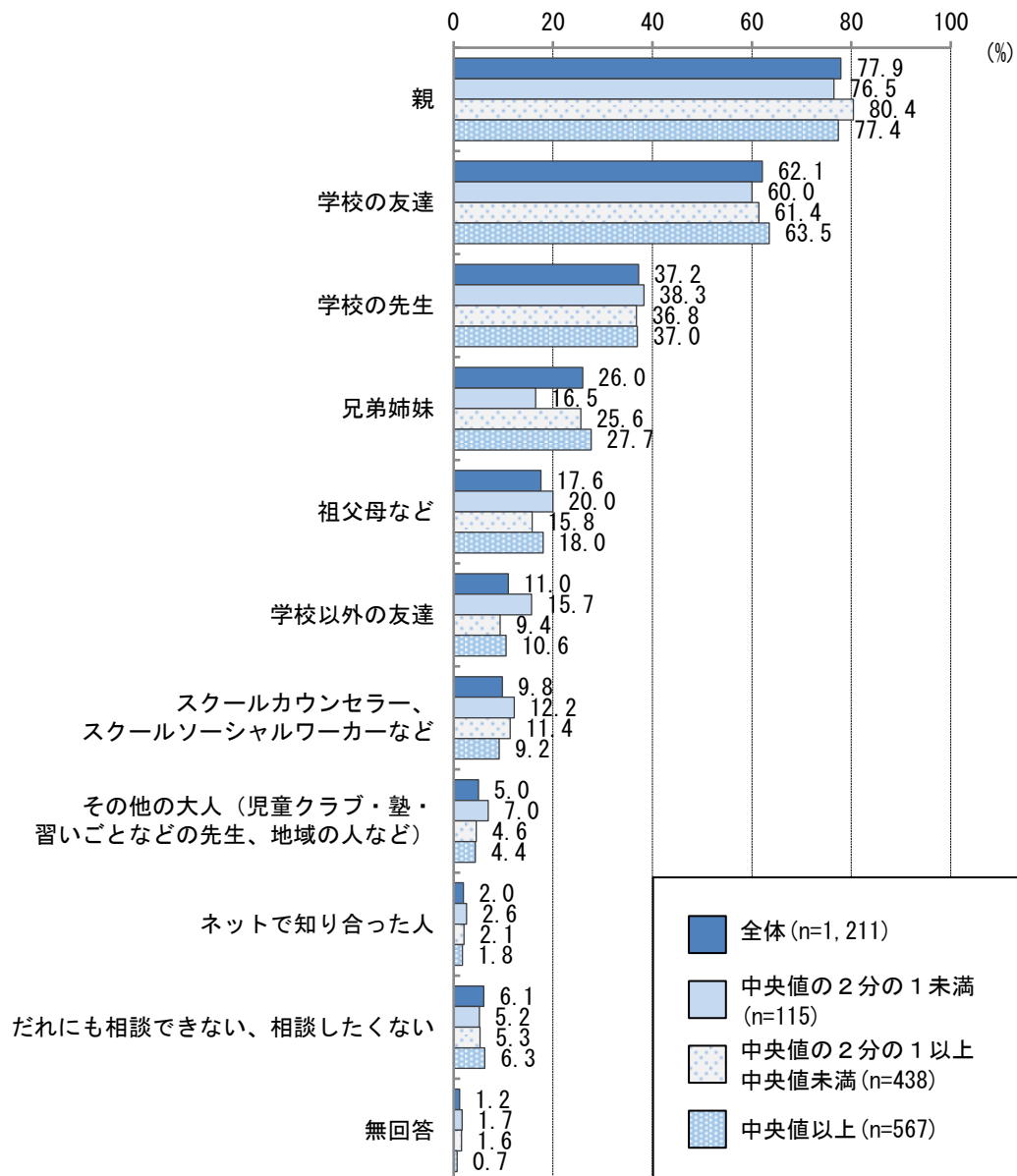


小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「親」との回答は周南市が県を6.9ポイント、国を8.9ポイント、「学校の先生」との回答は周南市が国を9.7ポイント、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」との回答は周南市が国を5.2ポイント上回っている。

■ 困りごとや悩みの相談相手

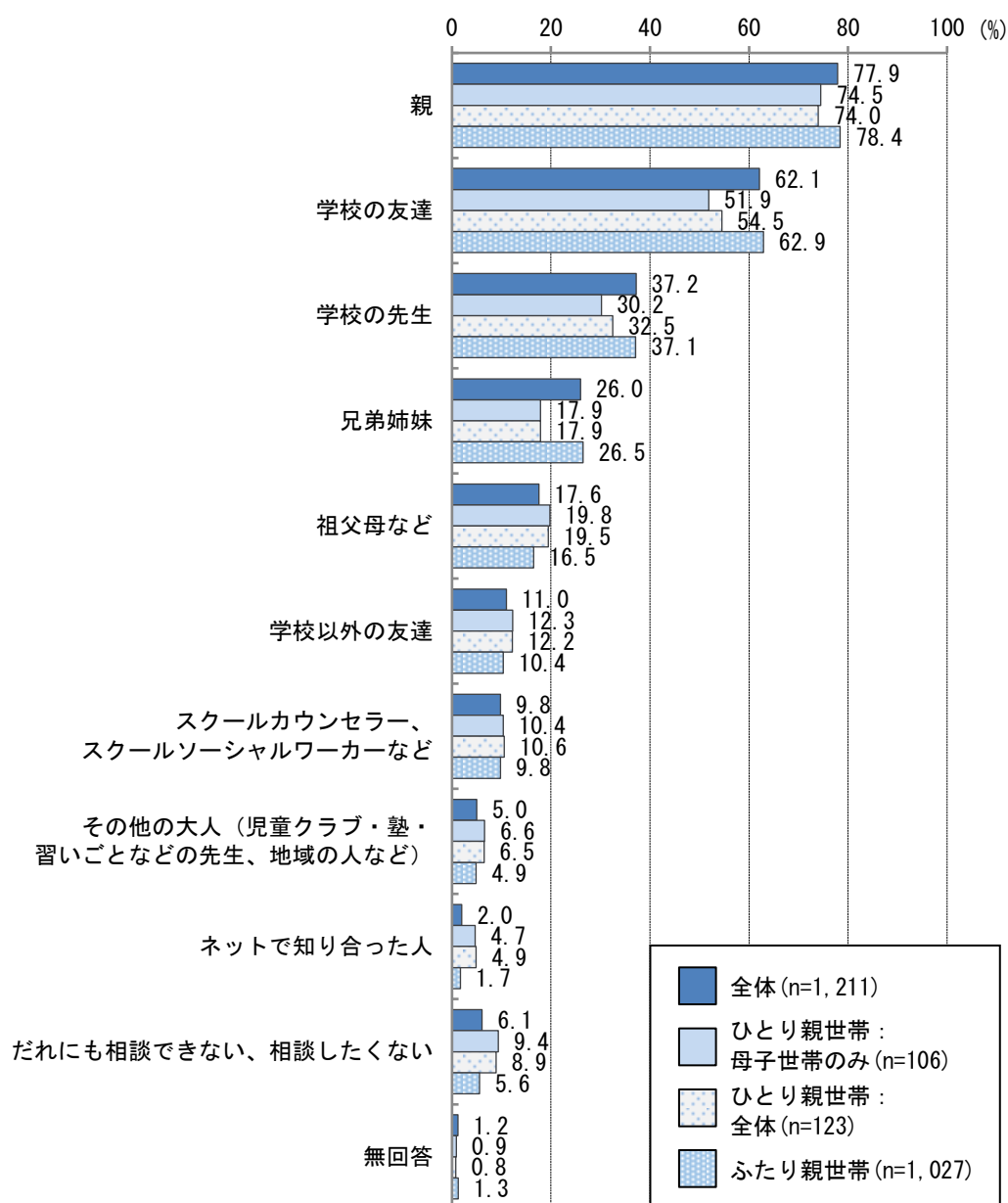
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「兄弟姉妹」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で16.5%と他の世帯に比べ低く、「学校以外の友達」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で15.7%と他の世帯に比べ高くなっている。

■ 困りごとや悩みの相談相手

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「学校の友達」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで51.9%、ひとり親世帯全体で54.5%、「学校の先生」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで30.2%、「兄弟姉妹」との回答はひとり親世帯母子世帯のみ、ひとり親世帯全体でともに17.9%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

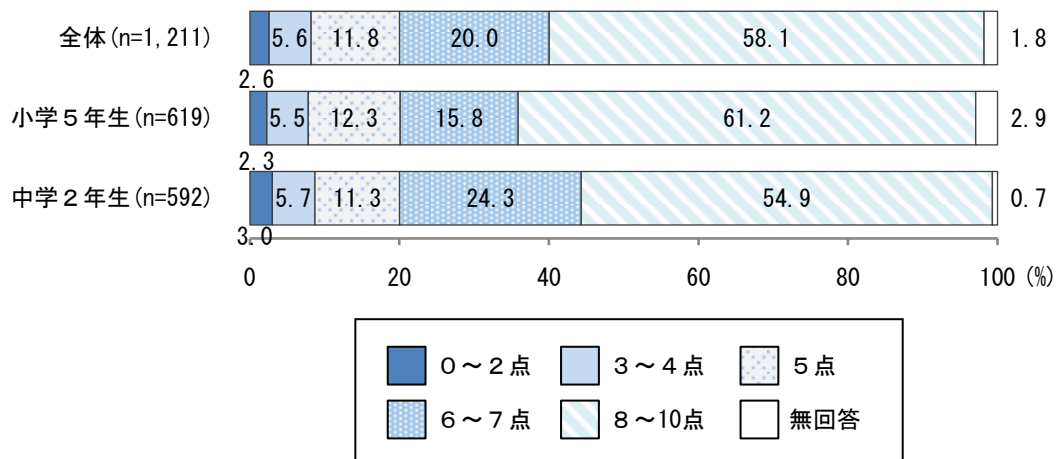
5 ふだん考えていることについて

子ども票問 20

全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0（まったく満足していない）」から「10（十分に満足している）」の数字で教えてください。（SA）

■生活の満足度

【全体/学年別】

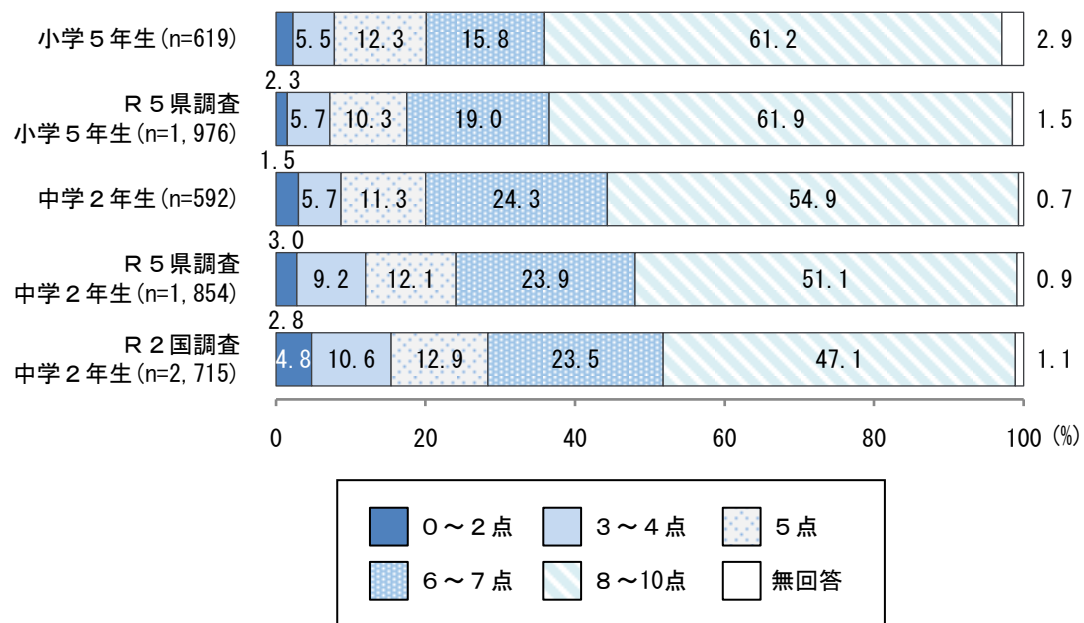


生活の満足度について、「0～2点」との回答が2.6%、「3～4点」との回答が5.6%、「5点」との回答が11.8%、「6～7点」との回答が20.0%、「8～10点」との回答が58.1%となっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■生活の満足度

【山口県調査・国調査と比較】

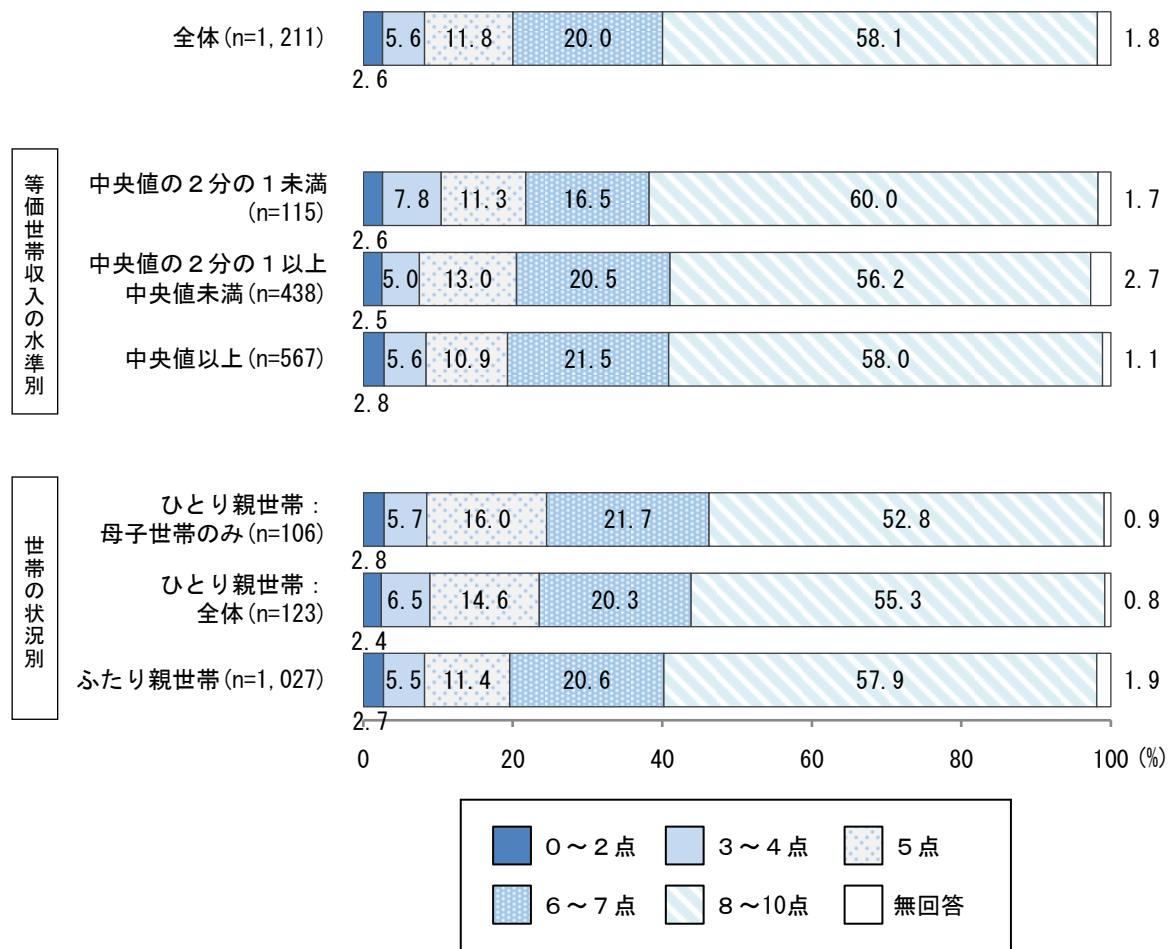


小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「8～10点」との回答は周南市が国を7.8ポイント上回っている。

■ 生活の満足度

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「8～10点」との回答はすべての世帯で55.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

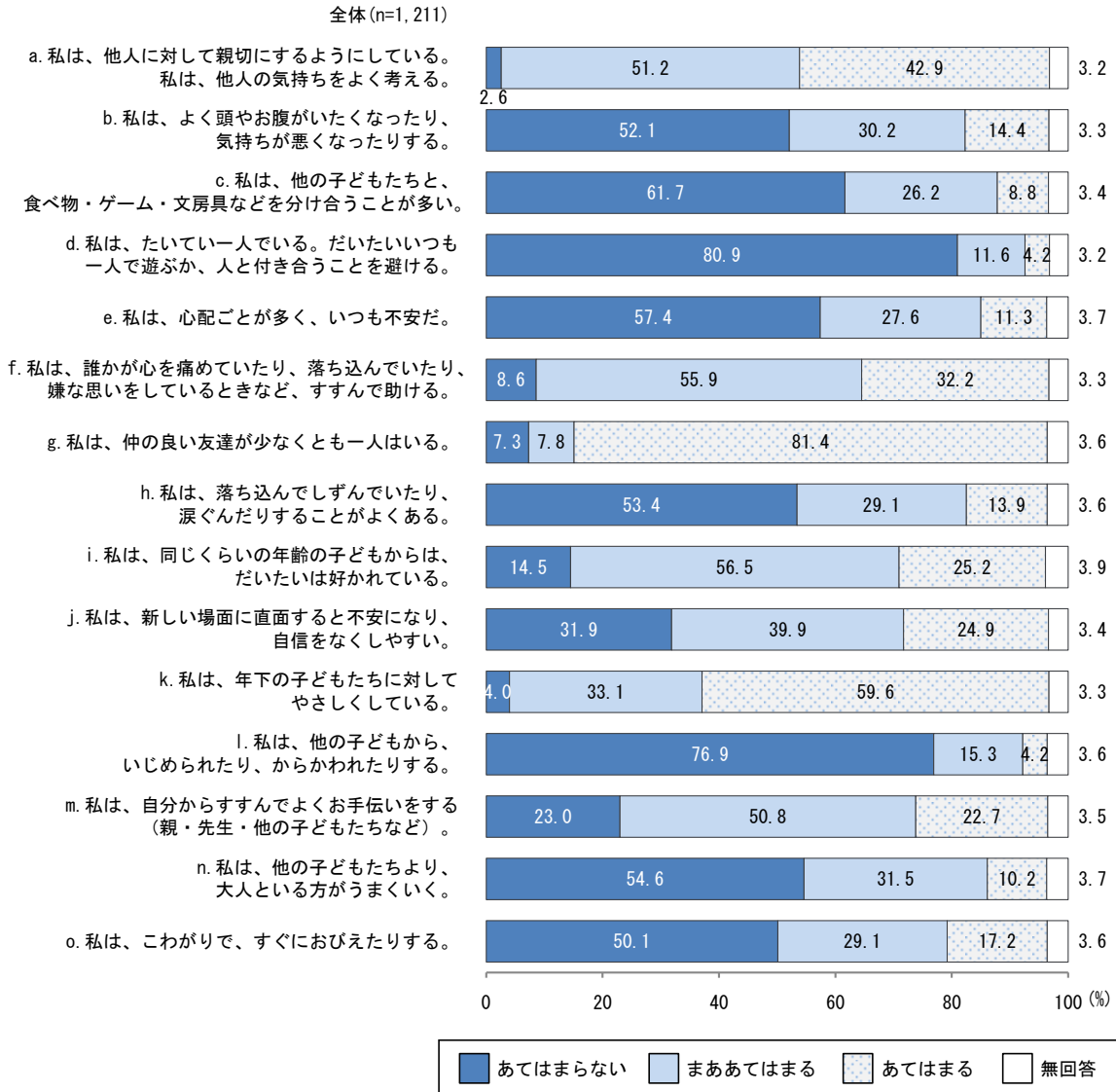
世帯の状況別にみると、「8～10点」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで52.8%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

子ども票問 21

下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」、「2 まああてはまる」、「3 あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここの半年くらいのことを考えて答えてください。（SA）

■心理的な状態について

【全体】

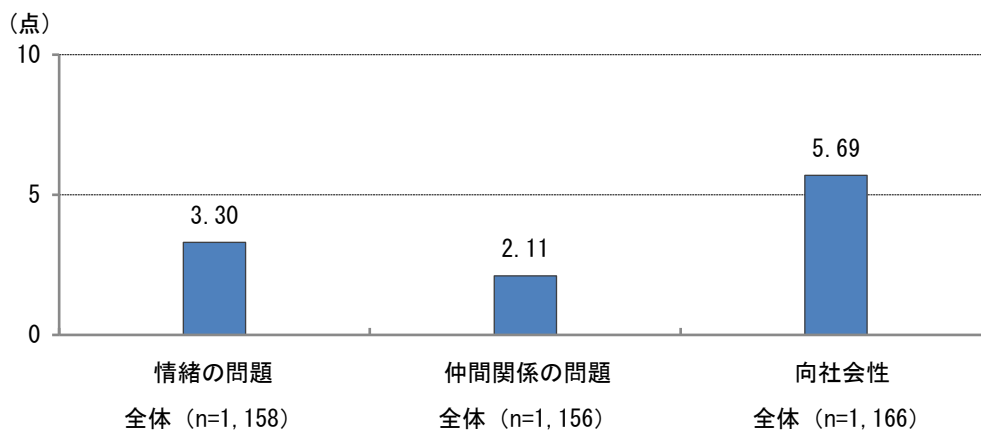


子どもの心理的な状態に関して、「情緒（不安や抑うつなど）の問題」、「仲間関係の問題」、「向社会性」を把握するための各5項目を設定し、スコアの算出を行った（「あてはまらない」を0点、「まああてはまる」を1点、「あてはまる」を2点とした計10点満点。）。	
情緒の問題	抑うつや不安など情緒の問題を以下の5項目で測定。 より高い得点がより高い問題行動、すなわち低い社会性を示す。 (b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。 (e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。 (h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。 (j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。 (o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。
仲間関係の問題	友人からの孤立や不人気などの友人関係の問題を以下の5項目で測定。 より高い得点がより高い問題行動、すなわち低い社会性を示す。 (d) 私は、たいいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。 (g) 私は、仲の良い友達が少なくとも一人はいる。 (i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。 (l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。 (n) 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。
向社会性	協調性や共感性などの向社会的行動傾向を以下の5項目で測定。 より高い得点がより高い社会性を示す。 (a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。 (c) 私は、他の子どもたちと、食べ物・ゲーム・文房具などを分け合うことが多い。 (f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。 (k) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。 (m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子どもたちなど）。

※「(g) 私は、仲の良い友達が少なくとも一人はいる。」と「(i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。」の項目は逆転項目としてスコアを算出した。

■スコアの平均点

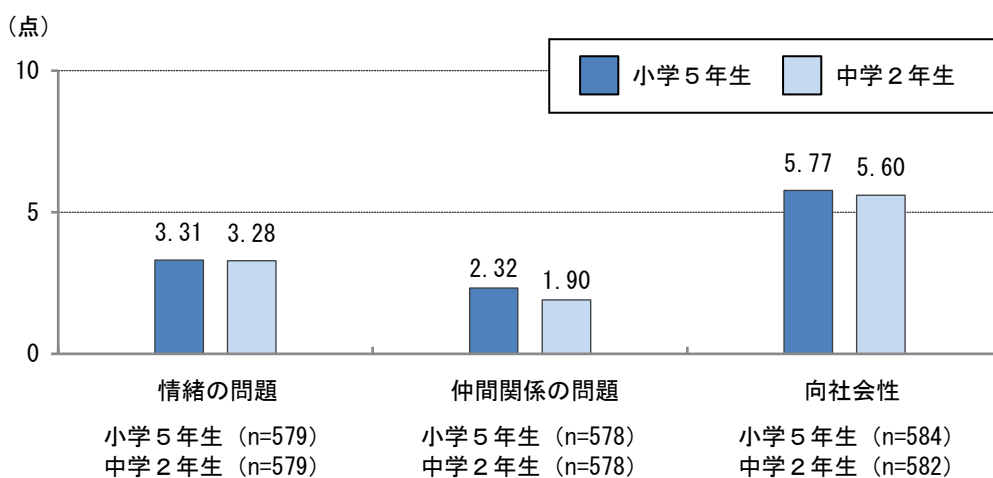
【全体】



「情緒の問題」の平均値は3.30、「仲間関係の問題」の平均値は2.11、「向社会性」の平均値は5.69となっている。

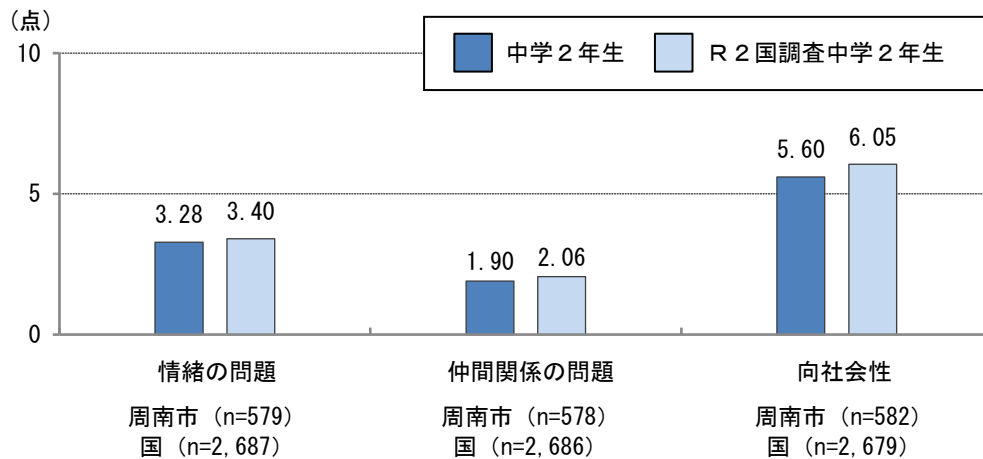
■スコアの平均点

【学年別】



「情緒の問題」の平均値は小学5年生で3.31、中学2年生で3.28、「仲間関係の問題」の平均値は小学5年生で2.32、中学2年生で1.90、「向社会性」の平均値は小学5年生で5.77、中学2年生で5.60となっている。

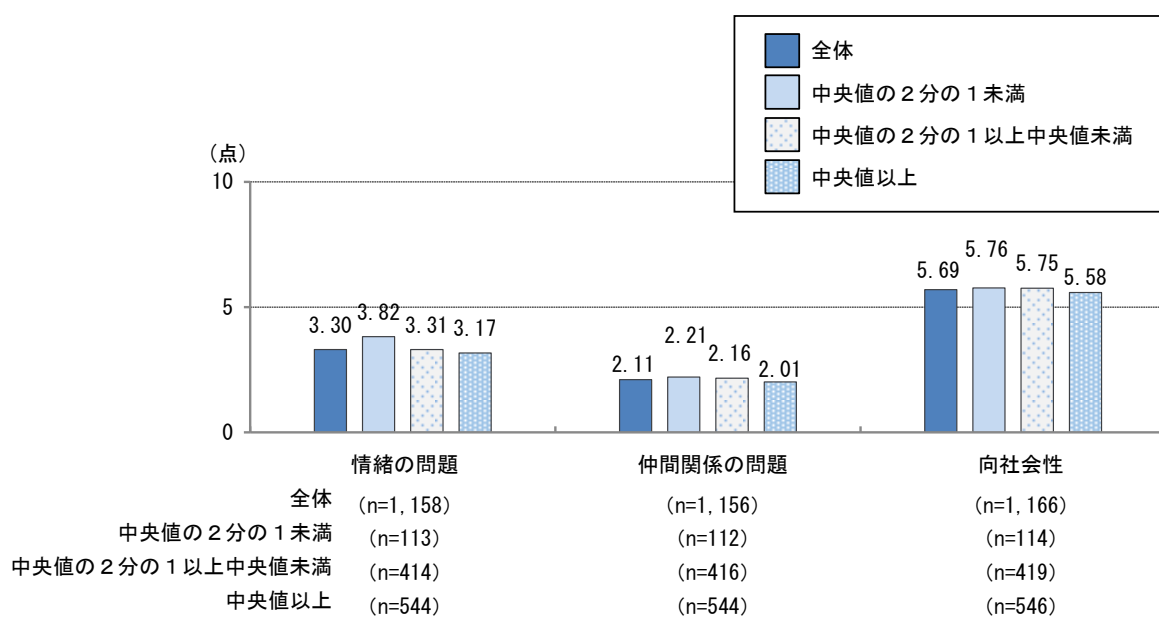
【国調査と比較】



中学2年生を国調査と比較すると、すべての項目で周南市が国のスコアを下回っており、「向社会性」の平均値は周南市が国を0.45下回っている。

■スコアの平均点

【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は中央値の2分の1未満の世帯で3.82、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で3.31、中央値以上の世帯で3.17となっている。

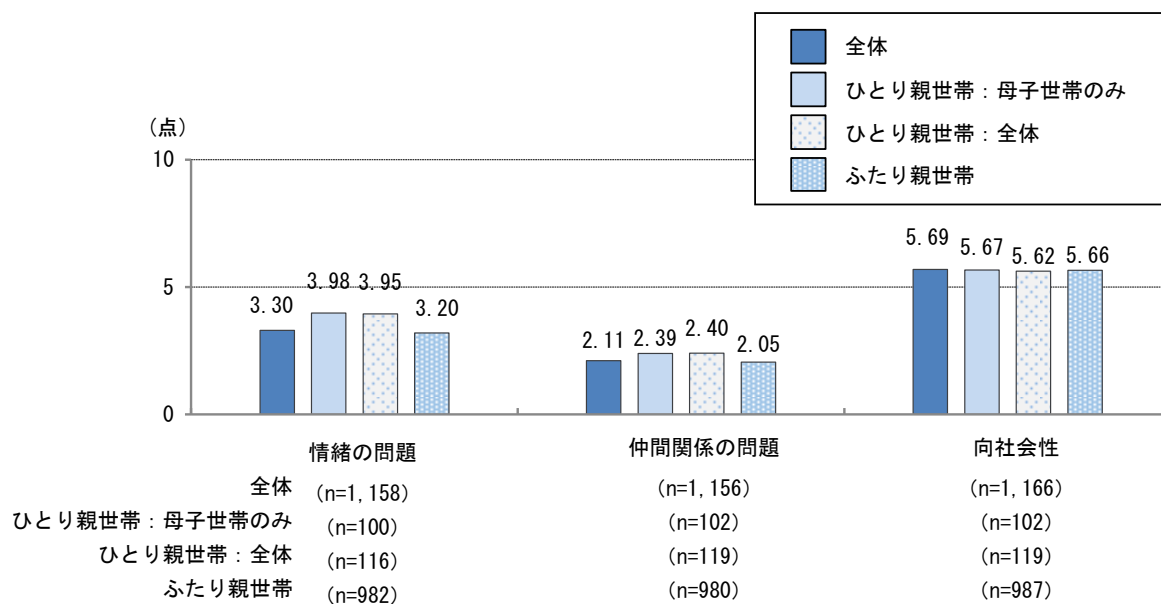
「仲間関係の問題」の平均値は中央値の2分の1未満の世帯で2.21、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で2.16、中央値以上の世帯で2.01となっている。

「向社会性」の平均値は中央値の2分の1未満の世帯で5.76、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で5.75、中央値以上の世帯で5.58となっている。

すべての項目において、等価世帯収入の水準が低いほど、スコアの平均点が高くなっている。

■スコアの平均点

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値はひとり親世帯母子世帯のみで3.98、ひとり親世帯全体で3.95、ふたり親世帯で3.20となっている。

「仲間関係の問題」の平均値はひとり親世帯母子世帯のみで2.39、ひとり親世帯全体で2.40、ふたり親世帯で2.05となっている。

「向社会性」の平均値はひとり親世帯母子世帯のみで5.67、ひとり親世帯全体で5.62、ふたり親世帯で5.66となっている。

「情緒の問題」、「仲間関係の問題」の項目において、ふたり親世帯よりひとり親世帯でスコアの平均点が高くなっている。

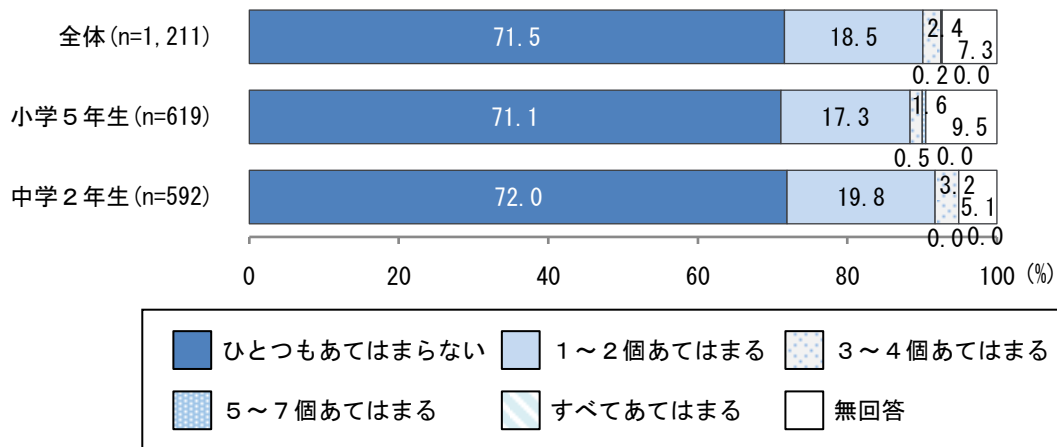
子ども票問 22

あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。（SA）

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある
または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じたりすることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたりしたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり薬物などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

■ 逆境体験

【全体/学年別】

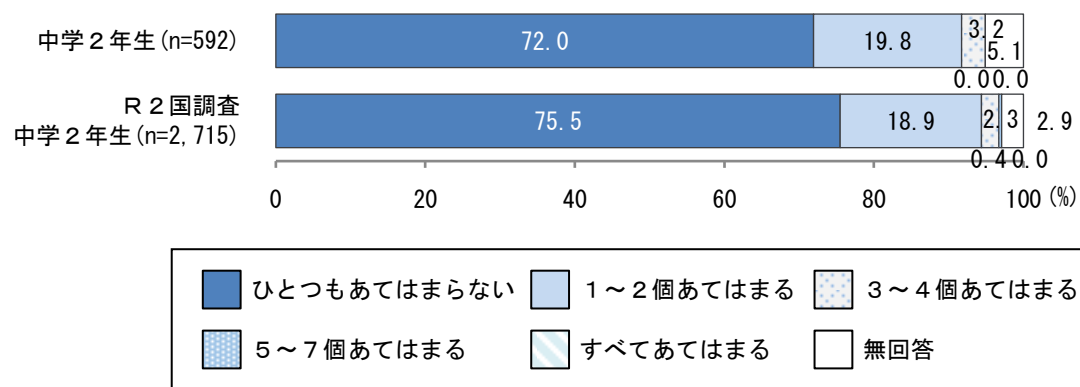


逆境体験について、「ひとつもあてはまらない」との回答が 71.5%、「1～2個あてはまる」との回答が 18.5%などとなっている。

小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 逆境体験

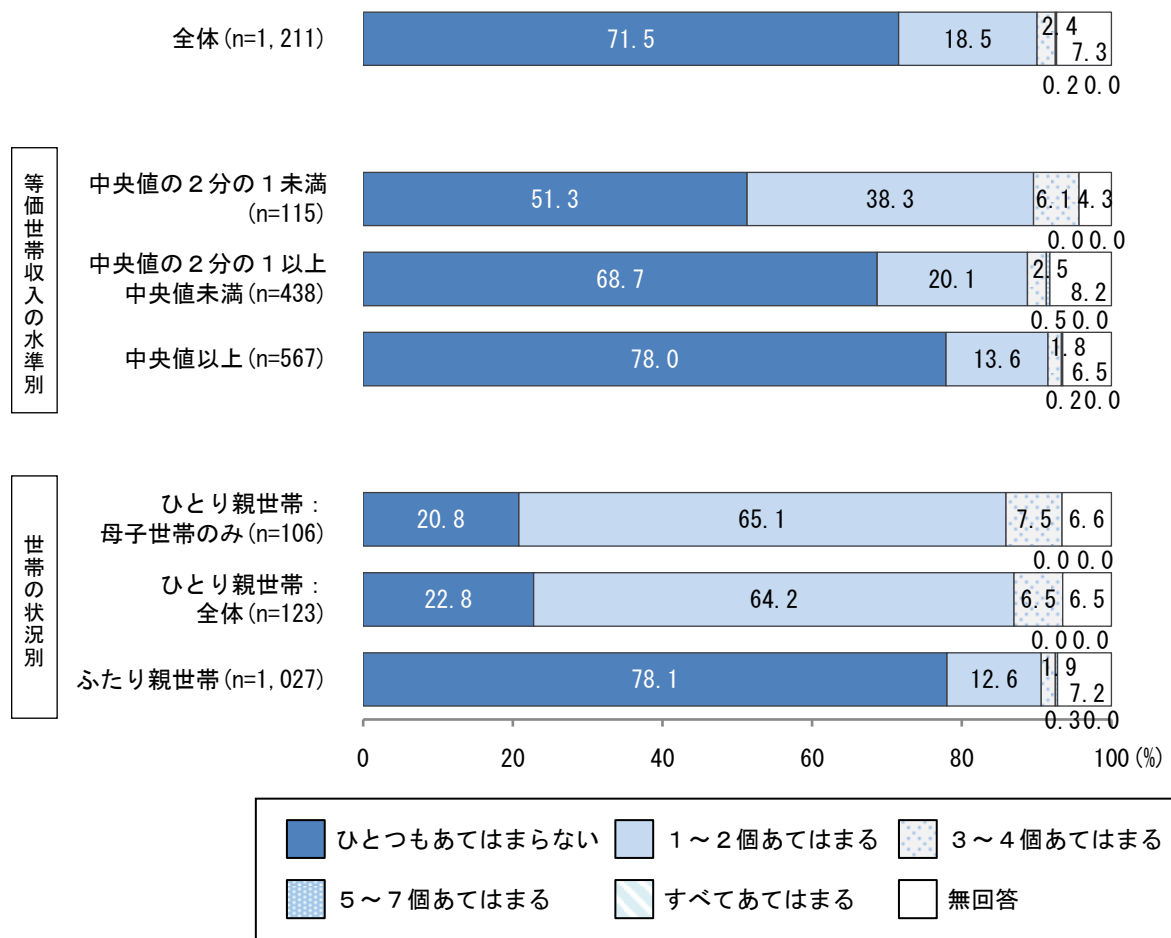
【国調査と比較】



中学2年生を国調査と比較すると、大きな差はみられない。

■ 逆境体験

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「ひとつもあてはまらない」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で51.3%と他の世帯に比べ低く、「1～2個あてはまる」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で38.3%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとつもあてはまらない」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで20.8%、ひとり親世帯全体で22.8%とふたり親世帯に比べ低く、「1～2個あてはまる」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで65.1%、ひとり親世帯全体で64.2%、「3～4個あてはまる」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで7.5%とふたり親世帯に比べて高くなっている。

6 支援場所の利用状況について

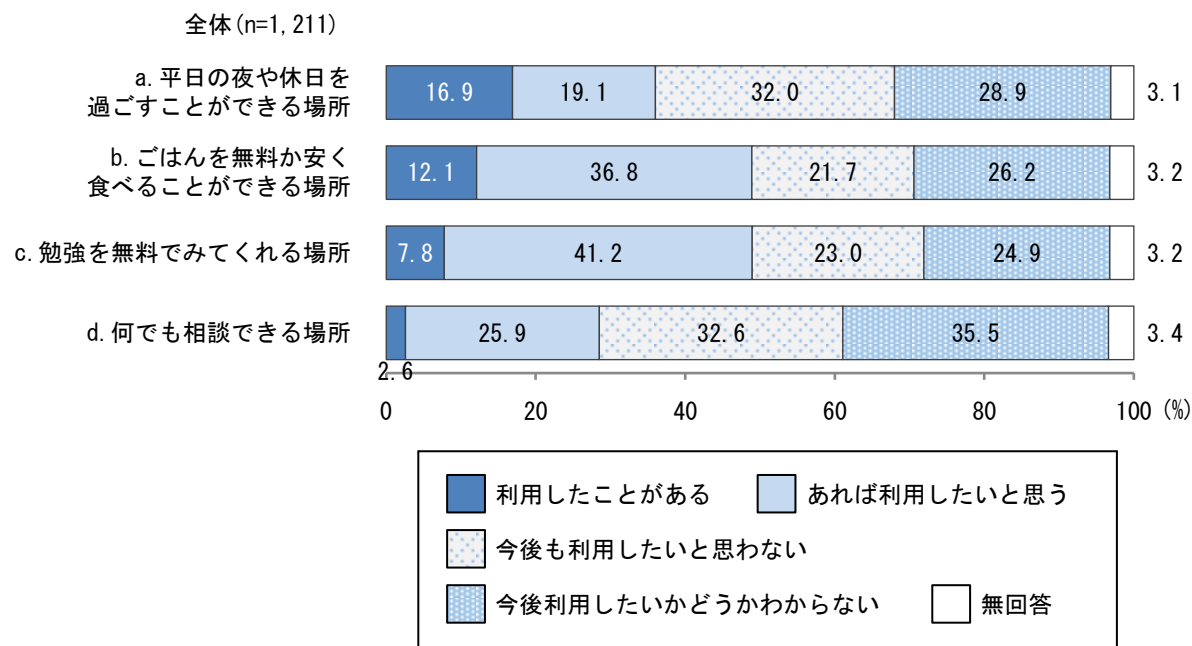
子ども票問 23

あなたは、下のような場所を利用したことがありますか。

また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

■ 支援場所の利用状況

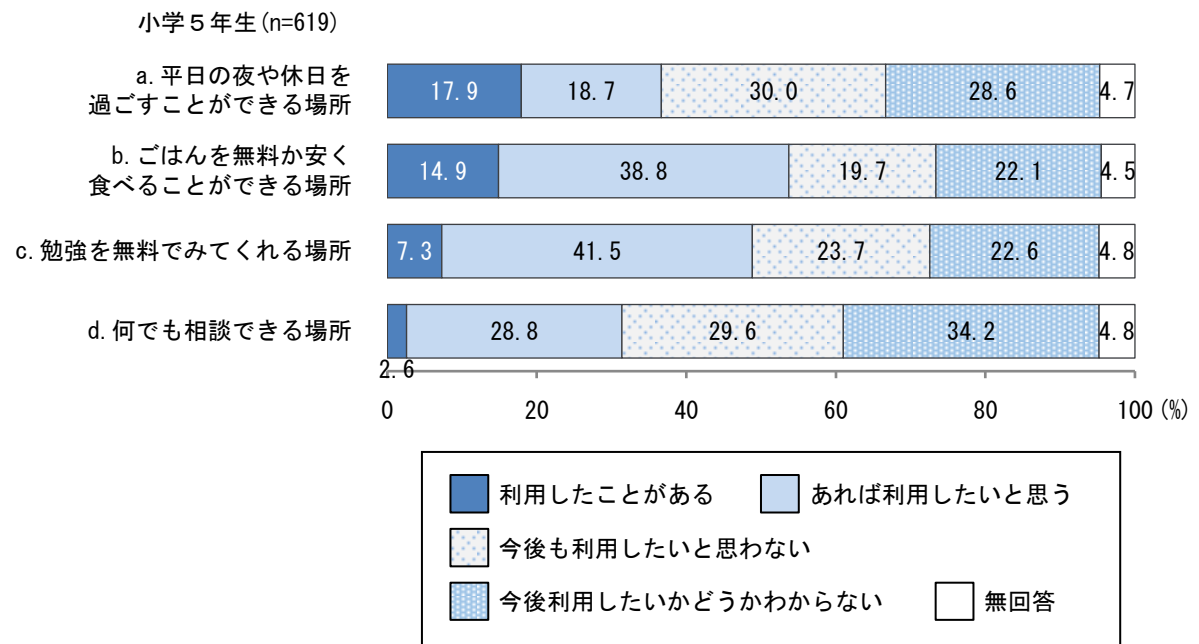
【全体】



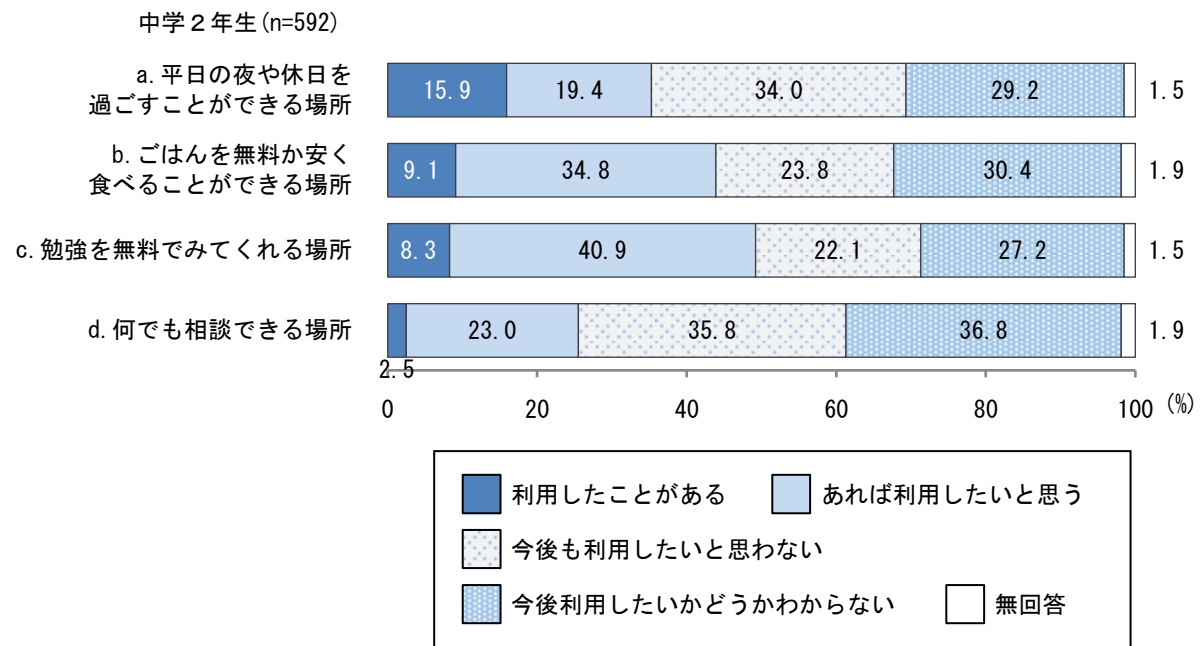
支援場所の利用状況について、「利用したことがある」との回答は「a. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所」の項目で16.9%、「あれば利用したいと思う」との回答は「b. ごはんを無料か安く食べることができる場所」の項目で36.8%、「c. 勉強を無料でみてくれる場所」の項目で41.2%と高くなっている。

■ 支援場所の利用状況

【小学5年生】



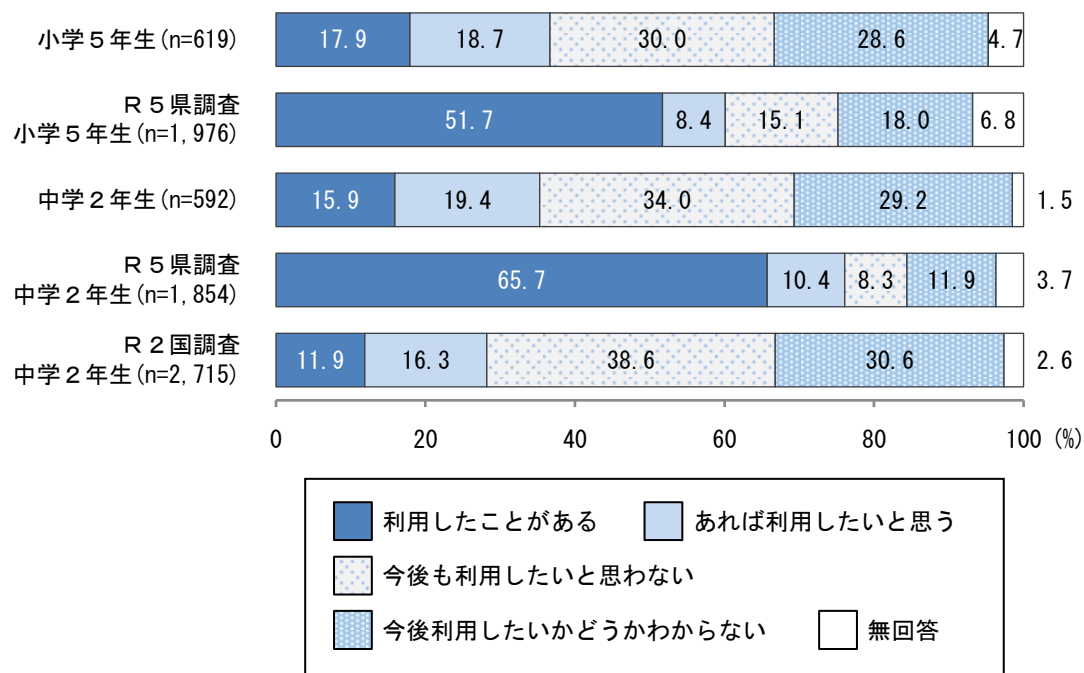
【中学2年生】



小学5年生、中学2年生いずれの学年でも同様の傾向となっている。

■ 平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況

【山口県調査・国調査と比較】

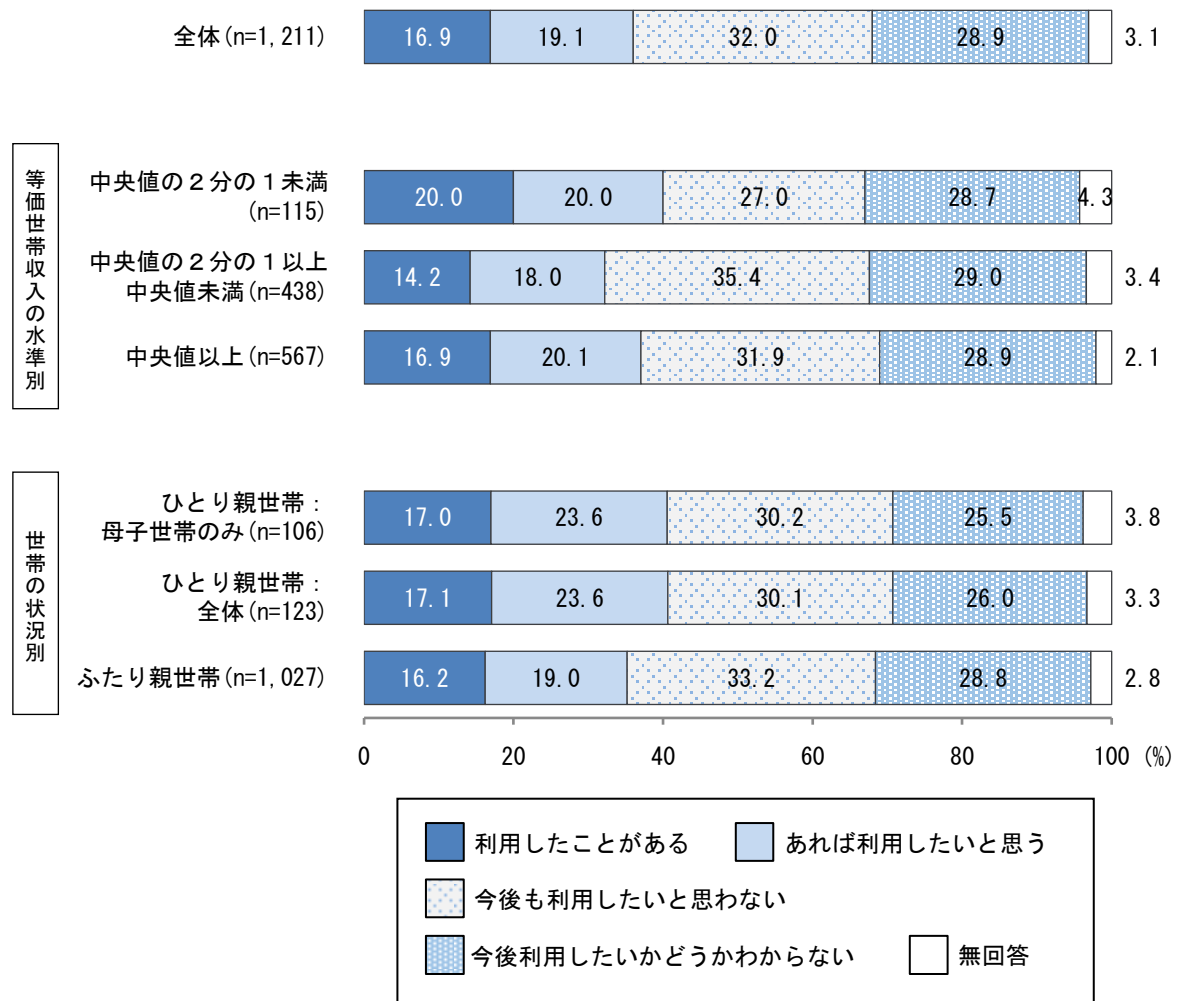


平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況について、小学5年生を山口県調査と比較すると、「利用したことがある」との回答は周南市が県を33.8ポイント下回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「利用したことがある」との回答は周南市が県を49.8ポイント下回っている。

■ 平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

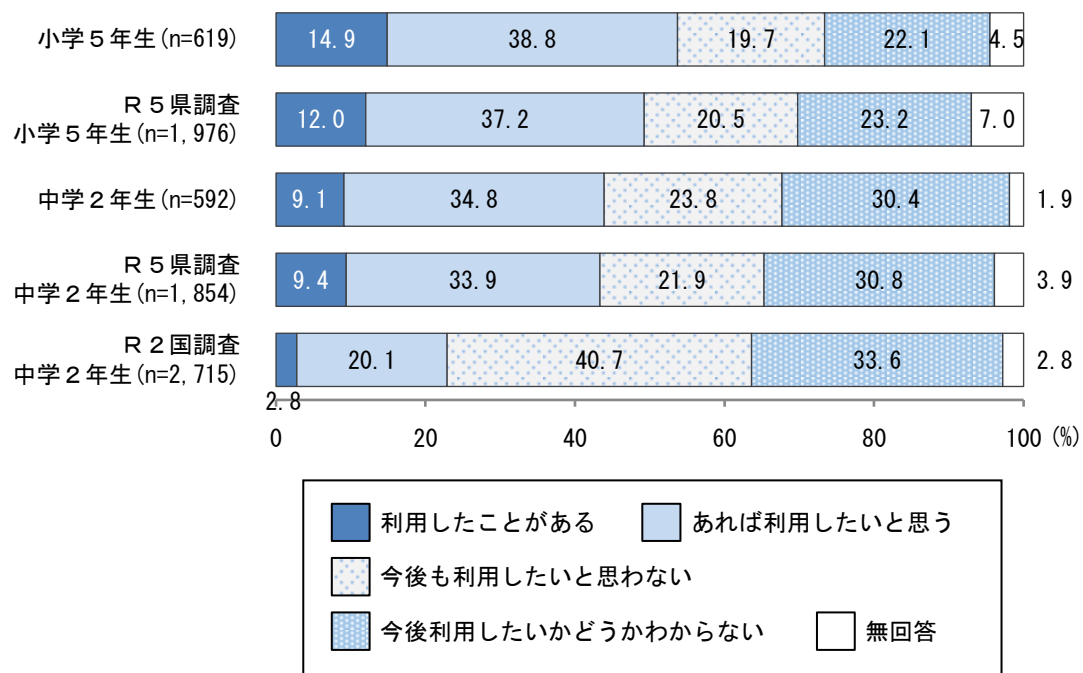


等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で20.0%と中央値の2分の1以上中央値未満の世帯に比べ高く、「今後も利用したいと思わない」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で27.0%と中央値の2分の1以上中央値未満の世帯に比べ低くなっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」との回答はすべての世帯で15.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

■ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況

【山口県調査・国調査と比較】

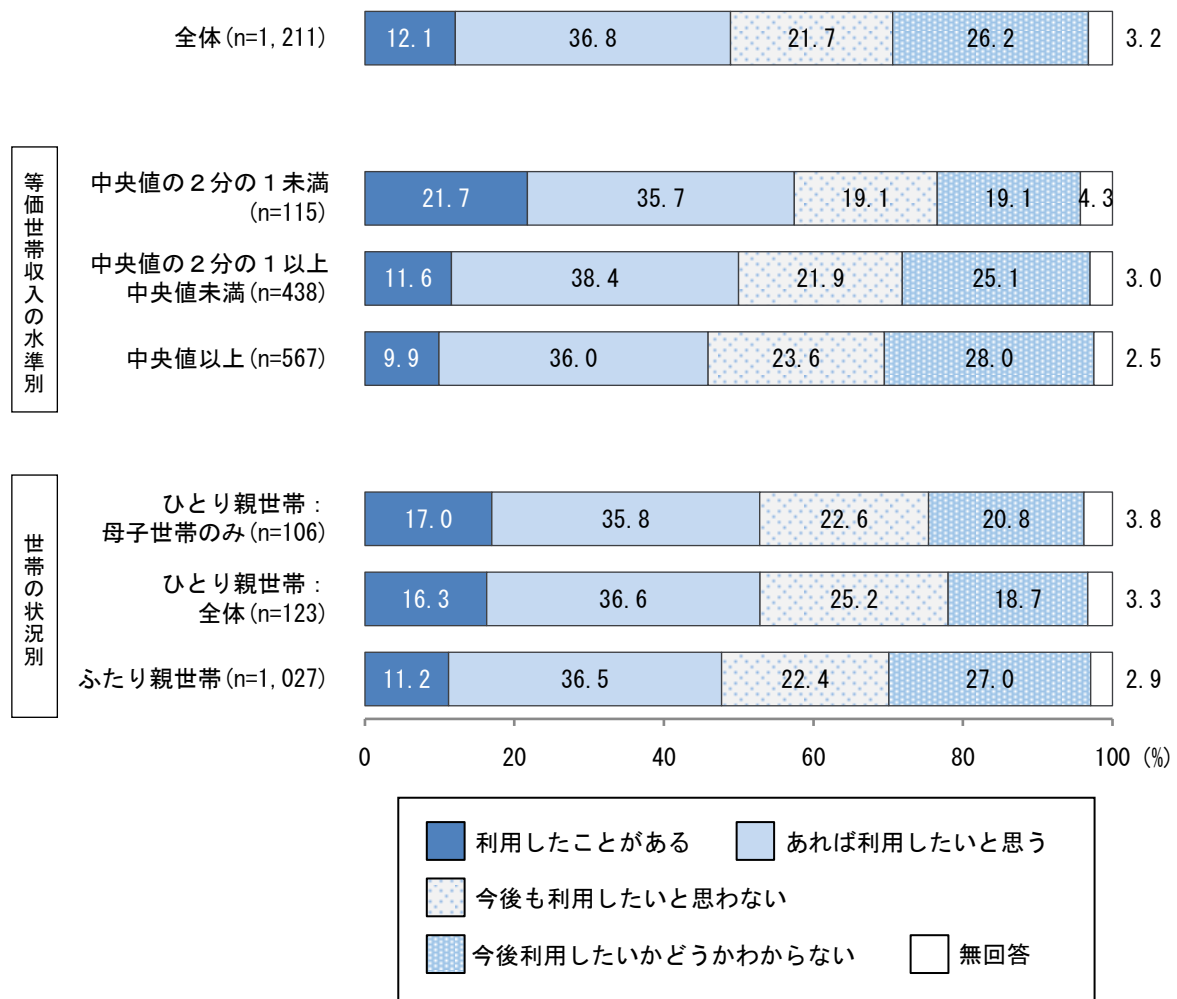


ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況について、小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「利用したことがある」との回答は周南市が国を6.3ポイント、「あれば利用したいと思う」との回答は周南市が国を14.7ポイント上回っており、「今後も利用したいと思わない」との回答は周南市が国を16.9ポイント下回っている。

■ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

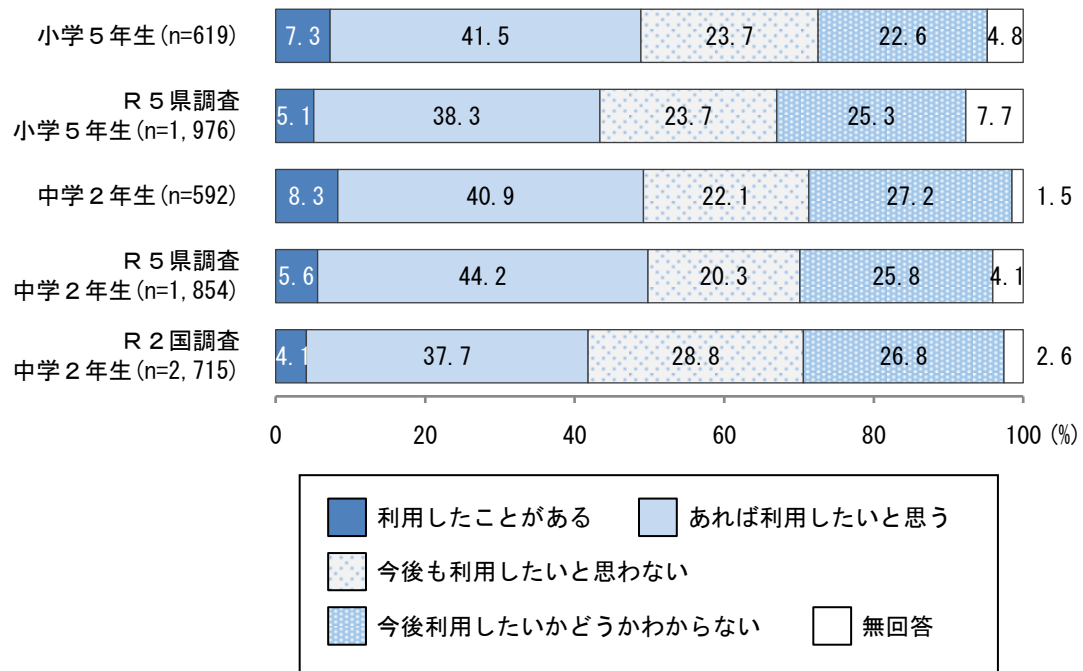


等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で21.7%と他の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで17.0%、ひとり親世帯全体で16.3%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■勉強を無料でみてくれる場所の利用状況

【山口県調査・国調査と比較】

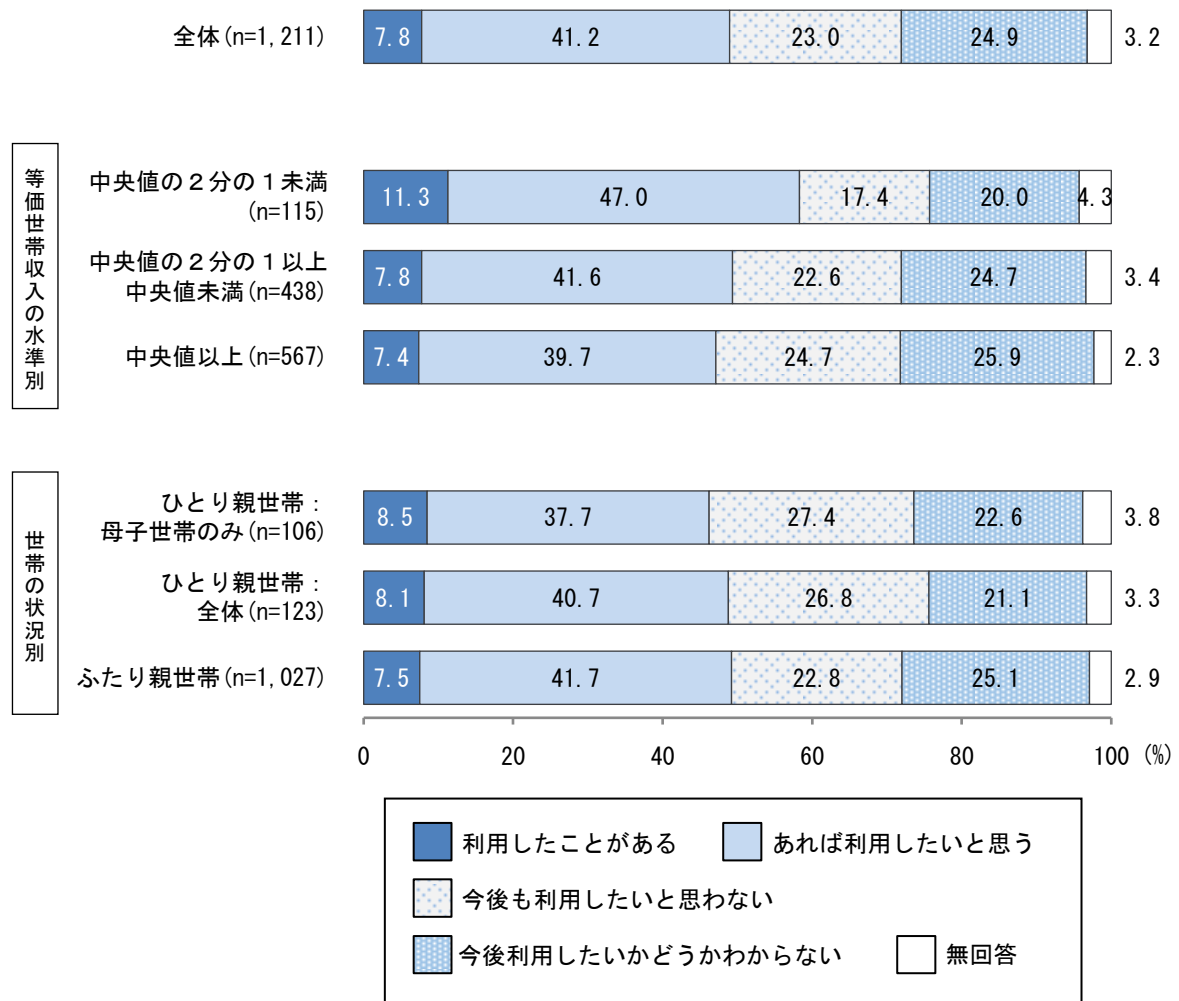


勉強を無料でみてくれる場所の利用状況について、小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「今後も利用したいと思わない」との回答は周南市が国を6.7ポイント下回っている。

■ 勉強を無料でみてる場所の利用状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

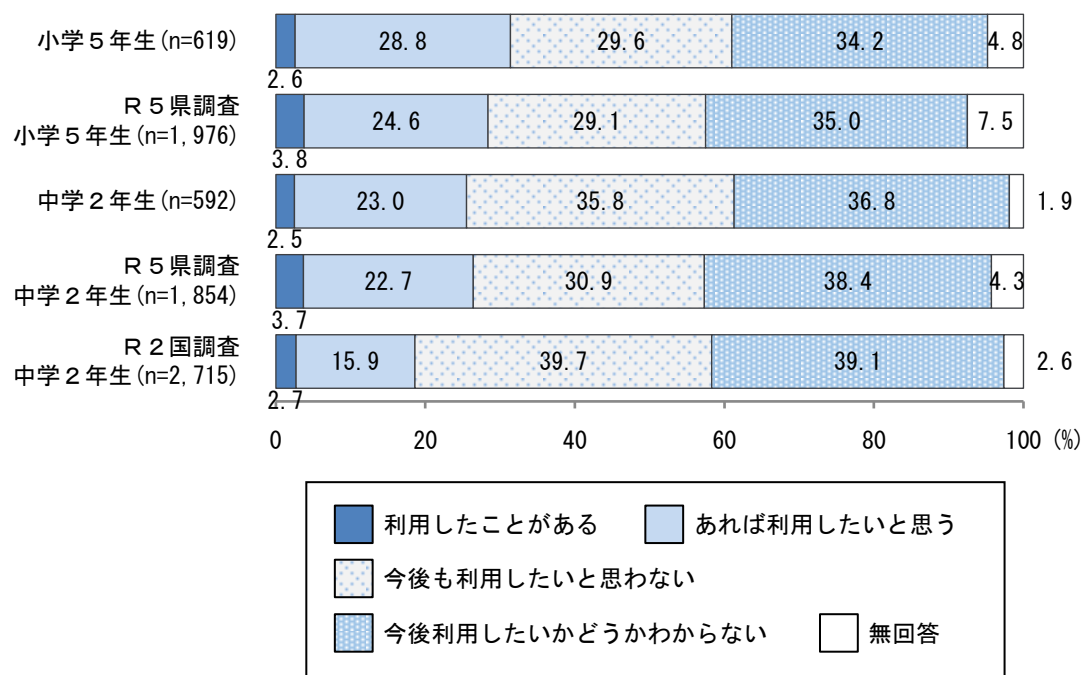


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で47.0%と他の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」との回答はすべての世帯で10.0%未満、「あれば利用したいと思う」との回答はすべての世帯で35.0%以上となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

■何でも相談できる場所の利用状況

【山口県調査・国調査と比較】

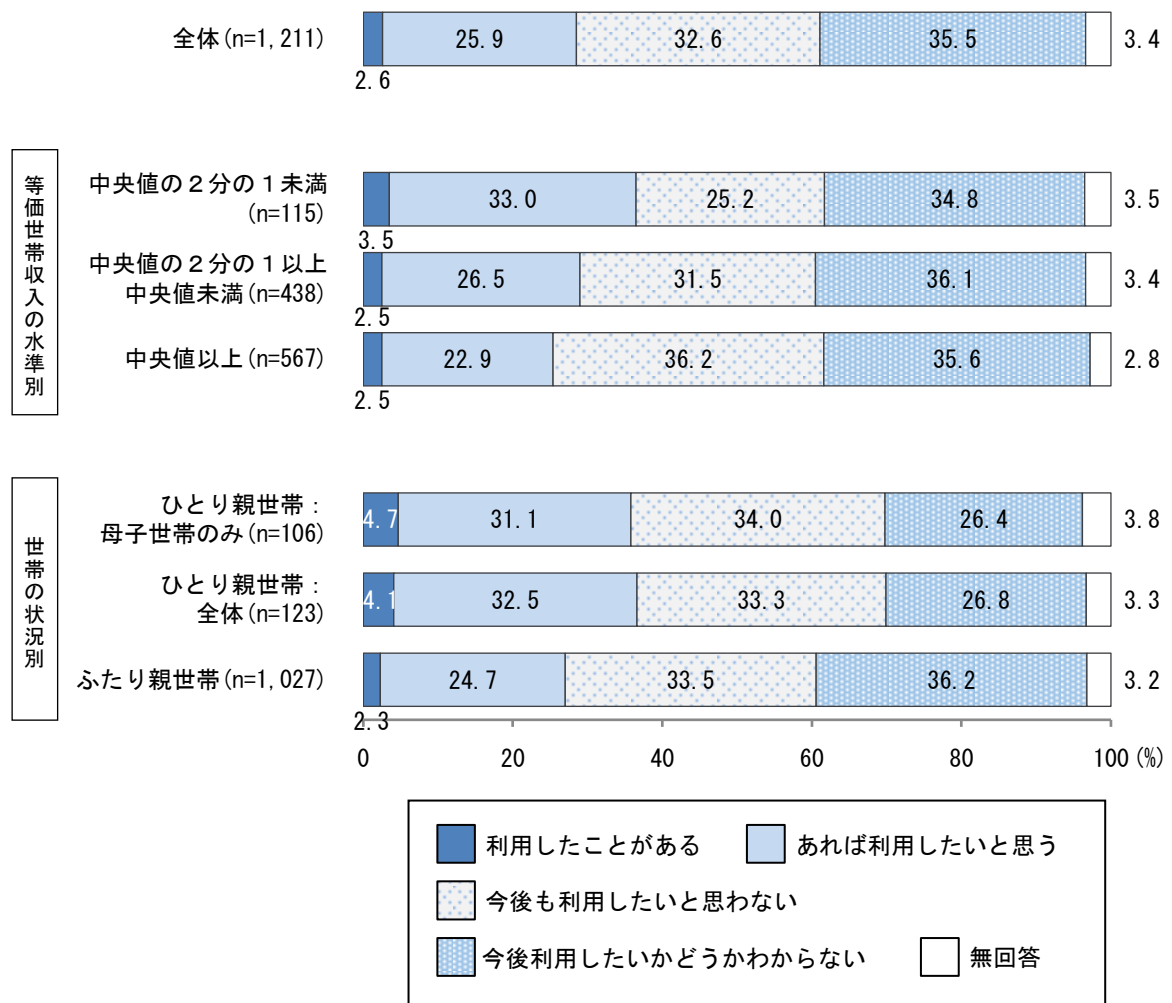


何でも相談できる場所の利用状況について、小学5年生を山口県調査と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、「あれば利用したいと思う」との回答は周南市が国を7.1ポイント上回っている。

■何でも相談できる場所の利用状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で33.0%と他の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで31.1%、ひとり親世帯全体で32.5%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

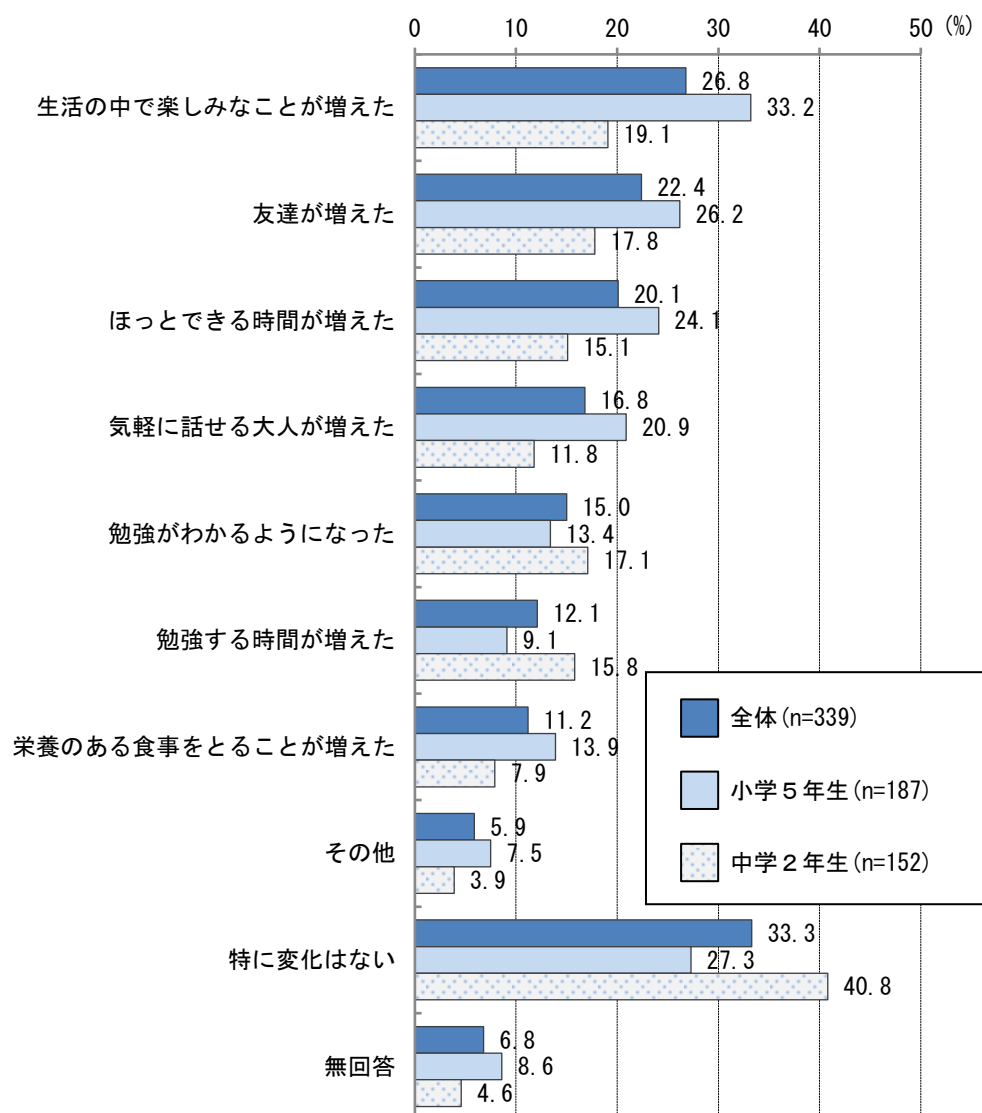
問 23 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた人にお聞きます。

子ども票問 24

そこを利用したことで、変化したことはありましたか。(MA)

■ 支援場所の利用による変化

【全体/学年別】



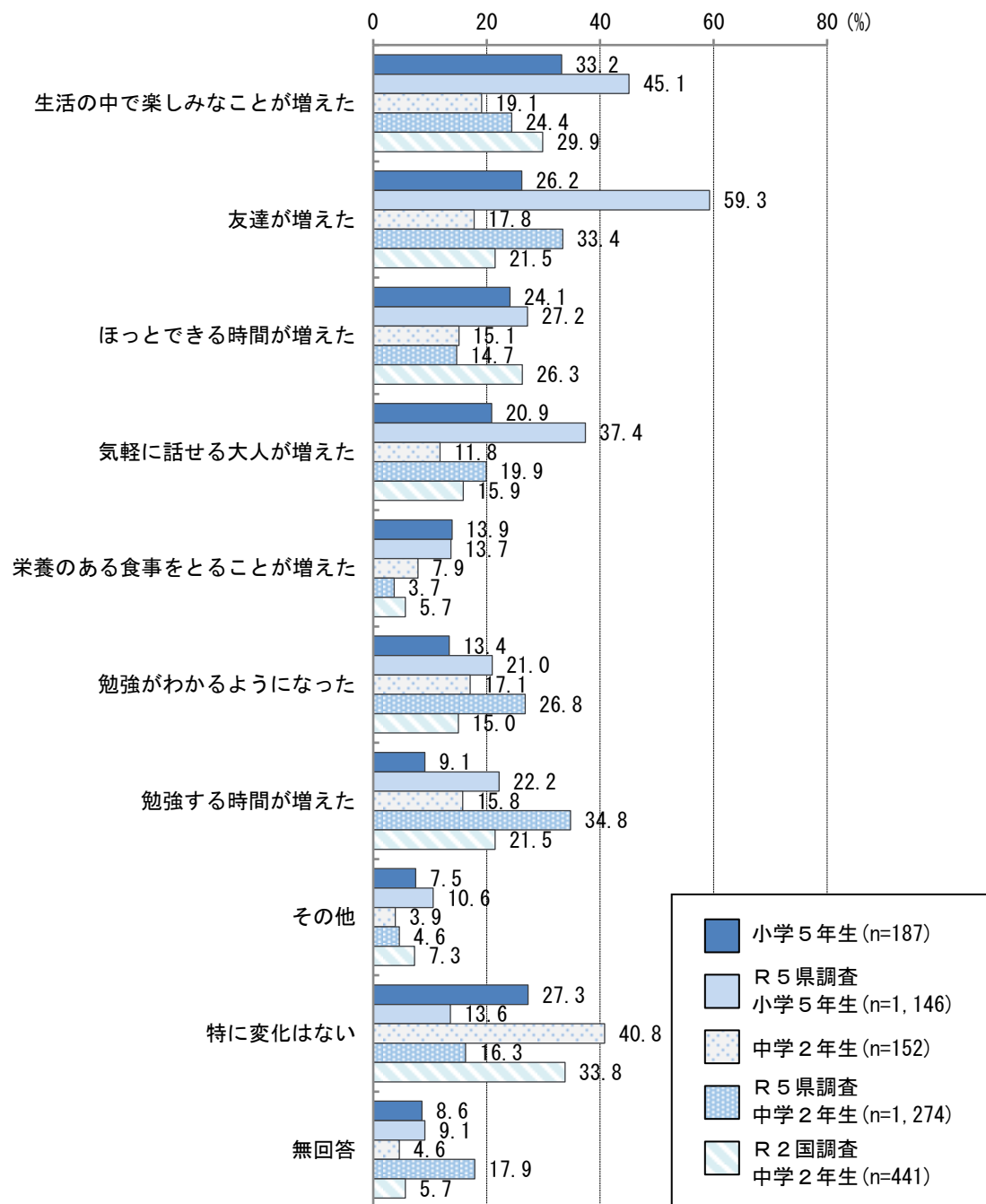
支援場所の利用による変化について、「生活の中で楽しみなことが増えた」との回答が 26.8%と高く、次いで「友達が増えた」(22.4%)、「ほっとできる時間が増えた」(20.1%)などの順となっている。

小学 5 年生では、「生活の中で楽しみなことが増えた」との回答が 33.2%と最も高く、次いで「友達が増えた」(26.2%)、「ほっとできる時間が増えた」(24.1%)などの順となっている。

中学 2 年生では、「生活の中で楽しみなことが増えた」との回答が 19.1%と高く、次いで「友達が増えた」(17.8%)、「勉強がわかるようになった」(17.1%)などの順となっている。

■ 支援場所の利用による変化

【山口県調査・国調査と比較】

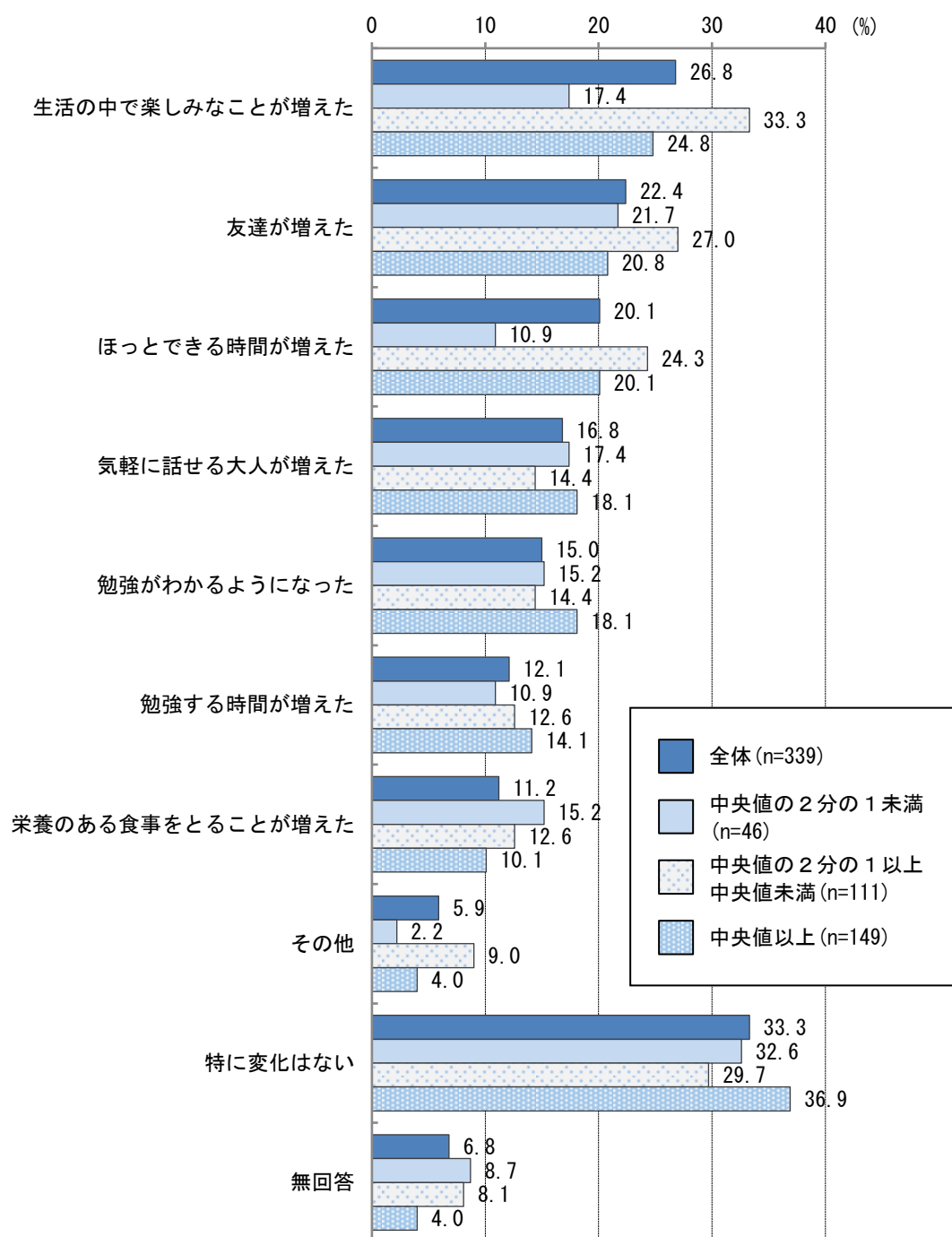


小学5年生を山口県調査と比較すると、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「友達が増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「勉強がわかるようになった」、「勉強する時間が増えた」との回答は周南市が県を5.0ポイント以上下回っており、「特に変化はない」との回答は周南市が県を13.7ポイント上回っている。

中学2年生を山口県調査・国調査と比較すると、ほぼすべての項目で周南市が県または国を5.0ポイント以上下回っており、「特に変化はない」との回答は周南市が県を24.5ポイント、国を7.0ポイント上回っている。

■ 支援場所の利用による変化

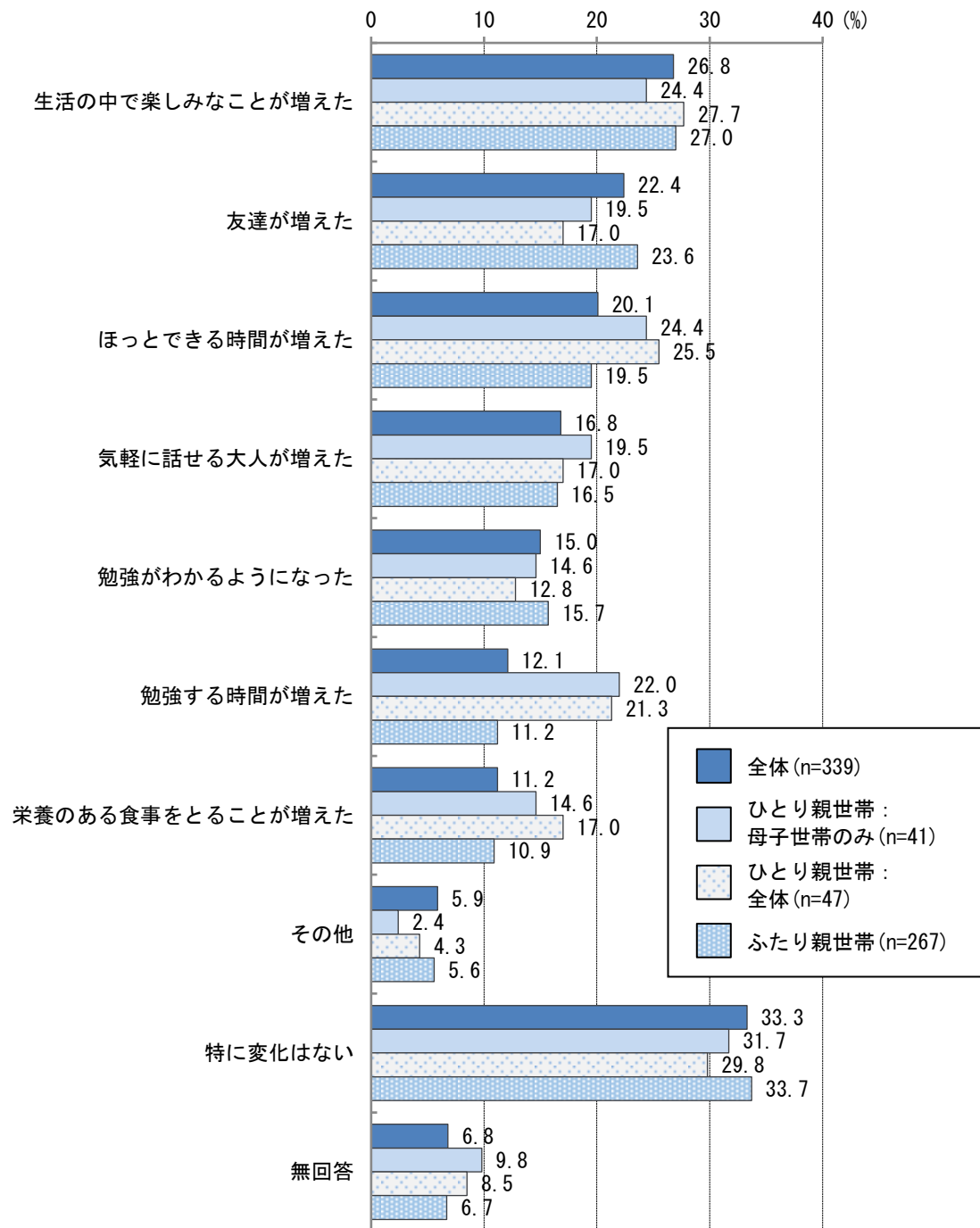
【等価世帯収入の水準別】



等価世帯収入の水準別にみると、「生活の中で楽しみなことが増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で17.4%、「ほっとできる時間が増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で10.9%と他の世帯に比べ低く、「友達が増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で21.7%と中央値の2分の1以上中央値未満の世帯に比べ低く、「栄養のある食事をとることが増えた」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で15.2%と中央値以上の世帯に比べ高くなっている。

■ 支援場所の利用による変化

【世帯の状況別】



世帯の状況別にみると、「友達が増えた」との回答はひとり親世帯全体で17.0%とふたり親世帯に比べ低く、「ほっとできる時間が増えた」との回答はひとり親世帯全体で25.5%、「勉強する時間が増えた」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで22.0%、ひとり親世帯全体で21.3%、「栄養のある食事をとることが増えた」との回答はひとり親世帯全体で17.0%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

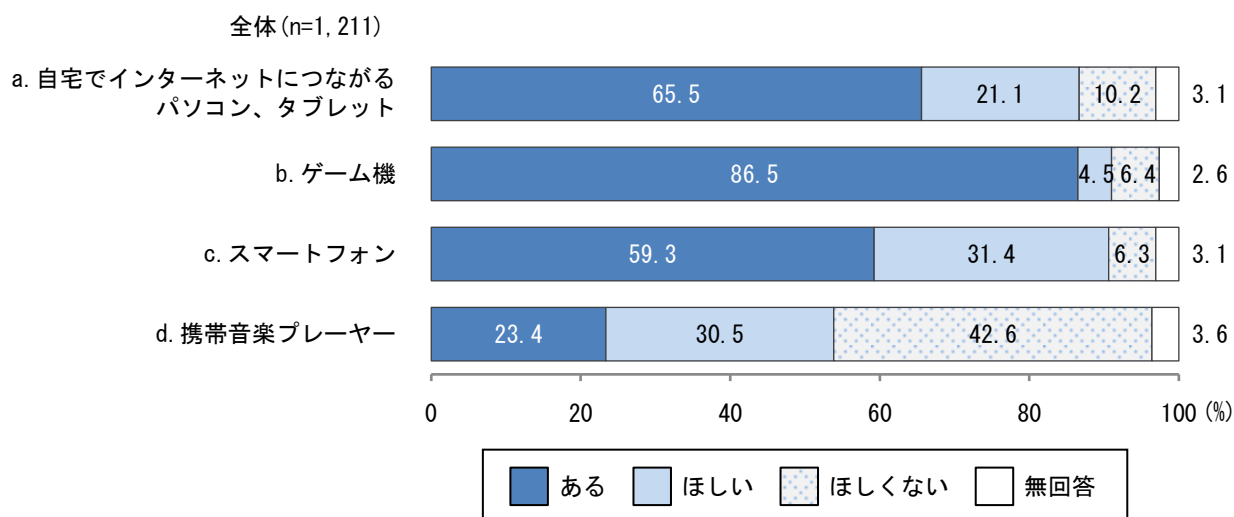
7 ふだん使っているもの

子ども票問 25

あなたには、自分が使うことができる、下のものがありますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらないと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。(SA)

■自分のものの所持状況

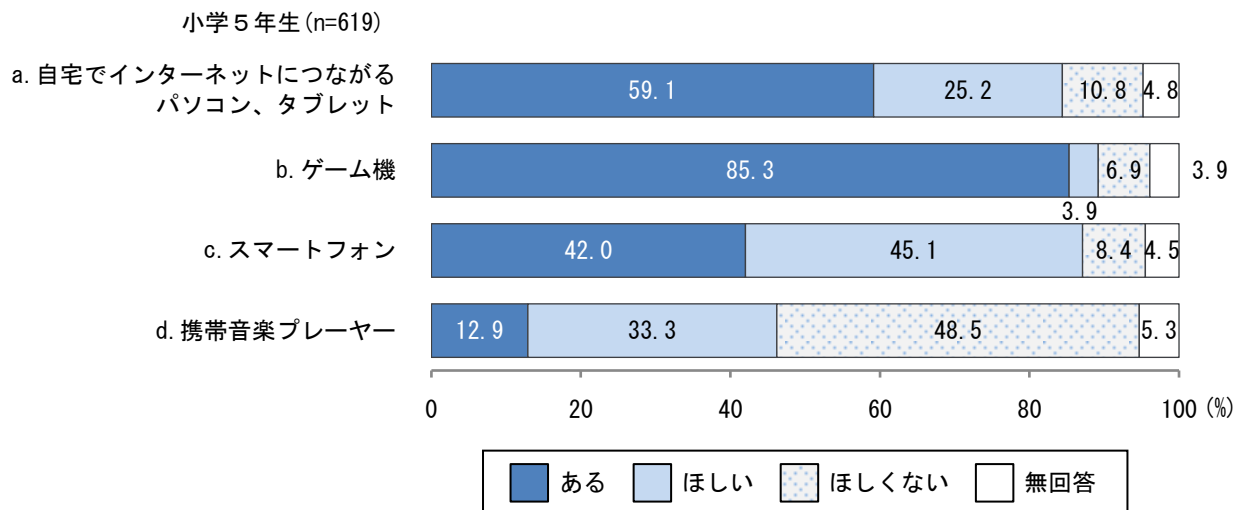
【全体】



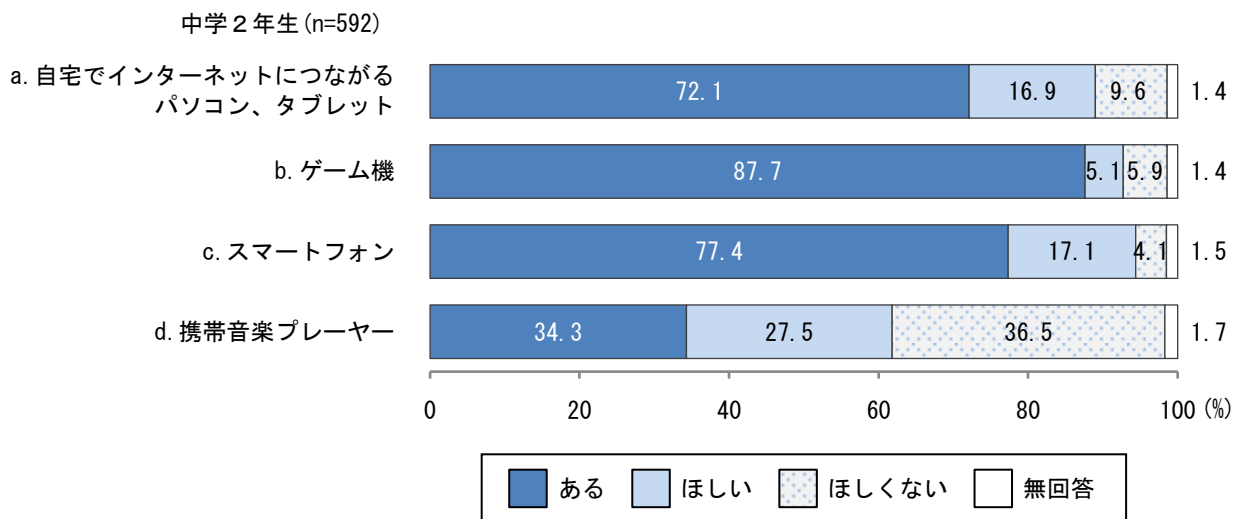
自分のものの所持状況について、「ある」との回答は「b. ゲーム機」の項目で86.5%、「ほしい」との回答は「c. スマートフォン」の項目で31.4%、「d. 携帯音楽プレーヤー」の項目で30.5%と高くなっている。

■ 自分のものの所持状況

【小学5年生】



【中学2年生】

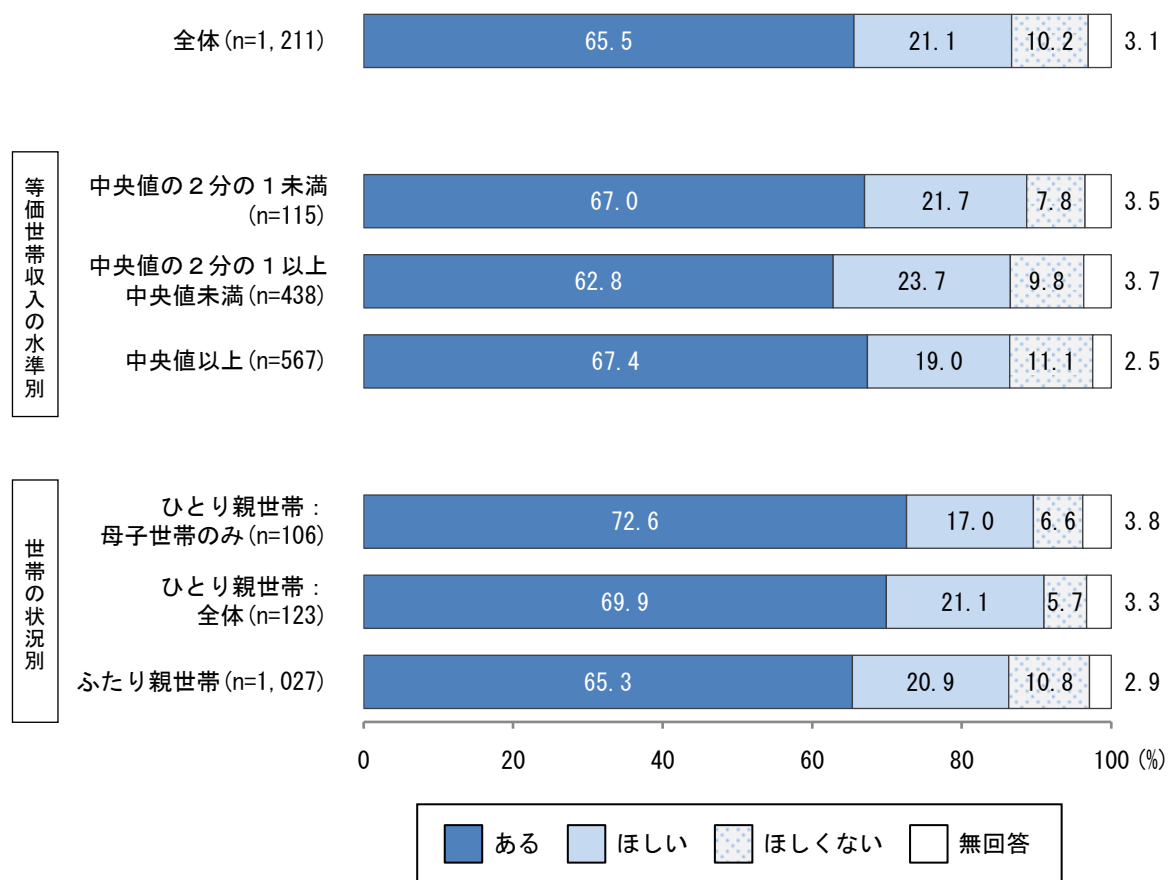


小学5年生では、「ある」との回答は「b. ゲーム機」の項目で85.3%、「ほしい」との回答は「c. スマートフォン」の項目で45.1%と高くなっている。

中学2年生では、「ある」との回答は「a. 自宅でインターネットにつながるパソコン、タブレット」の項目で72.1%、「b. ゲーム機」の項目で87.7%、「c. スマートフォン」の項目で77.4%と高くなっている。

■ 自宅でインターネットにつながるパソコン、タブレットの所持状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

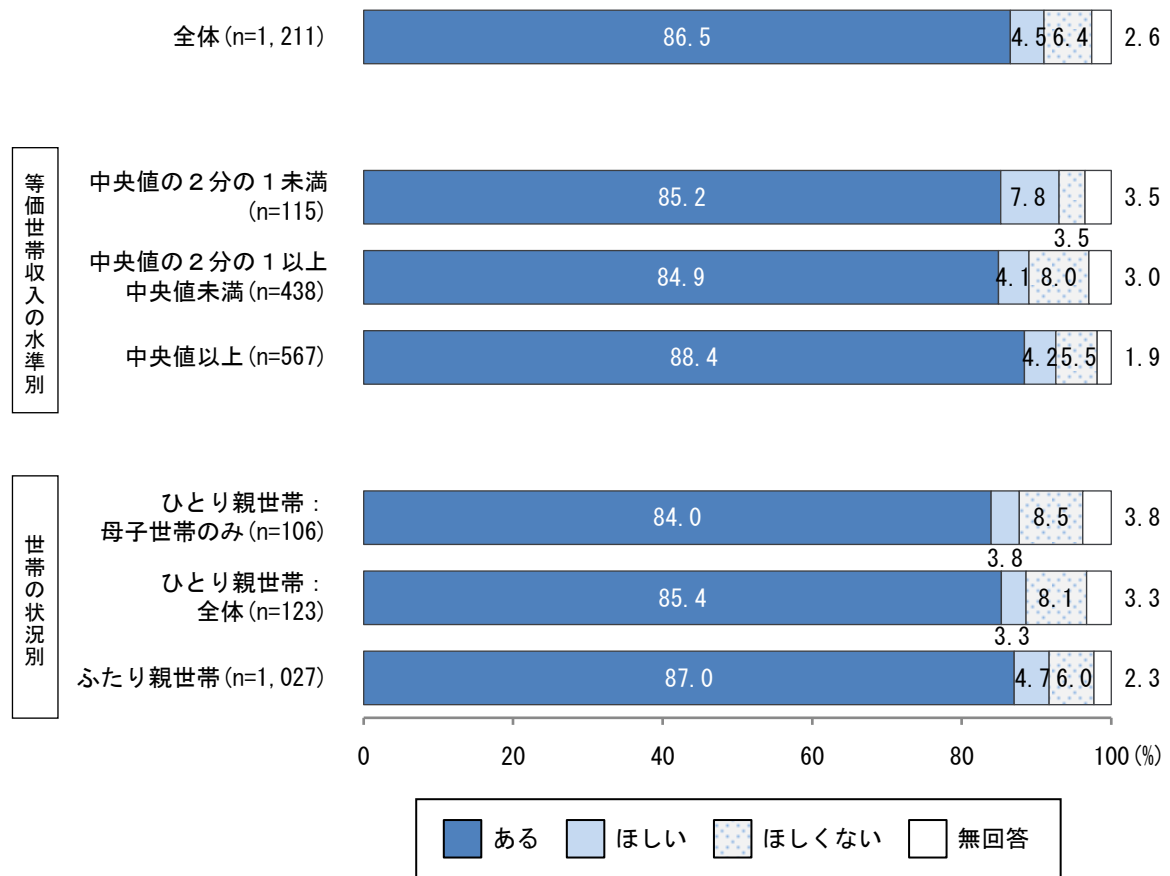


自宅でインターネットにつながるパソコン、タブレットの所持状況について、等価世帯収入の水準別にみると、「ある」との回答はすべての世帯で60.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「ある」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで72.6%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■ゲーム機の所持状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

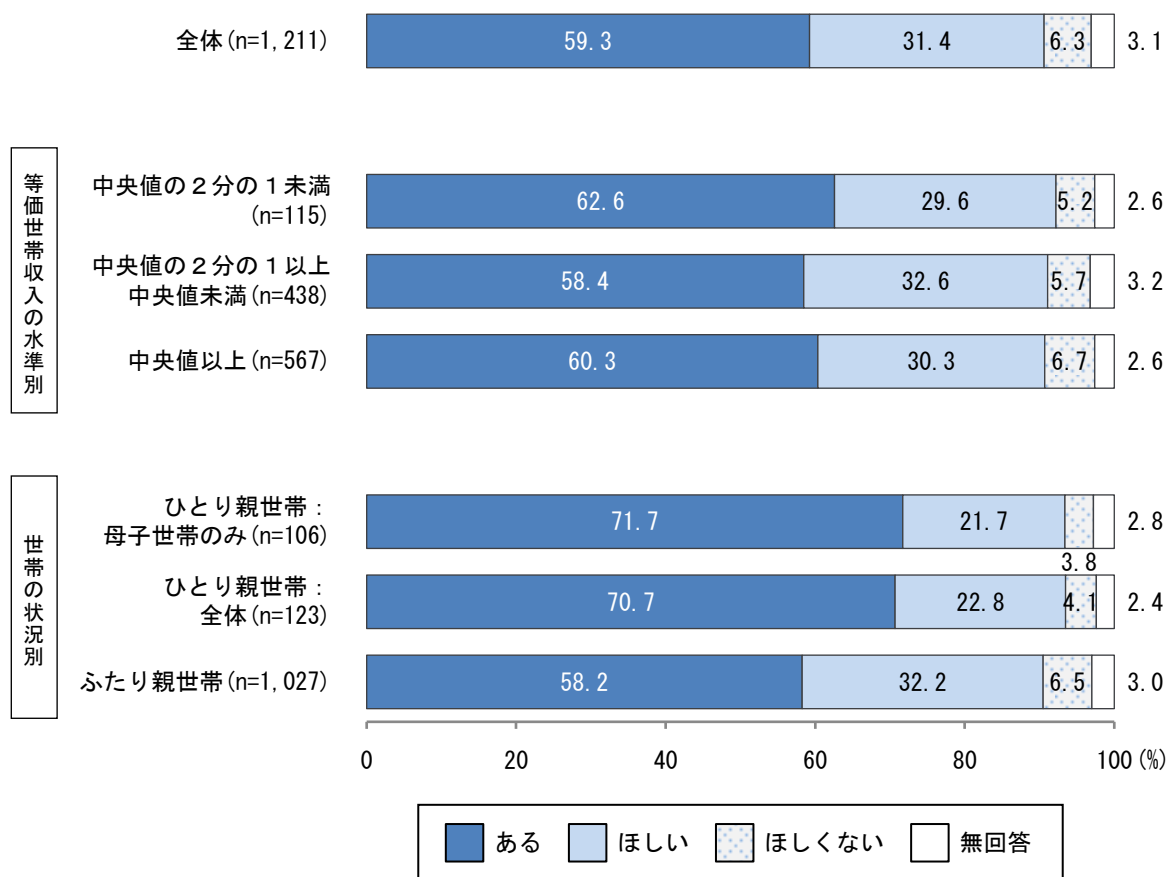


ゲーム機の所持状況について、等価世帯収入の水準別にみると、「ある」との回答はすべての世帯で80.0%以上となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「ある」との回答はすべての世帯で85.0%前後となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

■スマートフォンの所持状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】

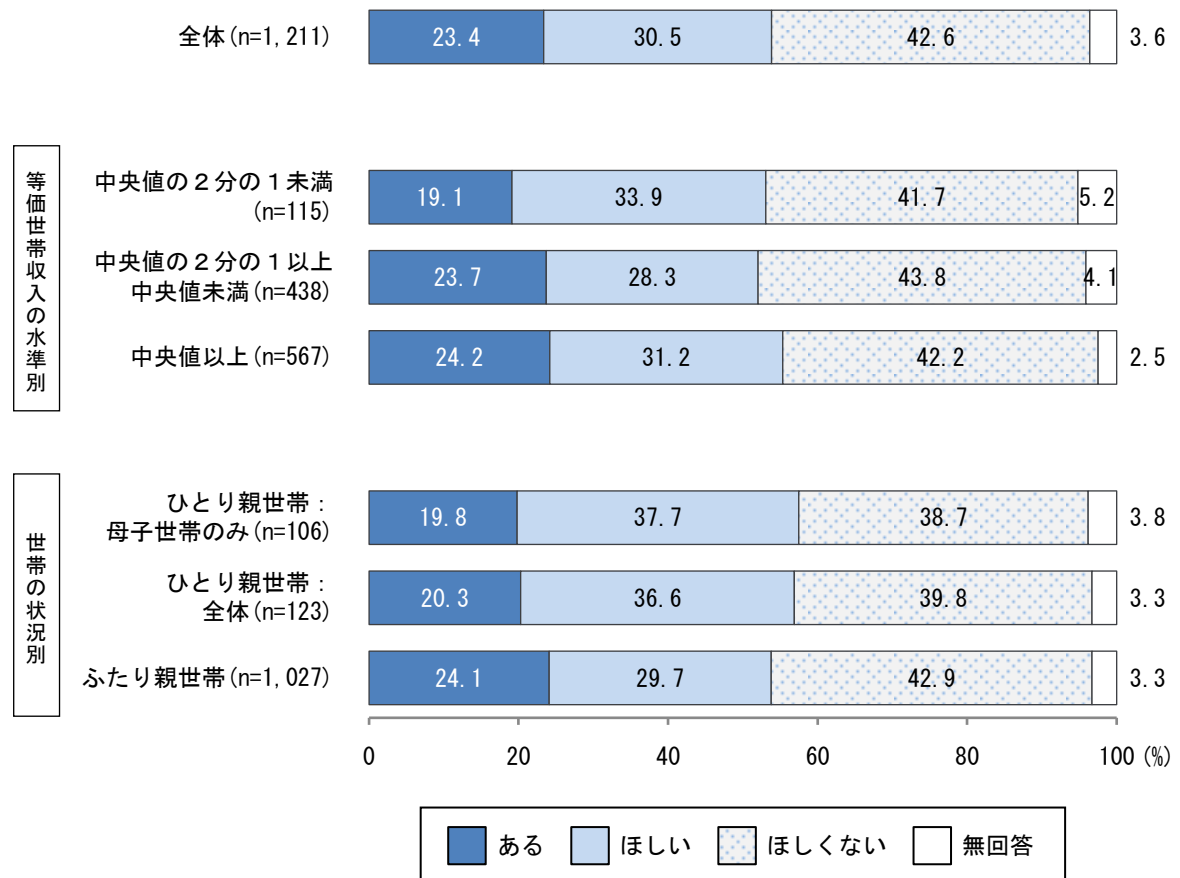


スマートフォンの所持状況について、等価世帯収入の水準別にみると、「ある」との回答はすべての世帯で60.0%前後となっており、等価世帯収入の水準による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「ある」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで71.7%、ひとり親世帯全体で70.7%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

■ 携帯音楽プレーヤーの所持状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



携帯音楽プレーヤーの所持状況について、等価世帯収入の水準別にみると、「ある」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で19.1%と中央値以上の世帯に比べ低く、「ほしい」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で33.9%と中央値の2分の1以上中央値未満の世帯に比べ高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ほしい」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで37.7%、ひとり親世帯全体で36.6%とふたり親世帯に比べ高くなっている。

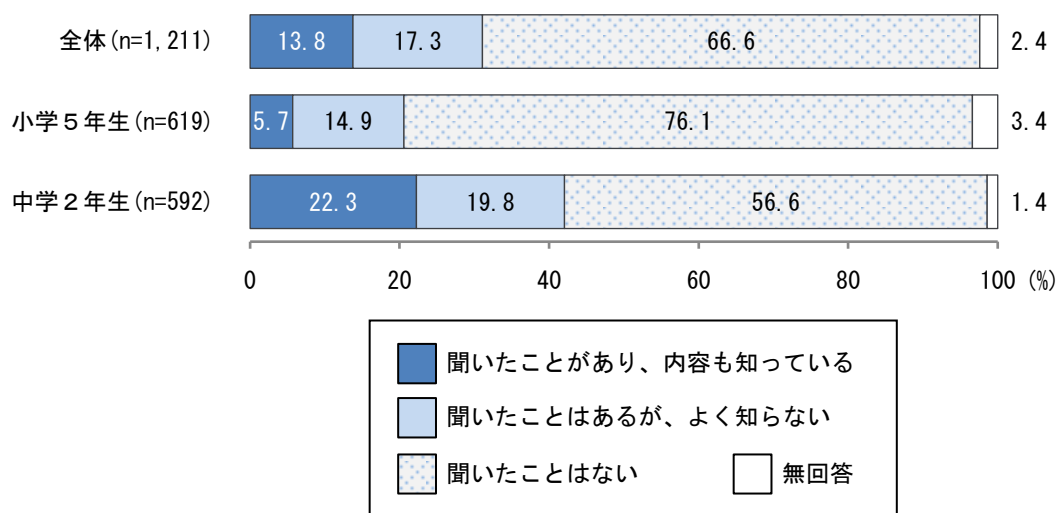
8 ヤングケアラーについて

子ども票問 26

あなたは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(SA)

■ヤングケアラーの認知状況

【全体/学年別】



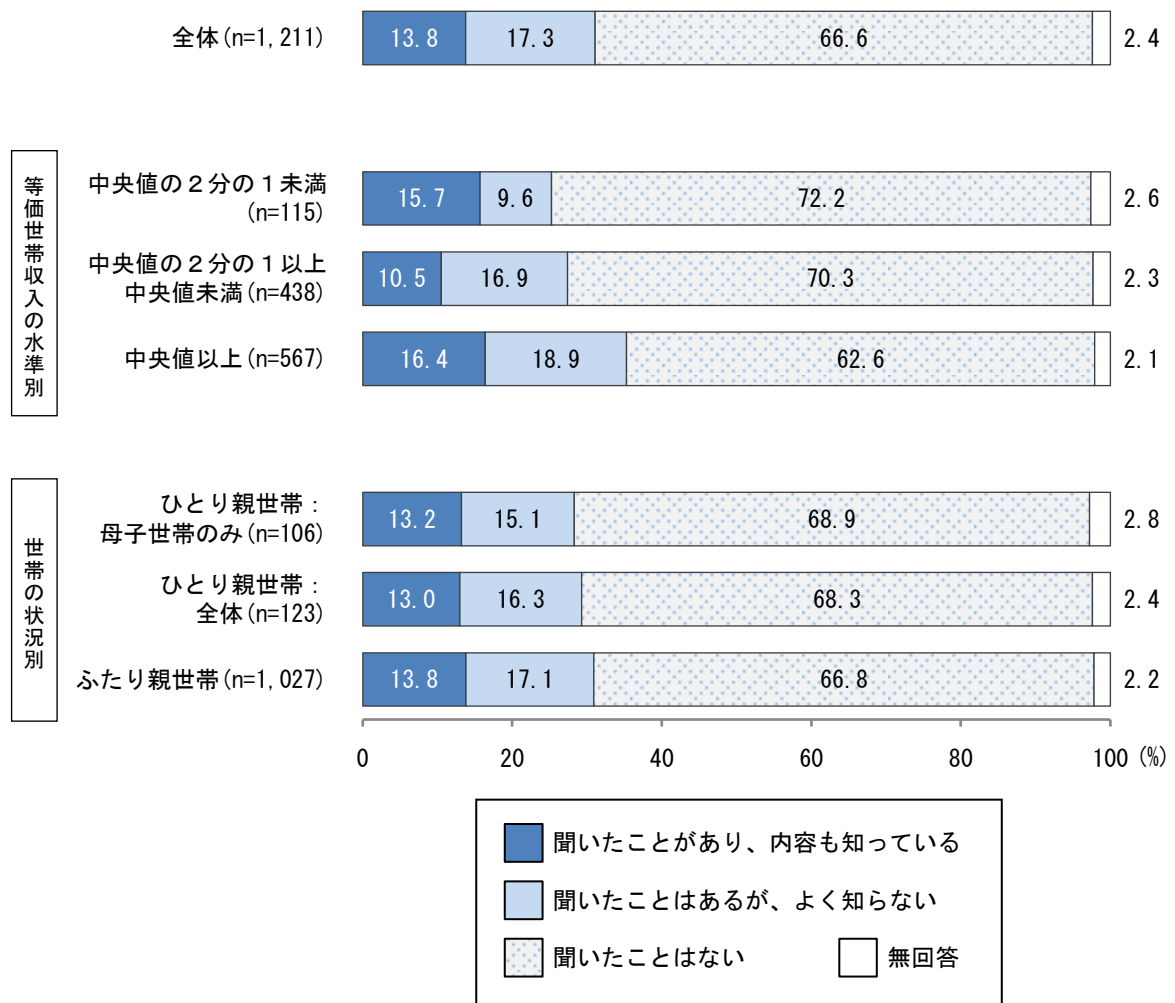
ヤングケアラーの認知状況について、「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答が13.8%、「聞いたことはあるが、よく知らない」との回答が17.3%、「聞いたことはない」との回答が66.6%となっている。

小学5年生では、「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答が5.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない」との回答が14.9%、「聞いたことはない」との回答が76.1%となっている。

中学2年生では、「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答が22.3%、「聞いたことはあるが、よく知らない」との回答が19.8%、「聞いたことはない」との回答が56.6%となっている。

■ヤングケアラーの認知状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で15.7%と中央値の2分の1以上中央値未満の世帯に比べ高く、「聞いたことはあるが、よく知らない」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で9.6%と他の世帯に比べ低く、「聞いたことはない」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で72.2%と中央値以上の世帯に比べ高くなっている。

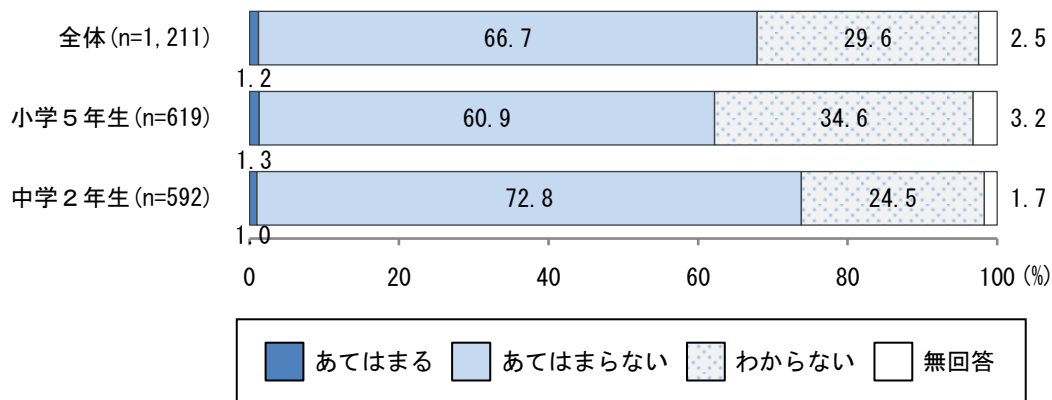
世帯の状況別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答はすべての世帯で10.0%程度となっており、世帯の状況による大きな差はみられない。

子ども票問 27

あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(SA)

■ヤングケアラーの自覚

【全体/学年別】



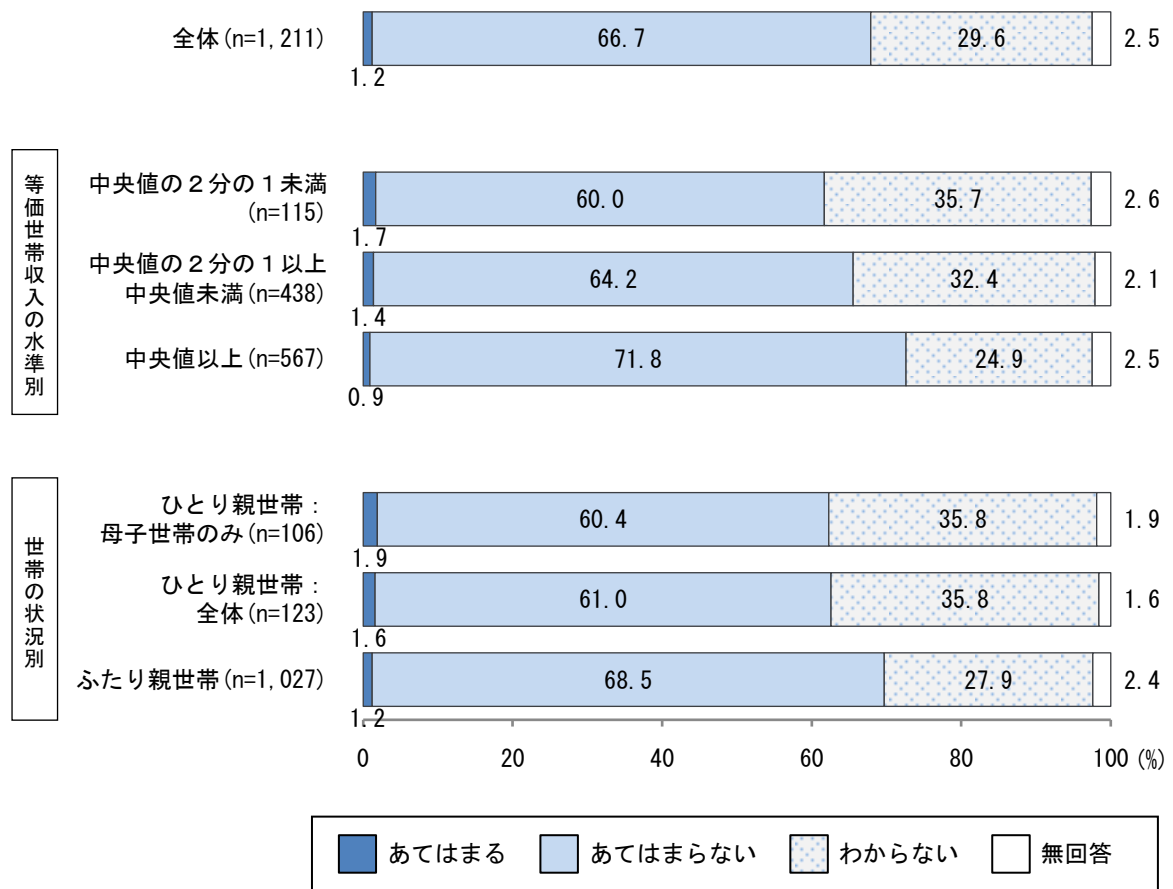
ヤングケアラーの自覚について、「あてはまる」との回答が1.2%、「あてはまらない」との回答が66.7%、「わからない」との回答が29.6%となっている。

小学5年生では、「あてはまる」との回答が1.3%、「あてはまらない」との回答が60.9%、「わからない」との回答が34.6%となっている。

中学2年生では、「あてはまる」との回答が1.0%、「あてはまらない」との回答が72.8%、「わからない」との回答が24.5%となっている。

■ヤングケアラーの自覚

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別】



等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまらない」との回答は中央値の2分の1未満の世帯で60.0%と中央値以上の世帯に比べ低く、等価世帯収入の水準が低いほど「あてはまらない」との回答が低くなっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまらない」との回答はひとり親世帯母子世帯のみで60.4%、ひとり親世帯全体で61.0%とふたり親世帯に比べ低くなっている。

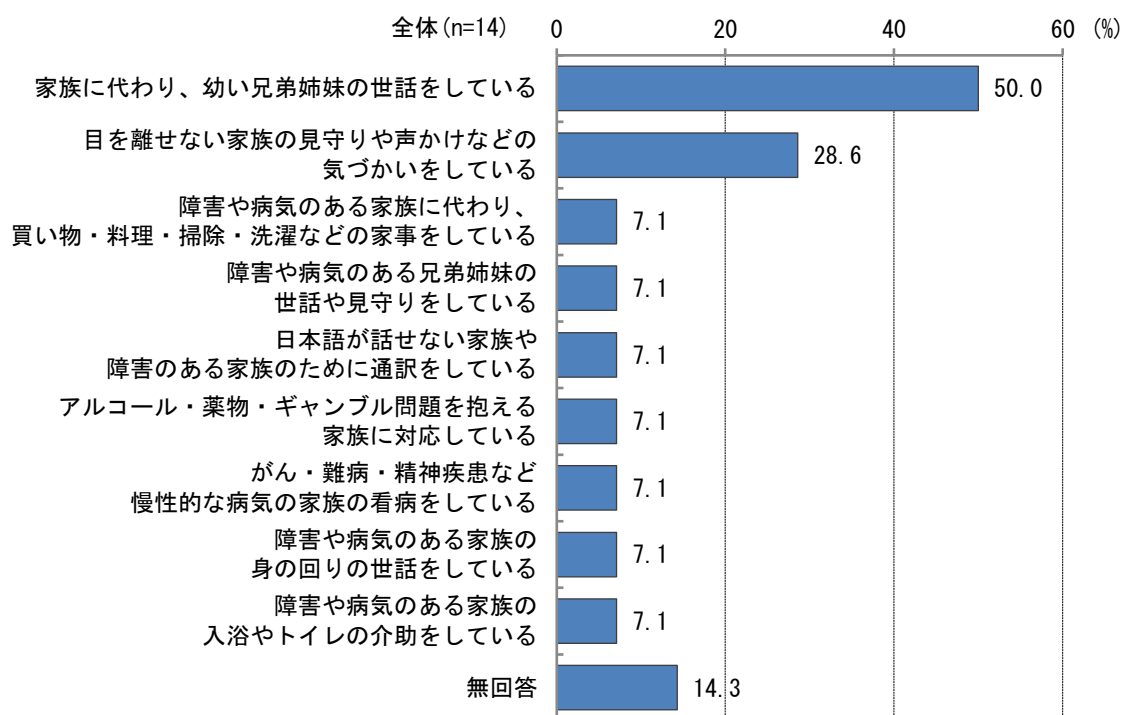
問 27 で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きします。

子ども票問 28

あなたはふだん、どのようなことをしていますか。(MA)

■ 日常的に行っている家事や家族の世話の内容

【全体】



日常的に行っている家事や家族の世話の内容について、「家族に代わり、幼い兄弟姉妹の世話をしている」との回答が 50.0%と最も高く、次いで「目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている」(28.6%) などの順となっている。

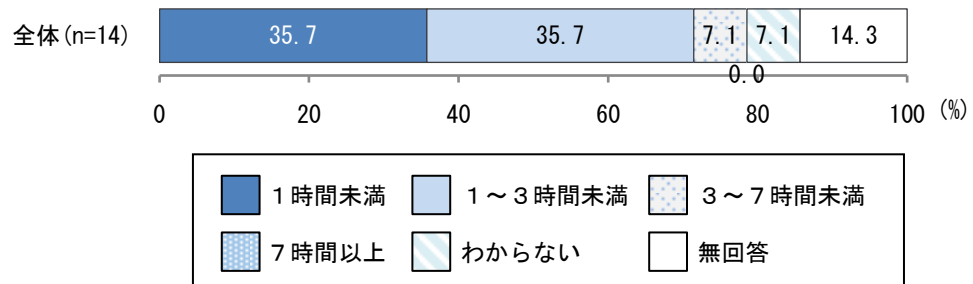
問 27 で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きします。

子ども票問 29

平日 1 日あたりどのくらい家族の世話などに時間をつかっていますか。(SA)

■ 1 日あたりの家族の世話などをする時間

【全体】



1 日あたりの家族の世話などをする時間について、「1 時間未満」、「1 ～ 3 時間未満」との回答がともに 35.7%と高くなっている。

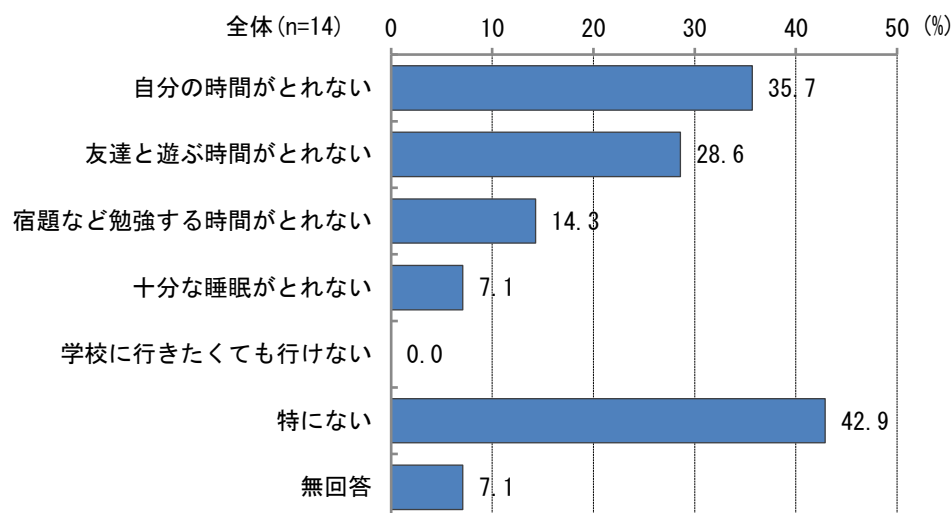
問 27 で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きします。

子ども票問 30

家族の世話などをしているために、やりたいことでできていないことはありますか。(MA)

■ 家族の世話などをしているためできていないこと

【全体】



家族の世話などをしているためできていないことについて、「自分の時間がとれない」との回答が 35.7% と高く、次いで「友達と遊ぶ時間がとれない」(28.6%)、「宿題など勉強する時間がとれない」(14.3%) などの順となっている。

V 資料

1 保護者調査票

ID	Hch0001	パスワード	Ak7x23
----	---------	-------	--------

令和6年度 周南市子どもの生活状況調査 【中学生 保護者票】

調査の目的・概要

- この調査は、小学5年生または中学2年生のお子さんがある保護者の方に、日頃のお子さんとの関わりや保護者ご自身のことなど家庭の状況をお聞きし、周南市の子育て世帯の支援に役立てるために実施するものです。ご協力をお願いします。

実施方法・データの取扱い

- この調査票は、小学5年生または中学2年生のお子さんの保護者がお答えください。
- この調査は無記名です。名前を書く必要はありません。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容について、周南市や委託業者から問合せすることは一切ございません。
- 調査対象となるお子さんが複数おられる場合は、お子さんによって回答内容が異なる場合があるため、お手数ですが、複数の保護者票にご記入をお願いします。

回答方法

- 「紙への記入による回答」、「インターネットによる回答」のいずれかで回答してください。詳しい回答方法は次のページをご確認ください。

- この調査は周南市役所が実施します。
- 調査に関するお問合せは、学校ではなく、周南市こども未来部 あんしん子育て推進課までお願いします。
- この調査は、周南市こども未来部 あんしん子育て推進課から委託を受けて株式会社サーベイリサーチセンターが実施しています。

◆お問合せ先

周南市こども未来部 あんしん子育て推進課（8：30～17：15 土日・祝日を除く）
電 話：0834-22-8452 メール：anshinkosodate@city.shunan.lg.jp

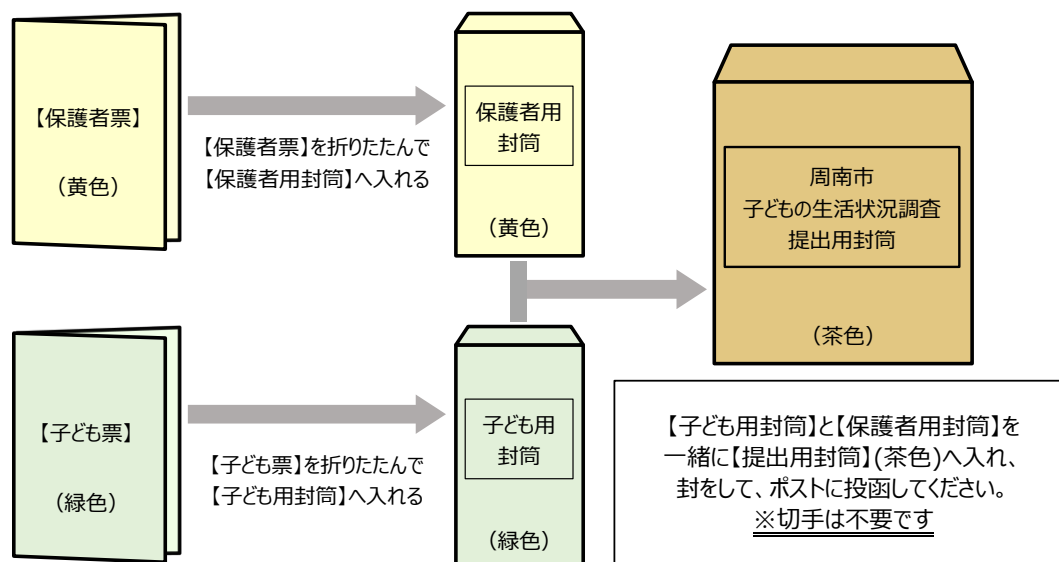
◆調査実施機関

株式会社サーベイリサーチセンター 広島事務所
〒730-0032 広島県広島市中区立町 2-29 朝日 NX 広島ビル 3 階

回答方法は次のページをご覧ください ➡

紙への記入による回答方法

- ・ボールペン・鉛筆等で、回答の番号に○をつけてください。
- ・質問文の終わりに「あてはまるもの 1 つに○」、「あてはまるものすべてに○」などを書いてありますので、それにしたがって○をつけてください。



- ・紙の調査票で回答した場合は、インターネットで回答しないでください。
- ・保護者の方か、お子さんのうち、いずれかの方がインターネットで回答いただく場合は、紙で回答した調査票のみご返送ください。

インターネットによる回答方法

- ・下記の URL にアクセスするか、二次元コードを読み取り、ID とパスワードを入力して回答してください。

URL : https://src.webcas.net/form/pub/src1/shunan_ch

- ・ID とパスワードは表紙の右上に記載されています。

※ID・パスワードは、回答の重複を防ぐために使用するものであり、個人を特定するものではありません。



- ・調査対象となるお子さんが複数いる場合は、それぞれの保護者票にある ID を入力してください。
- ・インターネットで回答した場合は、紙の調査票で回答しないでください。

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学 5 年生又は中学 2 年生のお子さんのことをいいます。「親」、「父親」、「母親」とは、継母や継父など、母親や父親に代わる保護者の方も含まれます。

あなたご自身とあなたの世帯について

問 1 お子さん^{つづきから}とあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。

(あてはまるもの 1 つに○)

1 母親（継母を含む）	3 祖父母
2 父親（継父を含む）	4 その他

問 2 あなたの住んでいる小学校区をお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

1 徳山小学校区	8 戸田小学校区	15 秋月小学校区	22 三丘小学校区
2 遠石小学校区	9 湯野小学校区	16 鼓南小学校区	23 高水小学校区
3 今宿小学校区	10 岐山小学校区	17 富田東小学校区	24 勝間小学校区
4 久米小学校区	11 須磨小学校区	18 富田西小学校区	25 大河内小学校区
5 菊川小学校区	12 沼城小学校区	19 福川小学校区	26 八代小学校区
6 櫛浜小学校区	13 周陽小学校区	20 和田小学校区	27 鹿野小学校区
7 夜市小学校区	14 桜木小学校区	21 福川南小学校区	

問 3 お子さん^{つづきから}と同居し、生計を同一にしているご家族の構成と合計人数をお答えください。単身赴任中の方や、学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて数えてください。（a～i それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

※a～e、g、h は、対象のお子さん^{つづきから}からみた場合の続柄です。

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	i) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2 人
1 1 人	1 1 人	1 いる (1 人)	1 いる (1 人)	3 3 人
2 2 人	2 2 人			4 4 人
e) 姉・兄	f) 調査対象 のお子さん	g) 妹・弟	h) その他	5 5 人
0 いない		0 いない	0 いない	6 6 人
1 1 人	1 人	1 1 人	1 1 人	7 7 人
2 2 人		2 2 人	2 2 人	8 8 人
3 3 人		3 3 人	3 3 人	9 9 人
4 4 人以上		4 4 人以上	4 4 人以上	10 10 人以上

お子さんの母親・父親、世帯の状況について

問 4 お子さんの親の現在の年齢をお答えください。

（母親・父親それぞれについて数字で回答。いない場合やわからない場合は「－」と記入）

母親		歳	父親		歳
----	--	---	----	--	---

問 5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。

（1～3については、あてはまるものすべてに○）

1 お子さんの母親が単身赴任中 2 お子さんの父親が単身赴任中	3 その他 4 単身赴任中の者はいない
--	--------------------------------------

問 6 お子さんと同じ居し、生計を同一にしている親の^{ごんいん}婚姻状況をお答えください。

（あてはまるもの 1 つに○）

1 結婚している（再婚や事実婚を含む） 2 離婚 3 死別	4 未婚 5 わからない 6 いない
--	---

↓

問 7 前問で「**2 離婚**」と答えた人にお聞きます。

離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

（あてはまるもの 1 つに○）

1 取り決めをしており、養育費を受け取っている 2 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている 3 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない 4 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない
--

問 8 ご家庭では、どれくらい日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまるもの 1 つに○）

1 日本語のみを使用している 2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い 3 日本語以外の言語を使うことが多い
--

問 9 お子さんの親の最終学歴（卒業・修了した学校）をお答えください。

（a、b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	a) 母親	b) 父親
中学校（中学部）まで	1	1
高等学校（高等部）まで	2	2
短大・高専・専門学校（専攻科）まで	3	3
大学またはそれ以上	4	4
わからない	5	5
いない	6	6

問 10 お子さんの親の就労状況についてお答えください。

（a、b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
しよくたく 嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）	4	4
働いていない（専業主婦／主夫を含む）	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

5に○をつけた場合のみ

問 11 前の質問で「5 働いていない」と答えた人にお聞きます。

働いていない最も主な理由を教えてください。

（a、b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

お子さんとの関わりについて

問 12 お子さんが 0～2 歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

1 認可保育所・認定こども園	4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
2 その他の教育・保育等の施設	5 その他
3 親・親族以外の個人が面倒を見ていた	

問 13 お子さんが 3～5 歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

1 幼稚園・認可保育所・認定こども園	4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
2 その他の教育・保育等の施設	5 その他
3 親・親族以外の個人が面倒を見ていた	

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、以下のことにどれくらいあてはまりますか。

（a～e それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	あてはまる	どちらかといえば、 あてはまる	どちらかといえば、 あてはまらない	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の 視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように 勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の 読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことに ついて話をしてくれる	1	2	3	4
e) お子さんの話を無視することがある	1	2	3	4

問 15 あなたは以下のことにどの程度参加していますか。

（a、b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	よく参加 している	ときどき 参加している	あまり 参加していない	まったく参加 していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事	1	2	3	4
b) PTA 活動や保護者会、 放課後学習支援等のボランティアなど	1	2	3	4

問 16 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1 中学校まで

2 高等学校まで

3 短期大学・5 年制の高等専門学校・専門学校まで

4 大学またはそれ以上

5 まだわからない

→問 17 に進んでください。

→問 18 に進んでください。

問 17 前問で「1～4」と答えた人にお聞きします。

その理由を教えてください。(1～5については、あてはまるものすべてに○)

1 お子さんがそう希望しているから

3 お子さんの学力から考えて

5 その他の理由

2 一般的な進路だと思うから

4 家庭の経済的な状況から考えて

6 特に理由はない

頼れる相手について

問 18 あなたは、次に挙げる^{ことがら}事柄で頼れる人はいいますか。

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

(a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの 1 つに○、①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに 関する相談	b) 重要な ^{ことがら} 事柄の相談	c) いざという時の お金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

↓
①～⑦のあてはまるものすべてに○
1に○をつけた場合、

暮らしの状況について

問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（あてはまるもの 1 つに○）

1 大変ゆとりがある	3 ふつう	5 大変苦しい
2 ゆとりがある	4 苦しい	

問 20 世帯全体のおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの 1 つに○）

※令和 5 年の年間収入についてお答えください。

※収入から税金や社会保険料などを差し引いた額をいわゆる「手取り」と言いますが、ここでは収入をお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

・勤め先収入（定期収入、賞与等）

・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）

・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）

・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）

・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）

・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

1 50 万円未満	7 300～350 万円未満	13 700～800 万円未満
2 50～100 万円未満	8 350～400 万円未満	14 800～900 万円未満
3 100～150 万円未満	9 400～450 万円未満	15 900～1000 万円未満
4 150～200 万円未満	10 450～500 万円未満	16 1000 万円以上
5 200～250 万円未満	11 500～600 万円未満	
6 250～300 万円未満	12 600～700 万円未満	

問 21 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（あてはまるもの 1 つに○）

1 よくあった	3 まれにあった
2 ときどきあった	4 まったくなかった

問 22 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

（あてはまるもの 1 つに○）

1 よくあった	3 まれにあった
2 ときどきあった	4 まったくなかった

問 23 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（1～5 については、あてはまるものすべてに○）

1 電気料金	4 通信費（電話・インターネット回線料など）
2 ガス料金	5 家賃
3 水道料金	6 該当するものはない

あなたの生活状況への感じ方について

問 24 以下の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

（a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「0（まったく満足していない）」から「10（十分に満足している）」の数字で教えてください。

（あてはまるもの 1 つに○）

0 : まったく満足していない ←————→ 10 : 十分に満足している										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 26 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020 年 2 月以前）から比べて、どのように変わりましたか。

（a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をする事	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

支援制度の利用状況について

問 27 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。※制度の内容は次のページを参考にしてください。（a～g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	現在利用している	現在利用していないが、 以前利用したことがある	利用したことがない
a) 生活福祉資金	1	2	3
b) 生活保護	1	2	3
c) 母子父子寡婦福祉資金 貸付金	1	2	3
d) 児童扶養手当	1	2	3
e) ひとり親家庭自立支援教 育訓練給付金	1	2	3
f) ひとり親家庭高等職業訓 練促進給付金	1	2	3
g) 就学援助	1	2	3

問 27 a～g のうち、「3」に○をつけた項目のみ、問 28 を回答

問 28 前問で「3」と答えた人にお聞きます。

その理由を教えてください。（a～g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	利用したいが、手 続きがわからな かったり、利用し にくいから	利用したいが、 特に利用したい と思わなかった から	制度の対象外（ 収入等の条件を 満たさない）だ と思うから	それ以外の理由
a) 生活福祉資金	4	2	1	5
b) 生活保護	4	2	1	5
c) 母子父子寡婦福祉資金 貸付金	4	2	1	5
d) 児童扶養手当	4	2	1	5
e) ひとり親家庭自立支援教 育訓練給付金	4	2	1	5
f) ひとり親家庭高等職業訓 練促進給付金	4	2	1	5
g) 就学援助	4	2	1	5

「参考」 支援制度内容一覧 a～g の支援制度の内容については、下記を参考にしてください。

a) 生活福祉資金	低所得者、障害者又は高齢者の世帯を対象として、低利または無利子の資金貸付。窓口は市の社会福祉協議会。
b) 生活保護	病気や失業のため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときは一定の条件により、生活、住宅、教育、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。窓口は市の生活支援課。
c) 母子父子寡婦福祉資金貸付金	ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市の子育て給付課。
d) 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための制度（手当）。窓口は市の子育て給付課。
e) ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	雇用保険の教育訓練給付制度の指定教育訓練講座を受講するひとり親家庭の母または父に対し、本人が支払った経費の一部（上限あり）を支給する。（ただし、雇用保険制度による給付がある場合には、本制度の給付額のうち全部、又はその一部について支給されない。）
f) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	ひとり親家庭の母または父が就職に有利な看護師や介護福祉士等の資格を取得するために、一定期間以上養成機関で修業する場合、生活の経済的負担の軽減を図るために、生活の支援を行うもの。
g) 就学援助	経済的理由により、児童生徒を就学させることが困難な保護者に対し、学用品費・給食費・修学旅行費等の教育費の一部を援助するもの。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2 中学生調査票

ID	Hck0001	パスワード	D7tUqs
----	---------	-------	--------

令和6年度 周南市子どもの生活状況調査

【中学生票】

調査へのご協力をお願い

- この調査は、みなさんが周南市で、どんなことをしたり、感じたりして暮らしているのかをたずねるものです。周南市は、この調査結果を参考にして、みなさんのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。

実施方法・データの取扱い

- この調査票の回答は、あなたが自分で書いてください。安心して答えられるよう、おうちの方や学校の先生には見せないでください。
- 名前は、書かないでください。
- 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。答えたくない質問には答えず、次に進んでください。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。また、この調査票では名前を書かないので、あなたがどのように答えたかは、だれにもわかりません。

回答方法

- 「紙への記入による回答」、「インターネットによる回答」のいずれかで回答してください。詳しい回答方法は次のページをご確認ください。

- この調査は周南市役所が実施します。
- 調査に関するお問合せは、学校ではなく、周南市子ども未来部 あんしん子育て推進課までお願いします。
- この調査は、周南市子ども未来部 あんしん子育て推進課から委託を受けて株式会社サーベイリサーチセンターが実施しています。

◆お問合せ先

周南市子ども未来部 あんしん子育て推進課（8：30～17：15 土日・祝日を除く）
電話：0834-22-8452 メール：anshinkosodate@city.shunan.lg.jp

◆調査実施機関

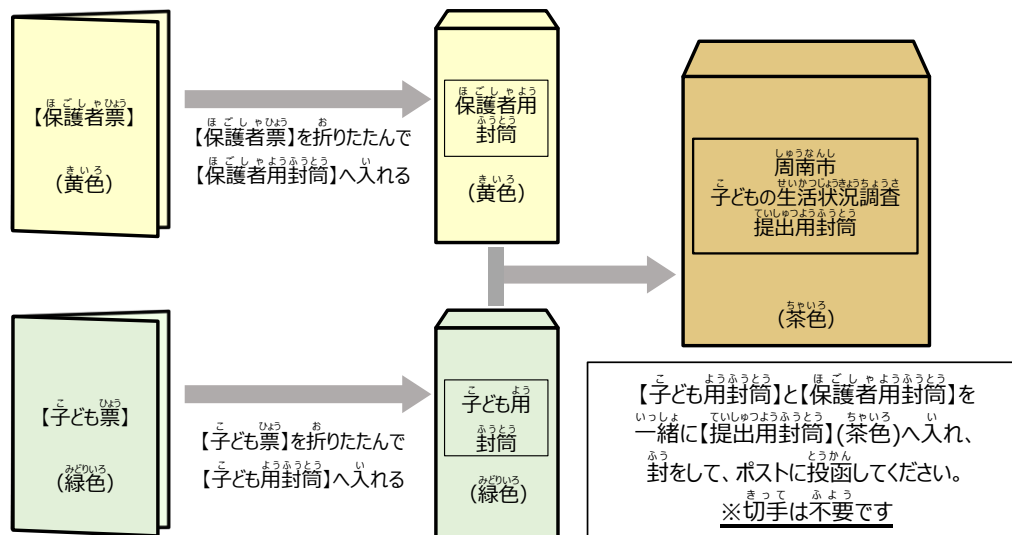
株式会社サーベイリサーチセンター 広島事務所
〒730-0032 広島県広島市中区立町2-29 朝日NX広島ビル3階

回答方法は次のページをご覧ください



紙への記入による回答方法

- ・ボールペン・鉛筆などで、回答の番号に○をつけてください。
- ・質問文の終わりに「あてはまるもの 1 つに○」、「あてはまるものすべてに○」などを書いてありますので、それにしたがって○をつけてください。



- ・紙の調査票で回答した場合は、インターネットでは回答しないでください。
- ・あなたか、おうちの方のうち、どちらの方がインターネットで回答する場合は、紙で回答した調査票のみ封筒へ入れて送ってください。

インターネットによる回答方法

- ・下の URL にアクセスするか、二次元コードを読み取り、ID とパスワードを入力して回答してください。

URL : https://src.webcas.net/form/pub/src1/shunan_c

- ・ID とパスワードは表紙の右上に書かれています。
- ※ID・パスワードは、回答の重複を防ぐために使用するものであり、個人を特定するものではありません。



- ・インターネットで回答した場合は、紙の調査票では回答しないでください。

あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの 1 つに○)

1 おとこ 男	2 おんな 女	3 その他・答えたくない
------------	------------	--------------

問2 あなたの住んでいる小学校区を教えてください。(あてはまるもの 1 つに○)

1 徳山小学校区	8 戸田小学校区	15 秋月小学校区	22 三丘小学校区
2 遠石小学校区	9 湯野小学校区	16 鼓南小学校区	23 高水小学校区
3 今宿小学校区	10 岐山小学校区	17 富田東小学校区	24 勝間小学校区
4 久米小学校区	11 須磨小学校区	18 富田西小学校区	25 大河内小学校区
5 菊川小学校区	12 沼城小学校区	19 福川小学校区	26 八代小学校区
6 櫛浜小学校区	13 周陽小学校区	20 和田小学校区	27 鹿野小学校区
7 夜市小学校区	14 桜木小学校区	21 福川南小学校区	

学校や勉強のことについて

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8 については、あてはまるものすべてに○)

1 自分で勉強する	6 家の人に教えてもらう
2 塾で勉強する	7 友達と勉強する
3 学校の補習を受ける	8 その他
4 家庭教師に教えてもらう	9 学校の授業以外で勉強はしない
5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a、b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	まったく しない	30分より すく 少ない	30分以上 1時間より すく 少ない	1時間以上 2時間より すく 少ない	2時間以上 3時間より すく 少ない	3時間 以上
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1 上のほう	3 まん中あたり	5 下のほう
2 やや上のほう	4 やや下のほう	6 わからない

問6 あなたは、学校の授業の内容がわからないことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

1 いつもわかる	→問8に進んでください。
2 だいたいわかる	
3 教科によってはわからないことがある	→問7に進んでください。
4 わからないことが多い	
5 ほとんどわからない	

問7 前の質問で「3～5」と答えた人にお聞きます。

いつごろから、授業の内容でわからないことがあるようになりましたか。（あてはまるもの1つに○）

1 小学1・2年生のころ	3 小学5・6年生のころ	5 中学2年生になってから
2 小学3・4年生のころ	4 中学1年生のころ	

問8 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。（あてはまるもの1つに○）

1 中学校まで	→問9に進んでください。
2 高等学校まで	
3 短期大学・5年制の高等専門学校・専門学校まで	
4 大学またはそれ以上	
5 まだわからない	→問10に進んでください。

問9 前の質問で「1～4」と答えた人にお聞きます。

その理由を教えてください。（1～8については、あてはまるものすべてに○）

1 希望する学校や職業があるから	6 家にお金がないと思うから
2 親がそう言っているから	7 早く働く必要があるから
3 兄・姉がそうしているから	8 その他
4 まわりの先輩や友達がそうしているから	9 特に理由はない
5 自分の成績から考えて	

ほうかご きゅうじつ す かた
放課後・休日の過ごし方について

問10 あなたは、平日の放課後（夕方6時くらいまで）はどこで過ごしていますか。1週間のうち、一番多く過ごす場所を1つ答えてください。（あてはまるもの1つに○）

1 自分の家	7 公園
2 友達・親せきの家	8 図書館
3 塾・習いごと	9 市民センターなどの公共施設
4 学校（児童クラブ・部活動）	10 ショッピングセンターなどの商業施設
5 吹奏楽などの文化活動	11 その他
6 スポーツ少年団やクラブチーム	

問11 あなたは、スポーツ少年団やクラブチーム、吹奏楽などの文化活動、学校の部活動などに参加していますか。（あてはまるもの1つに○）

1 参加している → 問13に進んでください。

2 参加していない → 問12に進んでください。

問12 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。

参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 入りたい部活動・クラブなどがないから	5 一緒に入る友達がいないから
2 塾や習いごとが忙しいから	6 送迎などの行く手段がないから
3 費用がかかるから	7 その他
4 家の事情（家族の世話・家事など）があるから	

問13 あなたは、休日はだれと過ごしますか。（あてはまるものすべてに○）

1 家族（祖父母、親せきなども含む）
2 児童クラブ、部活動、その他の施設の先生
3 その他の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4 学校の友達
5 学校以外の友達
6 一人にいる

問14 あなたは、休日はどこで過ごしますか。一番多く過ごす場所を1つ答えてください。

(あてはまるもの1つに○)

1 自分の家	7 公園
2 友達・親せきの家	8 図書館
3 塾・習いごと	9 市民センターなどの公共施設
4 学校（児童クラブ・部活動）	10 ショッピングセンターなどの商業施設
5 吹奏楽などの文化活動	11 その他
6 スポーツ少年団やクラブチーム	

食事や生活のことについて

問15 あなたは週にどのくらい歯みがきや入浴（風呂・シャワー）をしていますか。

(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日している (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど していない
a) 歯みがき	1	2	3	4
b) 入浴（風呂・シャワー）	1	2	3	4

問16 あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日している (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど していない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問17 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、だれと夕食を食べていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 おや 親	4 一人で食べる
2 兄弟姉妹、祖父母など	5 夕食は食べない
3 家族以外の人	

問18 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

（あてはまるもの 1 つに○）

1 そうである	3 どちらかといえばそうではない
2 どちらかといえばそうである	4 そうではない

あなたが相談できる相手について

問19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

（1～9 については、あてはまるもの すべて に○）

1 おや 親	7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
2 きょうだいし まい 兄弟姉妹	8 その他のおとな（児童クラブ・塾・習いごとなどの先生、 ちい き ひと 地域の人など）
3 そ ふ ぼ 祖父母など	9 ネットで知り合った人
4 がっこう せんせい 学校の先生	10 だれにも相談できない、相談したくない
5 がっこう ともだち 学校の友達	
6 がっこう い が い ともだち 学校以外の友達	

あなたがふだん考えていることについて

問20 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「0（まったく満足していない）」から「10（十分に満足している）」の数字で教えてください。

（あてはまるもの 1 つに○）

0 : まったく満足していない ←————→ 10 : 十分に満足している										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問21 下の a～o のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」、「2 まああてはまる」、「3 あてはまる」のどれから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

(a～o それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にしている。 私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子どもたちと、食べ物・ゲーム・文房具などを分け合うことが多い。	1	2	3
d) 私は、たいいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶが、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友達が少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする (親・先生・他の子どもたちなど)。	1	2	3
n) 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまい。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問22 あなたは今までに、下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。

(あてはまるもの 1 つに○)

1	ひとつもあてはまらない (0 個)	4	5～7 個あてはまる
2	1～2 個あてはまる	5	すべてあてはまる (8 個)
3	3～4 個あてはまる		

a	一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
b	一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
c	家族のだけれども愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じたりすることがある
d	必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
e	両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
f	一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたりしたことが一度でもある
g	一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり薬物などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
h	一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人が、または自殺しようとした人がいる

※悩んでいたり、つらい気持ちの時は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口に相談してみてください。

●チャイルドライン

0120-99-7777

午後 4 時から午後 9 時まで

18 さいまでの子どもが相談できる窓口

●ヤングテレホン・やまぐち

0120-49-5150

083-925-5150 (携帯電話からはこちら)

学校、家庭、友達、ネットの悩みを

まいにち何時でも相談できる

●24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310

いじめで困ったり、不安があったりしたら

まいにち何時でも相談できる窓口

●つながるやまぐち SNS相談

電話では話にくいことも相談できる LINE アカウント

まいにち何時でも相談できる

LINE アプリで友達追加

支援場所の利用について

問23 あなたは、下の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	利用した ことがある	利用したことがない		
		あれば利用 したいと思う	今後も 利用したい と思わない	今後利用 したいかどうか わからない
a) (自分や親せき、友人の家以外で)平日 の夜や休日を過ごすことができる場所	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で)ごはんを無料 か安く食べることができる場所(子ども食堂 など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ)	1	2	3	4

問24 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた人にお聞きます。

そこを利用したことで、変化したことはありましたか。

(1～8 については、あてはまるものすべてに○)

1 友達が増えた	6 勉強がわかるようになった
2 気軽に話せる大人が増えた	7 勉強する時間が増えた
3 生活の中で楽しみなことが増えた	8 その他
4 ほっとできる時間が増えた	9 特に変化はない
5 栄養のある食事をとることが増えた	

あなたがふだん使っているものについて

問25 あなたには、自分が使うことができる、下の a～d のものがありますか。ある場合は「**1** ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「**2** ほしい」、いらないと思うものであれば「**3** ほしくない」に○をつけてください。（a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
a) 自宅でインターネットにつながるパソコン、タブレット (学校の一人 1 台端末はのぞく)	1	2	3
b) ゲーム機	1	2	3
c) スマートフォン	1	2	3
d) 携帯音楽プレイヤー	1	2	3

ヤングケアラーについて

問26 あなたは、ヤングケアラーという言葉聞いたことがありますか。（あてはまるもの 1 つに○）

※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる 18歳未満の子どもをいいます。

1	聞いたことがあり、内容も知っている
2	聞いたことはあるが、よく知らない
3	聞いたことはない

問27 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。（あてはまるもの 1 つに○）

1	あてはまる	→問28に進んでください。
2	あてはまらない	→質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
3	わからない	

問28 問27で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きます。

あなたはふだん、どのようなことをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話を指します。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている |
| 2 | 家族に代わり、若い兄弟姉妹の世話をしている |
| 3 | 障害や病気のある兄弟姉妹の世話や見守りをしている |
| 4 | 目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている |
| 5 | 日本語が話せない家族や障害のある家族のために通訳をしている |
| 6 | アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している |
| 7 | がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている |
| 8 | 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている |
| 9 | 障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている |

問29 問27で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きます。

平日1日あたりどのくらい家族の世話などに時間をつかっていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | | |
|---|---------|---|-------|
| 1 | 1時間未満 | 4 | 7時間以上 |
| 2 | 1～3時間未満 | 5 | わからない |
| 3 | 3～7時間未満 | | |

問30 問27で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きます。

家族の世話などをしているために、やりたいことでできていないことはありますか。

（1～5については、あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|-----------------|---|--------------|
| 1 | 学校に行きたくても行けない | 4 | 友達と遊ぶ時間がとれない |
| 2 | 宿題など勉強する時間がとれない | 5 | 自分の時間がとれない |
| 3 | 十分な睡眠がとれない | 6 | 特になし |

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

3 小学生調査票

ID	Hsk0001	パスワード	N9xBFh
----	---------	-------	--------

令和6年度 周南市子どもの生活状況調査

【小学生票】

調査へのご協力をお願い

- この調査は、みなさんが周南市で、どんなことをしたり、感じたりして暮らしているのかをたずねるものです。周南市は、この調査結果を参考にして、みなさんのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。

実施方法・データの取扱い

- この調査票の回答は、あなたが自分で書いてください。安心して答えられるよう、おうちの方や学校の先生には見せないでください。
- 名前は、書かないでください。
- 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。答えたくない質問には答えず、次に進んでください。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。また、この調査票では名前を書かないので、あなたがどのように答えたかは、だれにもわかりません。

回答方法

- 「紙への記入による回答」、「インターネットによる回答」のいずれかで回答してください。詳しい回答方法は次のページをご確認ください。

- この調査は周南市役所が実施します。
- 調査に関するお問合せは、学校ではなく、周南市こども未来部 あんしん子育て推進課までお願いします。
- この調査は、周南市こども未来部 あんしん子育て推進課から委託を受けて株式会社サーベイリサーチセンターが実施しています。

◆お問合せ先

周南市こども未来部 あんしん子育て推進課（8：30～17：15 土日・祝日を除く）
電話：0834-22-8452 メール：anshinkosodate@city.shunan.lg.jp

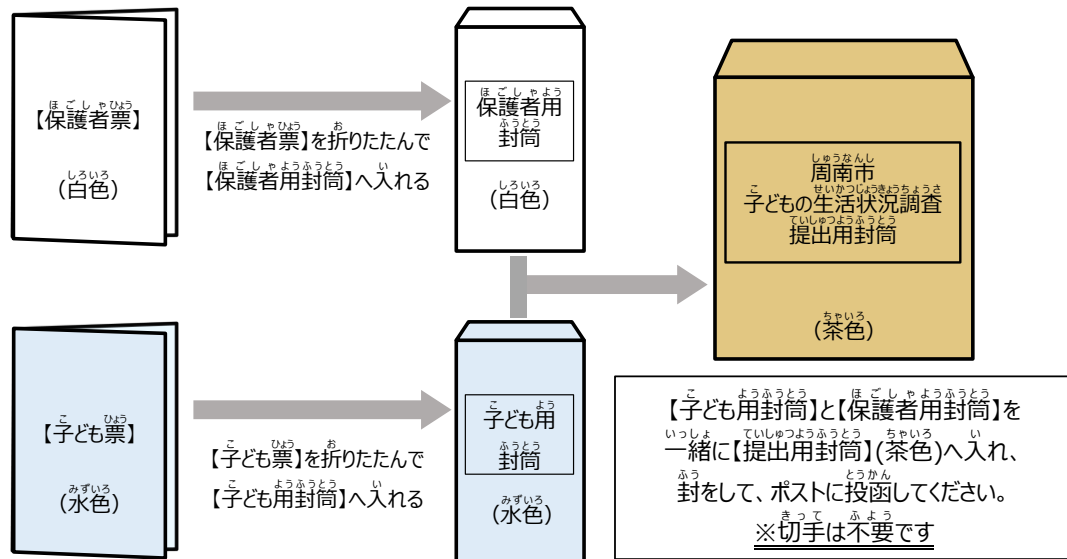
◆調査実施機関

株式会社サーベイリサーチセンター 広島事務所
〒730-0032 広島県広島市中区立町2-29 朝日NX広島ビル3階

回答方法は次のページをご覧ください ➡

紙への記入による回答方法

- ・ボールペン・鉛筆などで、回答の番号に○をつけてください。
- ・質問文の終わりに「あてはまるもの 1 つに○」、「あてはまるものすべてに○」などを書いてありますので、それにしたがって○をつけてください。



- ・紙の調査票で回答した場合は、インターネットでは回答しないでください。
- ・あなたか、おうちの方のうち、どちらかの方がインターネットで回答する場合は、紙で回答した調査票のみ封筒へ入れて送ってください。

インターネットによる回答方法

- ・下の URL にアクセスするか、二次元コードを読み取り、ID とパスワードを入力して回答してください。

URL : https://src.webcas.net/form/pub/src1/shunan_s

- ・ID とパスワードは表紙の右上に書かれています。

※ID・パスワードは、回答の重複を防ぐために使用するものであり、個人を特定するものではありません。



- ・インターネットで回答した場合は、紙の調査票では回答しないでください。

あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 おとこ 男	2 おんな 女	3 その他・答えたくない
------------	------------	--------------

問2 あなたの住んでいる小学校区を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 徳山小学校区	8 戸田小学校区	15 秋月小学校区	22 三丘小学校区
2 遠石小学校区	9 湯野小学校区	16 鼓南小学校区	23 高水小学校区
3 今宿小学校区	10 岐山小学校区	17 富田東小学校区	24 勝間小学校区
4 久米小学校区	11 須磨小学校区	18 富田西小学校区	25 大河内小学校区
5 菊川小学校区	12 沼城小学校区	19 福川小学校区	26 八代小学校区
6 櫛浜小学校区	13 周陽小学校区	20 和田小学校区	27 鹿野小学校区
7 夜市小学校区	14 桜木小学校区	21 福川南小学校区	

学校や勉強のことについて

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1 自分で勉強する	6 家の人に教えてもらう
2 塾で勉強する	7 友達と勉強する
3 学校の補習を受ける	8 その他
4 家庭教師に教えてもらう	9 学校の授業以外で勉強はしない
5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったく しない	30分より すく 少ない	30分以上 1時間より すく 少ない	1時間以上 2時間より すく 少ない	2時間以上 3時間より すく 少ない	3時間 以上
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 上のほう	3 まん中あたり	5 下のほう
2 やや上のほう	4 やや下のほう	6 わからない

問6 あなたは、学校の授業の内容がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 いつもわかる	→問8に進んでください。
2 だいたいわかる	
3 教科によってはわからないことがある	→問7に進んでください。
4 わからないことが多い	
5 ほとんどわからない	

問7 前の質問で「3～5」と答えた人にお聞きます。

いつごろから、授業の内容でわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

1 1・2年生のころ	3 4年生のころ
2 3年生のころ	4 5年生になってから

問8 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

1 中学校まで	→問9に進んでください。
2 高等学校まで	
3 短期大学・5年制の高等専門学校・専門学校まで	
4 大学またはそれ以上	
5 まだわからない	

問9 前の質問で「1～4」と答えた人にお聞きます。

その理由を教えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1 希望する学校や職業があるから	6 家にお金がないと思うから
2 親がそう言っているから	7 早く働く必要があるから
3 兄・姉がそうしているから	8 その他
4 まわりの先輩や友達がそうしているから	9 特に理由はない
5 自分の成績から考えて	

放課後・休日の過ごし方について

問10 あなたは、平日の放課後（夕方6時くらいまで）はどこで過ごしていますか。1週間のうち、一番多く過ごす場所を1つ教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1 自分の家	7 公園
2 友達・親せきの家	8 図書館
3 塾・習いごと	9 市民センターなどの公共施設
4 学校（児童クラブ・放課後子供教室）	10 ショッピングセンターなどの商業施設
5 吹奏楽などの文化活動	11 その他
6 スポーツ少年団やクラブチーム	

問11 あなたは、スポーツ少年団やクラブチーム、吹奏楽などの文化活動に参加していますか。
（あてはまるもの1つに○）

1 参加している	→問13に進んでください。
2 参加していない	→問12に進んでください。

問12 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 参加したい活動・クラブなどがないから	5 一緒に入る友達がいないから
2 塾や習いごとが忙しいから	6 送迎などの行く手段がないから
3 費用がかかるから	7 その他
4 家の事情（家族の世話・家事など）があるから	

問13 あなたは、休日（日曜日）はだれと過ごしますか。（あてはまるものすべてに○）

1 家族（祖父母、親せきなども含む）
2 児童クラブ、その他の施設の先生
3 その他の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4 学校の友達
5 学校以外の友達
6 一人である

問14 あなたは、休日はどこで過ごしますか。一番多く過ごす場所を1つ答えてください。

(あてはまるもの1つに○)

1 自分の家	7 公園
2 友達・親せきの家	8 図書館
3 塾・習いごと	9 市民センターなどの公共施設
4 学校 (児童クラブ・放課後子供教室)	10 ショッピングセンターなどの商業施設
5 吹奏楽などの文化活動	11 その他
6 スポーツ少年団やクラブチーム	

食事や生活のことについて

問15 あなたは週にどのくらい歯みがきや入浴 (風呂・シャワー) をしていますか。

(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まいにち 毎日している (週7日)	しゅう 週5～6日	しゅう 週3～4日	しゅう 週1～2日、 ほとんど していない
a) 歯みがき	1	2	3	4
b) 入浴 (風呂・シャワー)	1	2	3	4

問16 あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まいにち 毎日している (週7日)	しゅう 週5～6日	しゅう 週3～4日	しゅう 週1～2日、 ほとんど していない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問17 あなたは、ふだん (月曜日～金曜日)、だれと夕食を食べていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 おや 親	4 ひとり 一人で食べる
2 きょうだいし まい そ ふ ぼ 兄弟姉妹、祖父母など	5 ゆうしょく た 夕食は食べない
3 かぞくいがい ひと 家族以外の人	

問18 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

（あてはまるもの 1 つに○）

1 そうである	3 どちらかといえばそうではない
2 どちらかといえばそうである	4 そうではない

あなたが相談できる相手について

問19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

（1～9 については、あてはまるもの すべて に○）

1 おや 親	7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
2 きょうだいし まい 兄弟姉妹	8 その他のおとな（児童クラブ・塾・習いごとなどの先生、 地域のひとなど）
3 そ ふ ぼ 祖父母など	9 ネットで知り合った人
4 がっこう せんせい 学校の先生	10 だれにも相談できない、相談したくない
5 がっこう ともだち 学校の友達	
6 がっこう い が い ともだち 学校以外の友達	

あなたがふだん考えていることについて

問20 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「0（まったく満足していない）」から「10（十分に満足している）」の数字で教えてください。

（あてはまるもの 1 つに○）

0 : まったく満足していない ←————→ 10 : 十分に満足している										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問21 下の a～o のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」、「2 まああてはまる」、「3 あてはまる」のどれから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

(a～o それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にしている。 私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子どもたちと、食べ物・ゲーム・文房具などを分け合うことが多い。	1	2	3
d) 私は、たいいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友達が少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする (親・先生・他の子どもたちなど)。	1	2	3
n) 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問22 あなたは今までに、下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。

(あてはまるもの 1 つに○)

1	ひとつもあてはまらない (0 個)	4	5～7 個あてはまる
2	1～2 個あてはまる	5	すべてあてはまる (8 個)
3	3～4 個あてはまる		

a	一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
b	一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
c	家族の誰からでも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じたりすることがある
d	必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
e	両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
f	一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたりしたことが一度でもある
g	一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり薬物などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
h	一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人が、または自殺しようとした人がいる

※悩んでいたり、つらい気持ちの時は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口に相談してみてください。

●チャイルドライン

0120-99-7777

午後 4 時から午後 9 時まで

18 さいまでの子どもが相談できる窓口

●ヤングテレホン・やまぐち

0120-49-5150

083-925-5150 (携帯電話からはこちら)

学校、家庭、友達、ネットの悩みを

まいにち何時でも相談できる

●24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310

いじめで困ったり、不安があったりしたら

まいにち何時でも相談できる窓口

●つながるやまぐち SNS相談

電話では話しにくいことも相談できる LINE アカウント

まいにち何時でも相談できる

LINE アプリで友達追加

支援場所の利用について

問23 あなたは、下の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用した ことがある	利用したことがない		
		あれば利用 したいと思う	今後も 利用したい と思わない	今後利用 したいかどうか わからない
a) (自分や親せき、友人の家以外で)平日 の夜や休日を過ごすことができる場所	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で)ごはんを無料 か安く食べることができる場所(子ども食堂 など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ)	1	2	3	4

問24 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた人にお聞きます。

そこを利用したことで、変化したことはありましたか。

(1～8 については、あてはまるものすべてに○)

1 友達が増えた	6 勉強がわかるようになった
2 気軽に話せる大人が増えた	7 勉強する時間が増えた
3 生活の中で楽しいことが増えた	8 その他
4 ほっとできる時間が増えた	9 特に変化はない
5 栄養のある食事をとることが増えた	

あなたがふだん使っているものについて

問25 あなたには、自分が使うことができる、下の a～d のものがありますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらなと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
a) 自宅でインターネットにつながるパソコン、タブレット (学校の一人1台端末はのぞく)	1	2	3
b) ゲーム機	1	2	3
c) スマートフォン	1	2	3
d) 携帯音楽プレイヤー	1	2	3

ヤングケアラーについて

問26 あなたは、ヤングケアラーという言葉聞いたことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる 18歳未満の子どもをいいます。

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
2 聞いたことはあるが、よく知らない
3 聞いたことはない

問27 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 あてはまる → 問28に進んでください。
2 あてはまらない
3 わからない → 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

問28 前の質問で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きます。

あなたはふだん、どのようなことをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話を指します。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている |
| 2 | 家族に代わり、若い兄弟姉妹の世話をしている |
| 3 | 障害や病気のある兄弟姉妹の世話や見守りをしている |
| 4 | 目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている |
| 5 | 日本語が話せない家族や障害のある家族のために通訳をしている |
| 6 | アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している |
| 7 | がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている |
| 8 | 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている |
| 9 | 障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている |

問29 問27で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きます。

平日1日あたりどのくらい家族の世話などに時間をつかっていますか。（あてはまるもの1つに○）

1 1時間未満	4 7時間以上
2 1～3時間未満	5 わからない
3 3～7時間未満	

問30 問27で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きます。

家族の世話などをしているために、やりたいことでできていないことはありますか。

（1～5については、あてはまるものすべてに○）

1 学校に行きたくても行けない	4 友達と遊ぶ時間がとれない
2 宿題など勉強する時間がとれない	5 自分の時間がとれない
3 十分な睡眠がとれない	6 特になし

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。